

8. 市の取組に対する評価・要望

(1) 市の取組の評価

問45. 吹田市が進めているさまざまな取組などについて、あなたはどのように思いますか。
以下の①～⑯の項目について、それぞれ1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

※『肯定』：「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計
『否定』：「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の合計
評価点：「そう思う」=100点、「どちらかというと思う」=75点、
「どちらとも言えない」=50点、「どちらかというと思わない」=25点、
「そう思わない」=0点として算出

(評価点については、p. 29 参照)

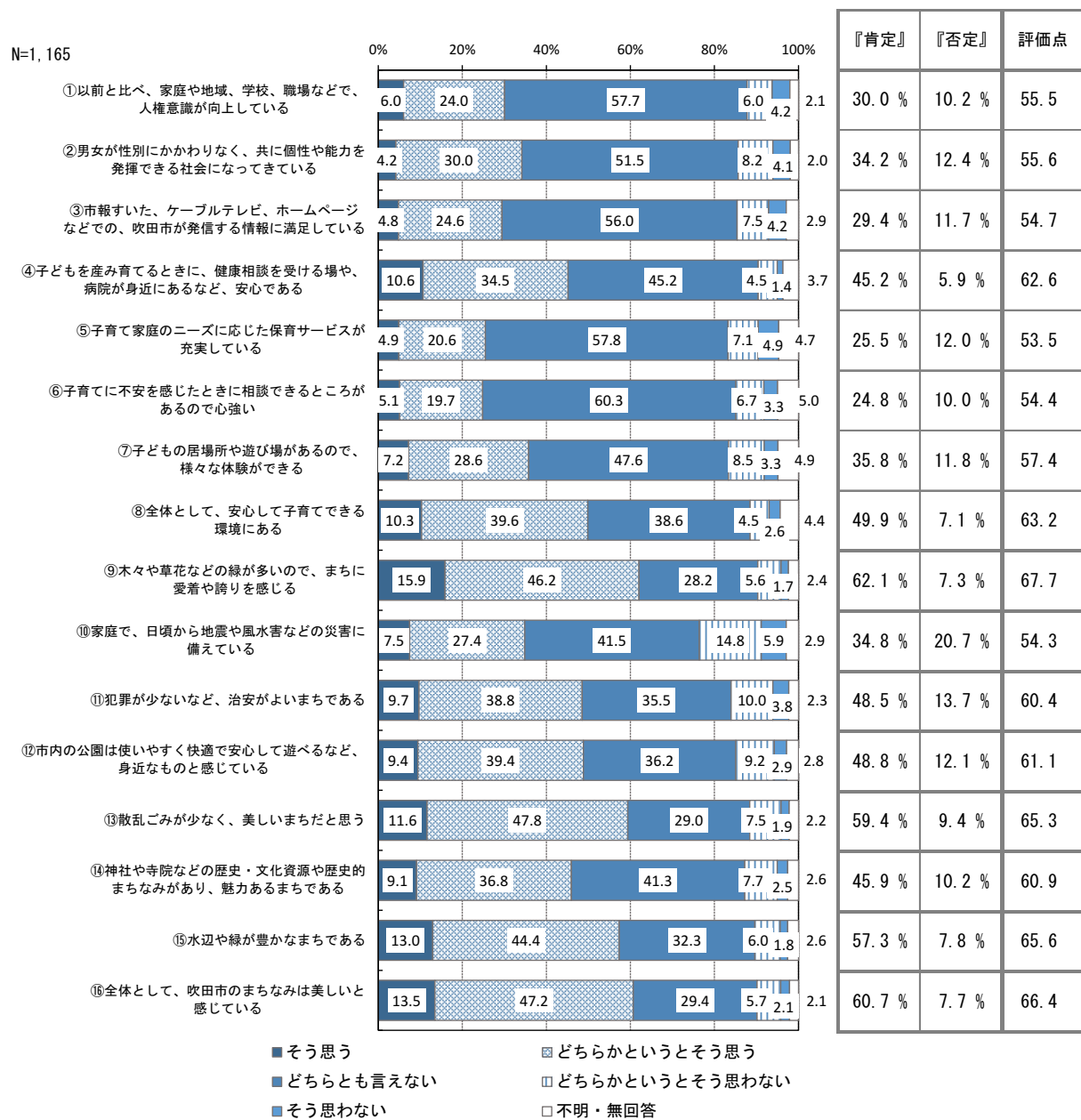


図 3.8.1 吹田市の取組に対する評価

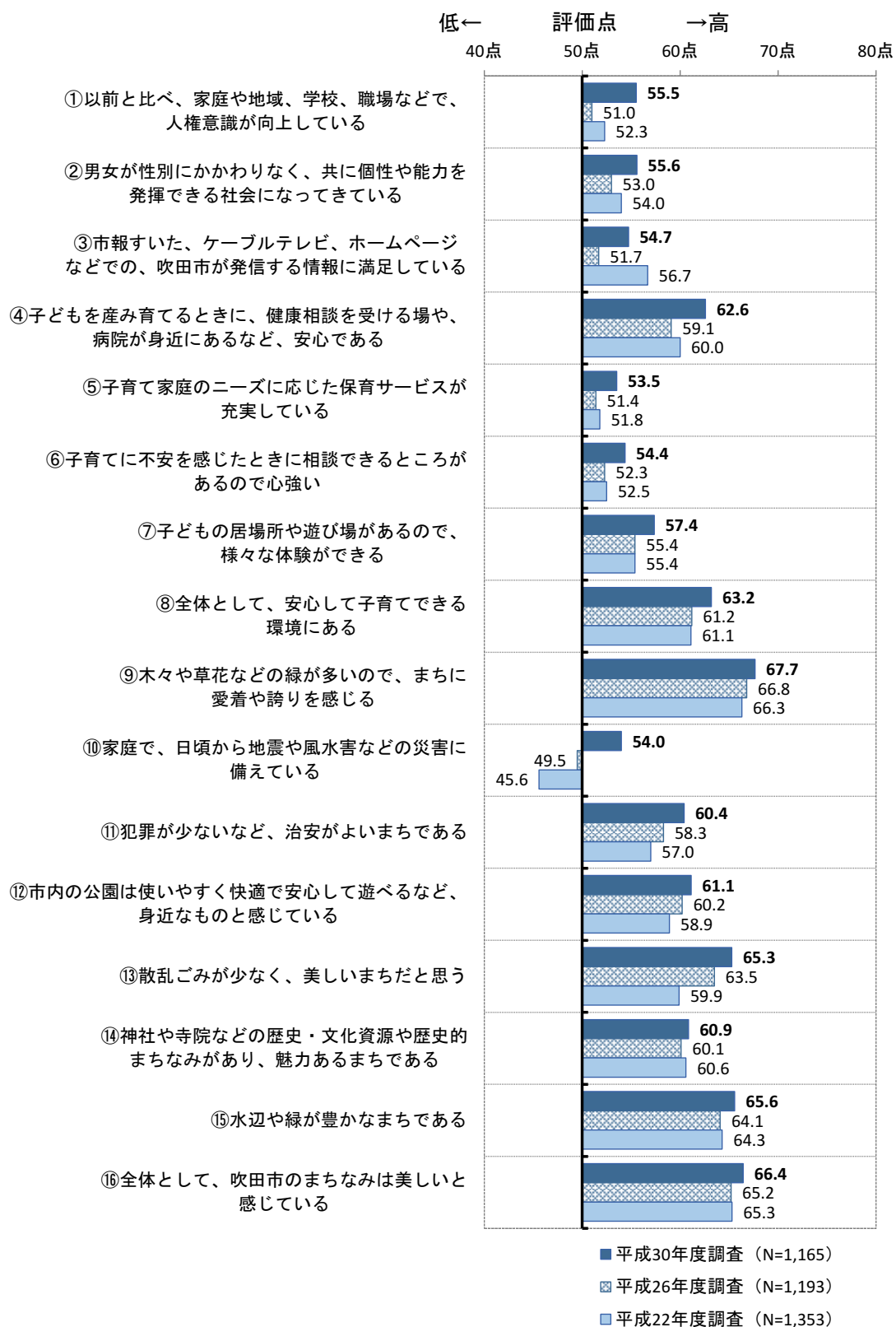
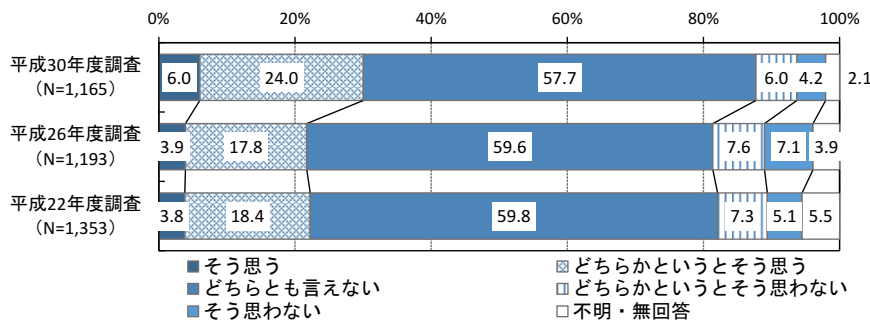


図 3.8.2 吹田市の取組に対する評価（評価点経年比較）

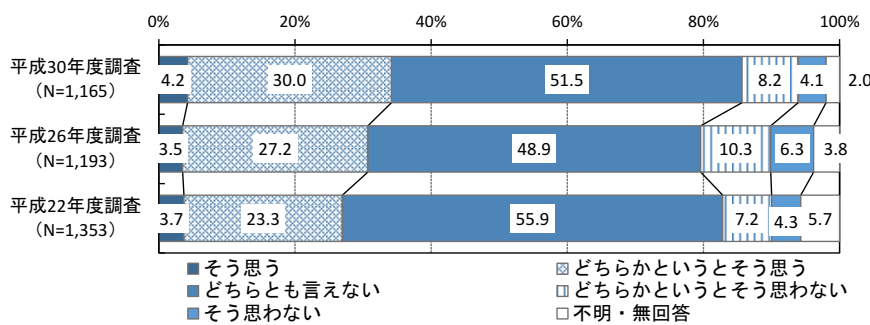
- 吹田市の取組に対する評価（図3.8.1）は、全ての取組で『肯定』の方が『否定』に比べて割合が高くなっている。特に『肯定』の割合が高い項目は、《⑨木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる》（62.1%）、《⑯全体として、吹田市のまちなみは美しいと感じている》（60.7%）、《⑬散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う》（59.4%）となっている。
- 評価点は、全ての取組で50点以上の評価となっている。特に、《⑨木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる》（67.7点）、《⑯全体として、吹田市のまちなみは美しいと感じている》（66.4点）、《⑮水辺や緑が豊かなまちである》（65.6点）、《⑬散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う》（65.3点）では65点以上と高くなっている。
- 平成26年度調査と比較（図3.8.2～図3.8.6）すると、全ての取組で平成26年度調査よりも評価点が高くなっている。特に、評価点が平成26年度調査よりも高くなっているのは《①以前と比べ、家庭や地域、学校、職場などで、人権意識が向上している》（4.5点増）、《⑩家庭で、日頃から地震や風水害などの災害に備えている》（4.5点増）となっている。
- 性別に評価点（図3.8.7～図3.8.14）をみると、女性・男性ともに《⑨吹田市は、木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる》が最も高くなっている。一方、女性では《⑤子育て家庭のニーズに応じた保育サービスが充実している》（53.7点）が最も低く、男性では《⑥子育てに不安を感じたときに相談できる場所がある心強い》（52.1点）が最も低くなっている。
- 年齢別に評価点をみると、年齢層による差が最も大きいのは《⑭神社や寺院などの歴史・文化資源や歴史的まちなみがあり、魅力あるまちである》で、70歳以上では67.6点となっているが、30歳未満では53.8点で、差が13.8点となっている。次いで差が大きいのは《①以前と比べ、家庭や地域、学校、職場などで、人権意識が向上している》で、70歳以上では63.6点となっているが、40歳代では50.4点で、差が12.8点となっている。
- 居住地域別に評価点をみると、J R以南地域では《④子供を産み育てるときに、健康相談を受ける場や、病院が身近にあるなど、安心である》、片山・岸部地域、千里山・佐井寺地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域では《⑨木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる》、豊津・江坂・南吹田地域では《⑫市内の公園は使いやすく快適で安心して遊べるなど、身近なものと感じている》、山田・千里丘地域では《⑯全体として、吹田市のまちなみは美しいと感じている》が最も高くなっている。
また、地域による差が最も大きいのは《⑨吹田市は、木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる》で、千里ニュータウン・万博・阪大地域では76.2点となっているが、J R以南地域では59.2点で、差が17.0点となっている。次いで差が大きいのは《⑮水辺や緑が豊かなまちである》で、千里ニュータウン・万博・阪大地域では72.8点となっているが、J R以南地域では58.4点で、差が14.4点となっている。

①以前（5年くらい前）と比べ、家庭や地域、学校、職場などで、女性、子供、高齢者、同和問題、外国人などの人権問題について、一人ひとりの価値観や考え方が尊重されるなど、人権意識が向上している



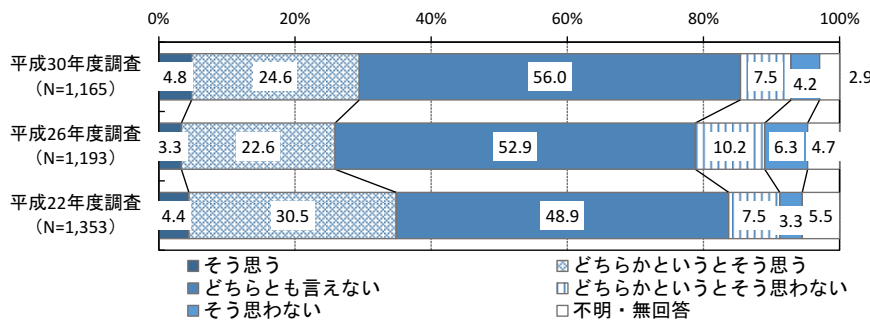
| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|--------|------|
| 30.0 % | 10.2 % | 55.5 |
| 21.7 % | 14.8 % | 51.0 |
| 22.2 % | 12.4 % | 52.3 |

②男女が性別にかかわらず、共に個性や能力を発揮できる社会になってきている



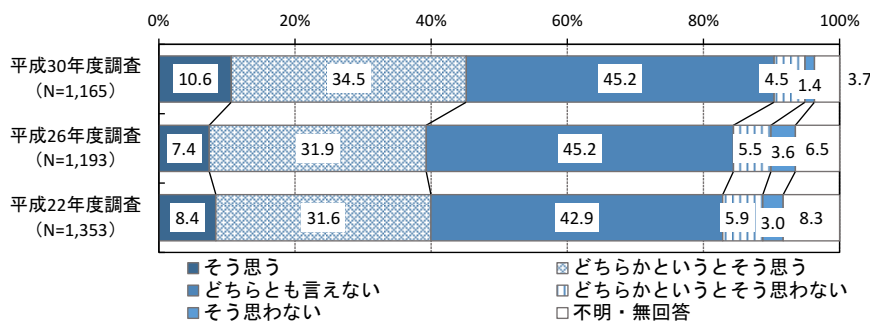
| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|--------|------|
| 34.2 % | 12.4 % | 55.6 |
| 30.8 % | 16.6 % | 53.0 |
| 27.0 % | 11.5 % | 54.0 |

③市報すいた、ケーブルテレビ、ホームページなどでの、吹田市が発信する情報に満足している



| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|--------|------|
| 29.4 % | 11.7 % | 54.7 |
| 25.9 % | 16.5 % | 51.7 |
| 34.9 % | 10.8 % | 56.7 |

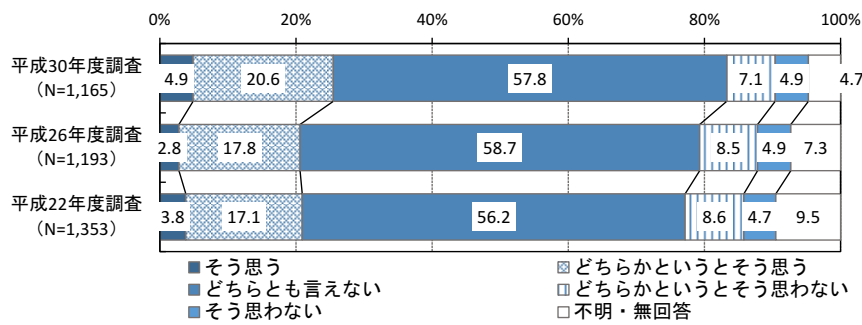
④吹田市は、子供を産み育てるときに、健康相談を受ける場や、病院が身近にあるなど、安心である



| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|-------|------|
| 45.2 % | 5.9 % | 62.6 |
| 39.2 % | 9.1 % | 59.1 |
| 40.0 % | 8.9 % | 60.0 |

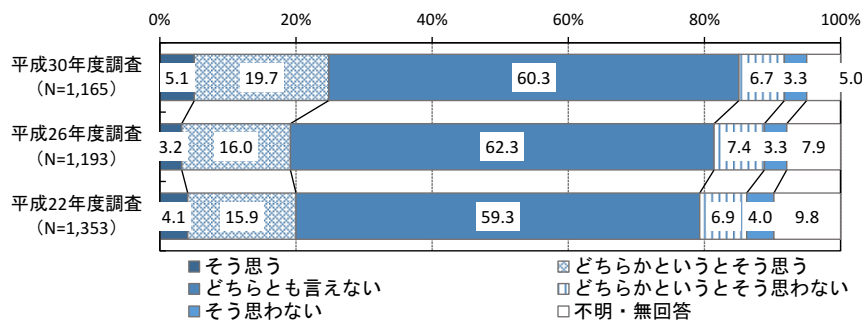
図 3.8.3 吹田市の取組に対する評価（経年比較）①

⑤吹田市は、子育て家庭のニーズに応じた保育サービスが充実している



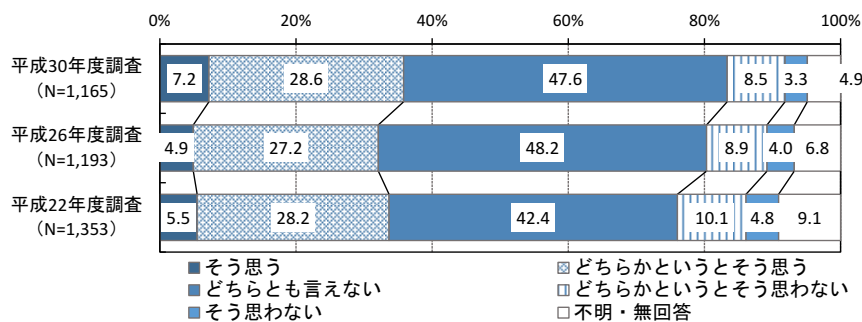
| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|--------|------|
| 25.5 % | 12.0 % | 53.5 |
| 20.6 % | 13.4 % | 51.4 |
| 20.9 % | 13.4 % | 51.8 |

⑥吹田市は、子育てに不安を感じたときに相談できる場所があるので心強い



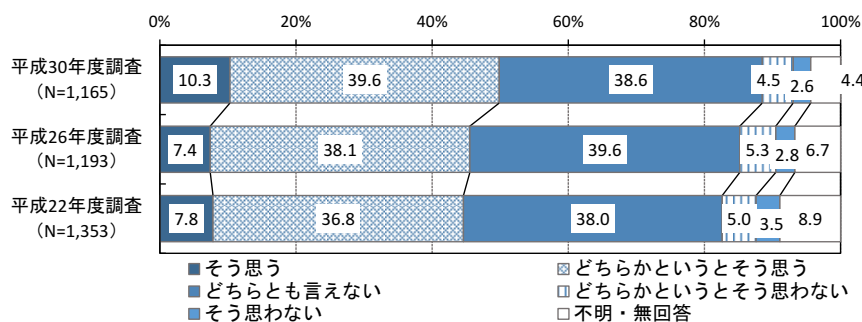
| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|--------|------|
| 24.8 % | 10.0 % | 54.4 |
| 19.2 % | 10.6 % | 52.3 |
| 20.0 % | 10.9 % | 52.5 |

⑦吹田市は、子供の居場所や遊び場があるので、様々な体験ができる



| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|--------|------|
| 35.8 % | 11.8 % | 57.4 |
| 32.1 % | 12.9 % | 55.4 |
| 33.7 % | 14.9 % | 55.4 |

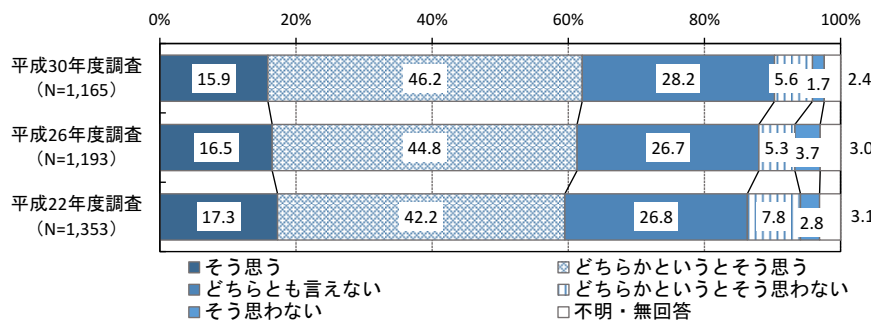
⑧吹田市は、全体として、安心して子育てできる環境にある



| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|-------|------|
| 49.9 % | 7.1 % | 63.2 |
| 45.5 % | 8.1 % | 61.2 |
| 44.6 % | 8.4 % | 61.1 |

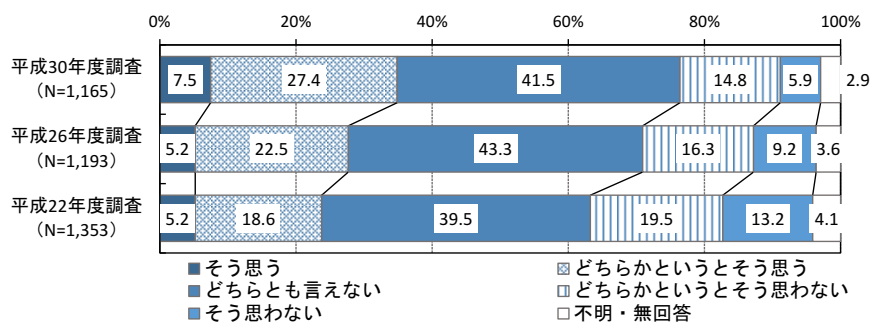
図 3.8.4 吹田市の取組に対する評価（経年比較）②

⑨吹田市は、木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる



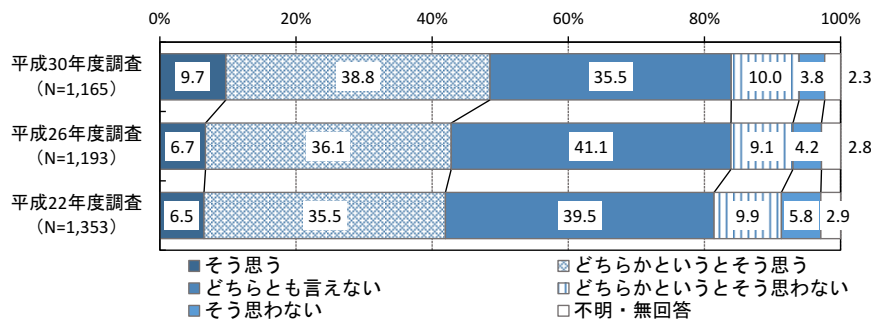
| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|--------|------|
| 62.1 % | 7.3 % | 67.7 |
| 61.4 % | 9.0 % | 66.8 |
| 59.5 % | 10.6 % | 66.3 |

⑩家庭で、非常持出品の備蓄や非常食の備蓄、避難路や連絡方法の確認など、日頃から地震や風水害などの災害に備えている



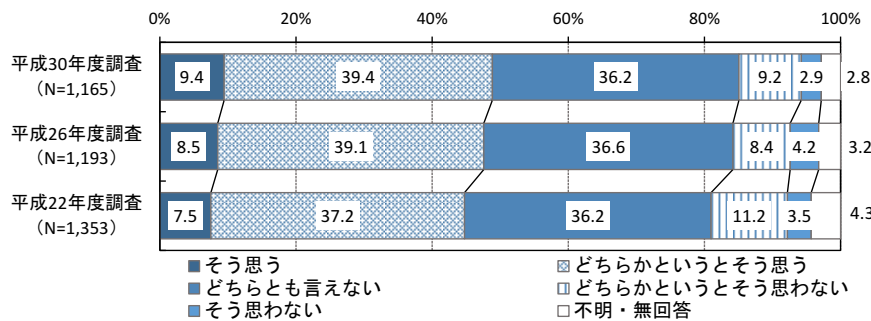
| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|--------|------|
| 34.8 % | 20.7 % | 54.0 |
| 27.7 % | 25.5 % | 49.5 |
| 23.7 % | 32.7 % | 45.6 |

⑪吹田市は、犯罪が少ないなど、治安がよいまちである



| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|--------|------|
| 48.5 % | 13.7 % | 60.4 |
| 42.8 % | 13.2 % | 58.3 |
| 42.0 % | 15.7 % | 57.0 |

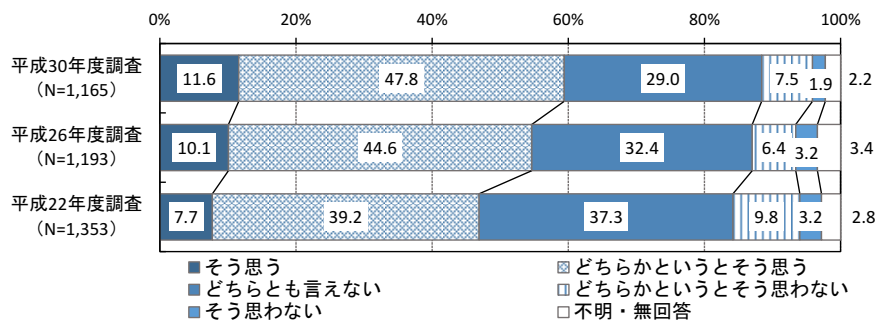
⑫吹田市内の公園は使いやすく快適で安心して遊べるなど、身近なものと感じている



| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|--------|------|
| 48.8 % | 12.1 % | 61.1 |
| 47.6 % | 12.6 % | 60.2 |
| 44.7 % | 14.8 % | 58.9 |

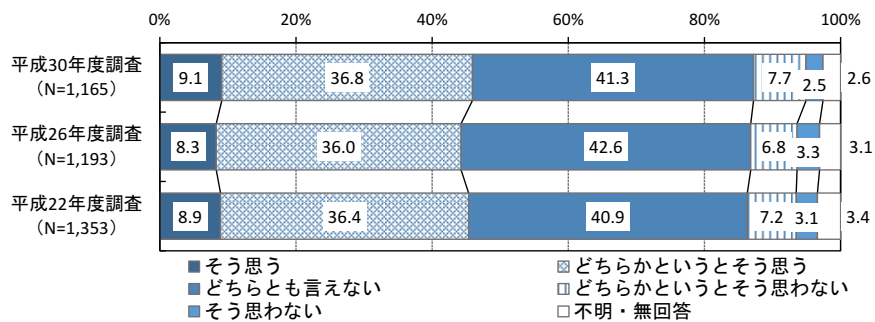
図 3.8.5 吹田市の取組に対する評価（経年比較）③

⑬吹田市は、散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う



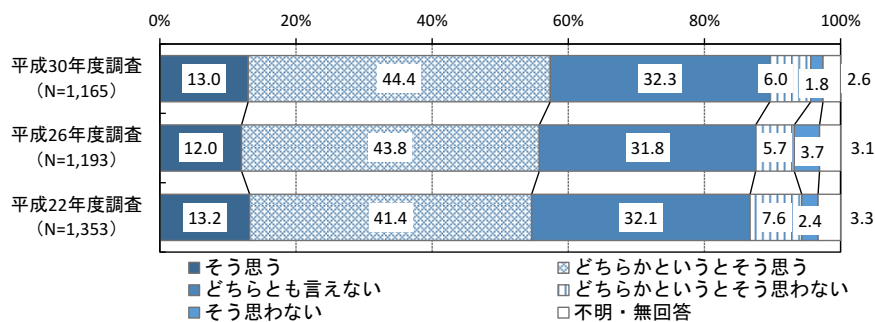
| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|--------|------|
| 59.4 % | 9.4 % | 65.3 |
| 54.7 % | 9.6 % | 63.5 |
| 46.9 % | 13.0 % | 59.9 |

⑭吹田市は、神社や寺院などの歴史・文化資源や歴史的まちなみがあり、魅力あるまちである



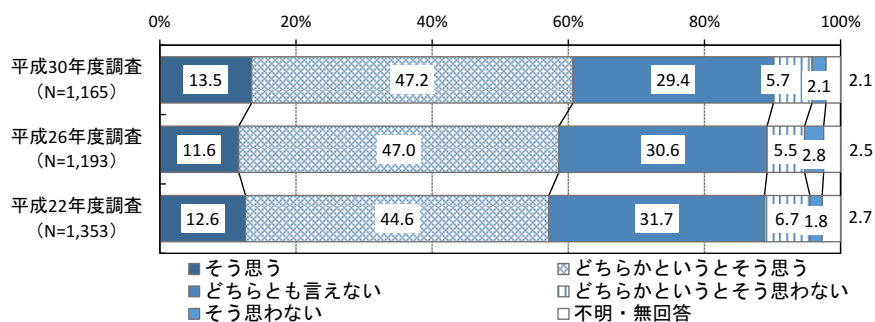
| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|--------|------|
| 45.9 % | 10.2 % | 60.9 |
| 44.3 % | 10.1 % | 60.1 |
| 45.3 % | 10.3 % | 60.6 |

⑮吹田市は、水辺や緑が豊かなまちである



| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|--------|------|
| 57.3 % | 7.8 % | 65.6 |
| 55.7 % | 9.4 % | 64.1 |
| 54.6 % | 10.1 % | 64.3 |

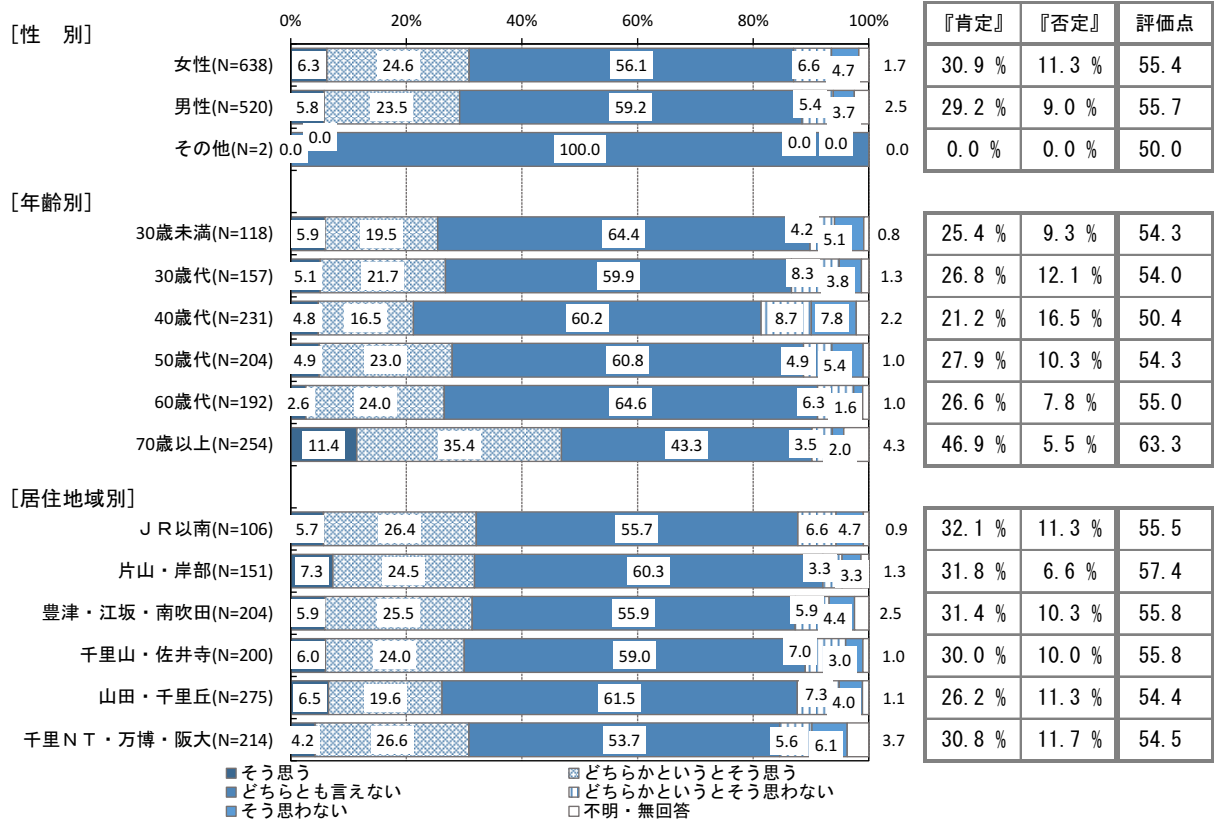
⑯全体として、吹田市のまちなみは美しいと感じている



| 『肯定』 | 『否定』 | 評価点 |
|--------|-------|------|
| 60.7 % | 7.7 % | 66.4 |
| 58.6 % | 8.3 % | 65.2 |
| 57.1 % | 8.4 % | 65.3 |

図 3.8.6 吹田市の取組に対する評価（経年比較）④

①以前（５年くらい前）と比べ、家庭や地域、学校、職場などで、女性、子供、高齢者、同和問題、外国人などの人権問題について、一人ひとりの価値観や考え方が尊重されるなど、人権意識が向上している



②男女が性別にかかわらず、共に個性や能力を発揮できる社会になってきている

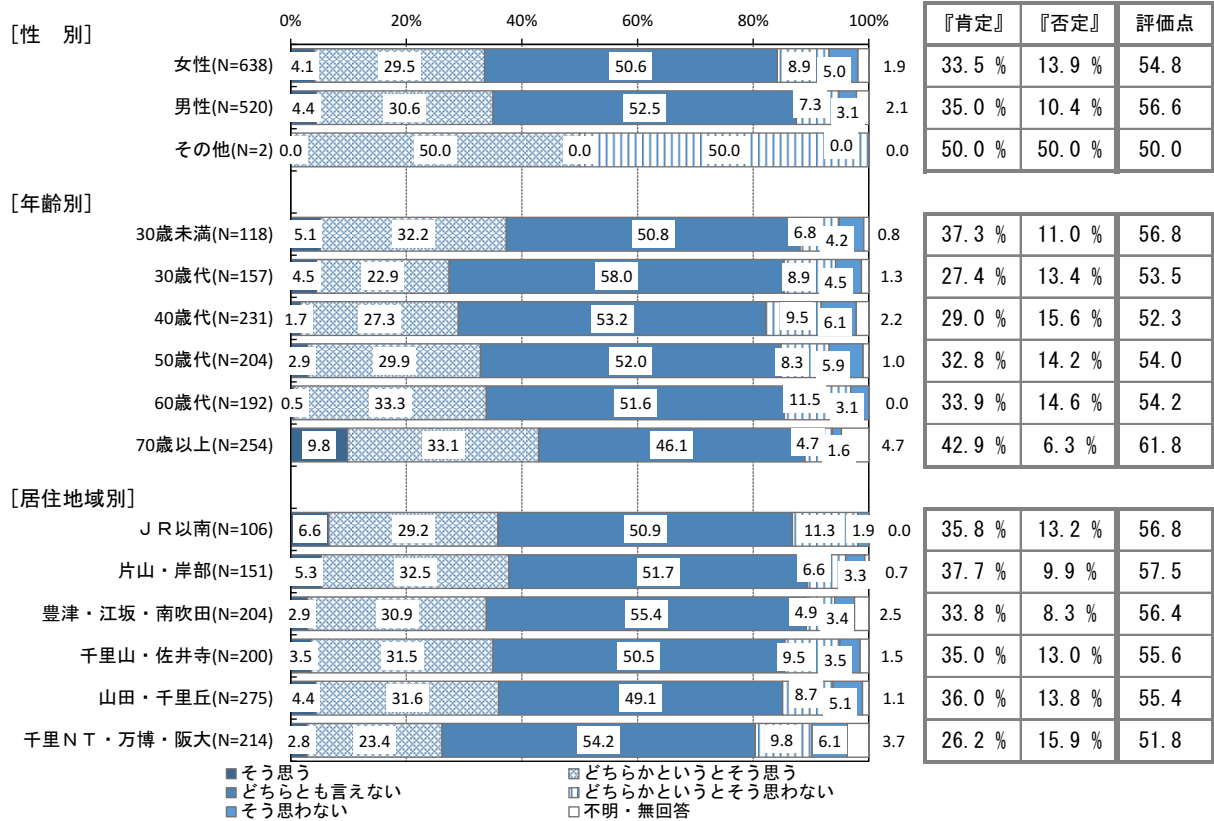
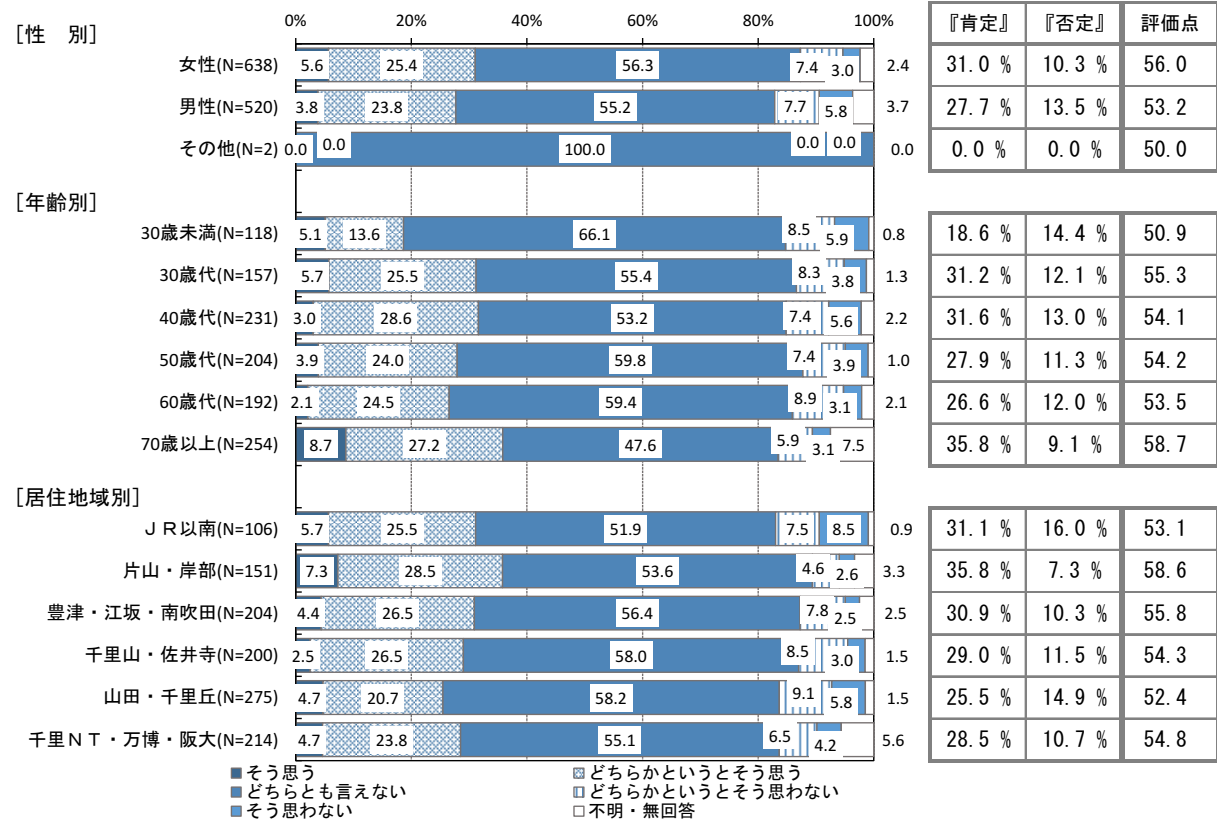


図 3.8.7 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価①

③市報すいた、ケーブルテレビ、ホームページなどでの、吹田市が発信する情報に満足している



④吹田市は、子供を産み育てるときに、健康相談を受ける場や、病院が身近にあるなど、安心である

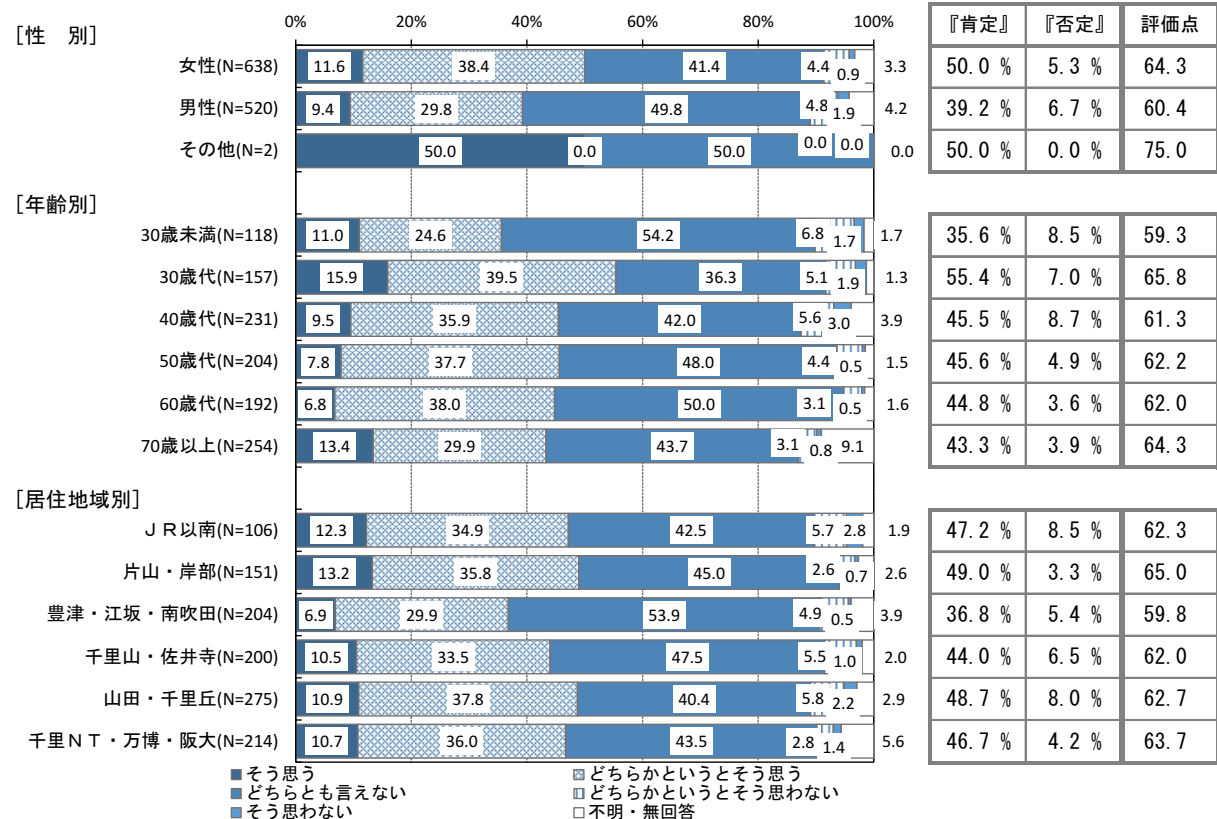
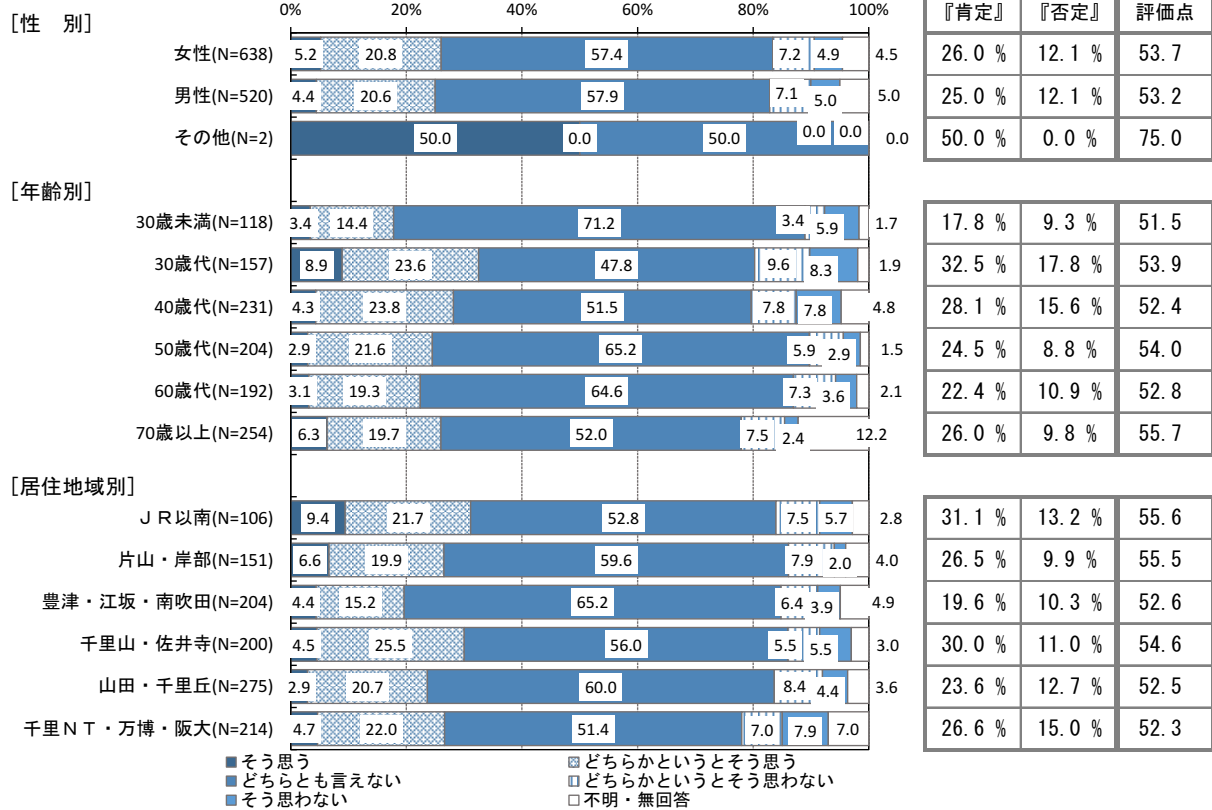


図 3.8.8 性別・年齢別・居住地別 市の取組に対する評価②

⑤吹田市は、子育て家庭のニーズに応じた保育サービスが充実している



⑥吹田市は、子育てに不安を感じたときに相談できる場所があるので心強い

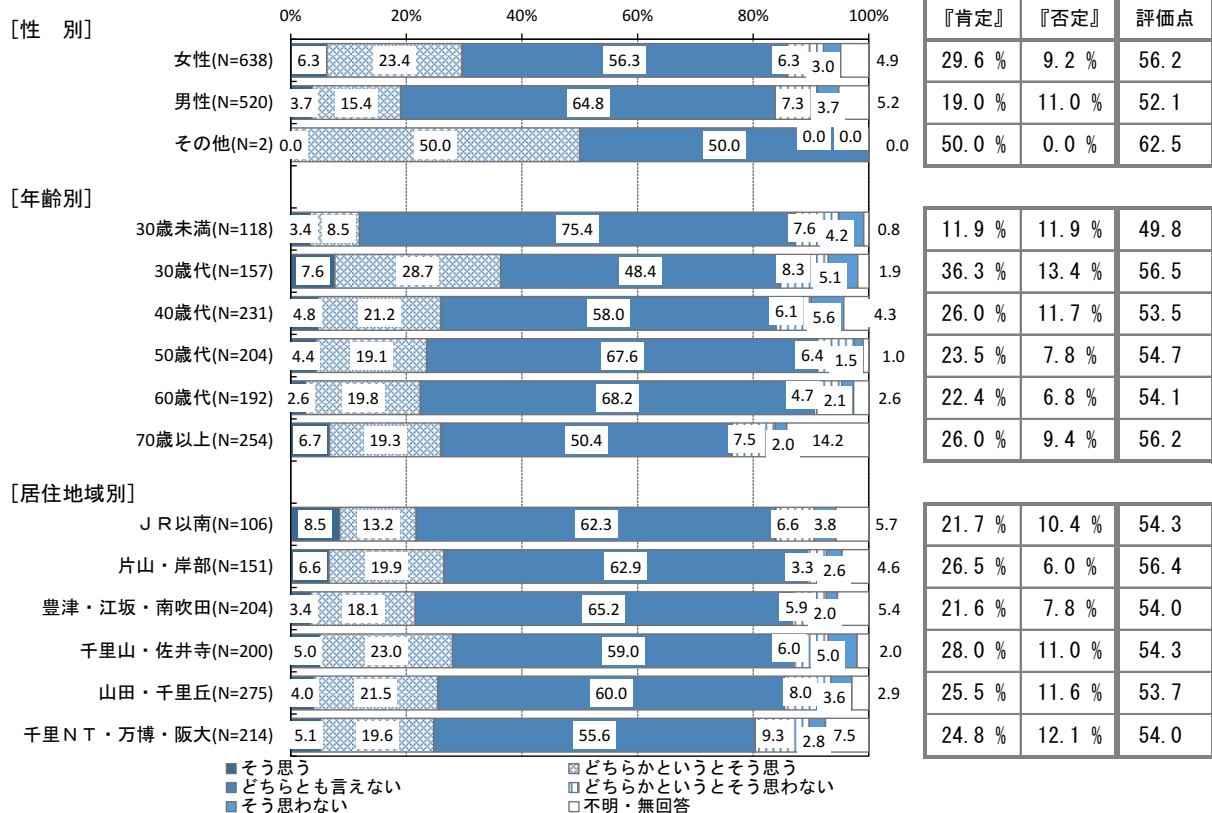
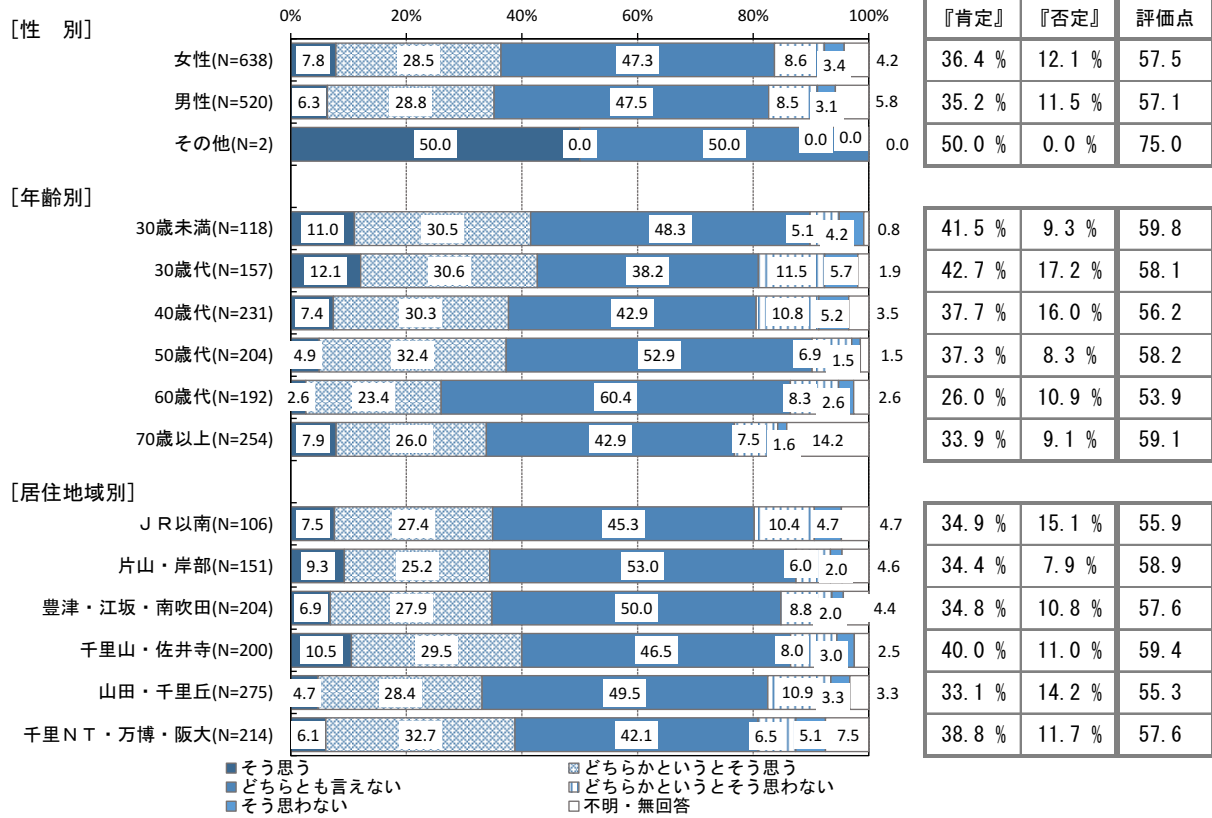


図 3.8.9 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価③

⑦吹田市は、子供の居場所や遊び場があるので、様々な体験ができる



⑧吹田市は、全体として、安心して子育てできる環境にある

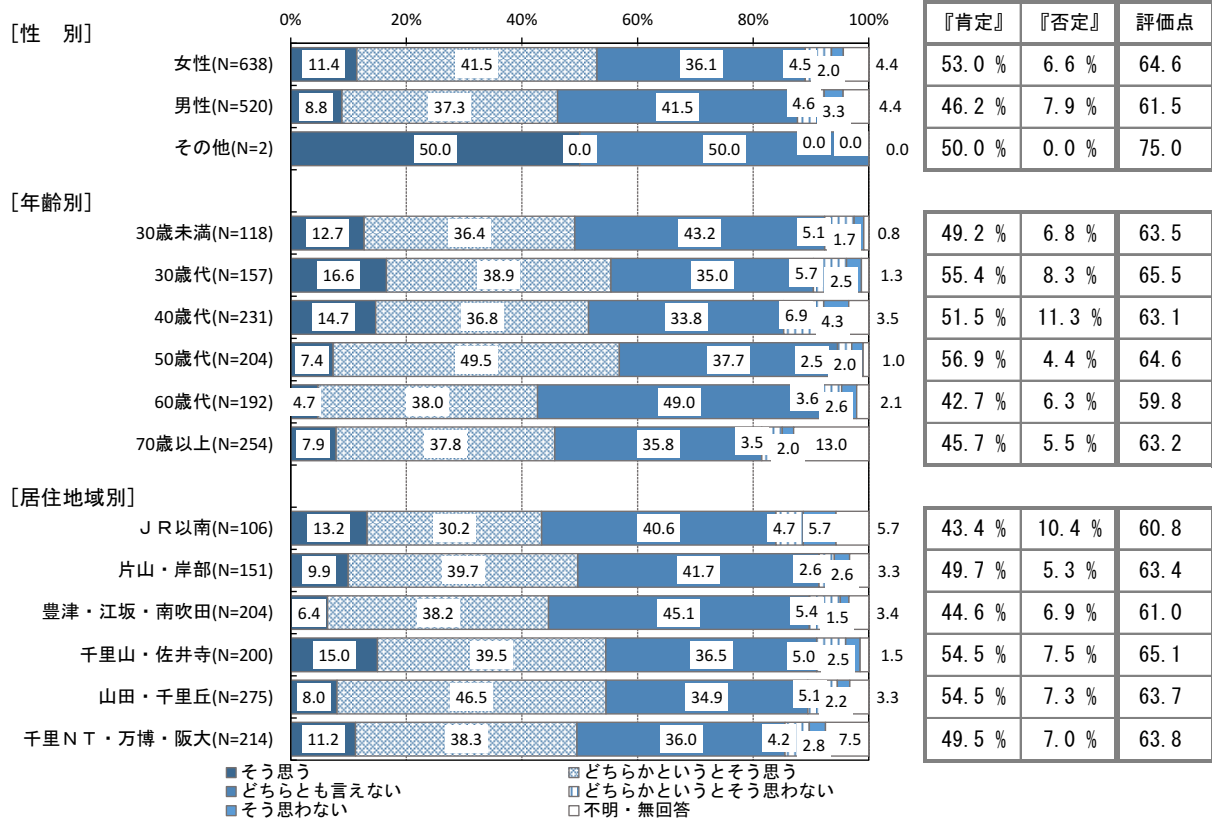
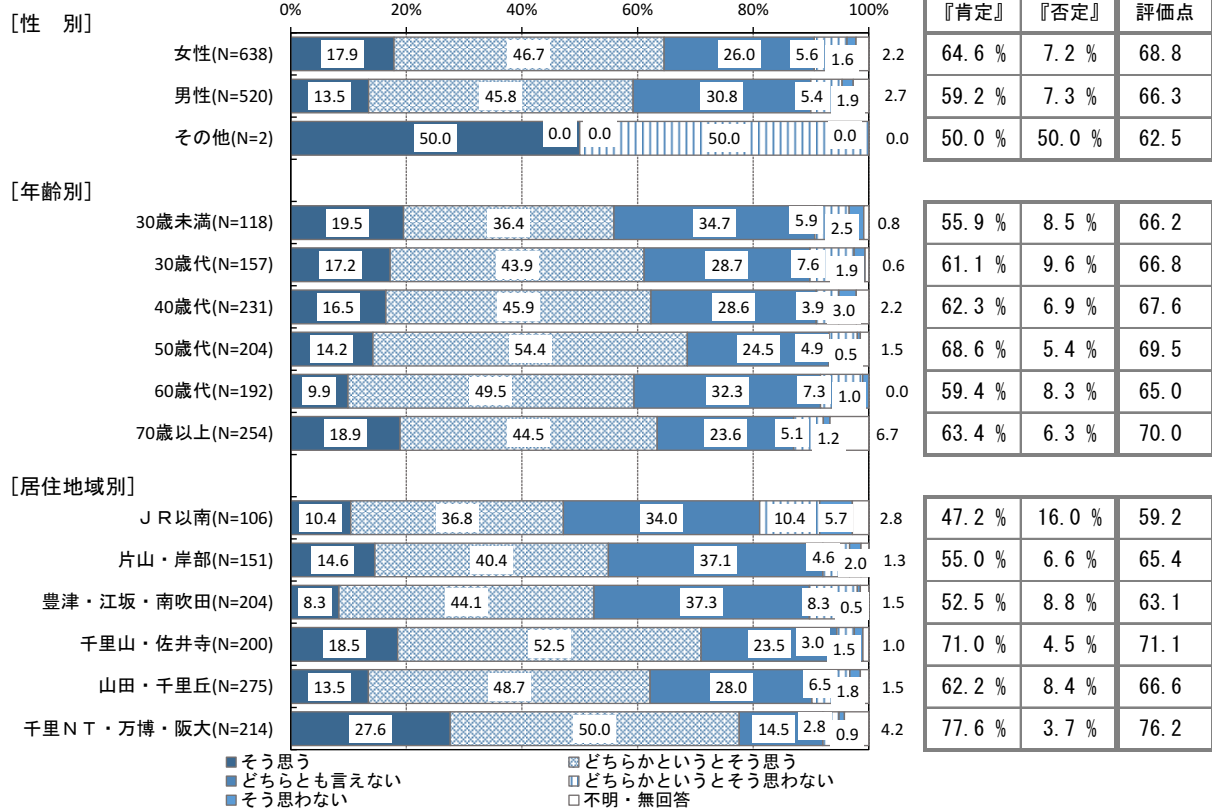


図 3.8.10 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価④

⑨吹田市は、木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる



⑩家庭で、非常持出品の備蓄や非常食の備蓄、避難路や連絡方法の確認など、日頃から地震や風水害などの災害に備えている

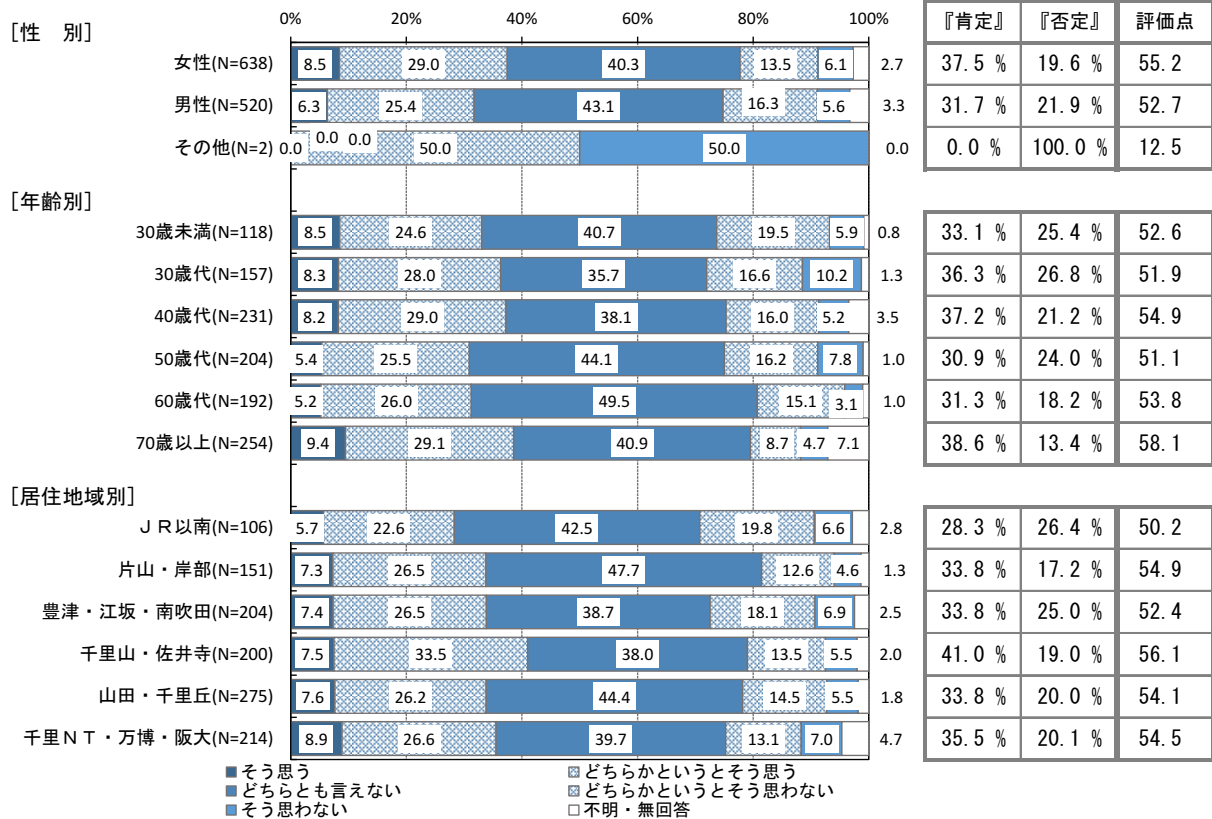
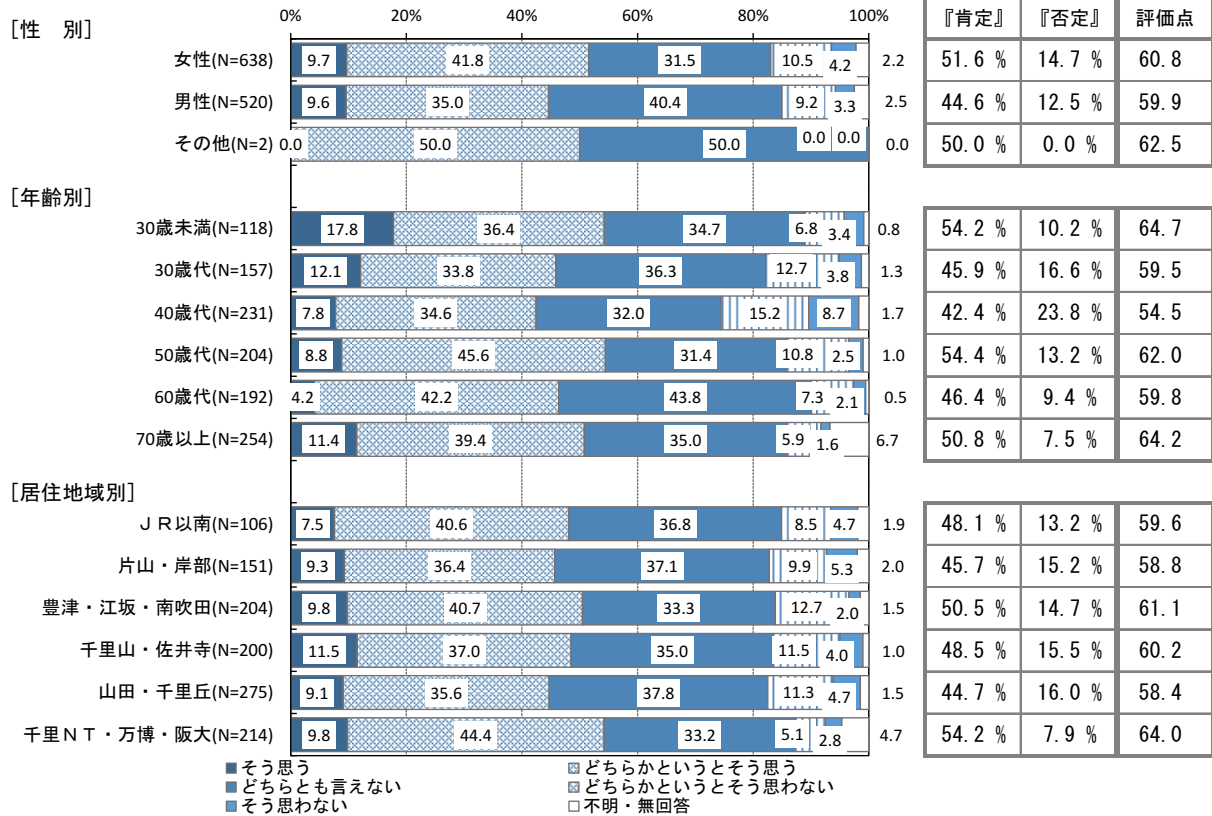


図 3.8.11 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価⑤

⑪吹田市は、犯罪が少ないなど、治安がよいまちである



⑫吹田市内の公園は使いやすく快適で安心して遊べるなど、身近なものと感じている

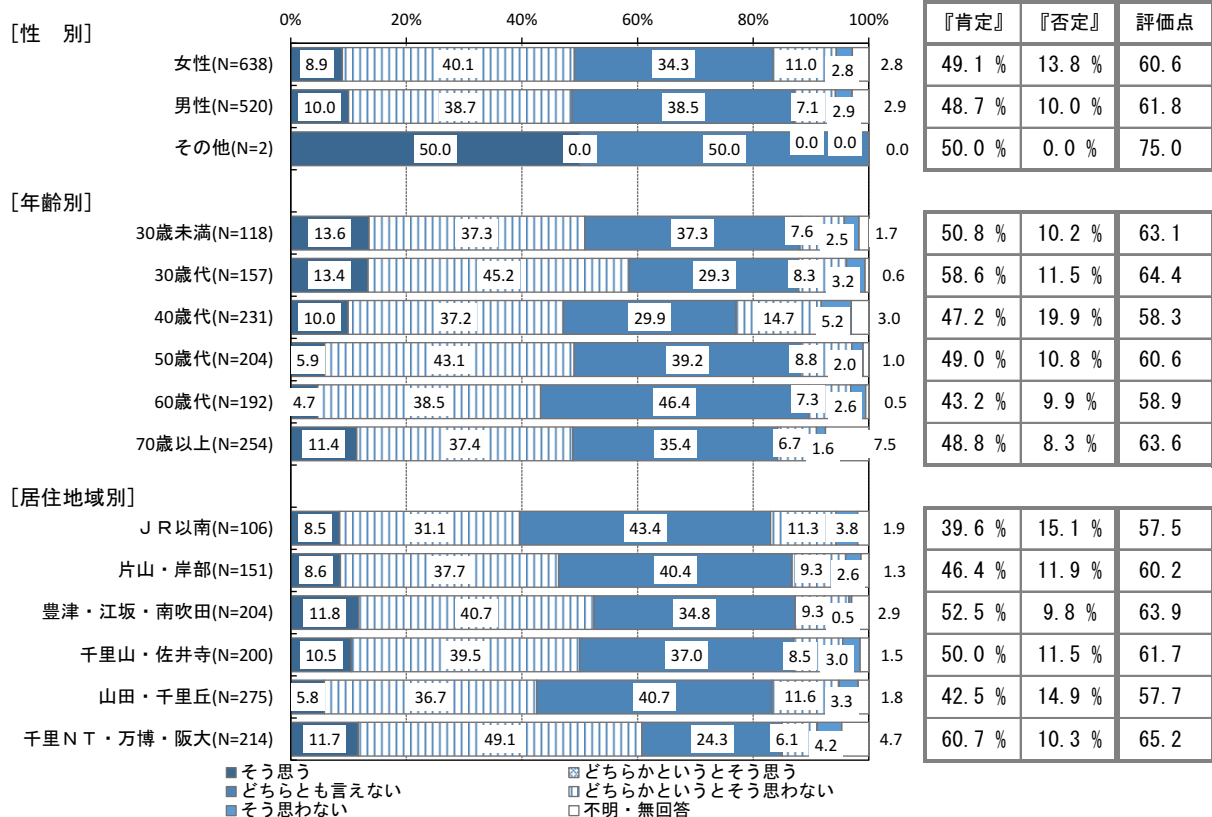
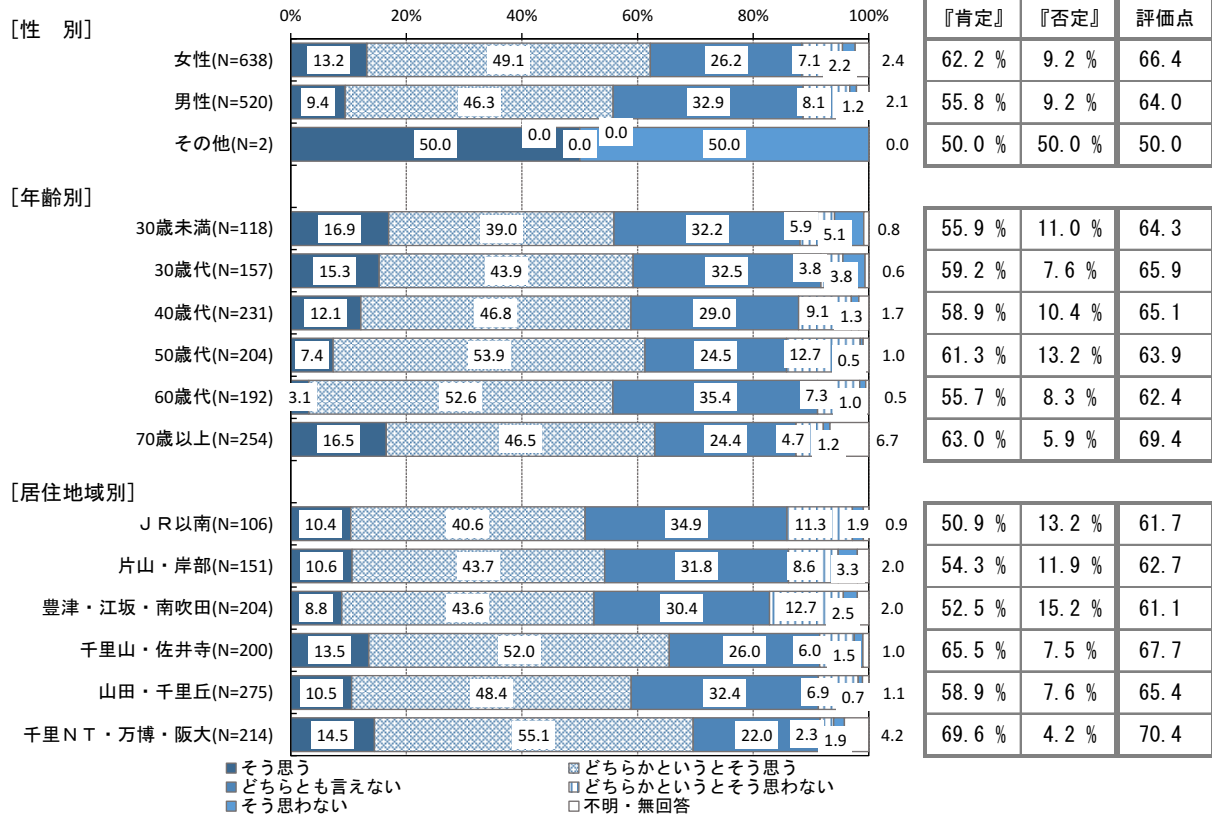


図 3. 8. 12 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価⑥

⑬吹田市は、散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う



⑭吹田市は、神社や寺院などの歴史・文化資源や歴史的まちなみがあり、魅力あるまちである

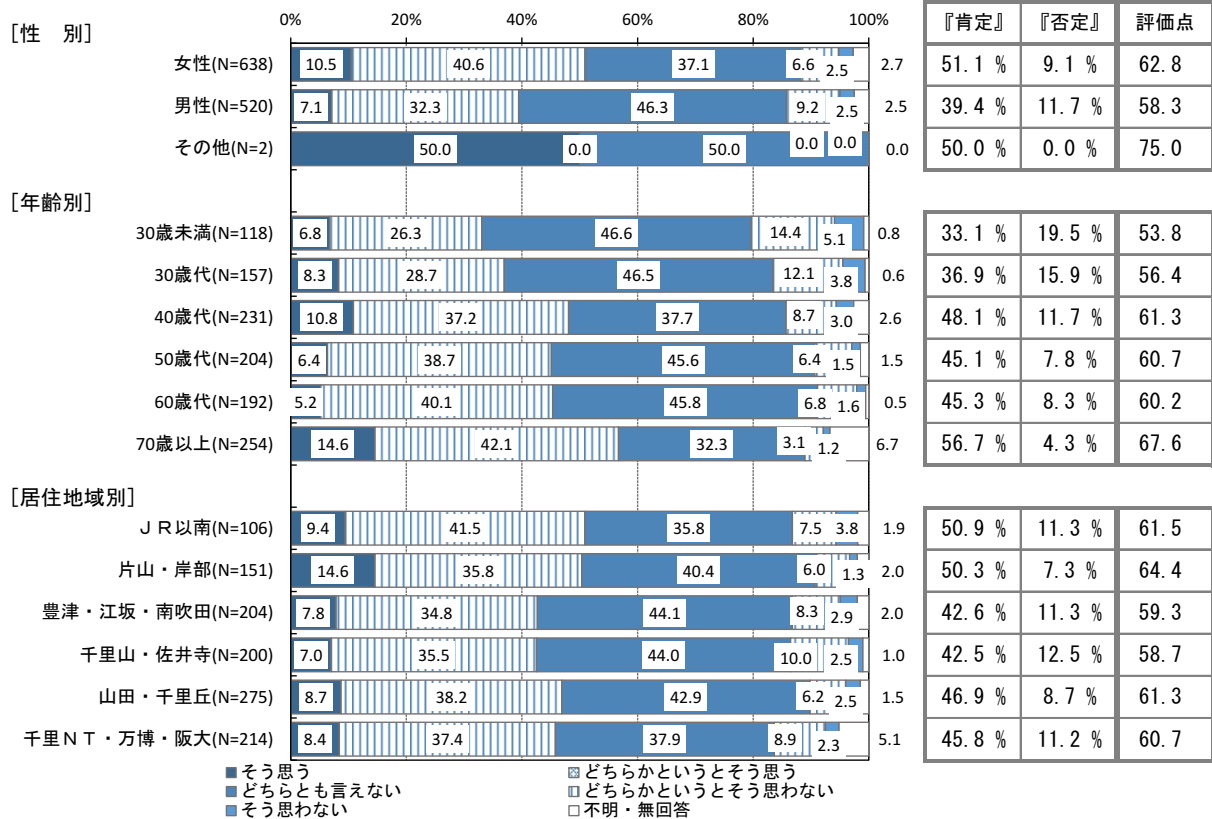
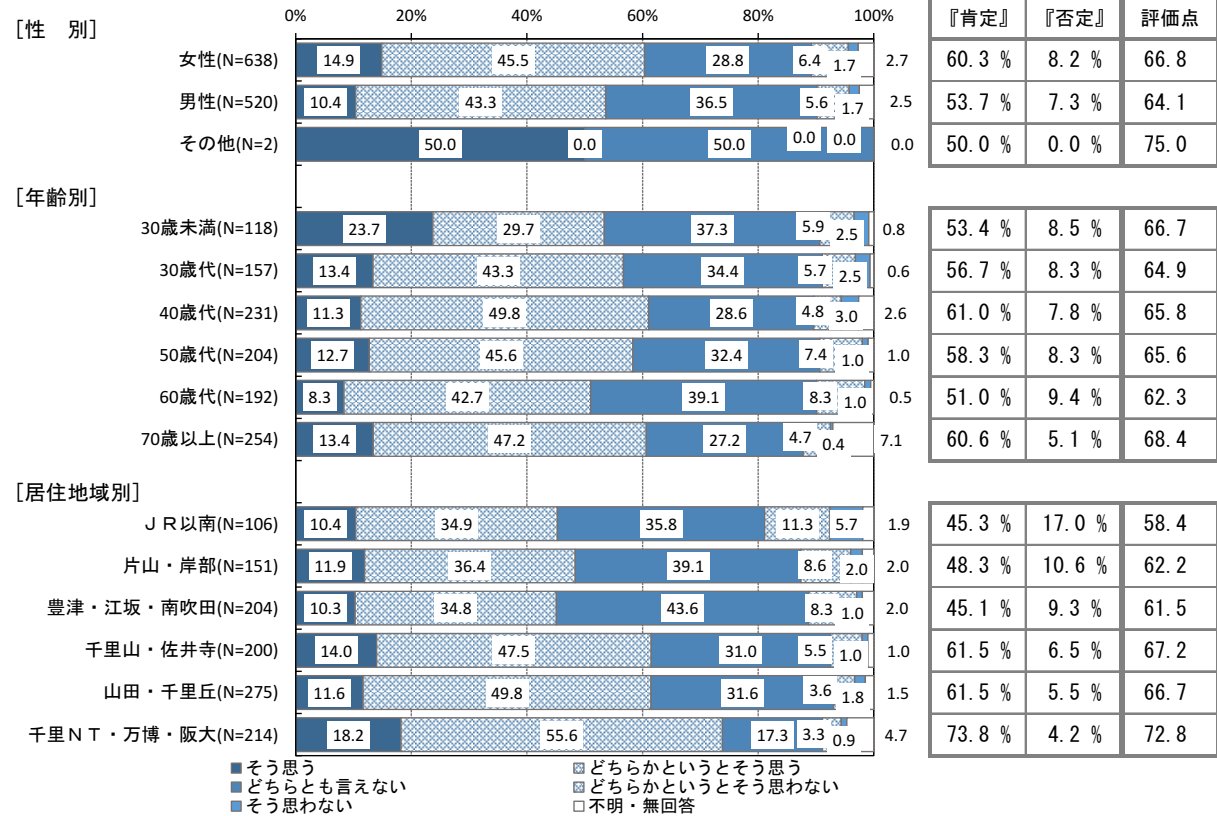


図 3. 8. 13 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価⑦

⑮吹田市は、水辺や緑が豊かなまちである



⑯全体として、吹田市のまちなみは美しいと感じている

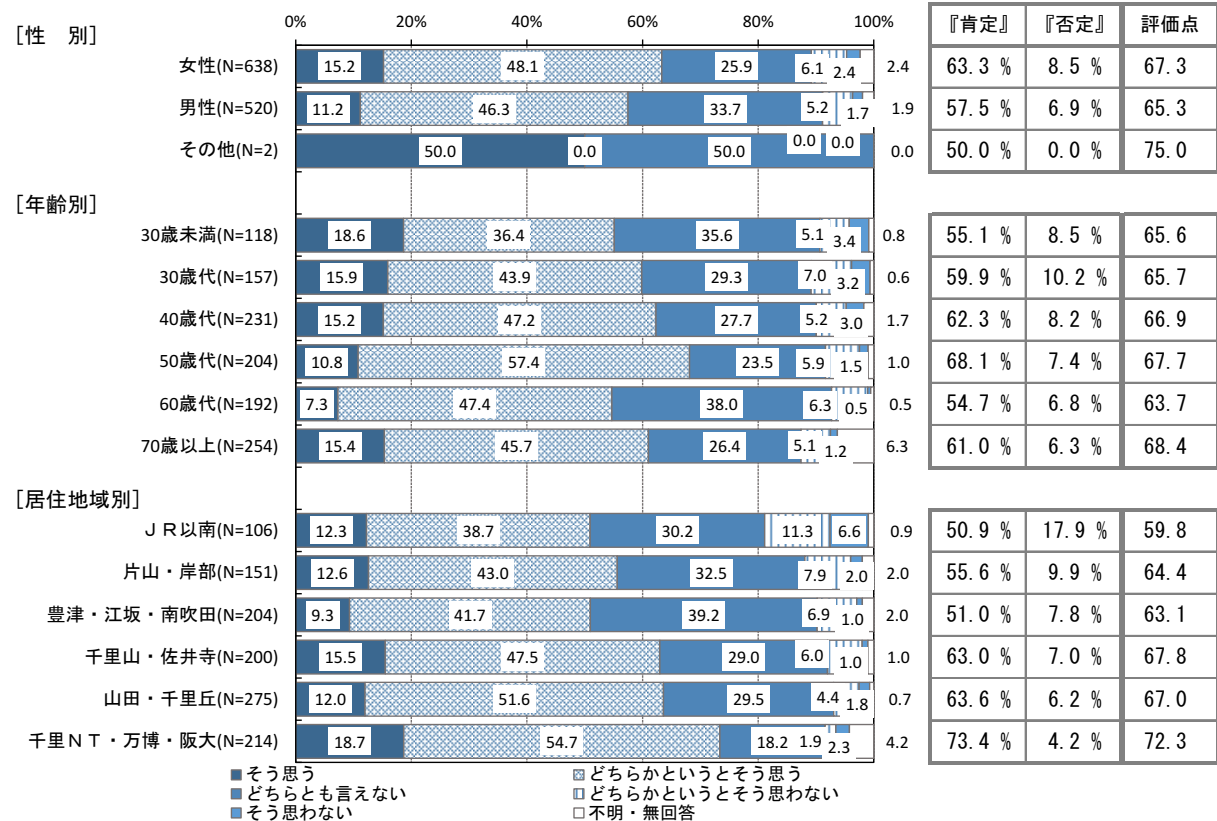


図 3. 8. 14 性別・年齢別・居住地域別 市の取組に対する評価⑧

(2) 市政の満足度・重要度

問46. あなたは、吹田市における1～48の項目について、どの程度満足していますか。また、今後の市政を進めるにあたってどの程度重要だと思いますか。あなたの考え方に一番近いものを、「満足度」と「重要度」からそれぞれ1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

※『満足』:「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計
 『不満』:「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計
 満足度評価点:「満足している」=100点、「どちらかといえば満足している」=75点、
 「普通」=50点、「どちらかといえば不満である」=25点、「不満である」=0点として算出

※『重要である』:「重要である」と「どちらかといえば重要である」の合計
 『重要ではない』:「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」の合計
 重要度評価点:「重要である」=100点、「どちらかといえば重要である」=75点、
 「今の程度で良い」=50点、「どちらかといえば重要ではない」=25点、
 「重要ではない」=0点として算出

(評価点については、p. 29 参照)

(2)-1 人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度

N=1,165

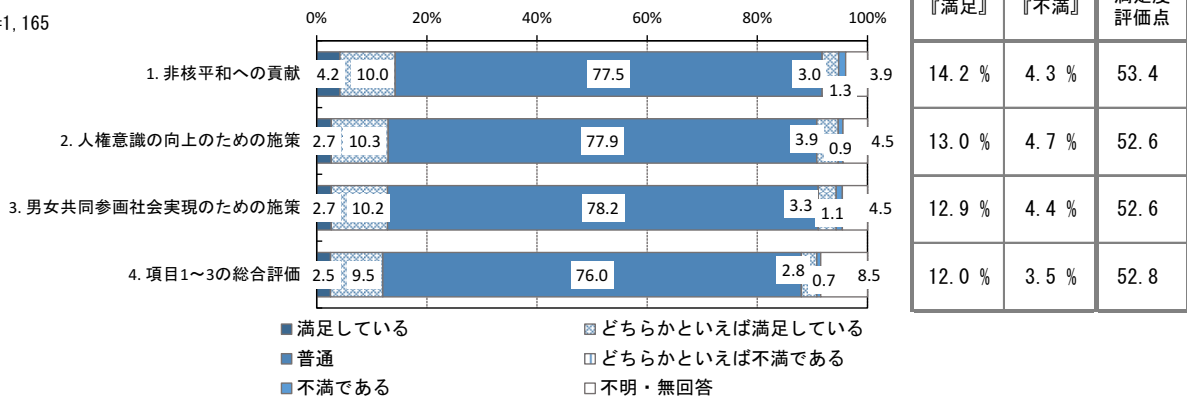


図 3.8.15 人権・平和・男女共同参画についての満足度

N=1,165

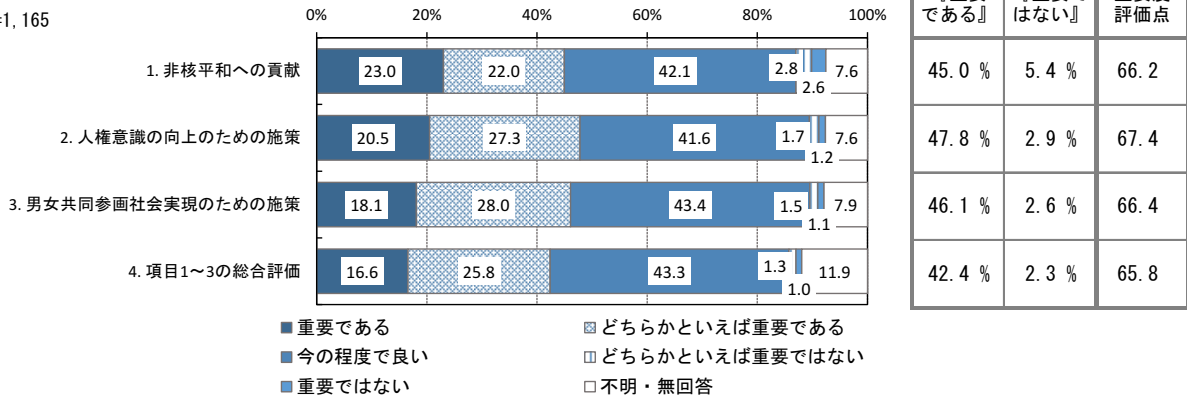


図 3.8.16 人権・平和・男女共同参画についての重要度

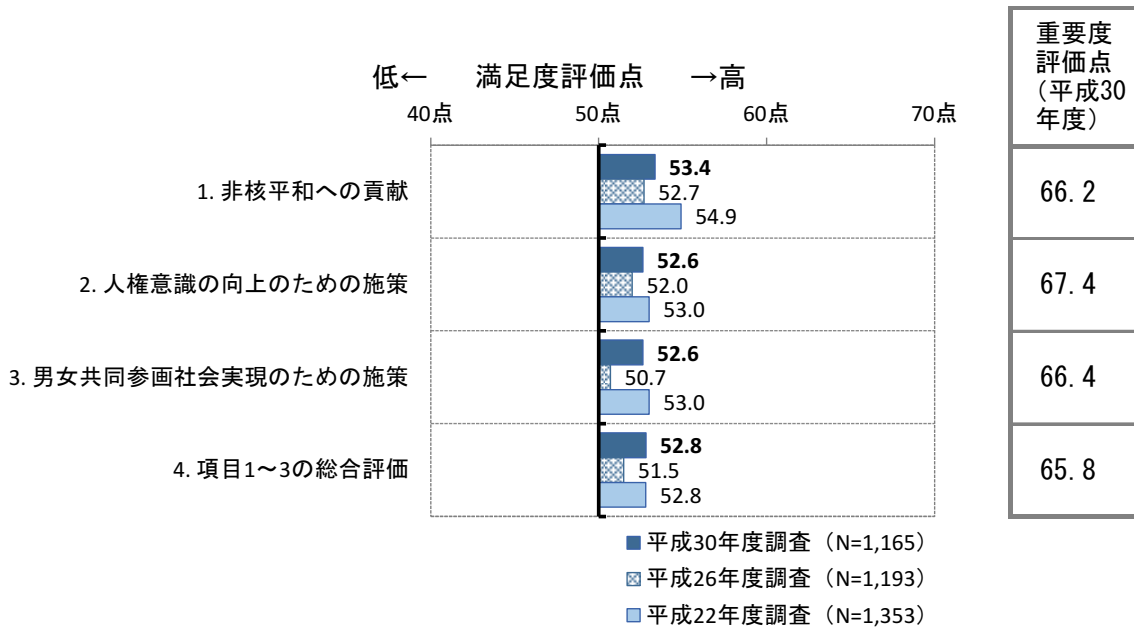


図 3. 8. 17 人権・平和・男女共同参画についての満足度評価点の経年比較と重要度評価点

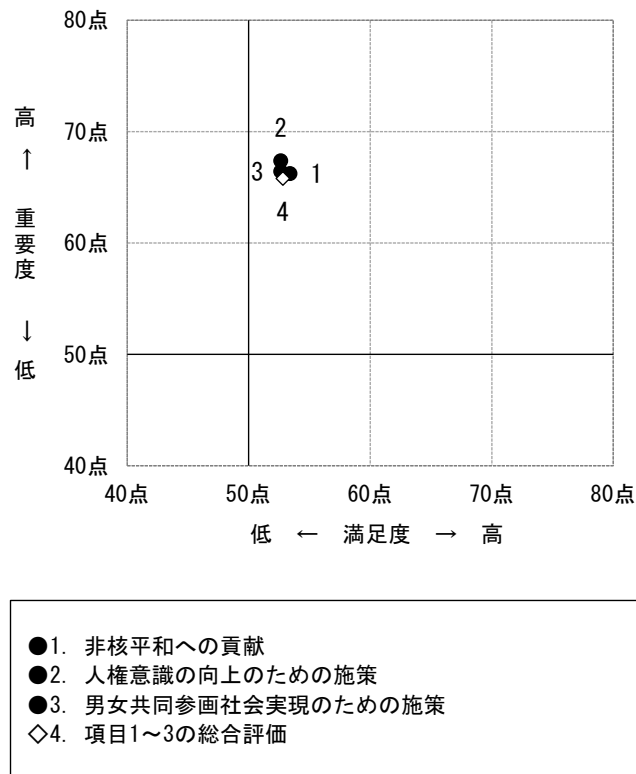


図 3. 8. 18 人権・平和・男女共同参画についての満足度と重要度の関係

■満足度

- 人権・平和・男女共同参画についての満足度（図3.8.15）は、全項目で「普通」が7割台を占めている。また、全ての項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高くなっている。
- 満足度の評価点は、《1. 非核平和への貢献》（53.4点）が最も高いが、いずれも50点台となっている。
- 平成26年度調査と比較（図3.8.17）すると、全ての項目で平成26年度調査よりも高くなっている。

- 性別に評価点（図3.8.19～図3.8.22）をみると、大きな差はみられない。
- 年齢別に評価点をみると、全項目で70歳以上が最も高くなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《3. 男女共同参画社会実現のための施策》は豊津・江坂・南吹田地域、それ以外の項目は片山・岸部地域が最も高くなっている。一方、《4. 項目1～3の総合評価》以外の項目で山田・千里丘地域の評価点が最も低くなっている。

■重要度

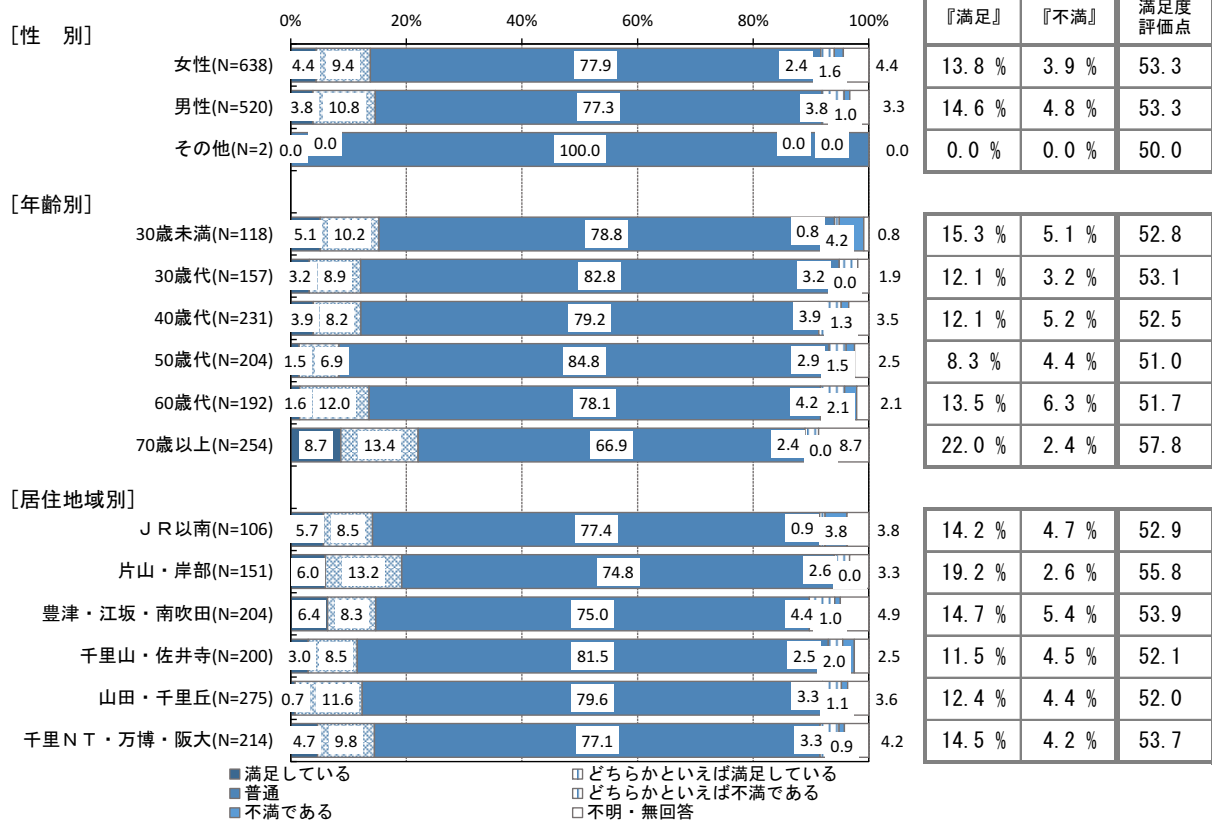
- 人権・平和・男女共同参画についての重要度（図3.8.16）は、全項目で「今の程度が良い」が4割台を占めている。また、全項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高くなっている。
- 重要度の評価点は、《2. 人権意識の向上のための施策》（67.4点）が最も高いが、いずれも60点以上となっている。

- 性別に評価点（図3.8.19～図3.8.22）をみると、女性は《1. 非核平和への貢献》、男性は《2. 人権意識の向上のための施策》が最も高くなっている。また、全項目で男性より女性の方が評価点が高く、特に《1. 非核平和への貢献》（女性68.9点、男性62.9点）は差が大きくなっている。
- 年齢別に評価点をみると、全項目で70歳以上が最も高くなっている。また、《1. 非核平和への貢献》は年齢層による差が大きく、最も高い70歳以上（74.9点）と最も低い30歳代（60.4点）では14.5点の差がある。
- 居住地域別に評価点をみると、全項目でJR以南地域が最も高くなっている。

■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.8.18）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《2. 人権意識の向上のための施策》（満足度52.6点、重要度67.4点、差14.8点）、《3. 男女共同参画社会実現のための施策》（満足度52.6点、重要度66.4点、差13.8点）となっている。

1. 非核平和への貢献【満足度】



1. 非核平和への貢献【重要度】

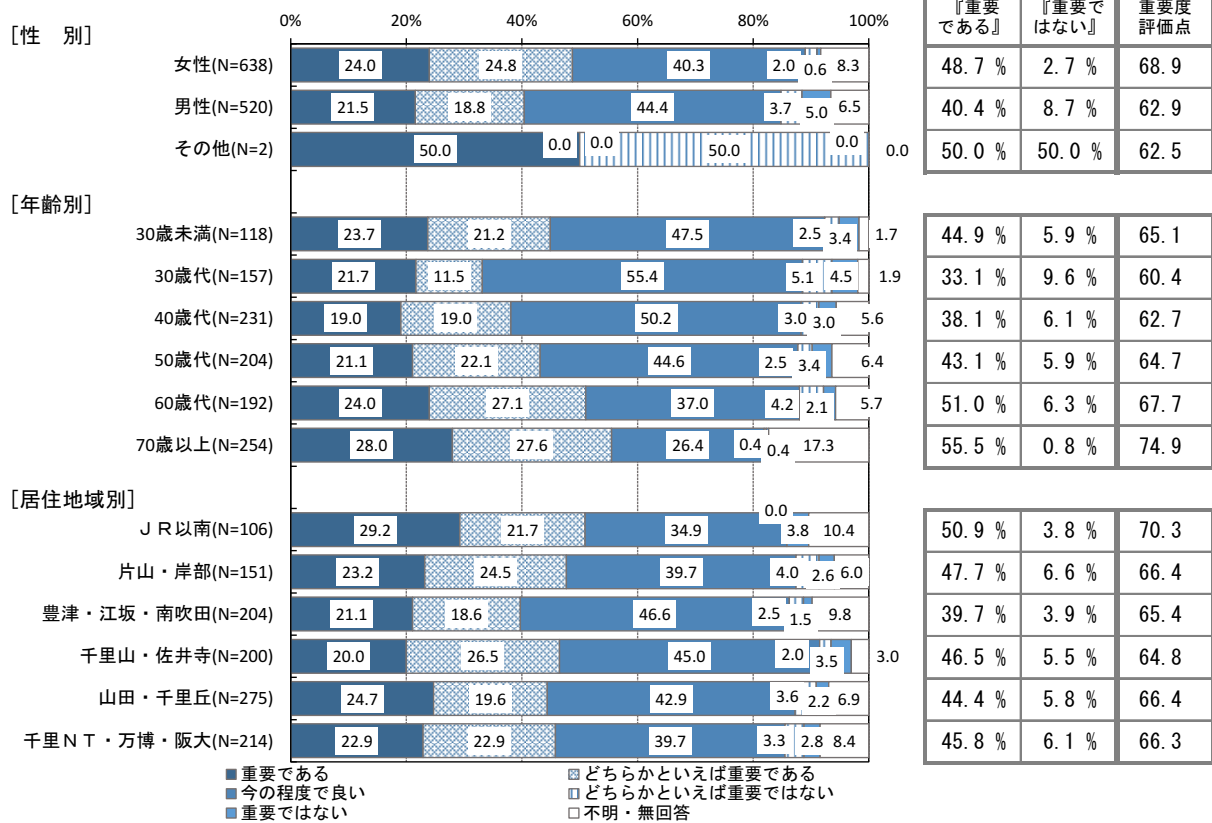
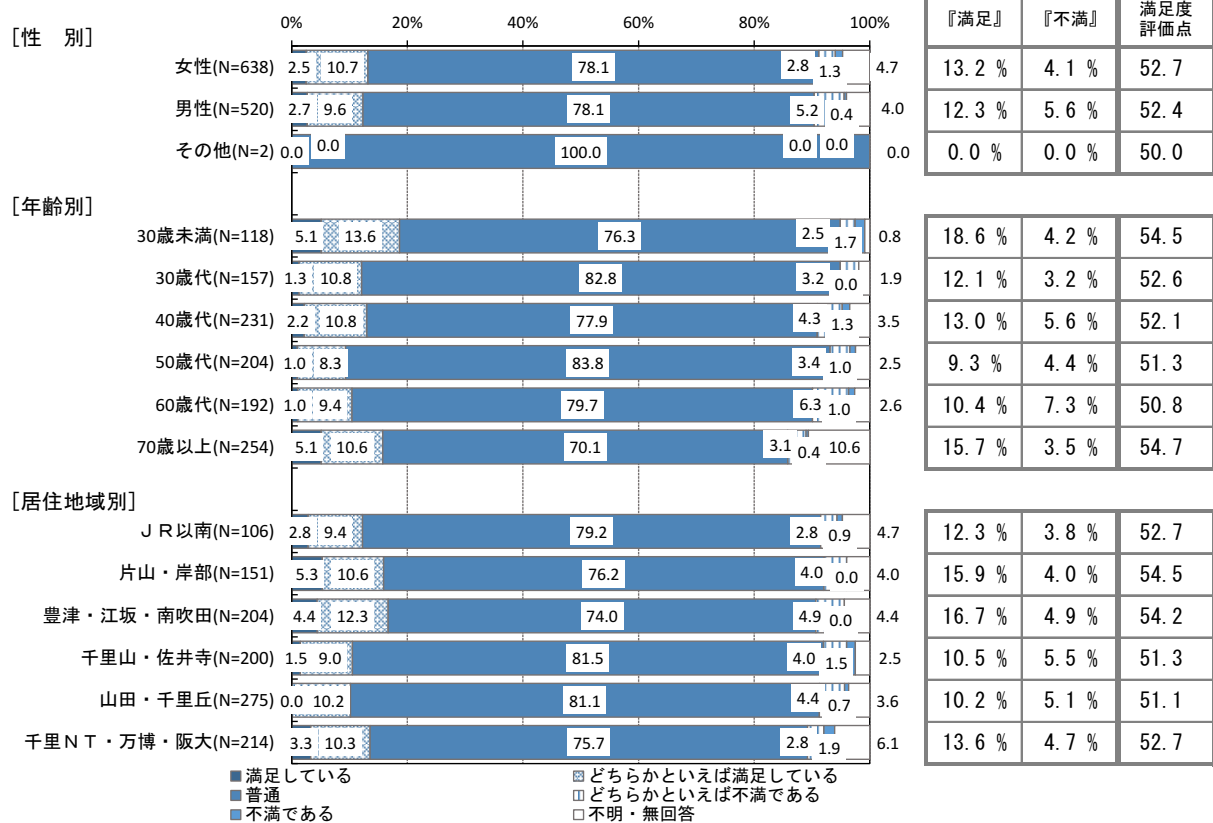


図 3.8.19 性別・年齢別・居住地域別 人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度①

2. 人権意識の向上のための施策【満足度】



2. 人権意識の向上のための施策【重要度】

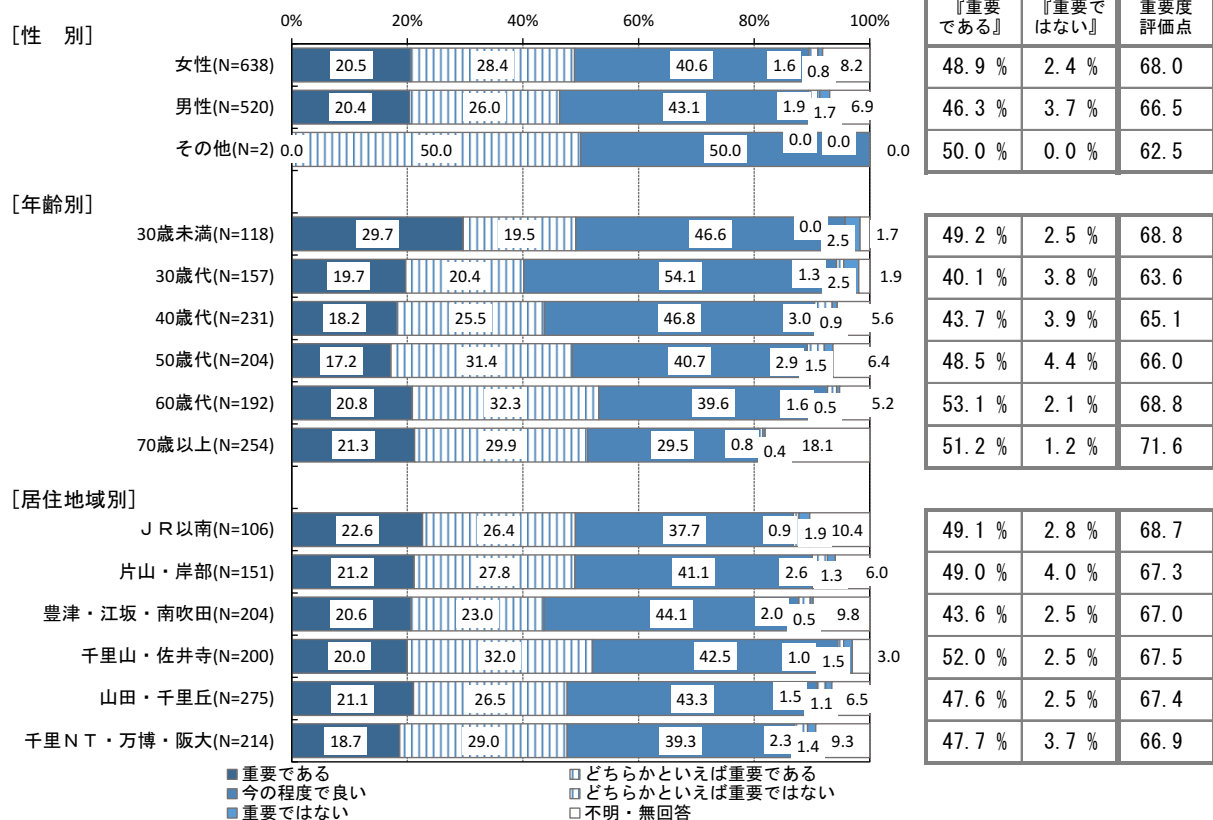
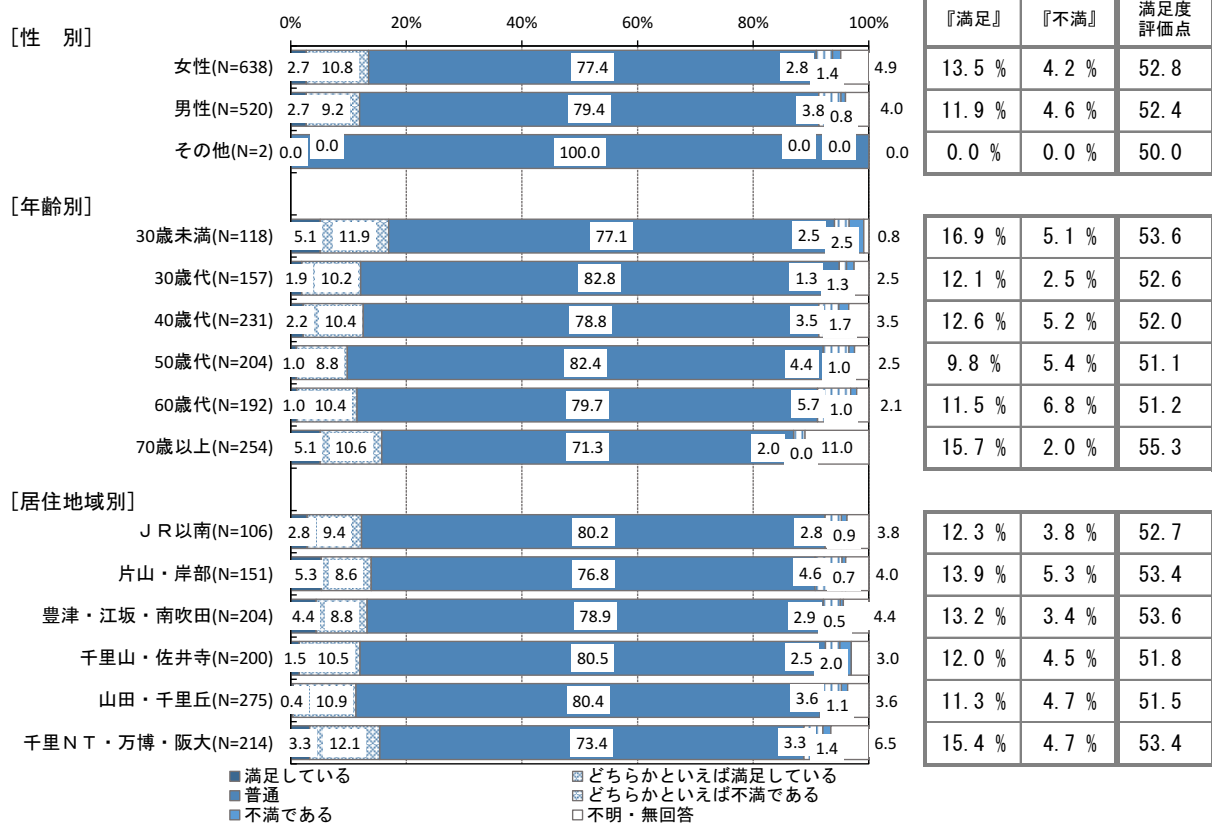


図 3.8.20 性別・年齢別・居住地域別 人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度②

3. 男女共同参画社会実現のための施策【満足度】



3. 男女共同参画社会実現のための施策【重要度】

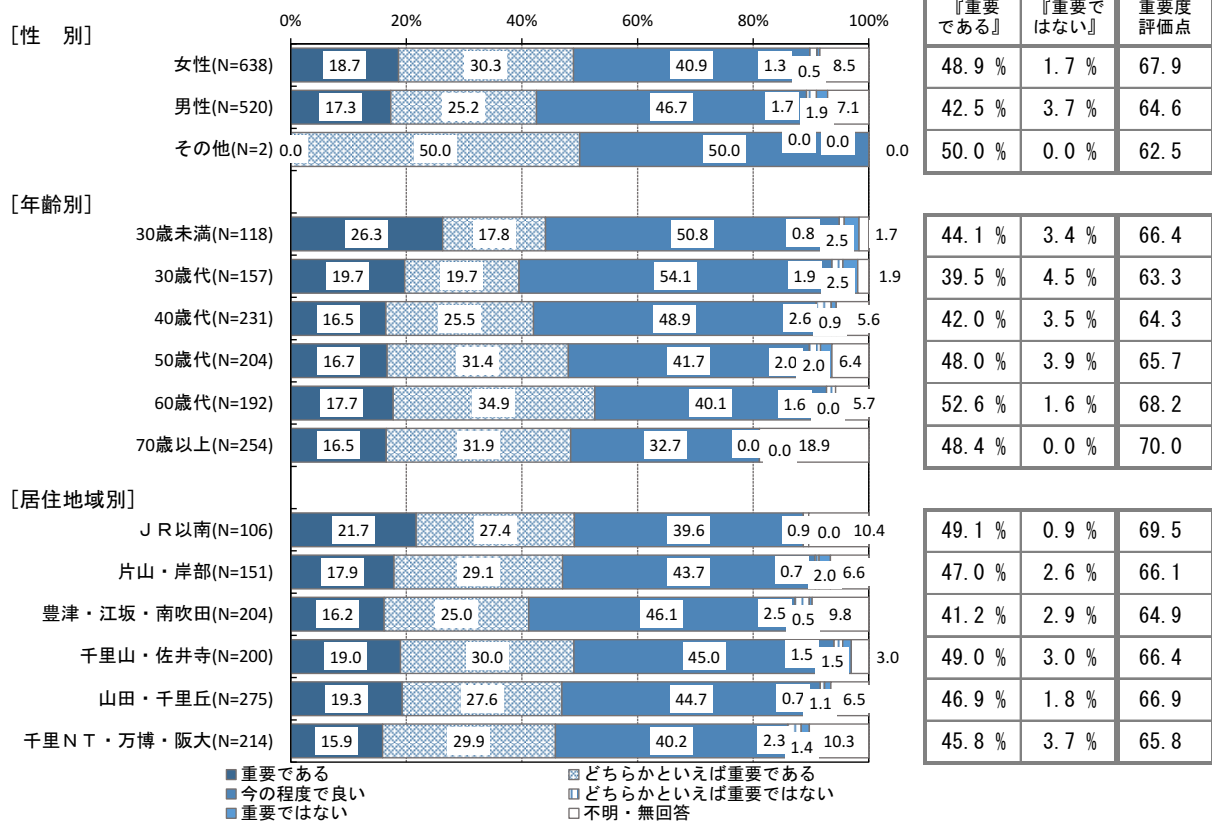
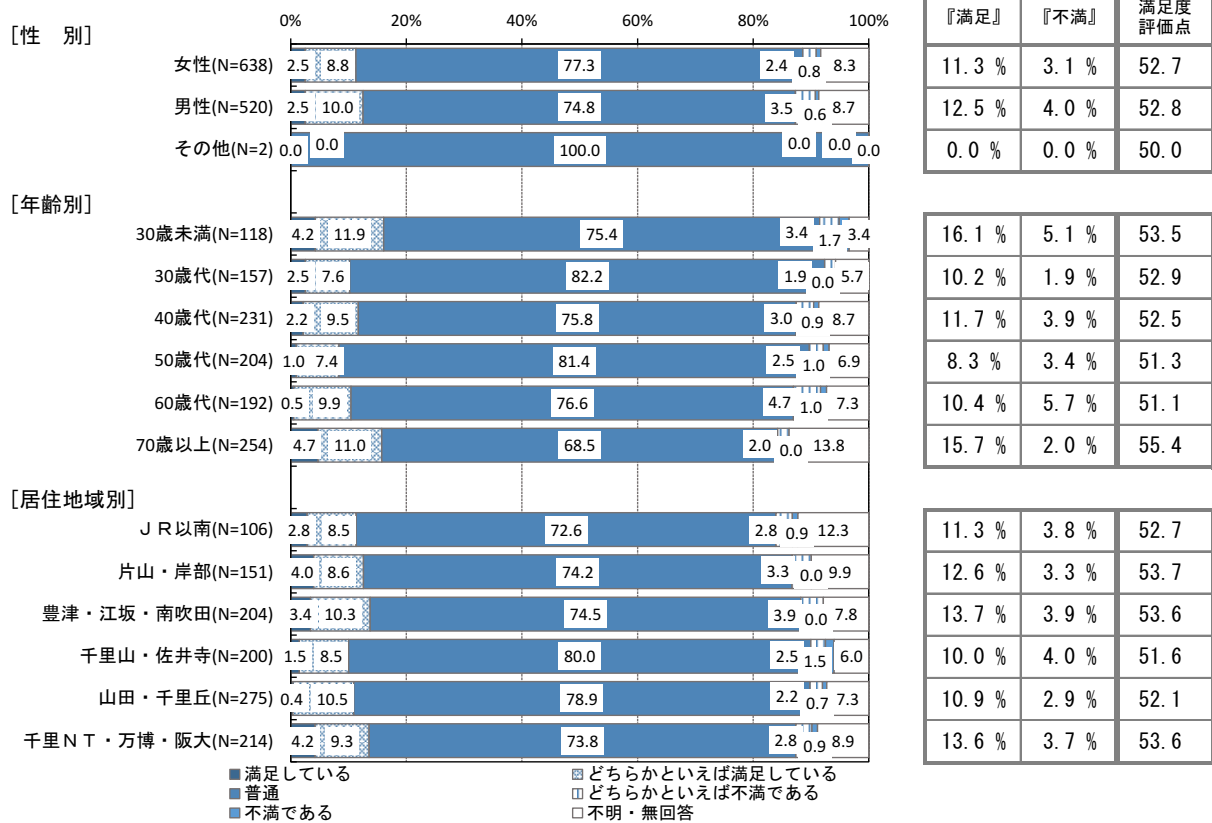


図 3.8.21 性別・年齢別・居住地域別 人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度③

4. 項目 1～3 の総合評価【満足度】



4. 項目 1～3 の総合評価【重要度】

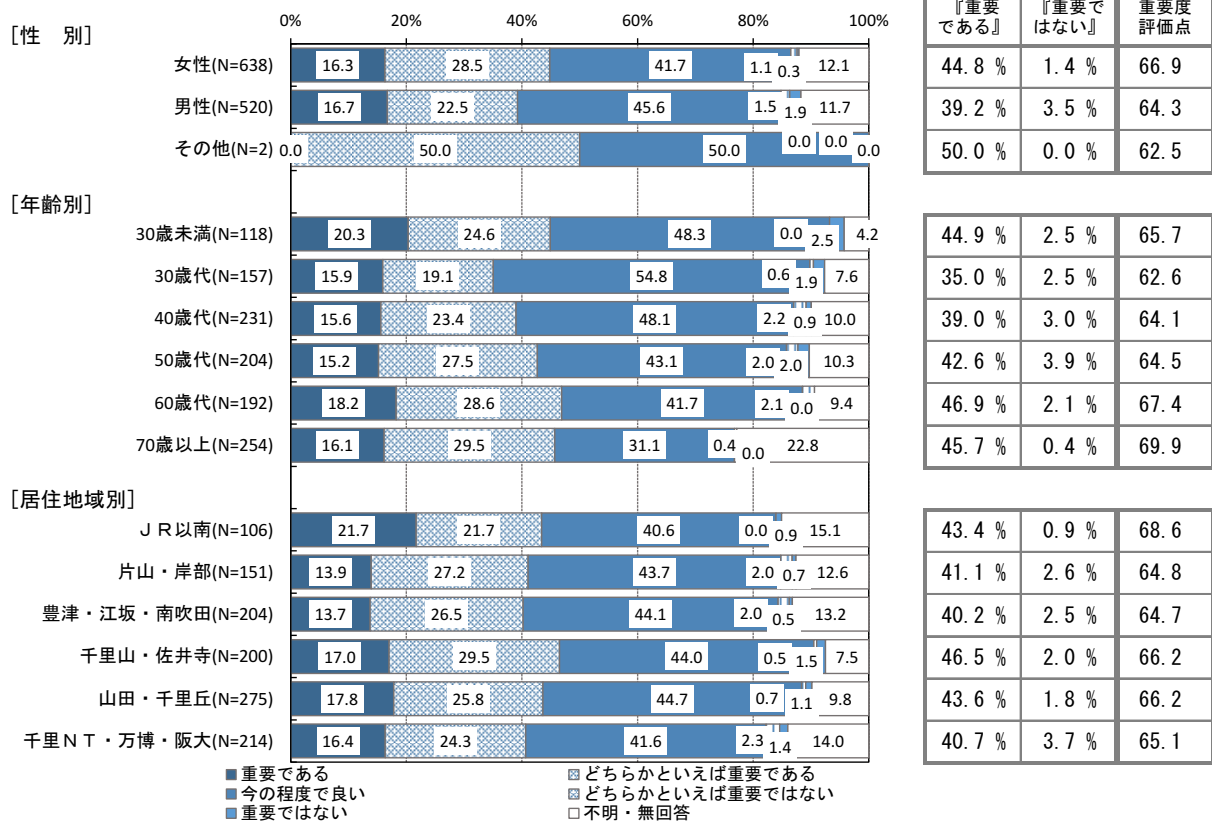
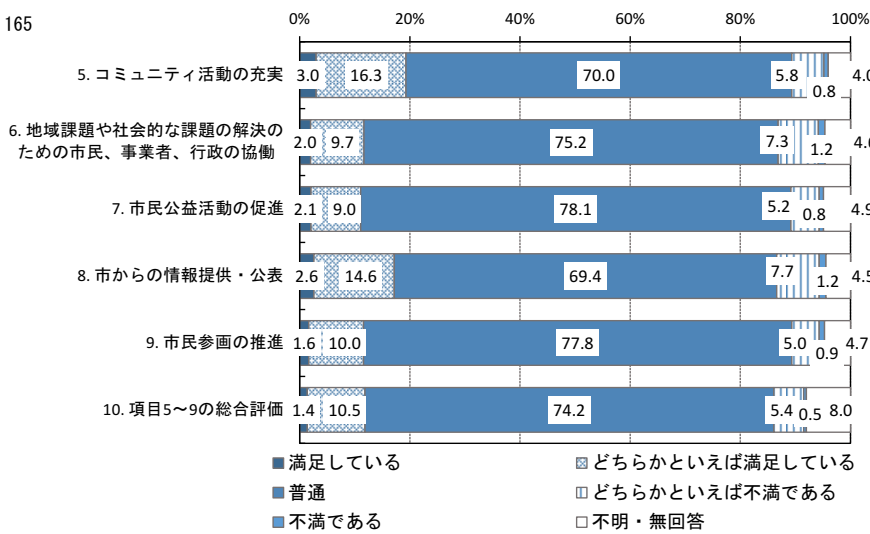


図 3.8.22 性別・年齢別・居住地域別 人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度④

(2)-2 市民自治についての満足度・重要度

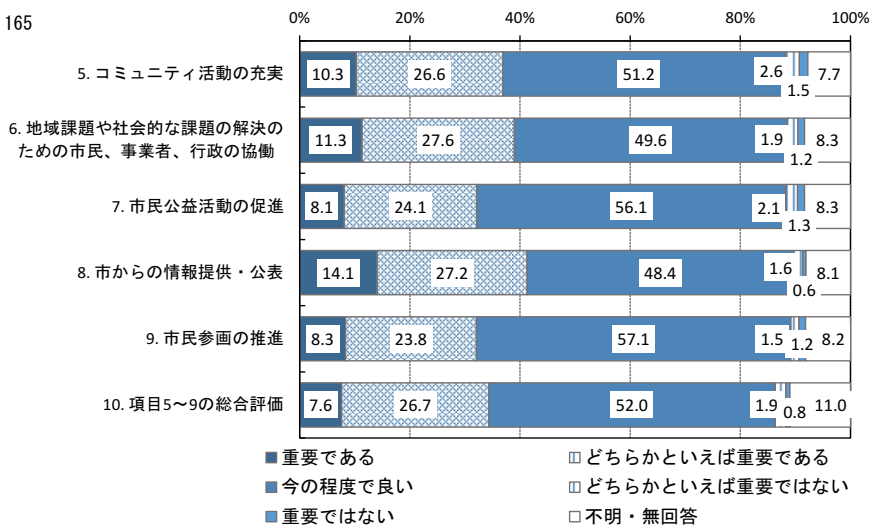
N=1,165



| 『満足』 | 『不満』 | 満足度 評価点 |
|--------|-------|------------|
| 19.3 % | 6.6 % | 53.9 |
| 11.7 % | 8.5 % | 51.0 |
| 11.1 % | 5.9 % | 51.7 |
| 17.2 % | 8.9 % | 52.5 |
| 11.6 % | 5.9 % | 51.7 |
| 11.8 % | 5.9 % | 51.8 |

図 3.8.23 市民自治についての満足度

N=1,165



| 『重要である』 | 『重要ではない』 | 重要度 評価点 |
|---------|----------|------------|
| 36.9 % | 4.1 % | 61.3 |
| 39.0 % | 3.1 % | 62.5 |
| 32.2 % | 3.4 % | 59.7 |
| 41.3 % | 2.2 % | 64.3 |
| 32.1 % | 2.7 % | 60.0 |
| 34.3 % | 2.7 % | 60.8 |

図 3.8.24 市民自治についての重要度

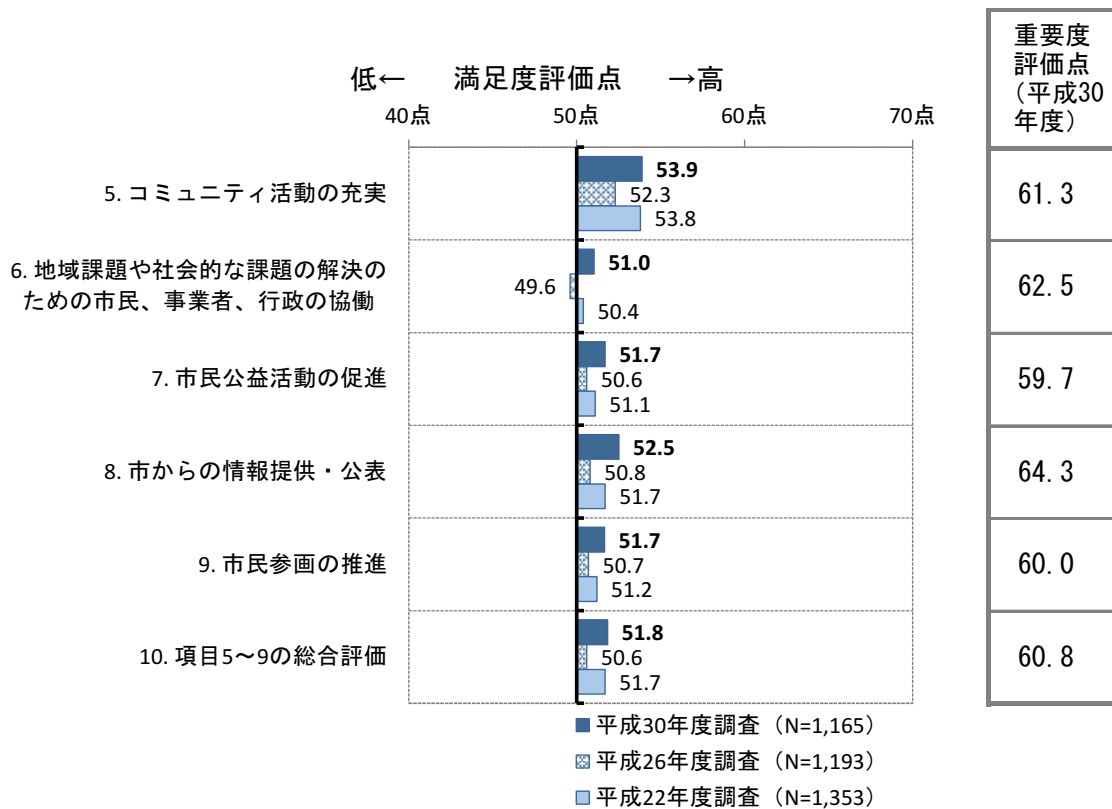


図 3.8.25 市民自治についての満足度評価点の経年比較と重要度評価点

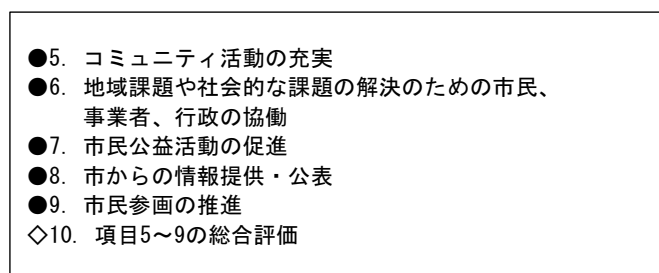
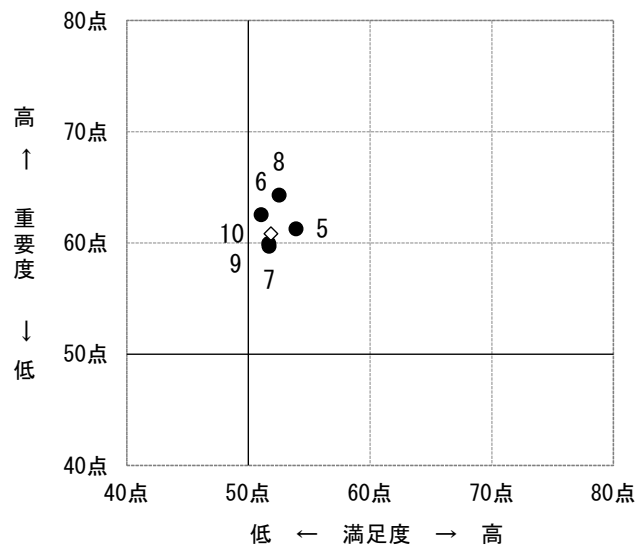


図 3.8.26 市民自治についての満足度と重要度の関係

■満足度

- 市民自治についての満足度（図3.8.23）は、全項目で「普通」が7割前後を占めている。また、ほとんどの項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高くなっており、特に、《5. コミュニティ活動の充実》（19.3%）が最も高くなっている。
- 満足度の評価点は、《5. コミュニティ活動の充実》（53.9点）が最も高いのに対し、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》（51.0点）が最も低くなっている。
- 平成26年度調査と比較（図3.8.25）すると、全ての項目で平成26年度調査よりも高くなっている。
- 性別に評価点（図3.8.27～図3.8.32）をみると、女性・男性ともに《5. コミュニティ活動の充実》が最も高くなっている。また、《9. 市民参画の推進》を除く項目で、男性より女性の方が高くなっている。
- 年齢別に評価点をみると、全項目で70歳以上が最も高く、《9. 市民参画の推進》以外の項目で、50歳代が最も低くなっている。特に、《8. 市からの情報提供・公表》は最も高い70歳以上（55.4点）と最も低い50歳代（50.5点）との差が4.9点と大きくなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《5. コミュニティ活動の充実》は千里山・佐井寺地域、《8. 市からの情報提供・公表》は豊津・江坂・南吹田地域、《9. 市民参画の推進》は片山・岸部地域、それ以外の項目はJR以南地域が最も高くなっている。

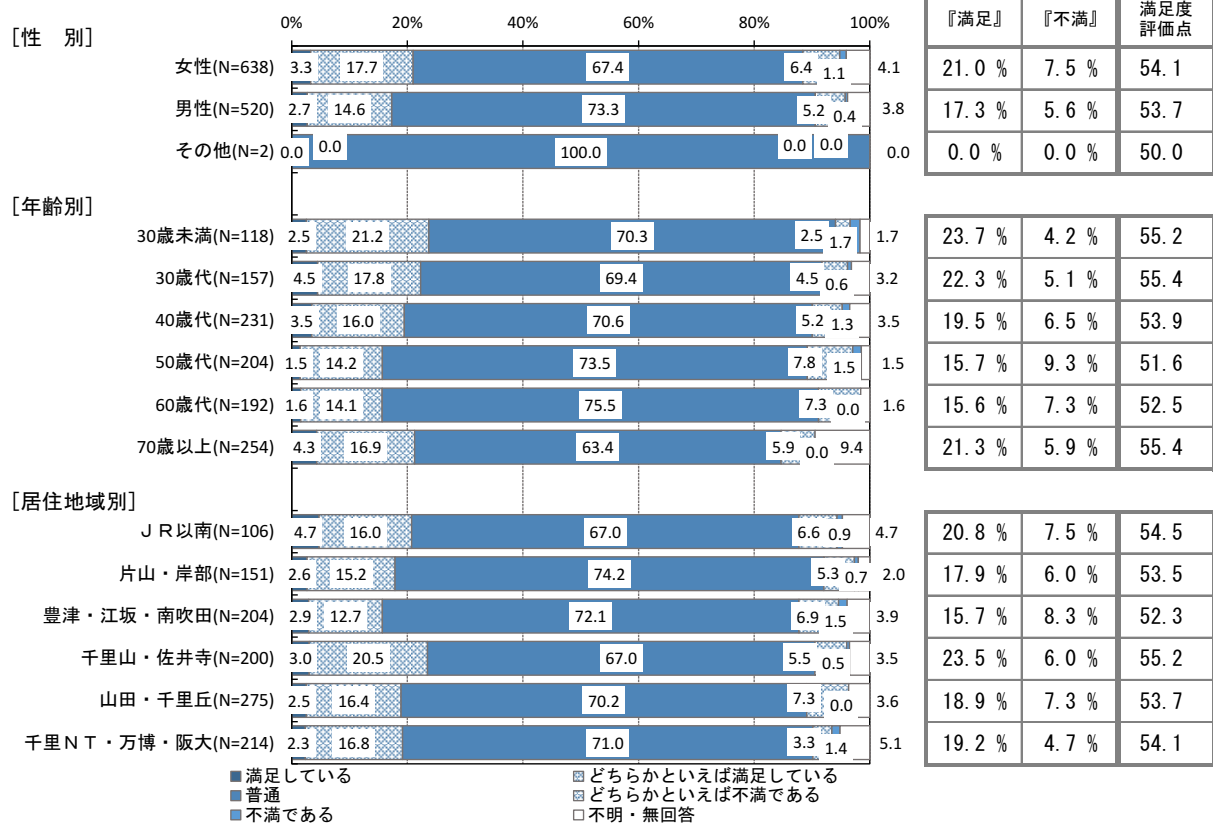
■重要度

- 市民自治についての重要度（図3.8.24）は、全項目で「今の程度で良い」が5割前後を占めている。また、全項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高い。特に、《8. 市からの情報提供・公表》（41.3%）が最も高くなっている。
- 重要度の評価点は、《8. 市からの情報提供・公表》（64.3点）が最も高く、次いで、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》（62.5点）、《5. コミュニティ活動の充実》（61.3点）となっている。
- 性別に評価点（図3.8.27～図3.8.32）をみると、女性・男性ともに《8. 市からの情報提供・公表》が最も高く、次いで、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》となっている。
- 年齢別に評価点をみると、全項目で70歳以上が最も高くなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《5. コミュニティ活動の充実》、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》、《7. 市民公益活動の促進》は千里山・佐井寺地域、それ以外の項目は豊津・江坂・南吹田地域が最も低くなっている。

■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.8.26）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《8. 市からの情報提供・公表》（満足度52.5点、重要度64.3点、差11.8点）、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》（満足度51.0点、重要度62.5点、差11.5点）となっている。

5. コミュニティ活動の充実【満足度】



5. コミュニティ活動の充実【重要度】

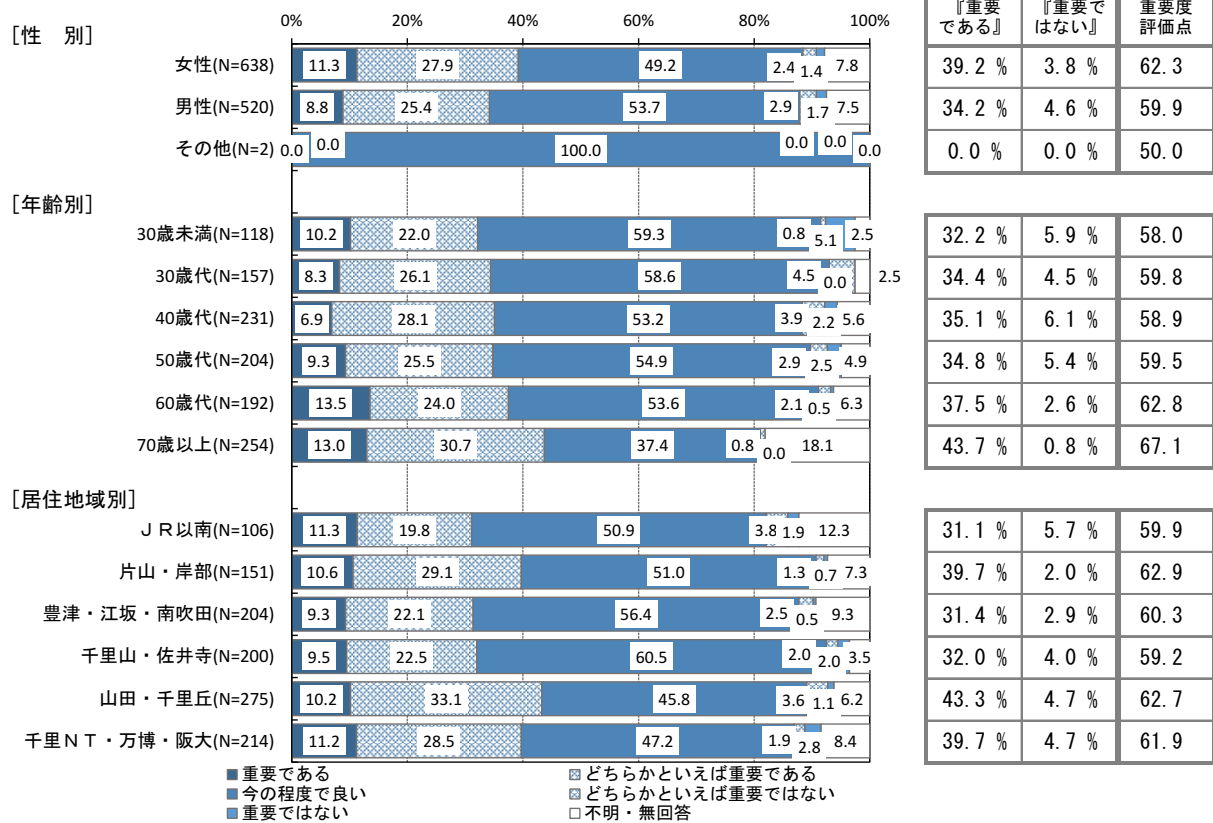
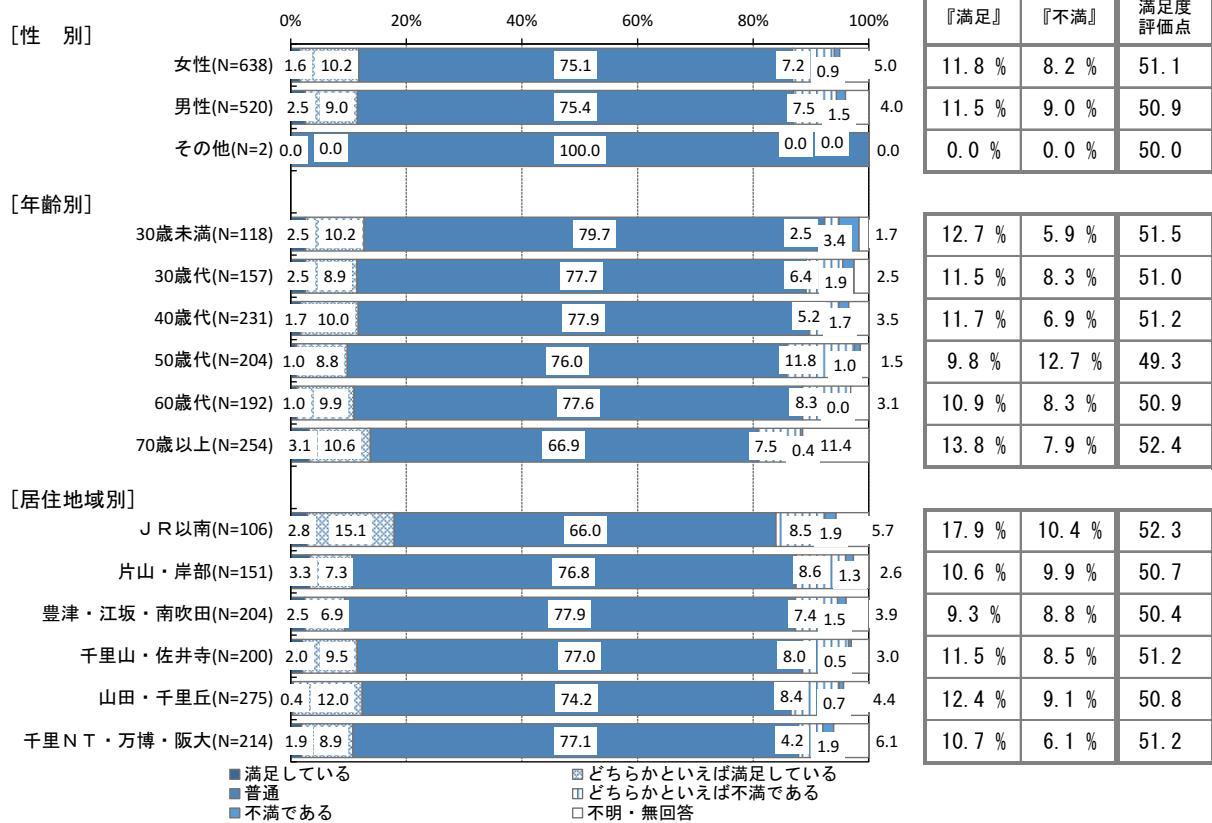


図 3.8.27 性別・年齢別・居住地域別 市民自治についての満足度・重要度①

6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働【満足度】



6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働【重要度】

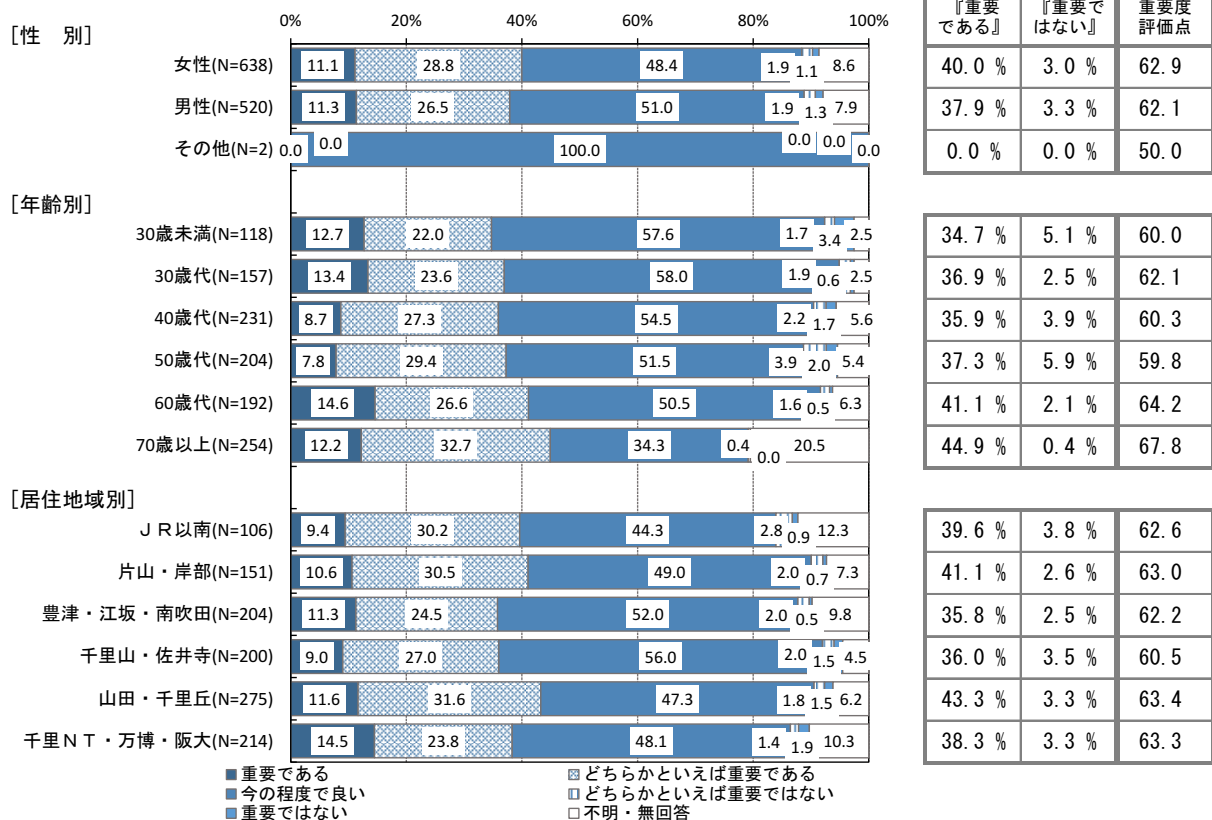
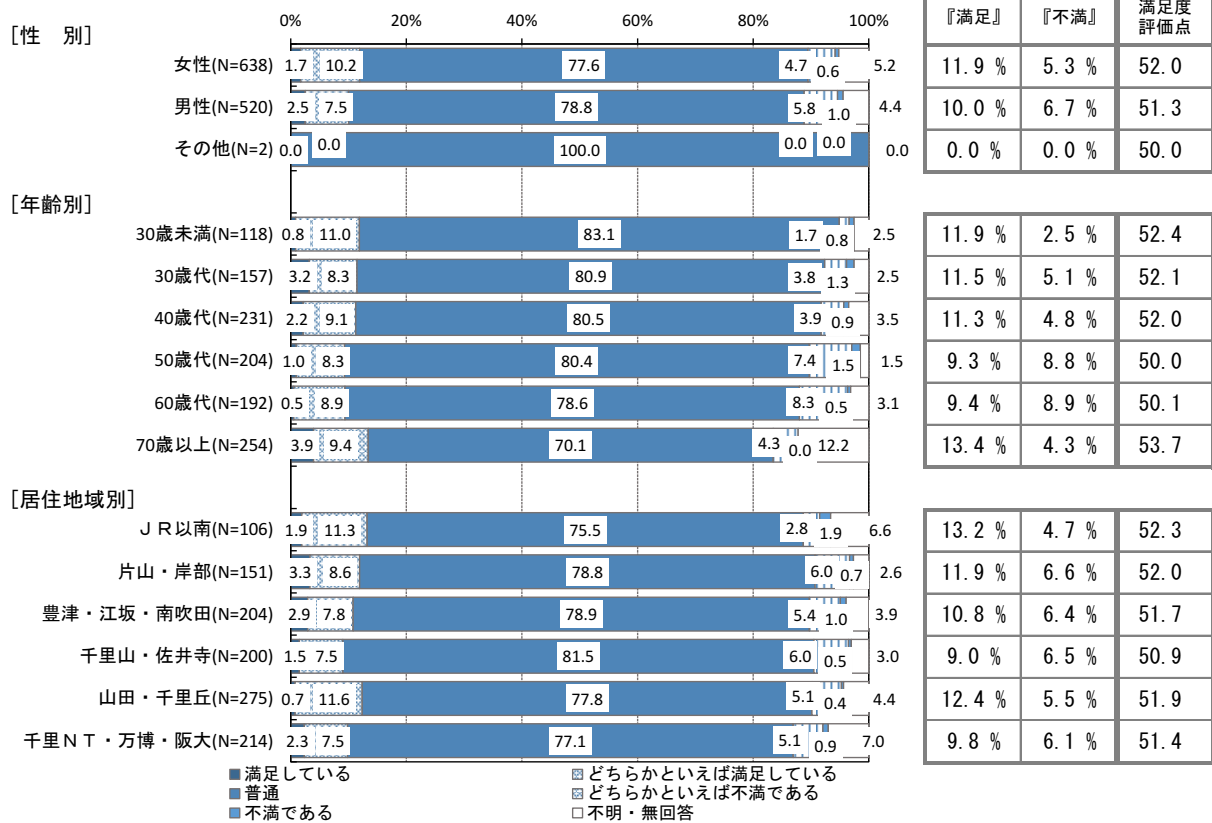


図 3.8.28 性別・年齢別・居住地域別 市民自治についての満足度・重要度②

7. 市民公益活動の促進【満足度】



7. 市民公益活動の促進【重要度】

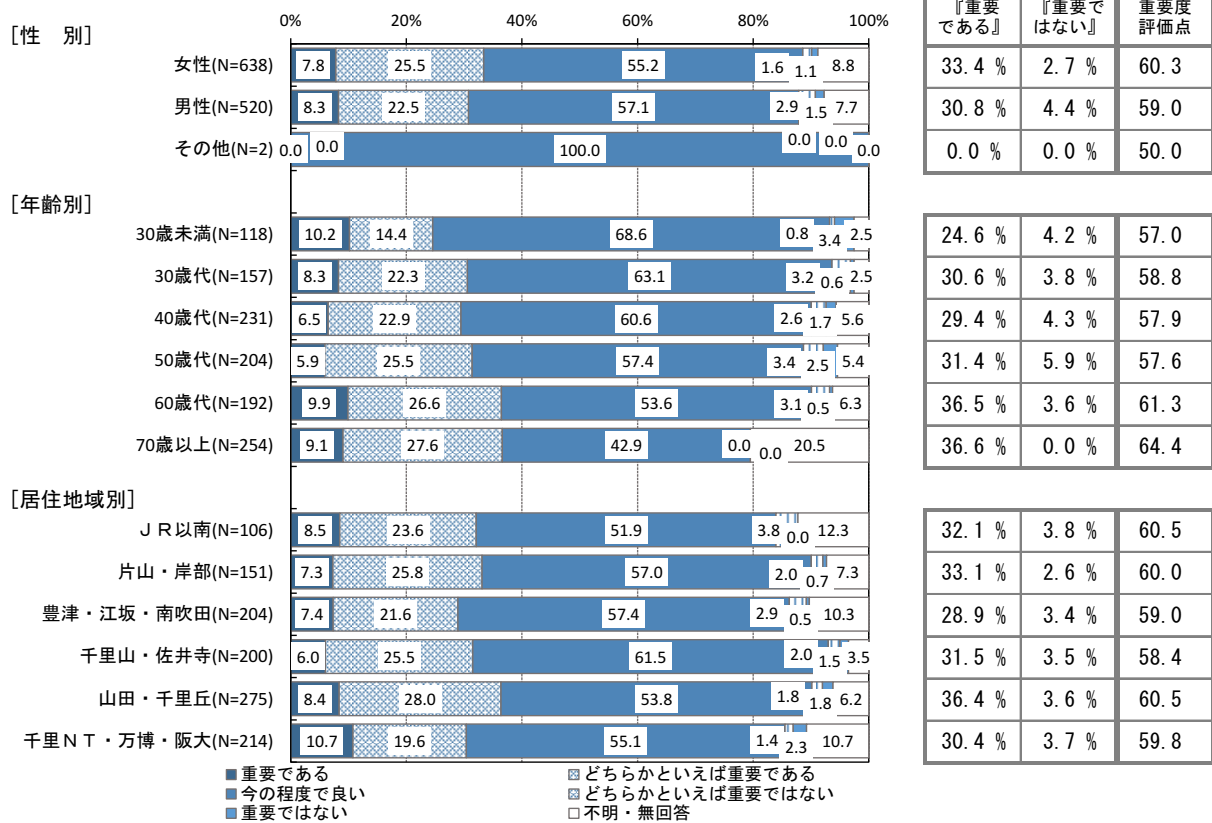
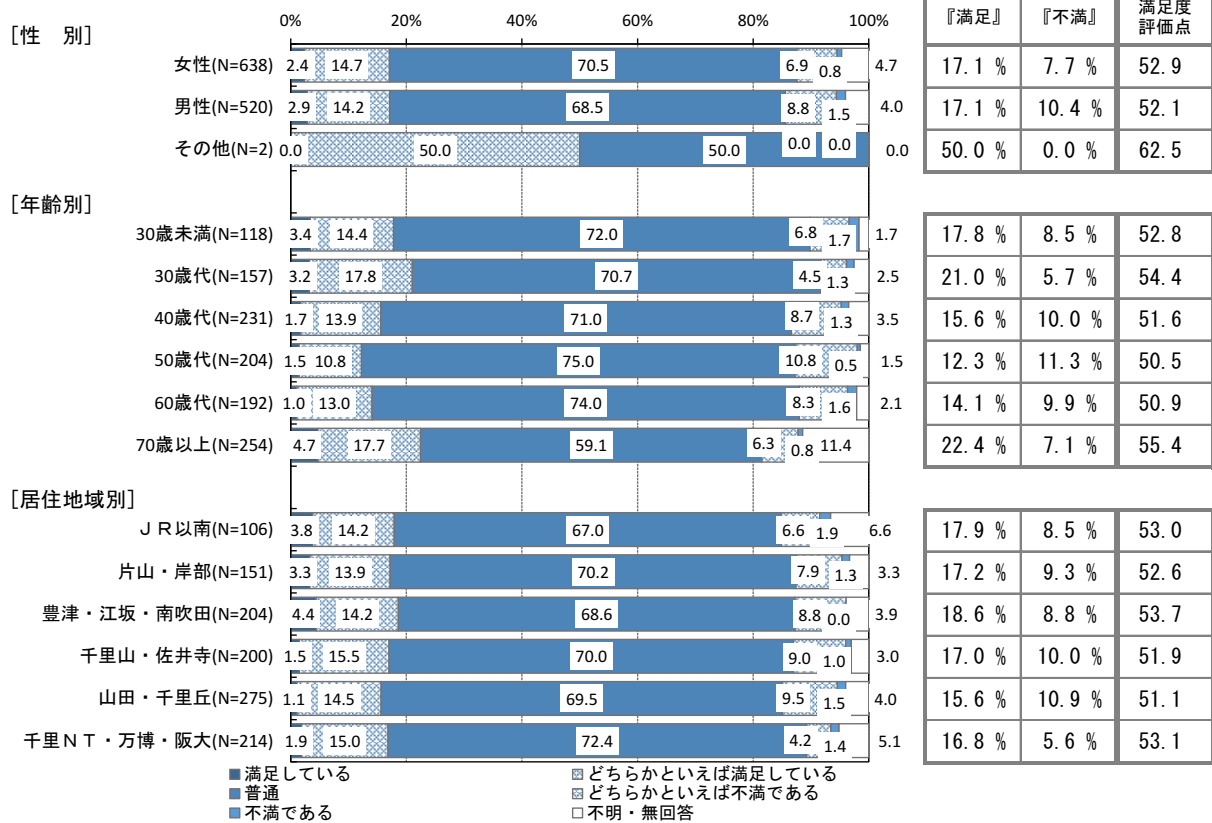


図 3.8.29 性別・年齢別・居住地域別 市民自治についての満足度・重要度③

8. 市からの情報提供・公表【満足度】



8. 市からの情報提供・公表【重要度】

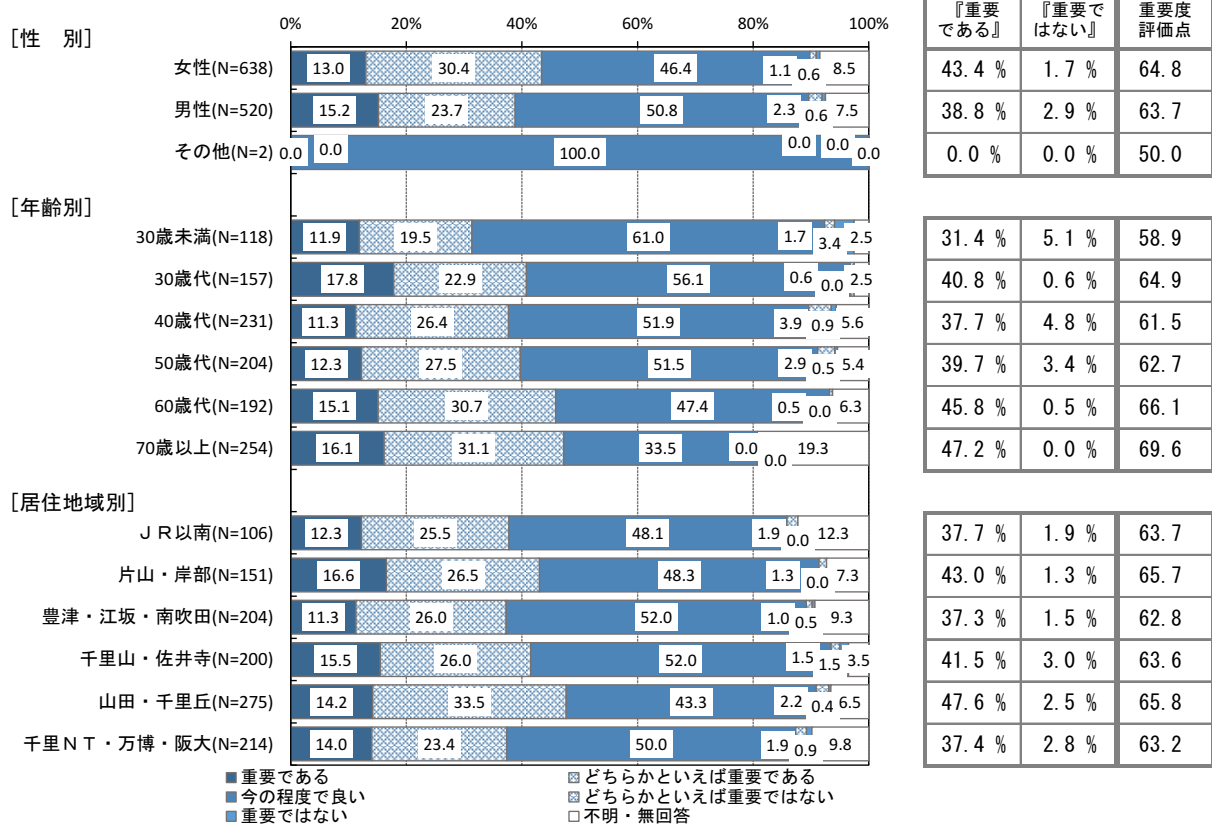
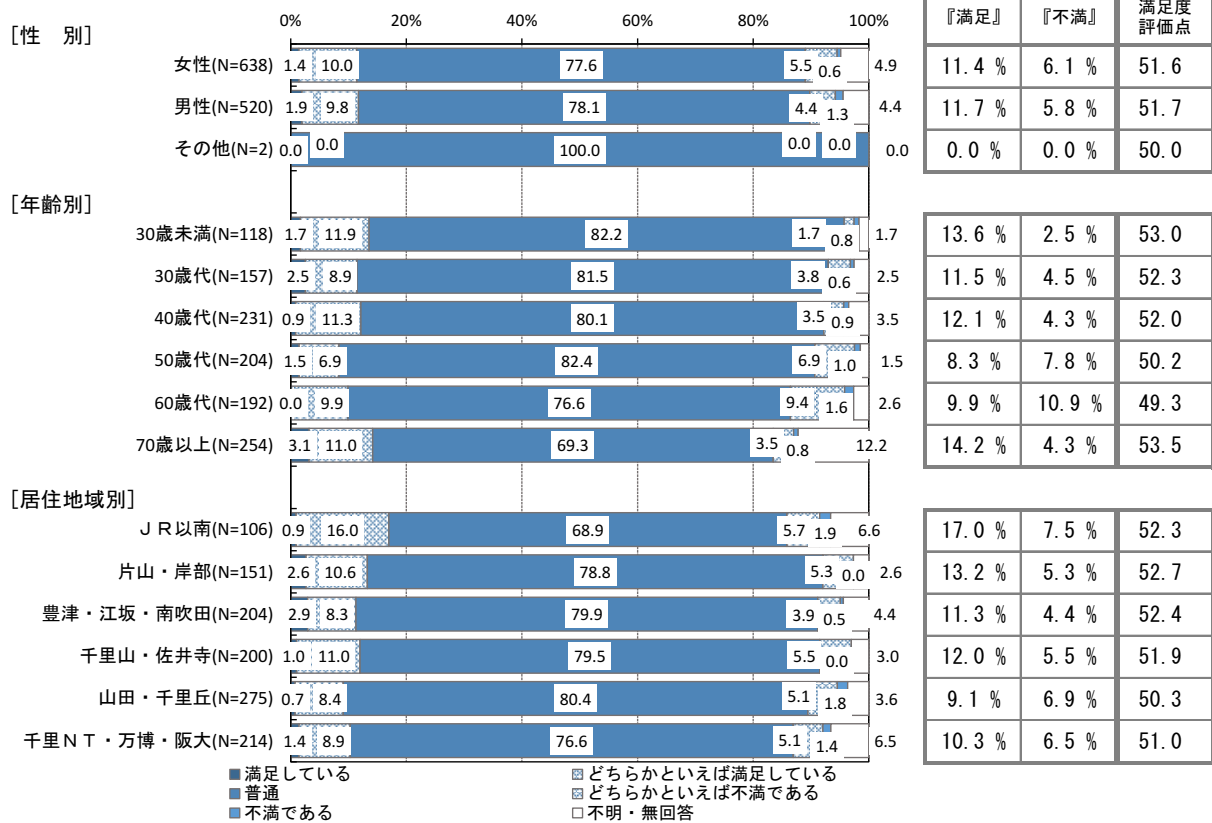


図 3.8.30 性別・年齢別・居住地域別 市民自治についての満足度・重要度④

9. 市民参画の推進【満足度】



9. 市民参画の推進【重要度】

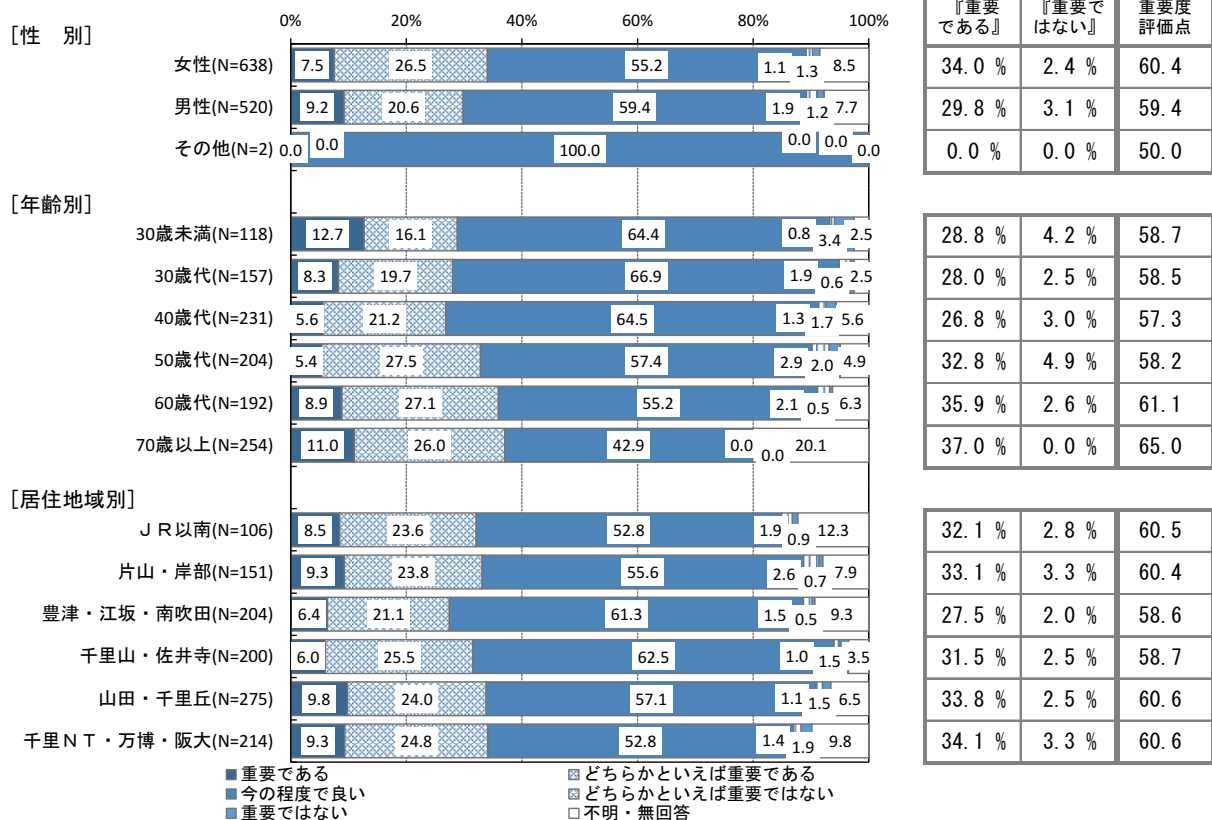
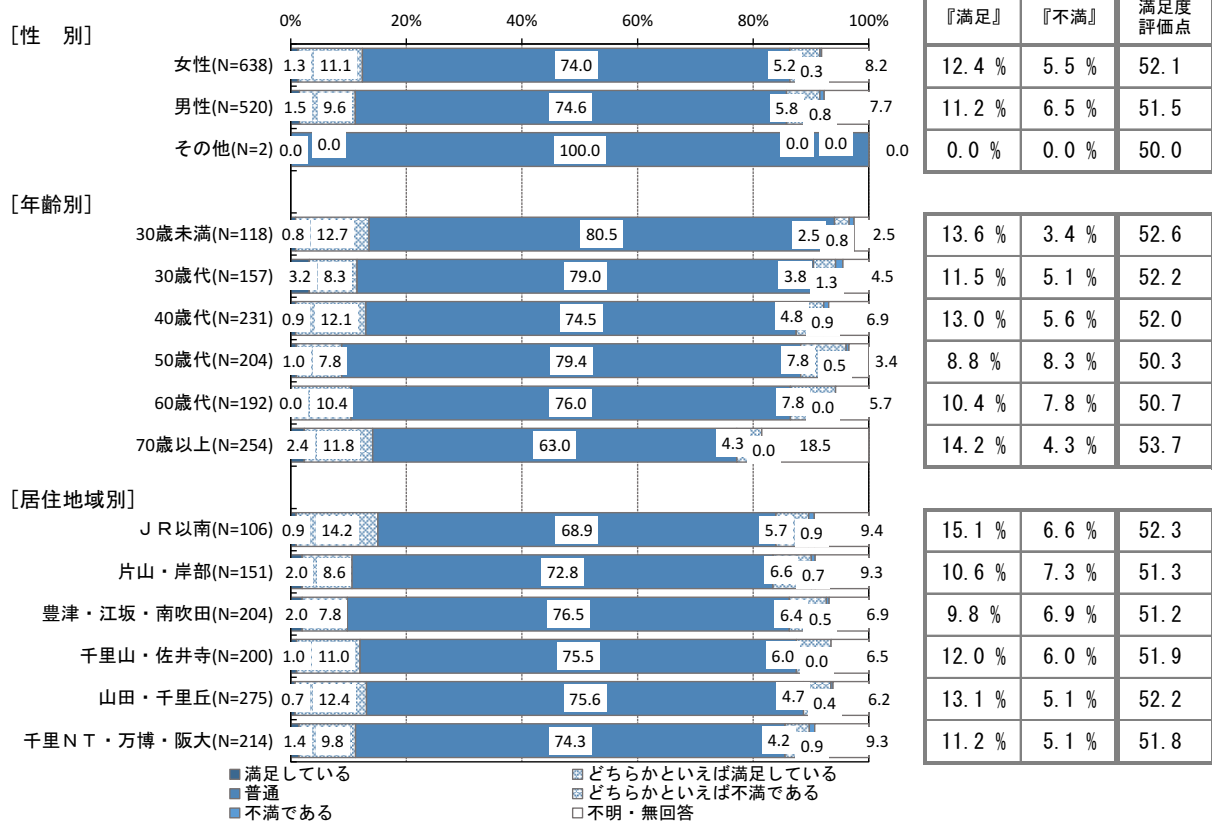


図 3.8.31 性別・年齢別・居住地域別 市民自治についての満足度・重要度⑤

10. 項目 5～9 の総合評価【満足度】

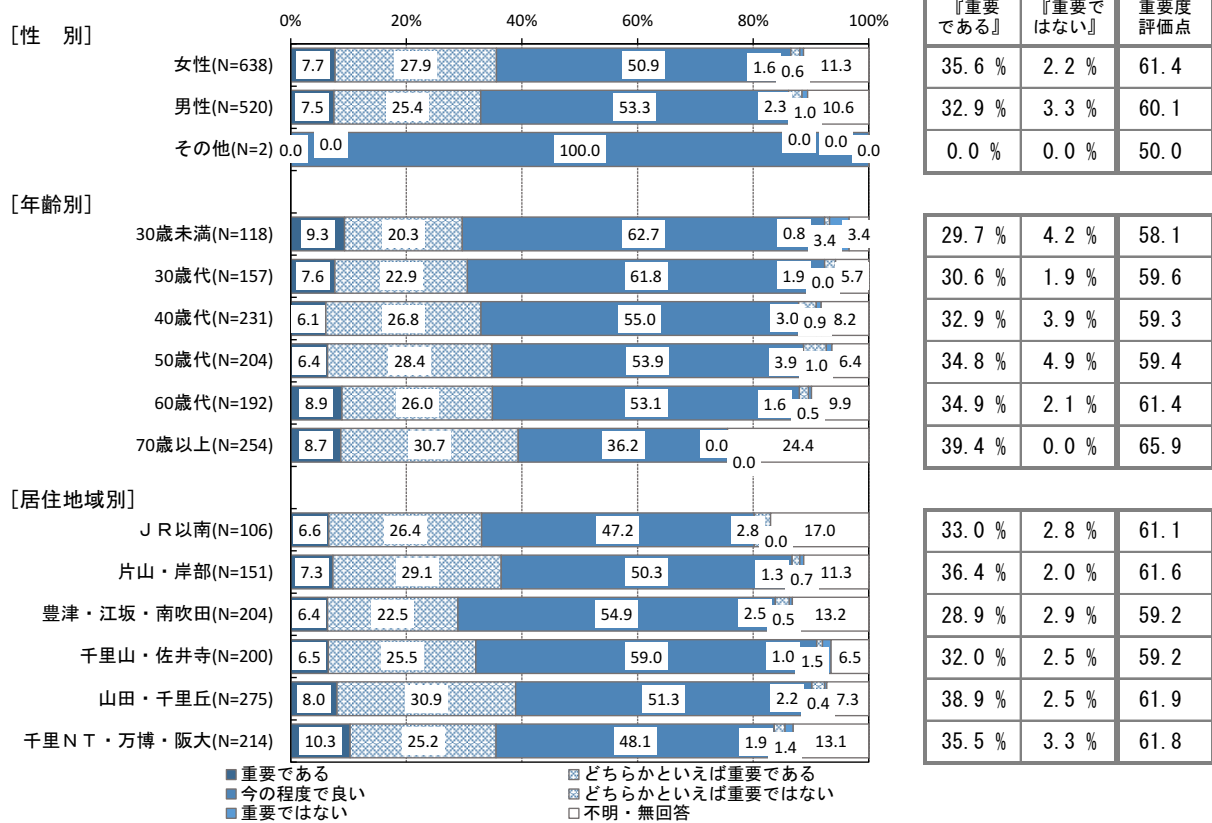


| 『満足』 | 『不満』 | 満足度評価点 |
|--------|-------|--------|
| 12.4 % | 5.5 % | 52.1 |
| 11.2 % | 6.5 % | 51.5 |
| 0.0 % | 0.0 % | 50.0 |

| 『満足』 | 『不満』 | 満足度評価点 |
|--------|-------|--------|
| 13.6 % | 3.4 % | 52.6 |
| 11.5 % | 5.1 % | 52.2 |
| 13.0 % | 5.6 % | 52.0 |
| 8.8 % | 8.3 % | 50.3 |
| 10.4 % | 7.8 % | 50.7 |
| 14.2 % | 4.3 % | 53.7 |

| 『満足』 | 『不満』 | 満足度評価点 |
|--------|-------|--------|
| 15.1 % | 6.6 % | 52.3 |
| 10.6 % | 7.3 % | 51.3 |
| 9.8 % | 6.9 % | 51.2 |
| 12.0 % | 6.0 % | 51.9 |
| 13.1 % | 5.1 % | 52.2 |
| 11.2 % | 5.1 % | 51.8 |

10. 項目 5～9 の総合評価【重要度】



| 『重要である』 | 『重要ではない』 | 重要度評価点 |
|---------|----------|--------|
| 35.6 % | 2.2 % | 61.4 |
| 32.9 % | 3.3 % | 60.1 |
| 0.0 % | 0.0 % | 50.0 |

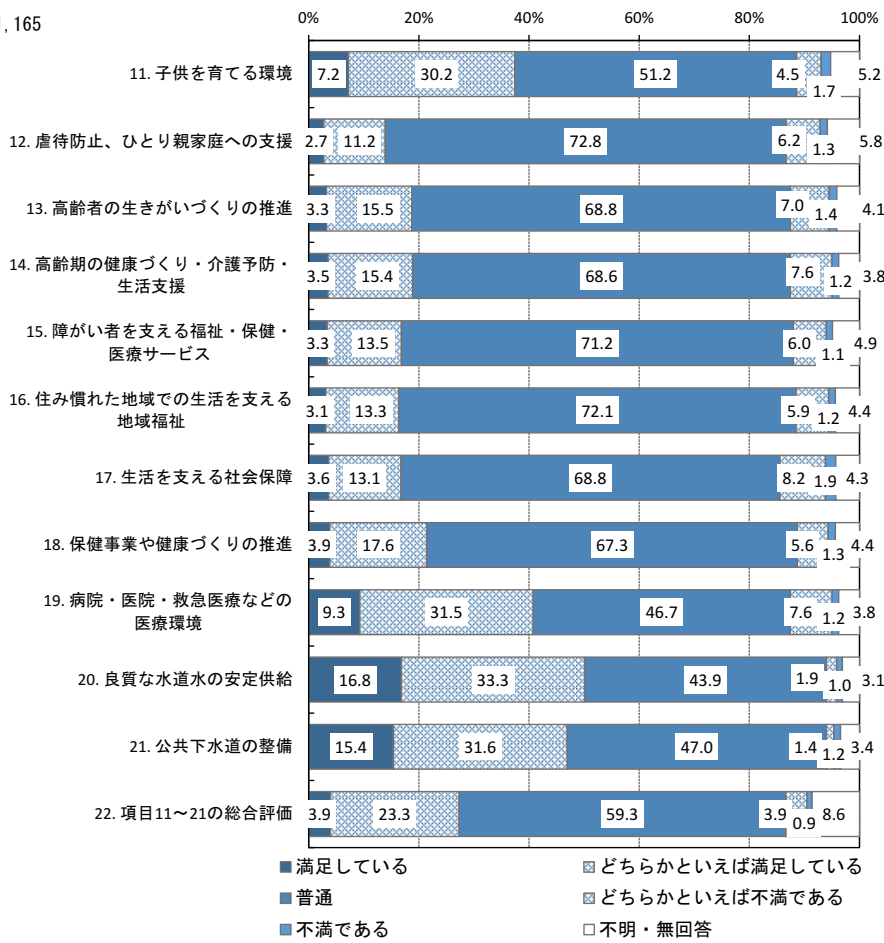
| 『重要である』 | 『重要ではない』 | 重要度評価点 |
|---------|----------|--------|
| 29.7 % | 4.2 % | 58.1 |
| 30.6 % | 1.9 % | 59.6 |
| 32.9 % | 3.9 % | 59.3 |
| 34.8 % | 4.9 % | 59.4 |
| 34.9 % | 2.1 % | 61.4 |
| 39.4 % | 0.0 % | 65.9 |

| 『重要である』 | 『重要ではない』 | 重要度評価点 |
|---------|----------|--------|
| 33.0 % | 2.8 % | 61.1 |
| 36.4 % | 2.0 % | 61.6 |
| 28.9 % | 2.9 % | 59.2 |
| 32.0 % | 2.5 % | 59.2 |
| 38.9 % | 2.5 % | 61.9 |
| 35.5 % | 3.3 % | 61.8 |

図 3.8.32 性別・年齢別・居住地域別 市民自治についての満足度・重要度⑥

(2)-3 くらし・健康についての満足度・重要度

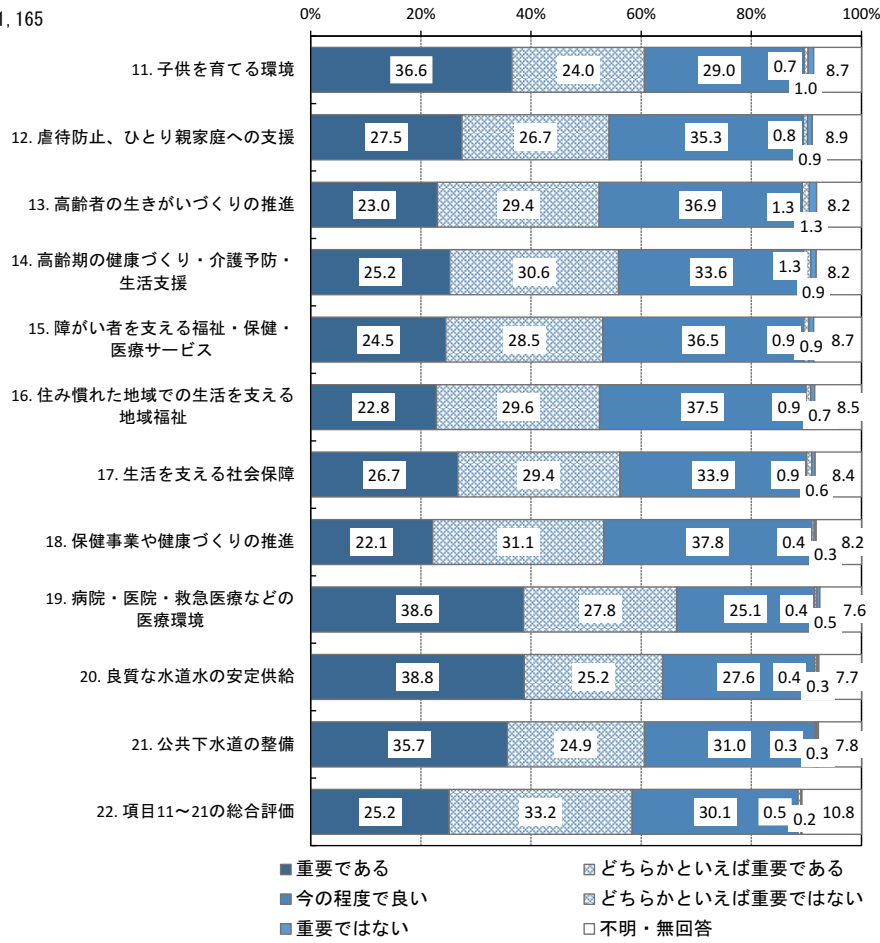
N=1,165



| 『満足』 | 『不満』 | 満足度評価点 |
|--------|--------|--------|
| 37.4 % | 6.2 % | 59.7 |
| 13.9 % | 7.5 % | 52.1 |
| 18.7 % | 8.4 % | 53.2 |
| 18.9 % | 8.8 % | 53.2 |
| 16.8 % | 7.1 % | 53.1 |
| 16.4 % | 7.1 % | 52.9 |
| 16.7 % | 10.1 % | 52.2 |
| 21.5 % | 6.9 % | 54.5 |
| 40.8 % | 8.8 % | 60.4 |
| 50.1 % | 2.9 % | 66.3 |
| 47.0 % | 2.6 % | 65.2 |
| 27.3 % | 4.8 % | 57.0 |

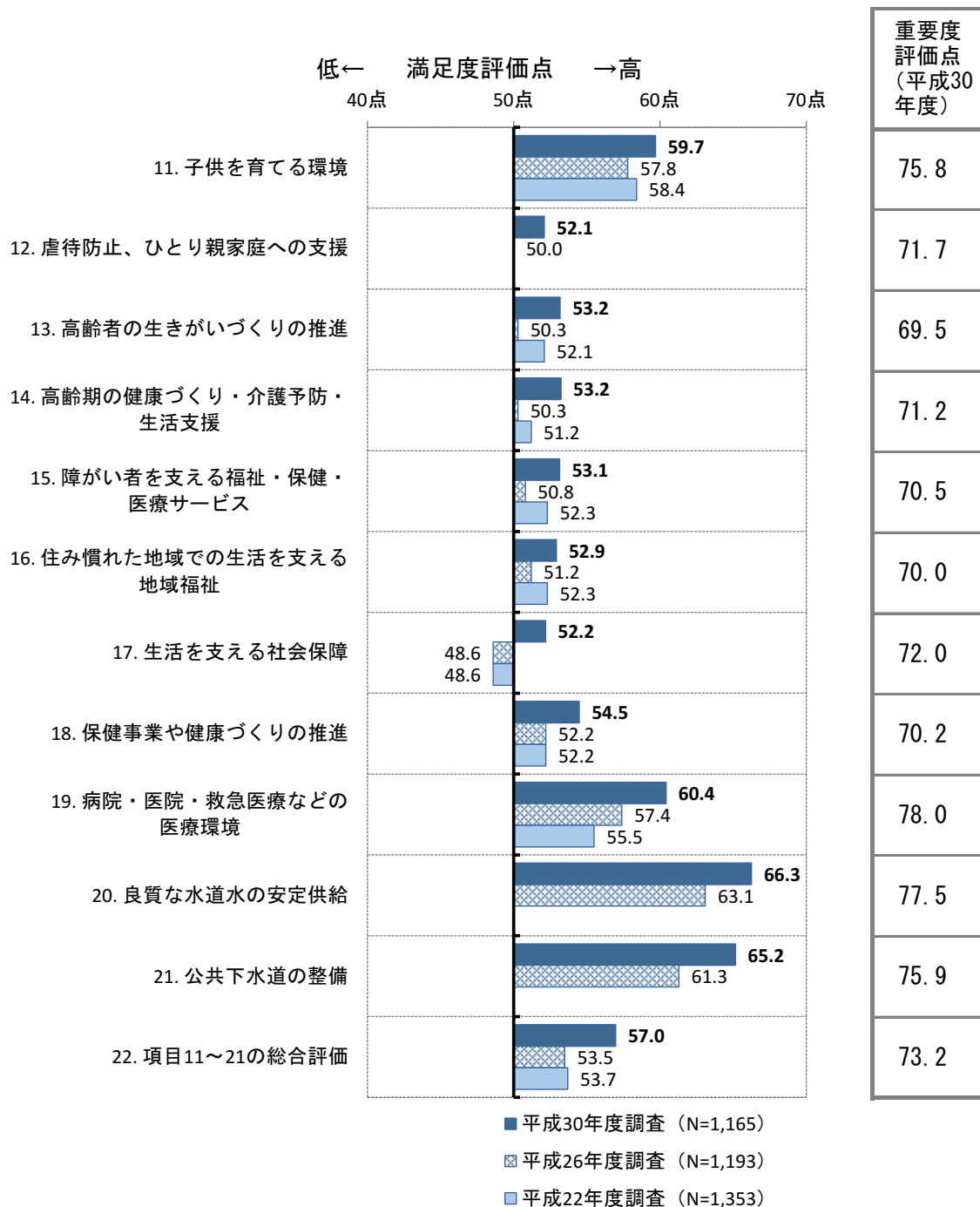
図 3.8.33 くらし・健康についての満足度

N=1,165



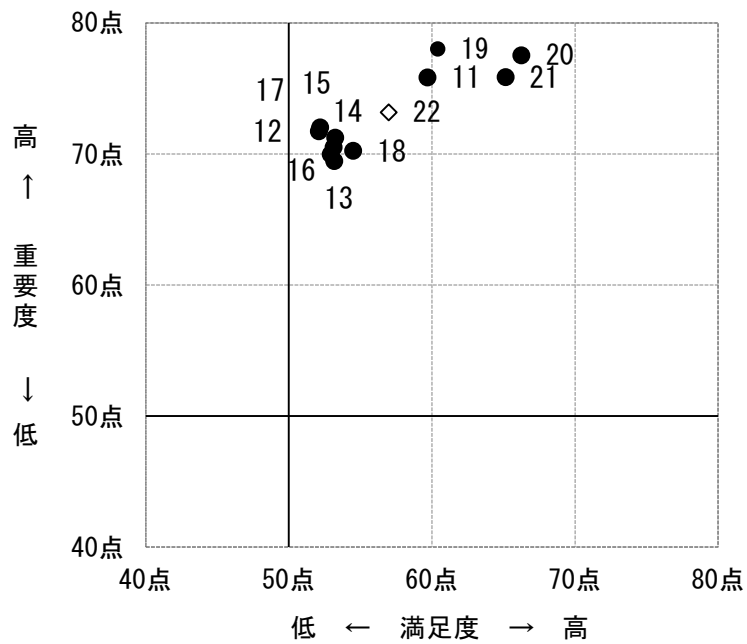
| 『重要である』 | 『重要ではない』 | 重要度評価点 |
|---------|----------|--------|
| 60.6 % | 1.7 % | 75.8 |
| 54.2 % | 1.6 % | 71.7 |
| 52.4 % | 2.6 % | 69.5 |
| 55.9 % | 2.2 % | 71.2 |
| 53.0 % | 1.8 % | 70.5 |
| 52.4 % | 1.5 % | 70.0 |
| 56.1 % | 1.5 % | 72.0 |
| 53.2 % | 0.8 % | 70.2 |
| 66.4 % | 0.9 % | 78.0 |
| 63.9 % | 0.8 % | 77.5 |
| 60.6 % | 0.6 % | 75.9 |
| 58.4 % | 0.7 % | 73.2 |

図 3.8.34 くらし・健康についての重要度



※「12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援」「20. 良質な水道水の安定供給」「21. 公共下水道の整備」は平成 26 年度から追加

図 3. 8. 35 くらし・健康についての満足度評価点の経年比較と重要度評価点



- 11. 子供を育てる環境
- 12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援
- 13. 高齢者の生きがいづくりの推進
- 14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援
- 15. 障がい者を支える福祉・保健・医療サービス
- 16. 住み慣れた地域での生活を支える地域福祉
- 17. 生活を支える社会保障
- 18. 保健事業や健康づくりの推進
- 19. 病院・医院・救急医療などの医療環境
- 20. 良質な水道水の安定供給
- 21. 公共下水道の整備
- ◇22. 項目11～21の総合評価

図 3.8.36 暮らし・健康についての満足度と重要度の関係

■満足度

- くらし・健康についての満足度（図3.8.33）は、全項目で「普通」が最も多い。また、全項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高い。特に、《20. 良質な水道水の安定供給》（50.1%）、《21. 公共下水道の整備》（47.0%）、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（40.8%）、《11. 子どもを育てる環境》（33.6%）が他の項目と比べて高くなっている。
- 満足度の評価点は、《20. 良質な水道水の安定供給》（66.3点）、《21. 公共下水道の整備》（65.2点）、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》で60点以上となっている。

- 平成26年度調査と比較（図3.8.35）すると、全項目で平成26年度調査よりも高く、特に《21. 公共下水道の整備》は平成26年度調査より3.9点高くなっている。

- 性別に評価点（図3.8.37～図3.8.48）をみると、女性・男性ともに《20. 良質な水道水の安定供給》が最も高くなっている。一方、女性では《12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援》、男性では《17. 生活を支える社会保障》が最も低くなっている。
- 年齢別に評価点をみると、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》、《20. 良質な水道水の安定供給》、《21. 公共下水道の整備》は40歳代、それ以外の項目は60歳代が最も低くなっている。また、《20. 良質な水道水の安定供給》（70歳以上71.0点、40歳代63.4点）、《19. 病院・医療・救急医療などの医療環境》（70歳以上61.1点、30歳代53.6点）、《13. 高齢者の生きがいつくりの推進》（30歳未満55.8点、60歳代49.2点）などでは年齢層による差が大きくなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（千里ニュータウン・万博・阪大地域63.5点、豊津・江坂・南吹田地域57.0点）、《11. 子供を育てる環境》（千里山・佐井寺地域61.5点、J R以南地域56.8点）、《12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援》（片山・岸部地域54.8点、千里山・佐井寺地域50.3点）で地域による差が大きくなっている。

■重要度

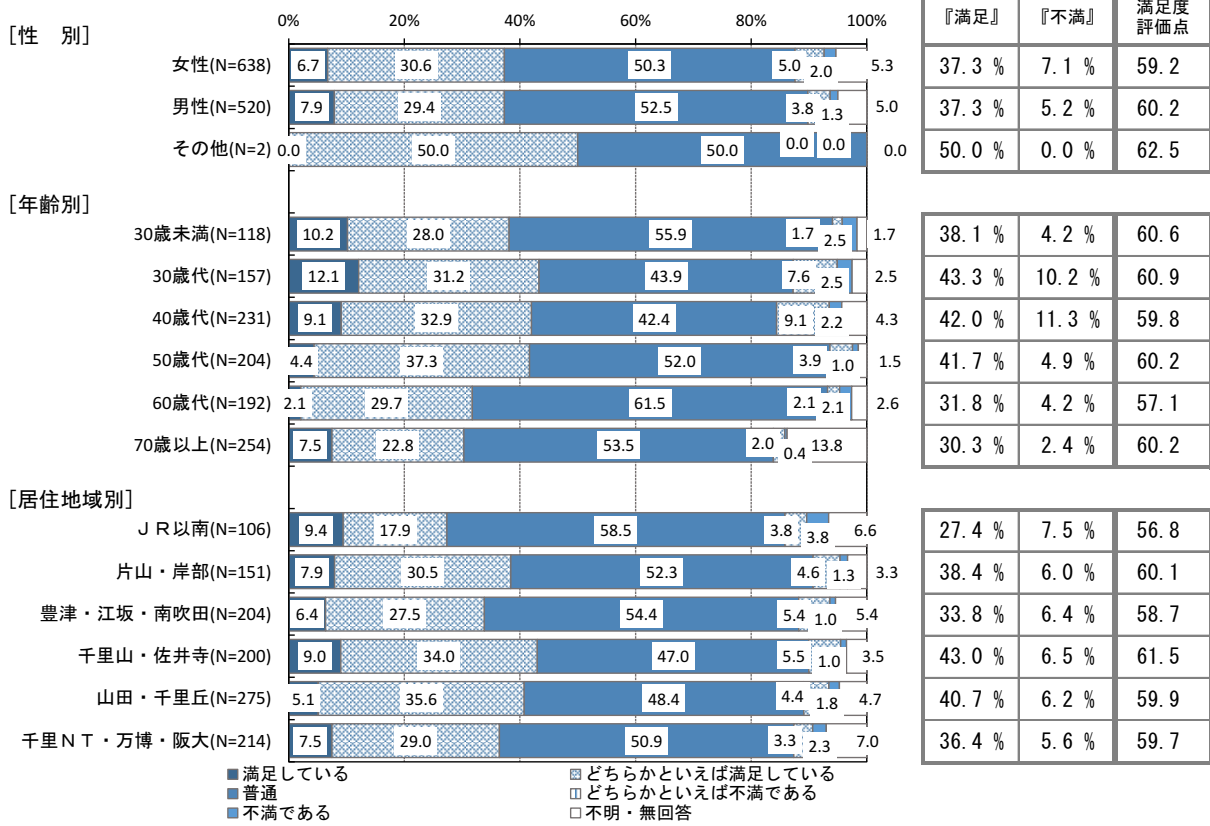
- くらし・健康についての重要度（図3.8.34）は、全項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高くなっている。また、ほとんどの項目で『重要である』が5割以上となっている。特に、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（66.4%）が他の項目と比べて高くなっている。
- 重要度の評価点は、いずれの項目も65点以上、12項目中11項目が70点以上と高くなっている。中でも《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（78.0点）が最も高く、次いで、《20. 良質な水道水の安定供給》（77.5点）、《21. 公共下水道の整備》（75.9点）となっている。

- 性別に評価点（図3.8.37～図3.8.48）をみると、女性・男性ともに《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》が最も高く、次いで、《20. 良質な水道水の安定供給》となっている。また、全項目で男性より女性の方が評価点が高く、女性は全項目が70点以上となっている。
- 年齢別に評価点をみると、《11. 子供を育てる環境》は50歳代、それ以外の項目は40歳代が最も低くなっている。また、《11. 子供を育てる環境》（30歳代82.8点、50歳代72.5点）、《16. 住み慣れた地域での生活を支える地域福祉》（70歳以上74.4点、40歳代65.6点）、《14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援》（60歳代75.1点、40歳代66.6点）は年齢層による差が大きくなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《16. 住み慣れた地域での生活を支える地域福祉》（JR以南地域73.6点、千里山・佐井寺地域67.2点）、《14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援》（山田・千里丘地域73.6点、千里山・佐井寺地域68.9点）、《18. 保健事業や健康づくりの推進》（JR以南地域72.6点、豊津・江坂・南吹田地域68.2点）は地域による差が大きくなっている。

■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.8.36）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《17. 生活を支える社会保障》（満足度52.2点、重要度72.0点、差19.8点）、《12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援》（満足度52.1点、重要度71.7点、差19.6点）、《14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援》（満足度53.2点、重要度71.2点、差18.0点）となっている。

11. 子供を育てる環境【満足度】



11. 子供を育てる環境【重要度】

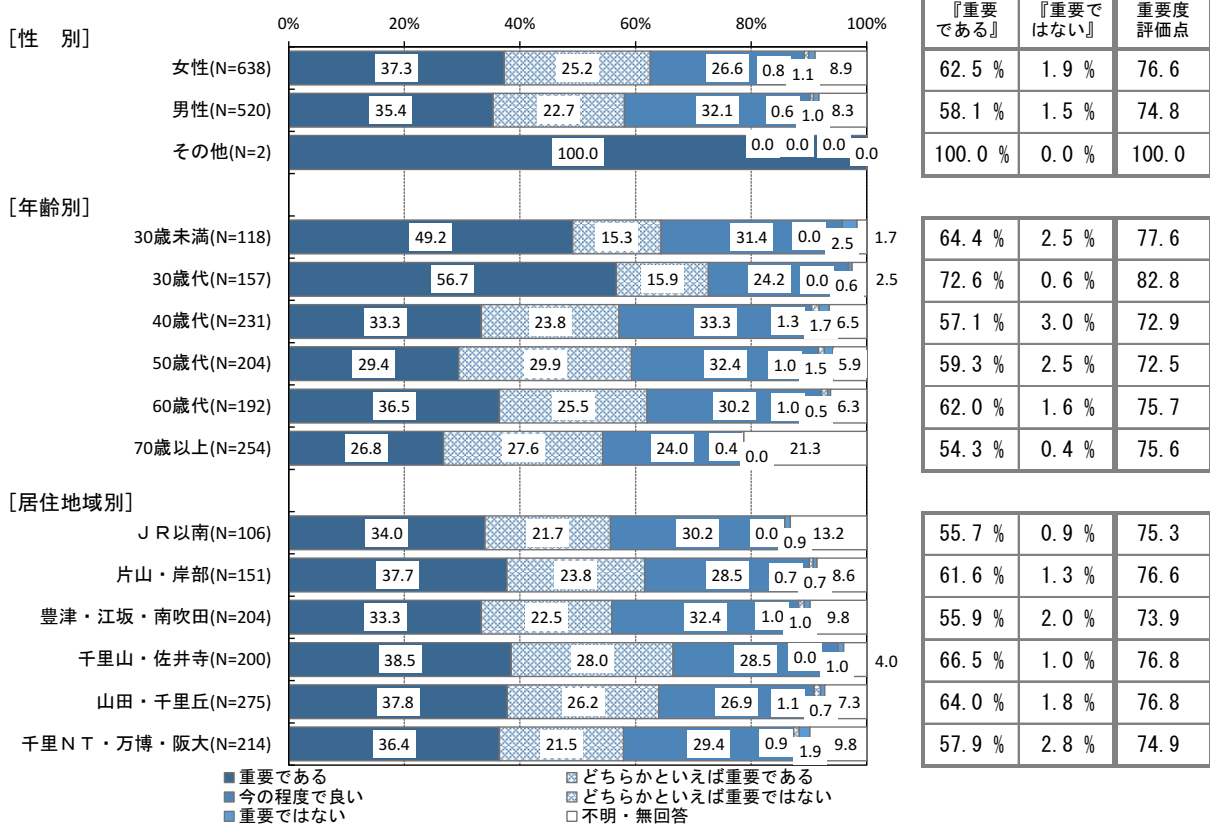
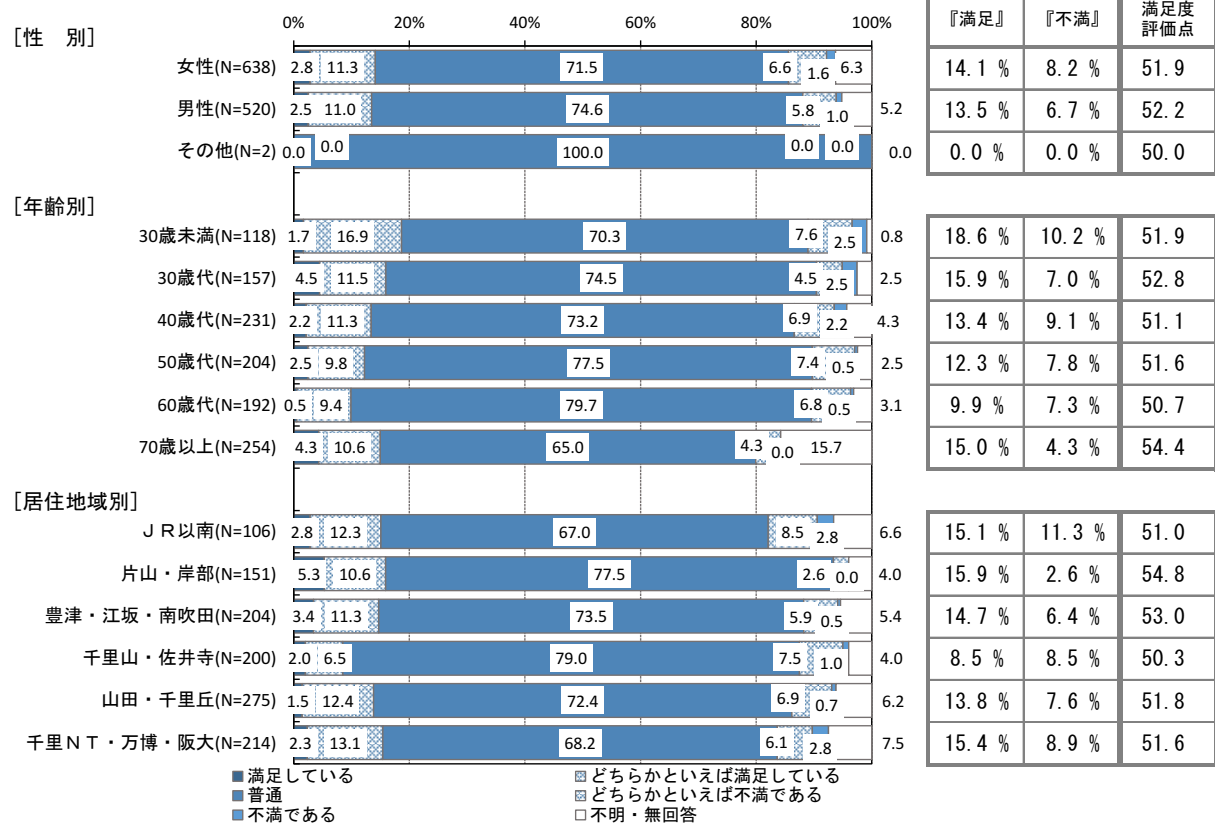


図 3.8.37 性別・年齢別・居住地域別 くらし・健康についての満足度・重要度①

12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援【満足度】



12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援【重要度】

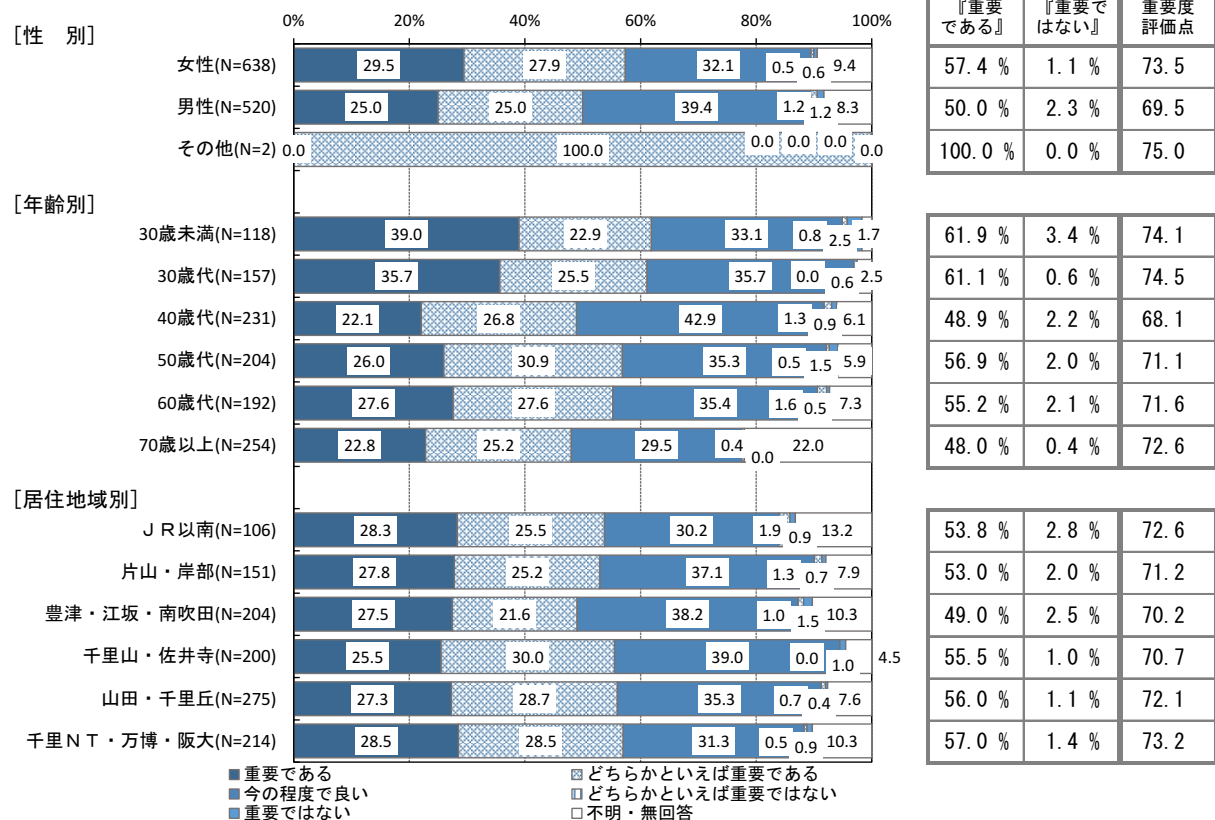
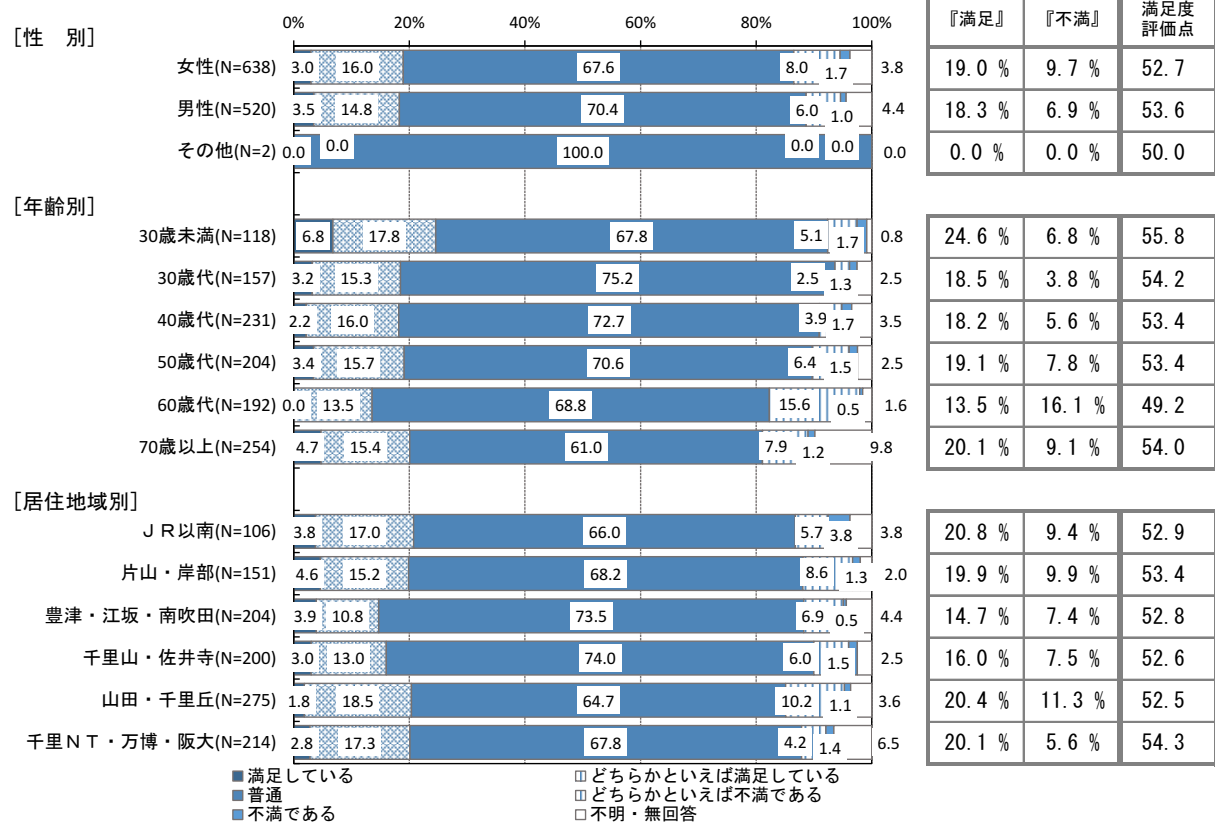


図 3.8.38 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度②

13. 高齢者の生きがいがづくりの推進【満足度】



13. 高齢者の生きがいがづくりの推進【重要度】

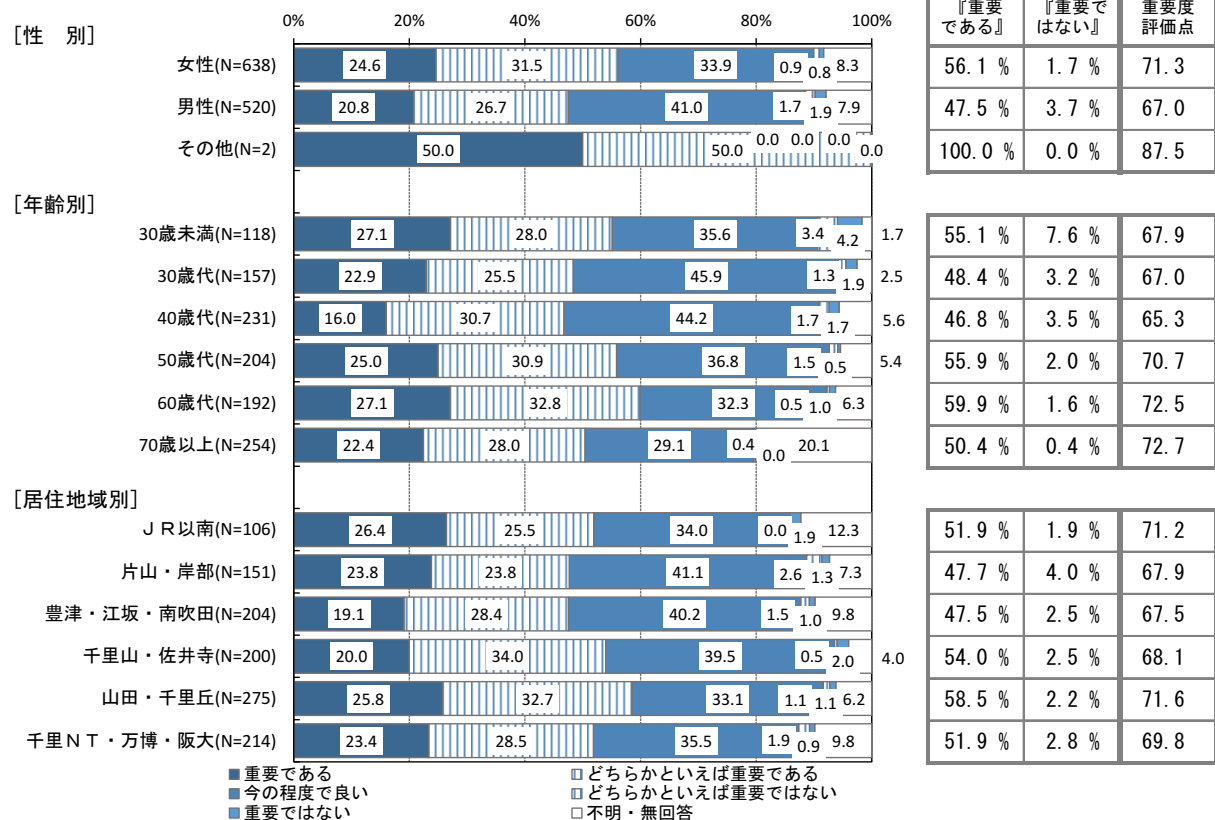
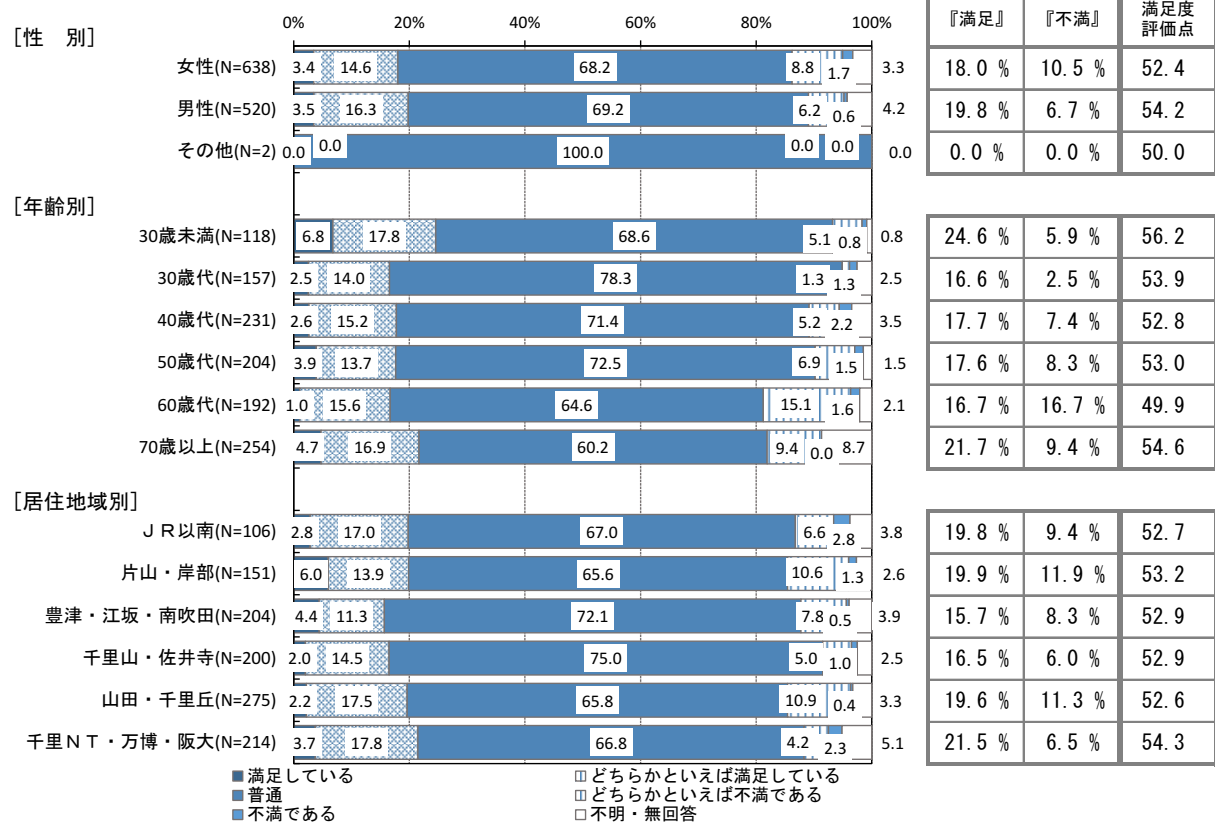


図 3.8.39 性別・年齢別・居住地域別 くらし・健康についての満足度・重要度③

14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援【満足度】



14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援【重要度】

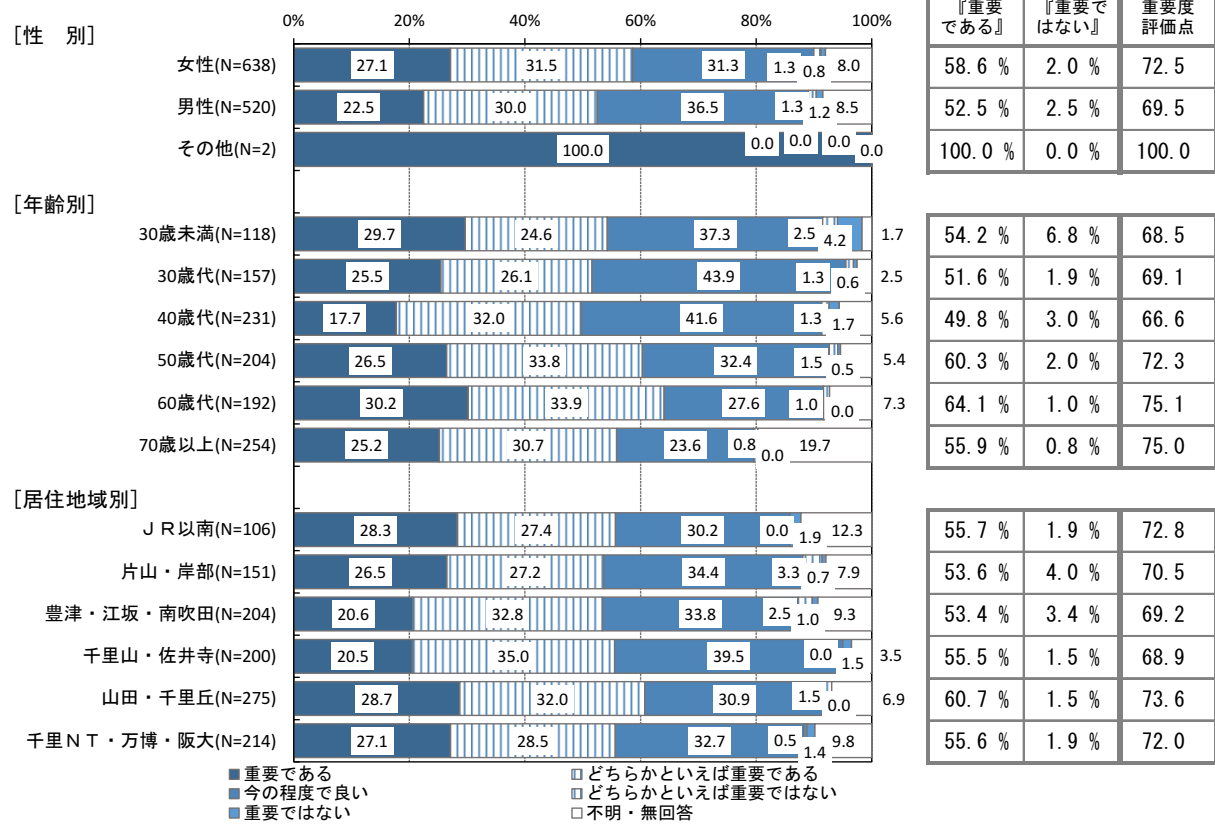
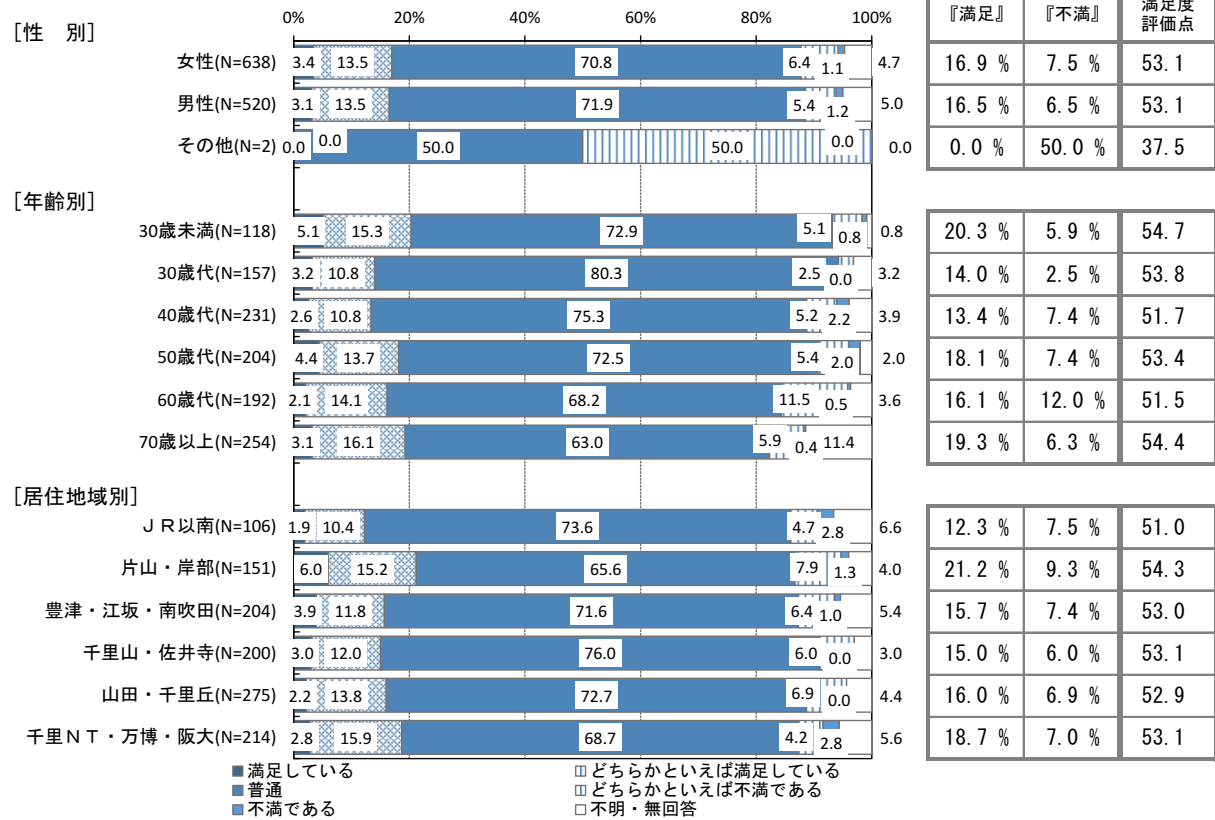


図 3.8.40 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度④

15. 障がい者を支える福祉・保健・医療サービス【満足度】



15. 障がい者を支える福祉・保健・医療サービス【重要度】

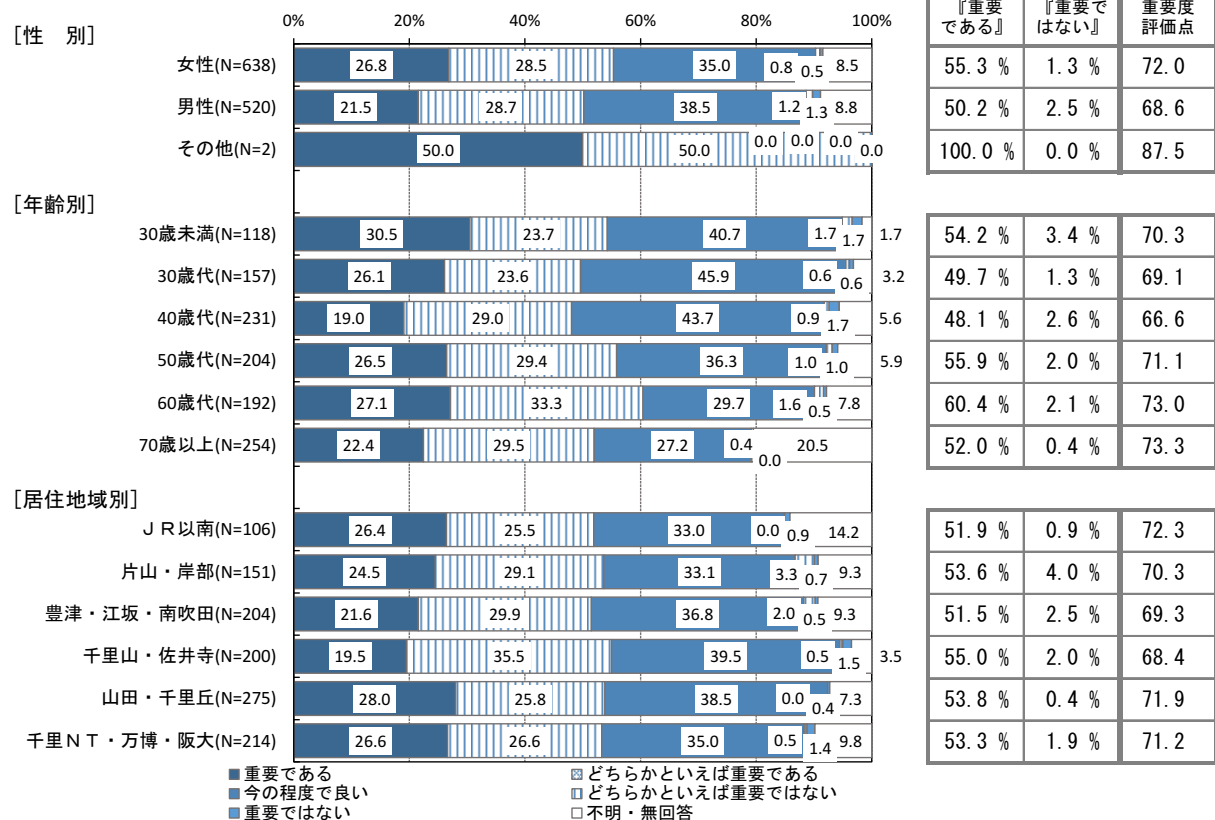
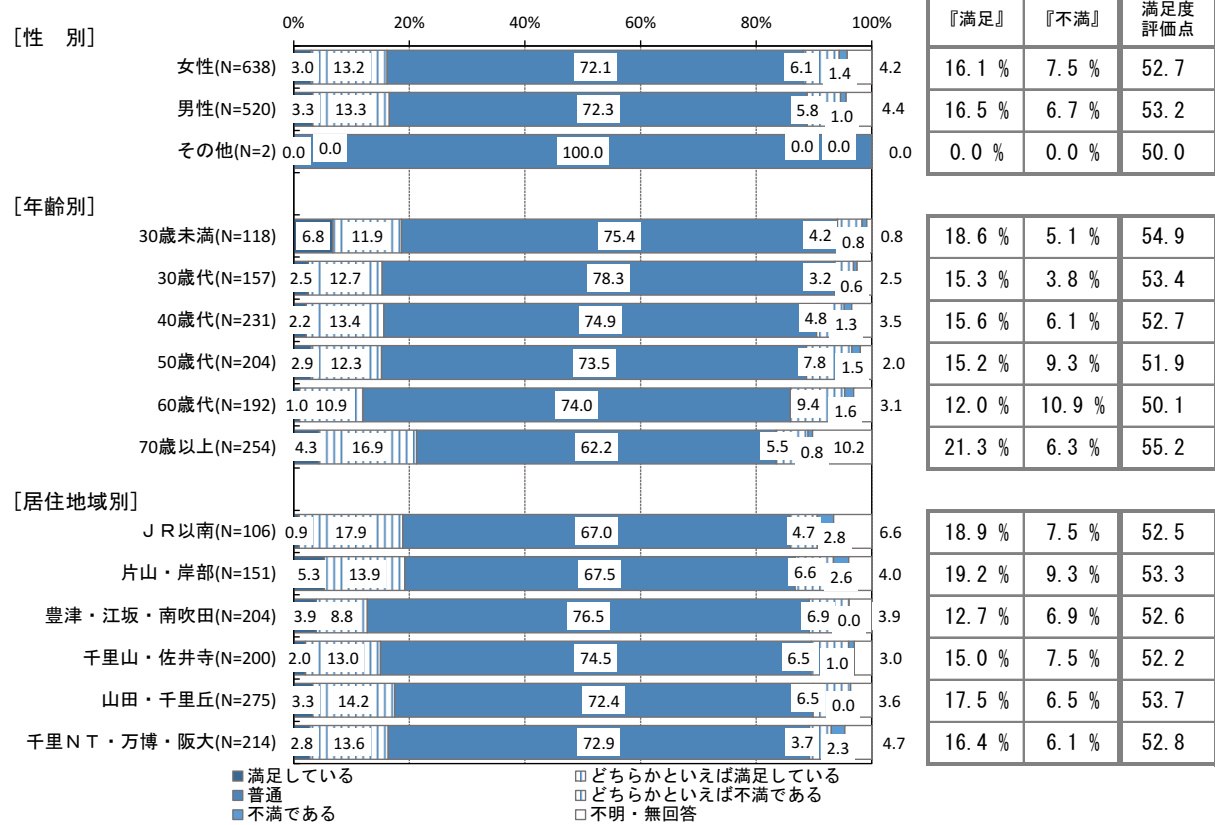


図 3.8.41 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度⑤

16. 住み慣れた地域での生活を支える地域福祉【満足度】



16. 住み慣れた地域での生活を支える地域福祉【重要度】

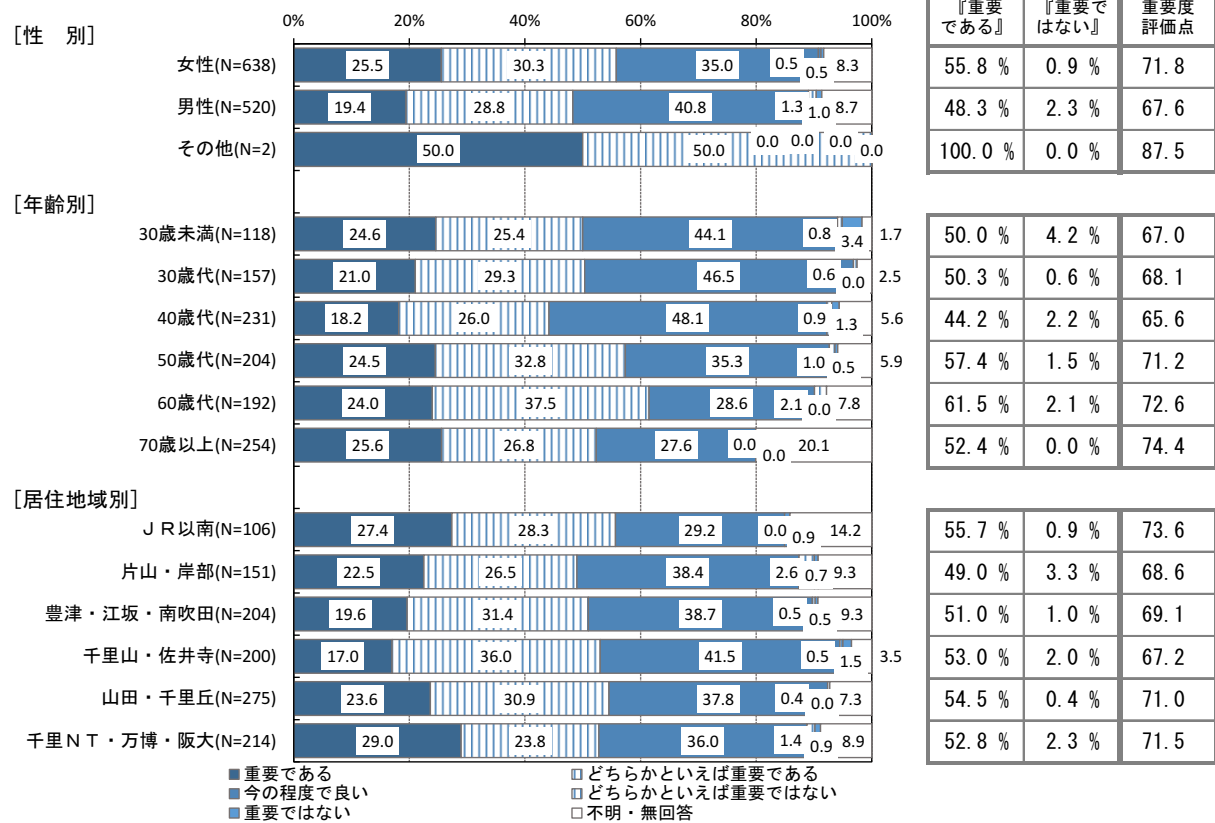
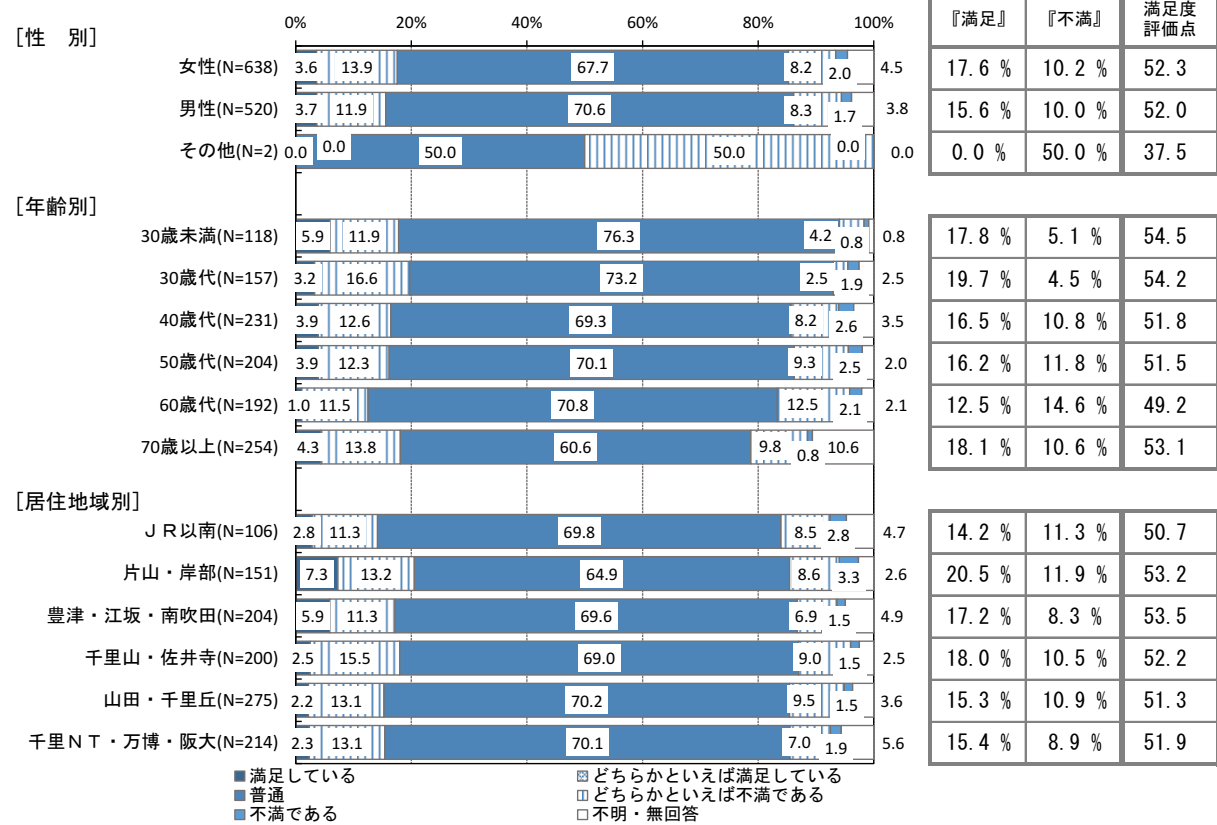


図 3.8.42 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度⑥

17. 生活を支える社会保障【満足度】



17. 生活を支える社会保障【重要度】

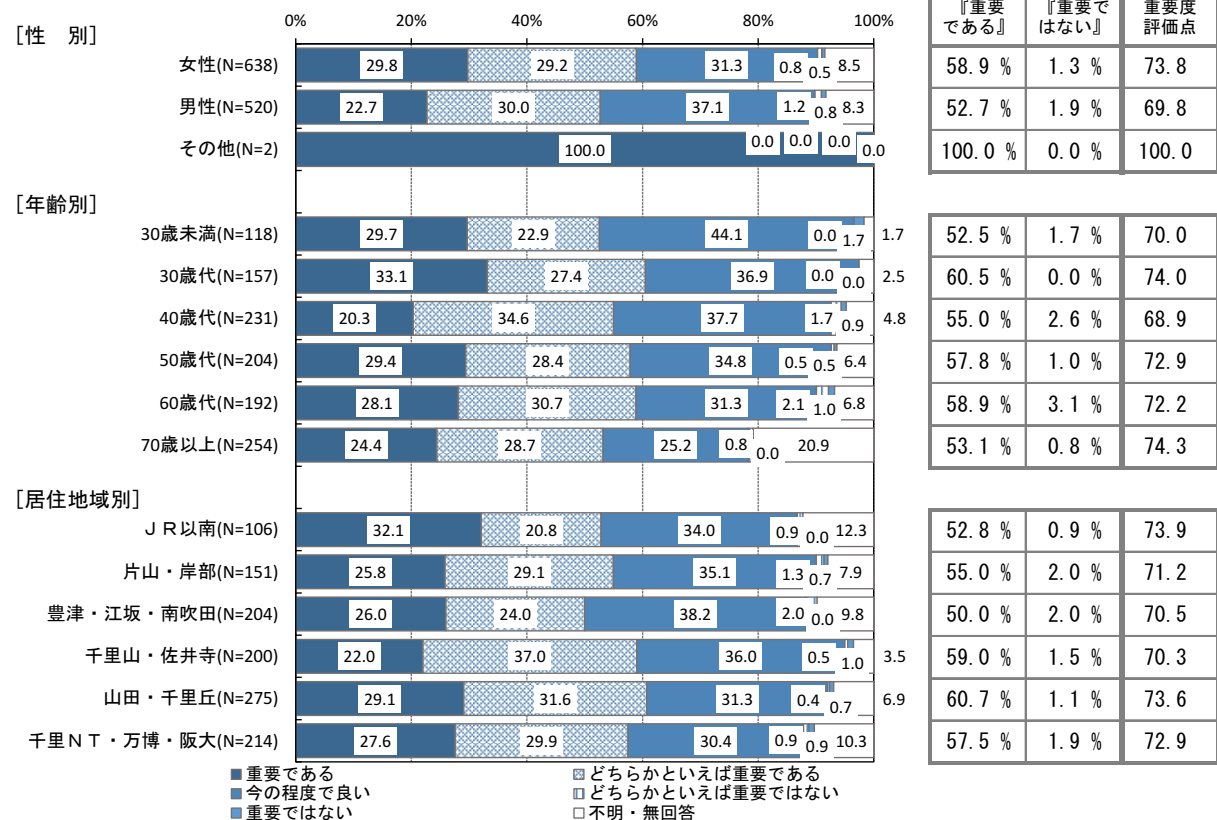
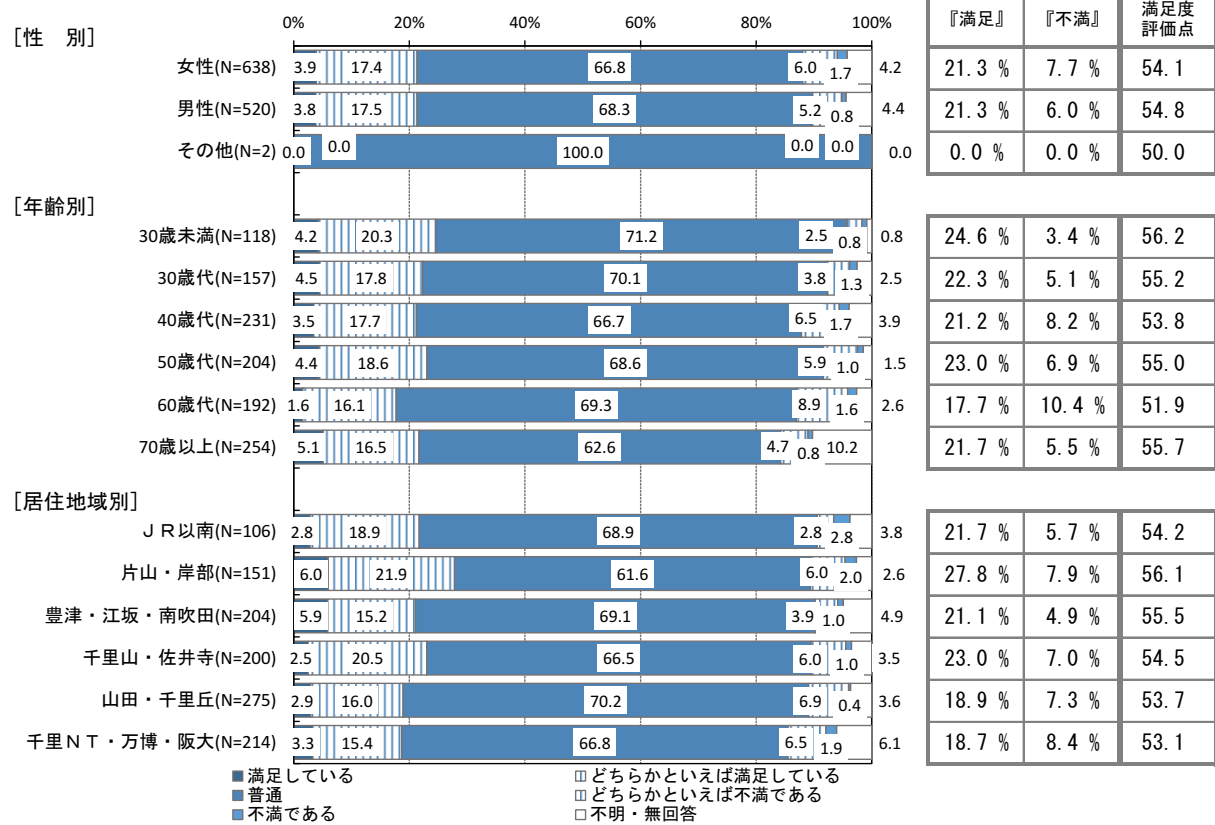


図 3.8.43 性別・年齢別・居住地域別 くらし・健康についての満足度・重要度⑦

18. 保健事業や健康づくりの推進【満足度】



18. 保健事業や健康づくりの推進【重要度】

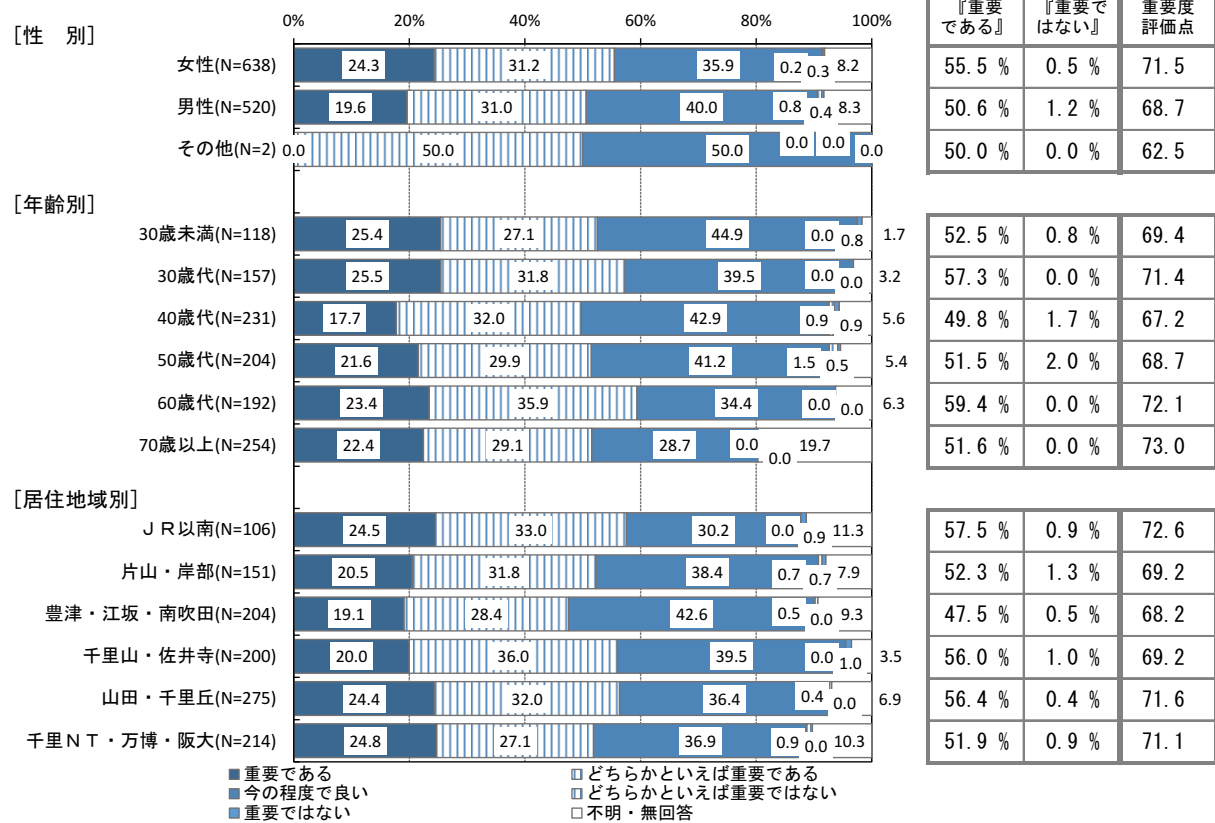
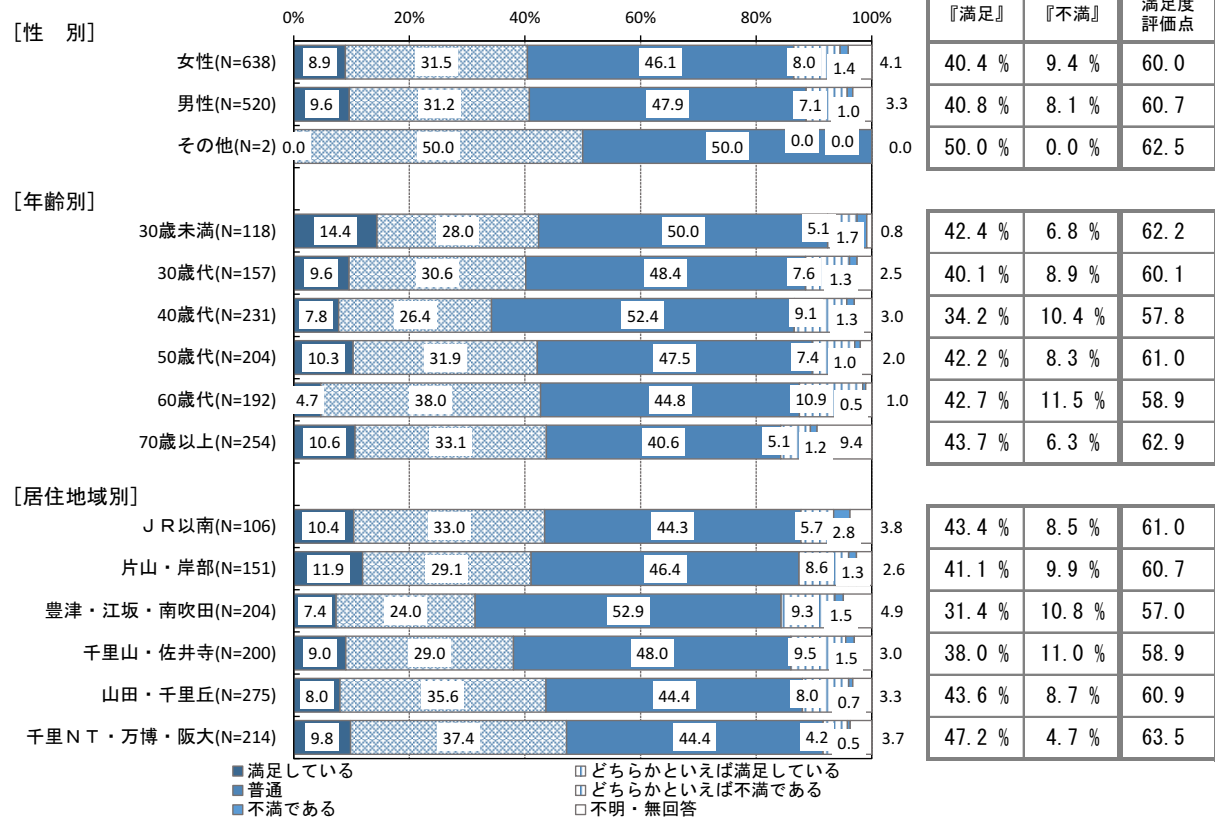


図 3.8.44 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度⑧

19. 病院・医院・救急医療などの医療環境【満足度】



19. 病院・医院・救急医療などの医療環境【重要度】

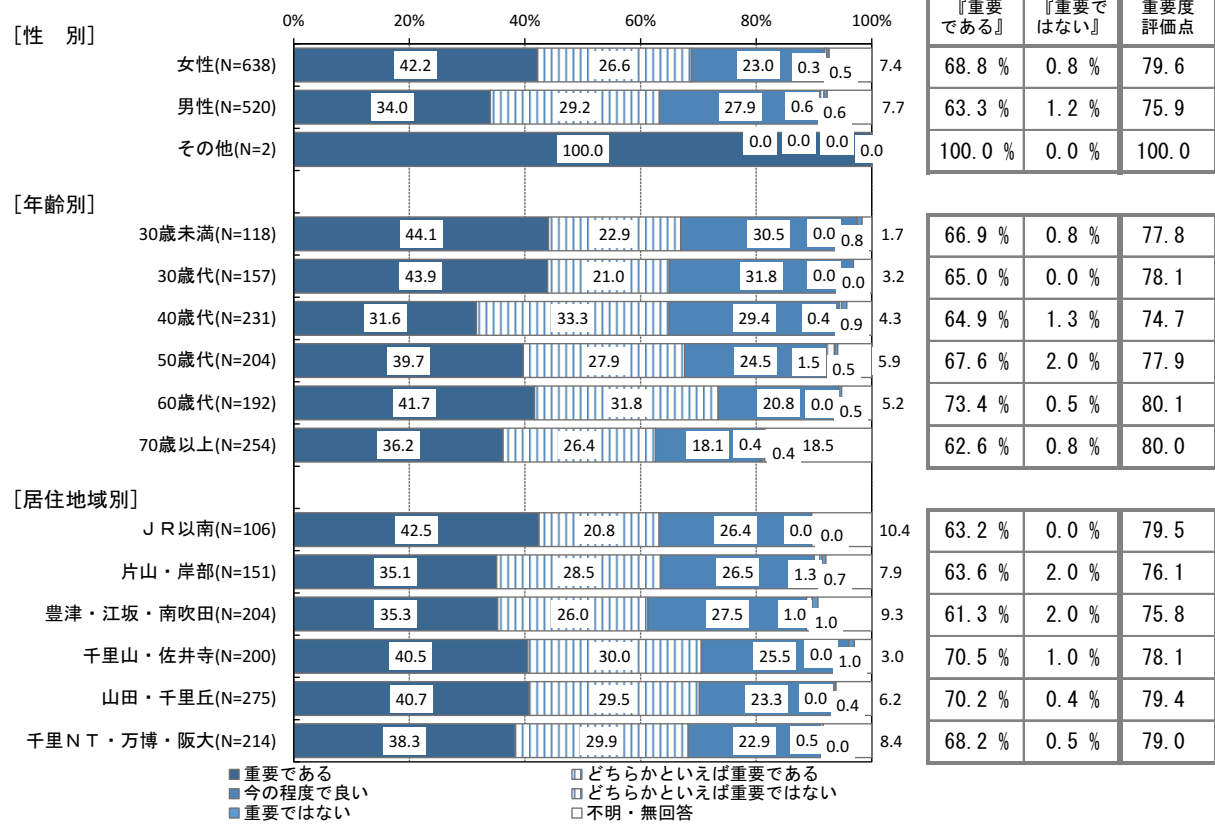
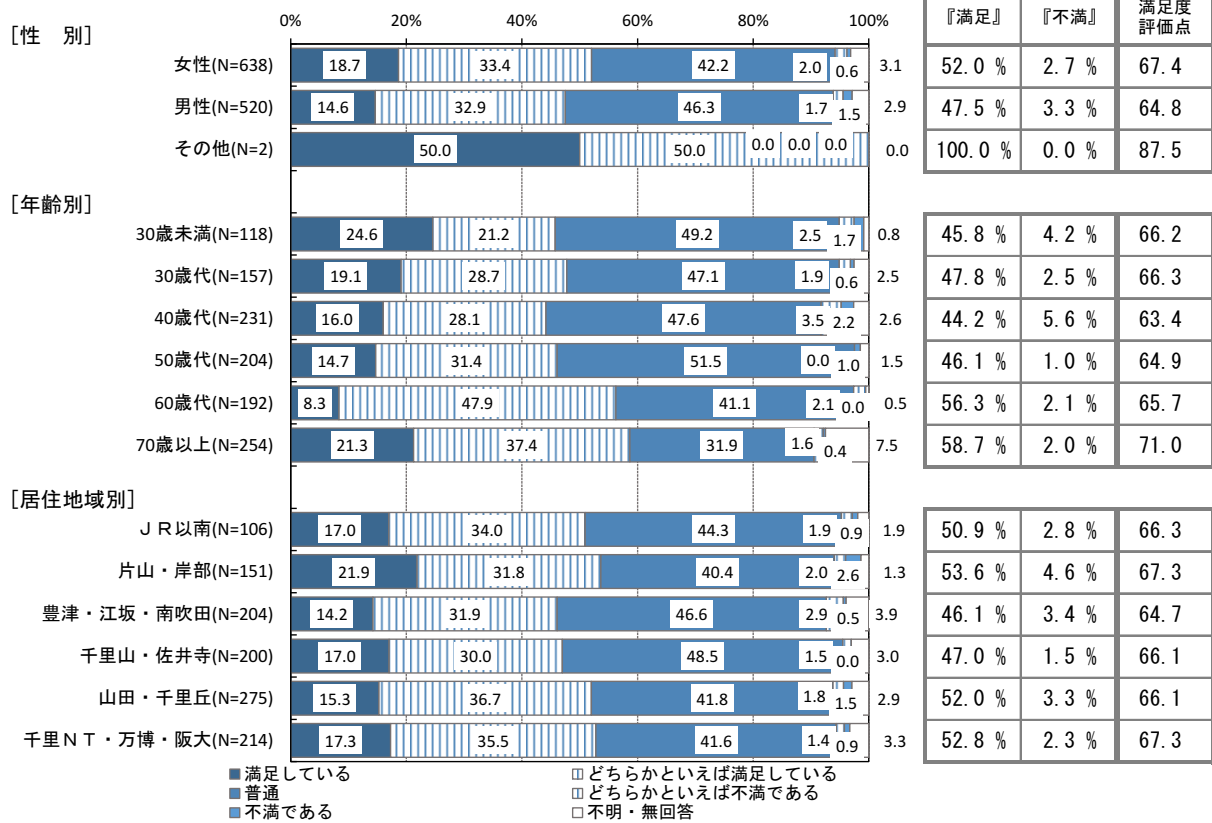


図 3.8.45 性別・年齢別・居住地域別 くらし・健康についての満足度・重要度⑨

20. 良質な水道水の安定供給【満足度】



20. 良質な水道水の安定供給【重要度】

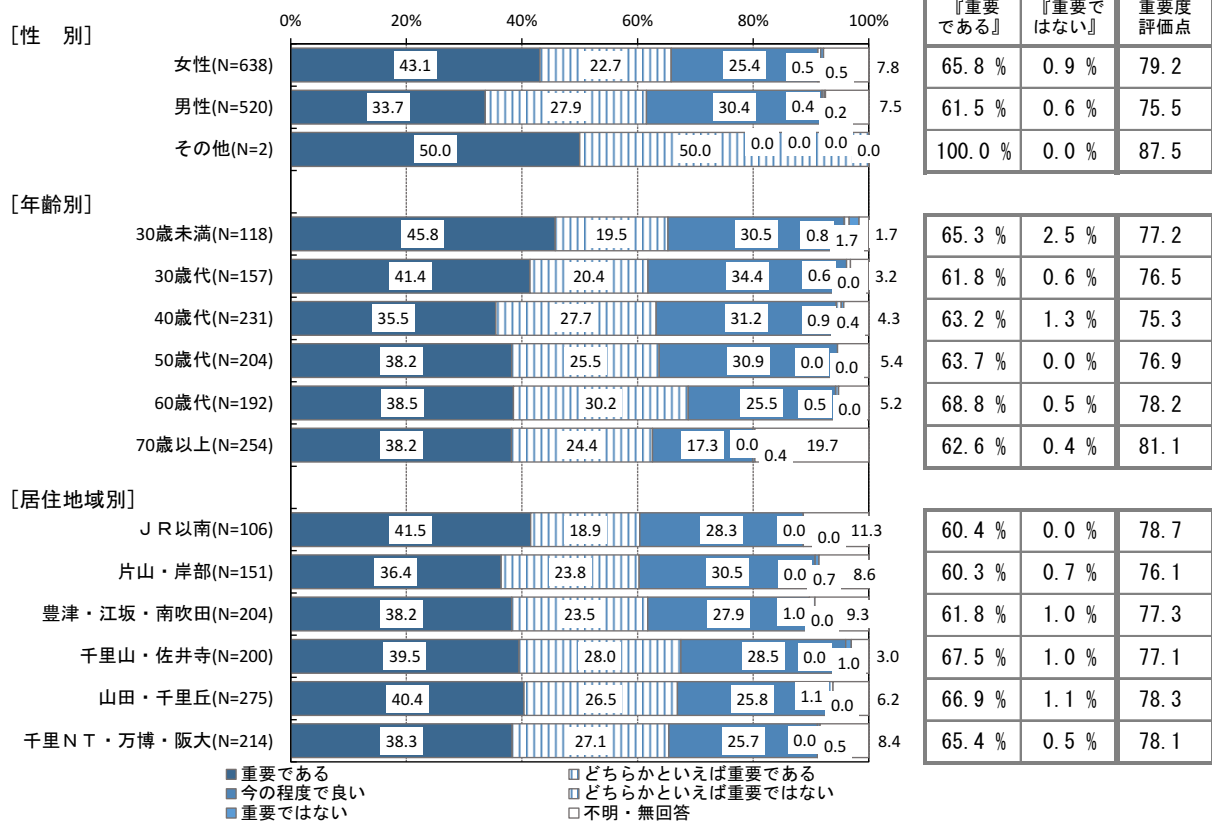
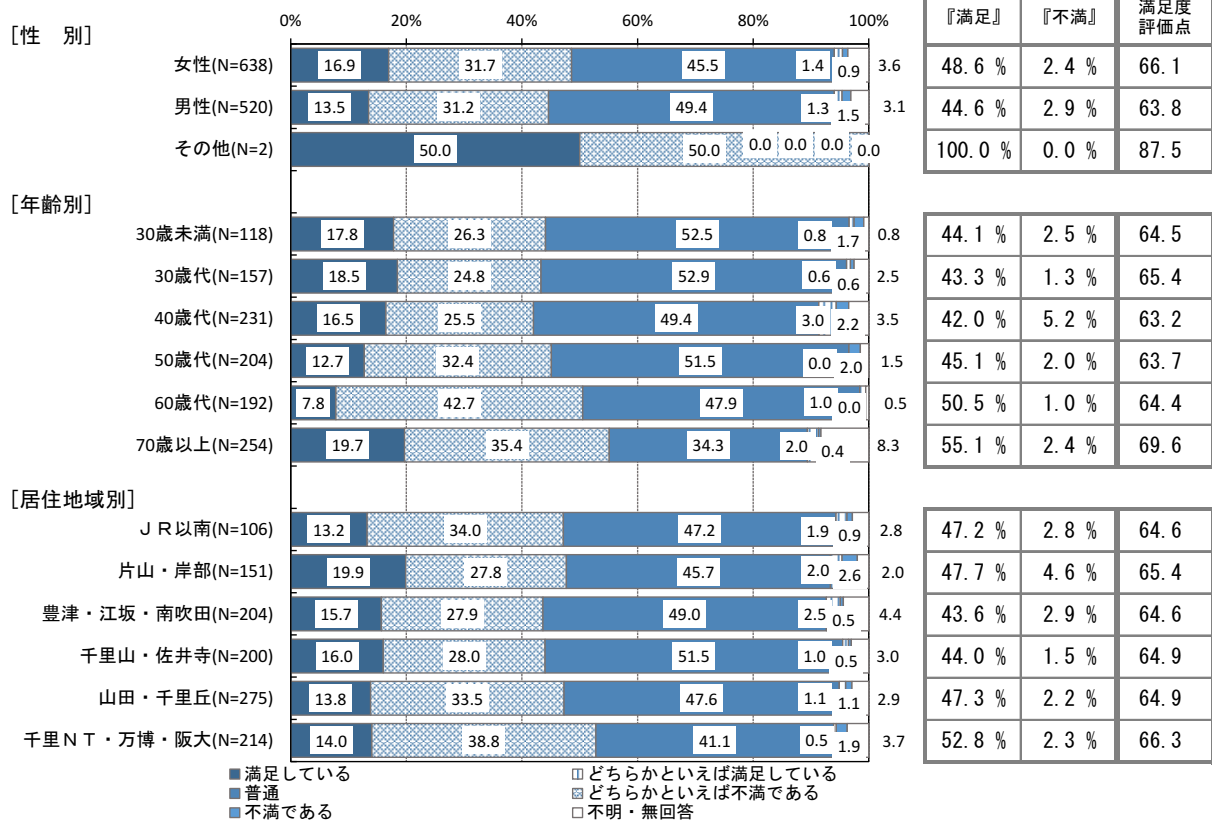


図 3.8.46 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度⑩

21. 公共下水道の整備【満足度】



21. 公共下水道の整備【重要度】

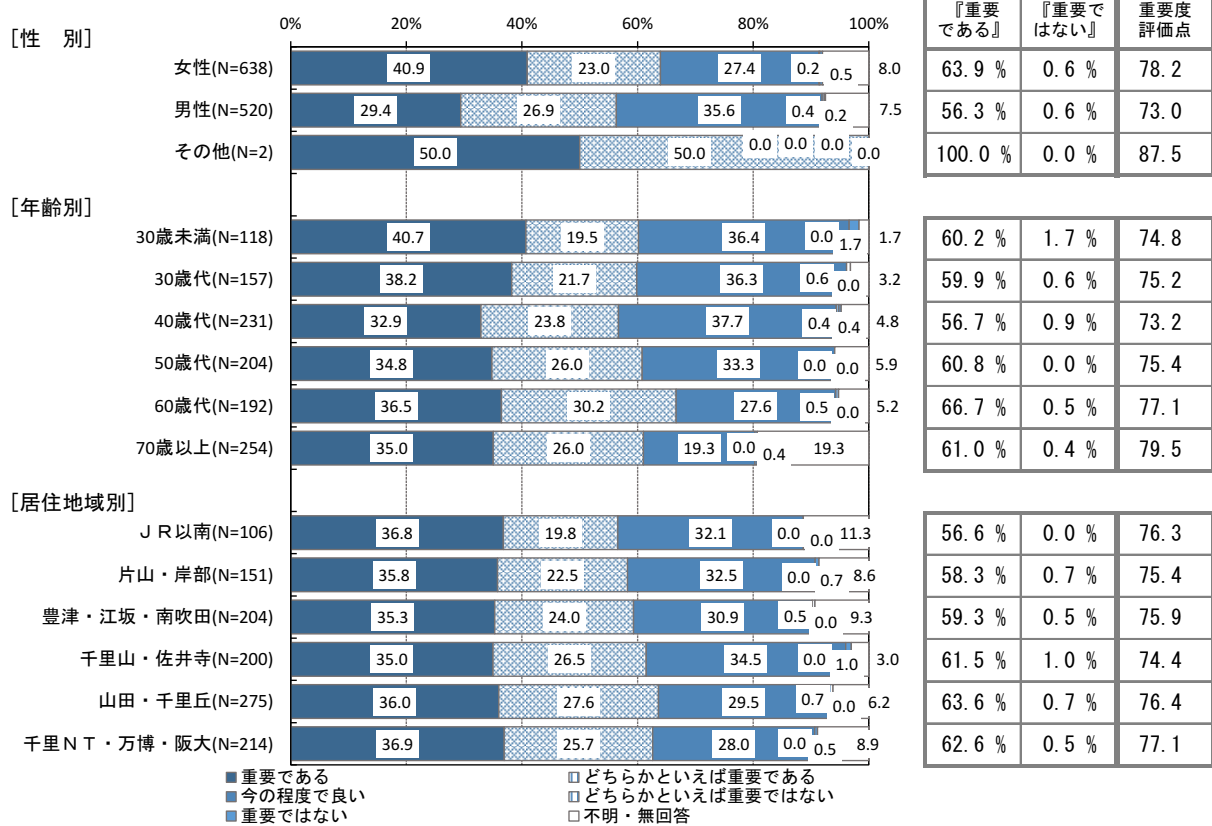
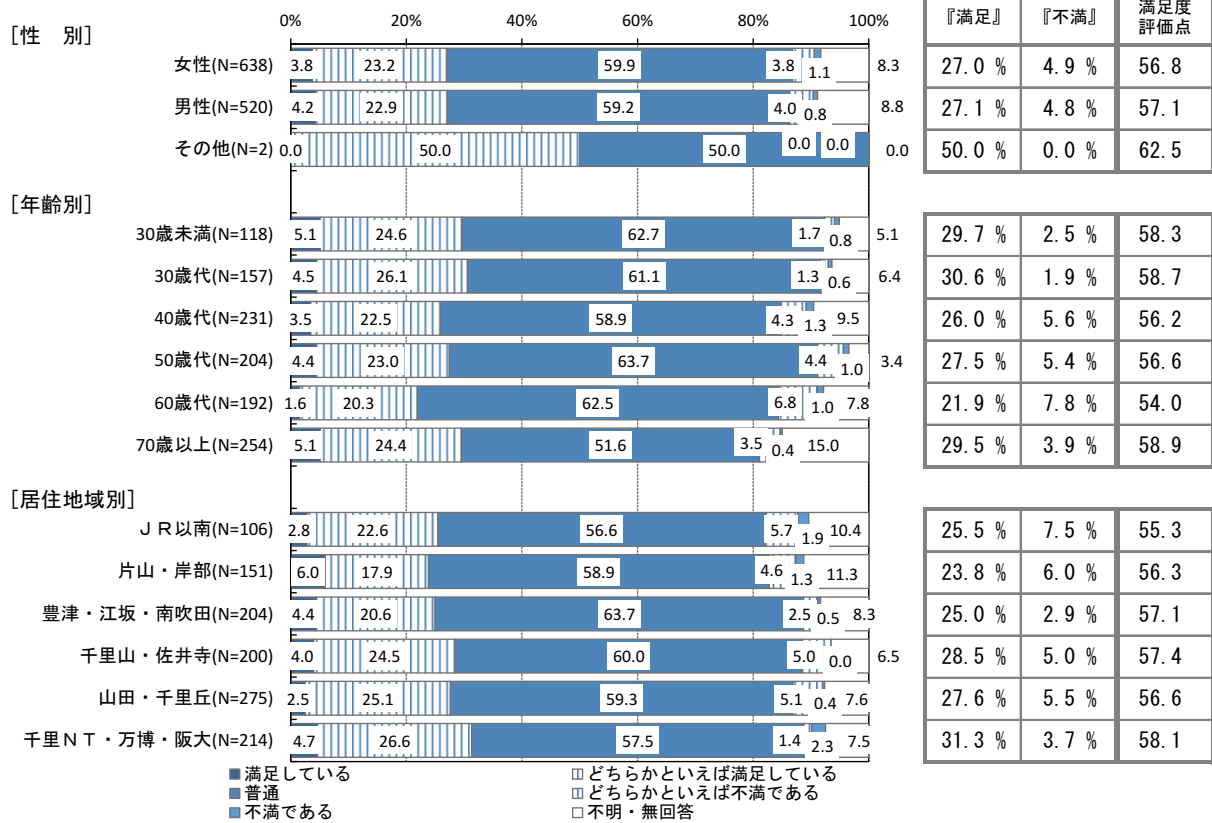


図 3.8.47 性別・年齢別・居住地域別 くらし・健康についての満足度・重要度⑪

22. 項目 11~21 の総合評価【満足度】



22. 項目 11~21 の総合評価【重要度】

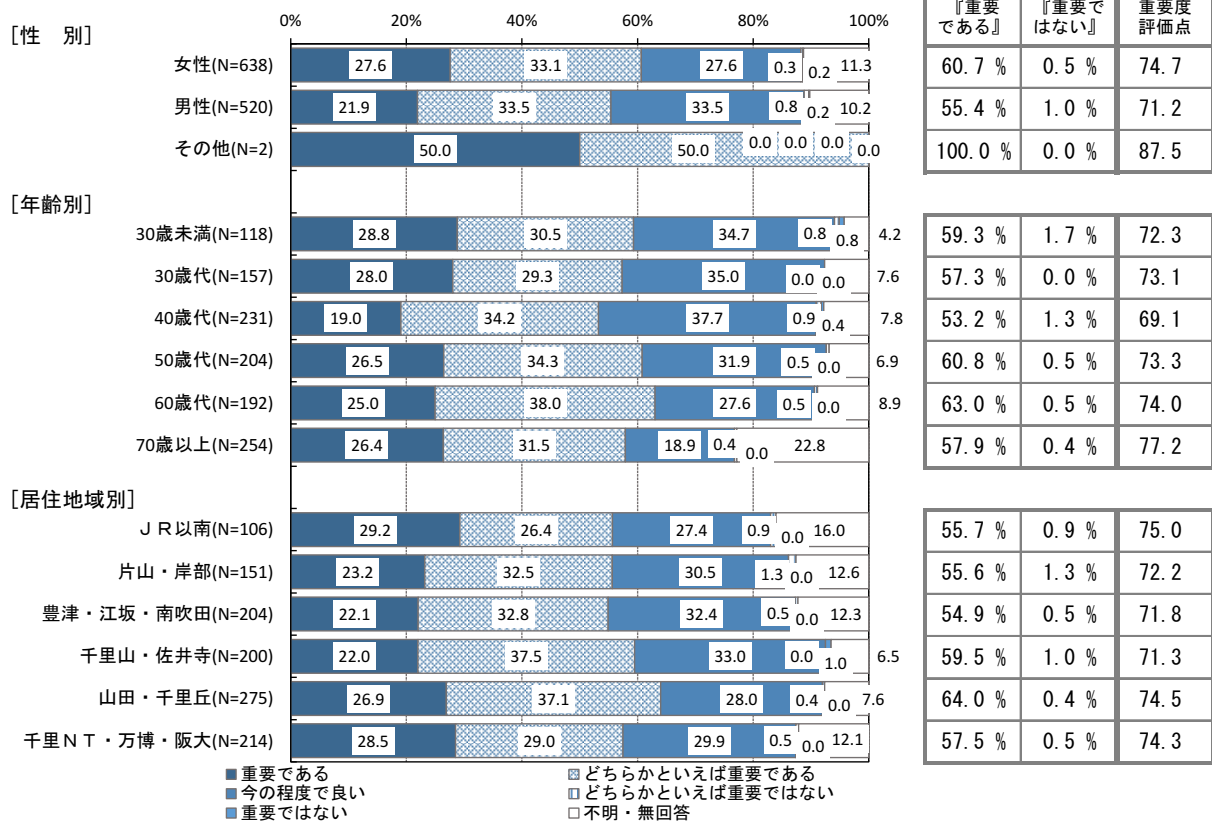


図 3.8.48 性別・年齢別・居住地域別 暮らし・健康についての満足度・重要度⑫

(2)-4 教育・文化についての満足度・重要度

N=1,165

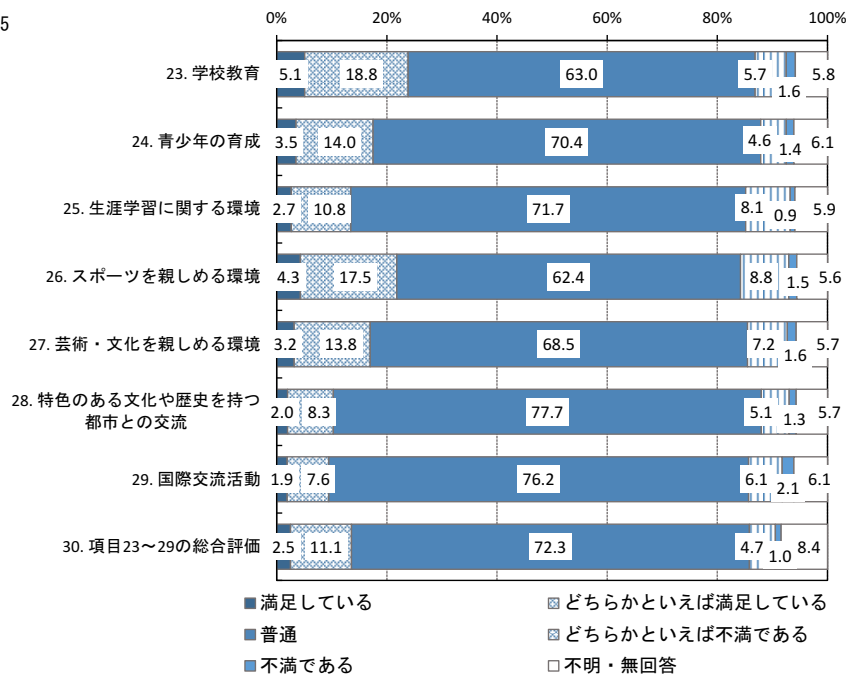


図 3.8.49 教育・文化についての満足度

| 『満足』 | 『不満』 | 満足度評価点 |
|--------|--------|--------|
| 23.9 % | 7.3 % | 55.3 |
| 17.5 % | 6.0 % | 53.6 |
| 13.5 % | 8.9 % | 51.7 |
| 21.8 % | 10.2 % | 53.8 |
| 17.0 % | 8.8 % | 52.6 |
| 10.3 % | 6.4 % | 51.2 |
| 9.4 % | 8.2 % | 50.3 |
| 13.6 % | 5.8 % | 52.5 |

N=1,165

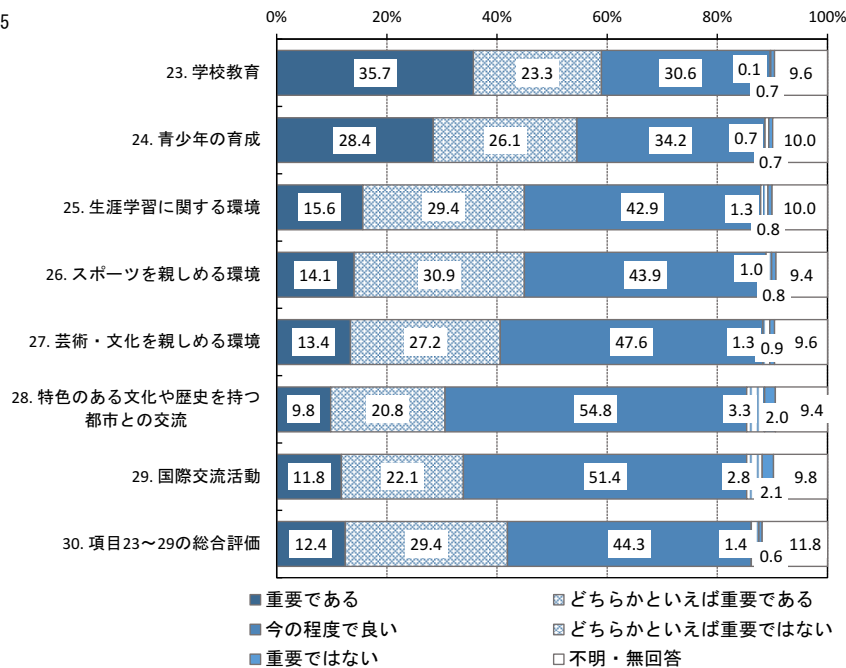


図 3.8.50 教育・文化についての重要度

| 『重要である』 | 『重要ではない』 | 重要度評価点 |
|---------|----------|--------|
| 59.0 % | 0.8 % | 75.8 |
| 54.5 % | 1.4 % | 72.4 |
| 45.0 % | 2.1 % | 66.1 |
| 45.0 % | 1.8 % | 65.6 |
| 40.6 % | 2.1 % | 64.1 |
| 30.6 % | 5.2 % | 59.1 |
| 33.9 % | 4.9 % | 60.7 |
| 41.9 % | 2.0 % | 64.7 |

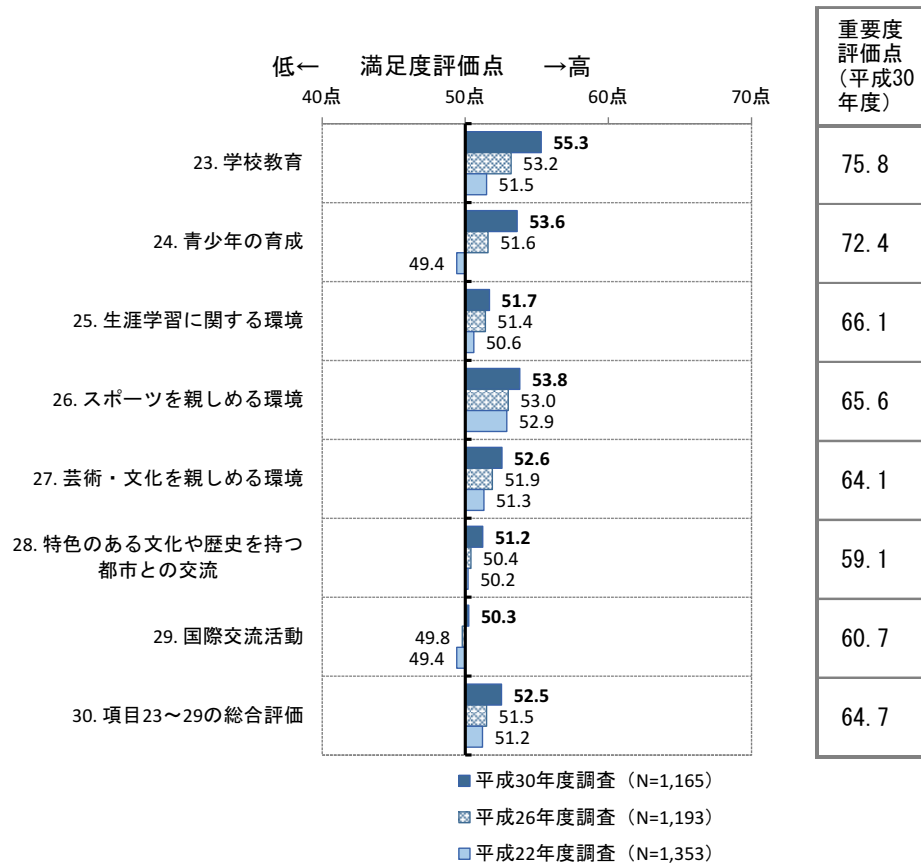


図 3.8.51 教育・文化についての満足度評価点の経年比較と重要度評価点

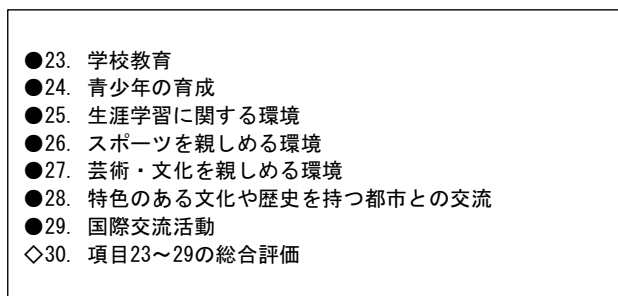
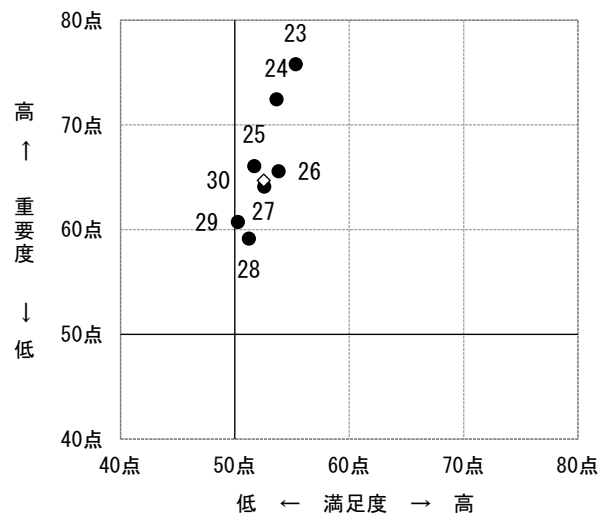


図 3.8.52 教育・文化についての満足度と重要度の関係

■満足度

- 教育・文化についての満足度（図3.8.49）は、全項目で「普通」が6～7割を占めている。また、全項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高い。特に、《23. 学校教育》（23.9%）が他の項目と比べて高くなっている。
- 満足度の評価点は、《23. 学校教育》（55.3点）が最も高く、次いで、《26. スポーツを親しめる環境》（53.8点）となっている。
- 平成26年度調査と比較（図3.8.51）すると、全項目で平成26年度調査よりも高くなっている。特に《23. 学校教育》は平成26年度調査より2.1点高くなっている。
- 性別に評価点（図3.8.53～図3.8.60）をみると、女性・男性ともに《23. 学校教育》が最も高く、《29. 国際交流活動》が最も低くなっている。
- 年齢別に評価点をみると、《25. 生涯学習に関する環境》、《27. 芸術・文化を親しめる環境》は30歳未満、それ以外の項目は70歳以上が最も高くなっている。また、《27. 芸術・文化を親しめる環境》（30歳未満56.7点、60歳代50.3点）は年齢層による差が最も大きくなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《23. 学校教育》（千里山・佐井寺地域57.3点、J R以南地域52.0点）は地域による差が最も大きくなっている。

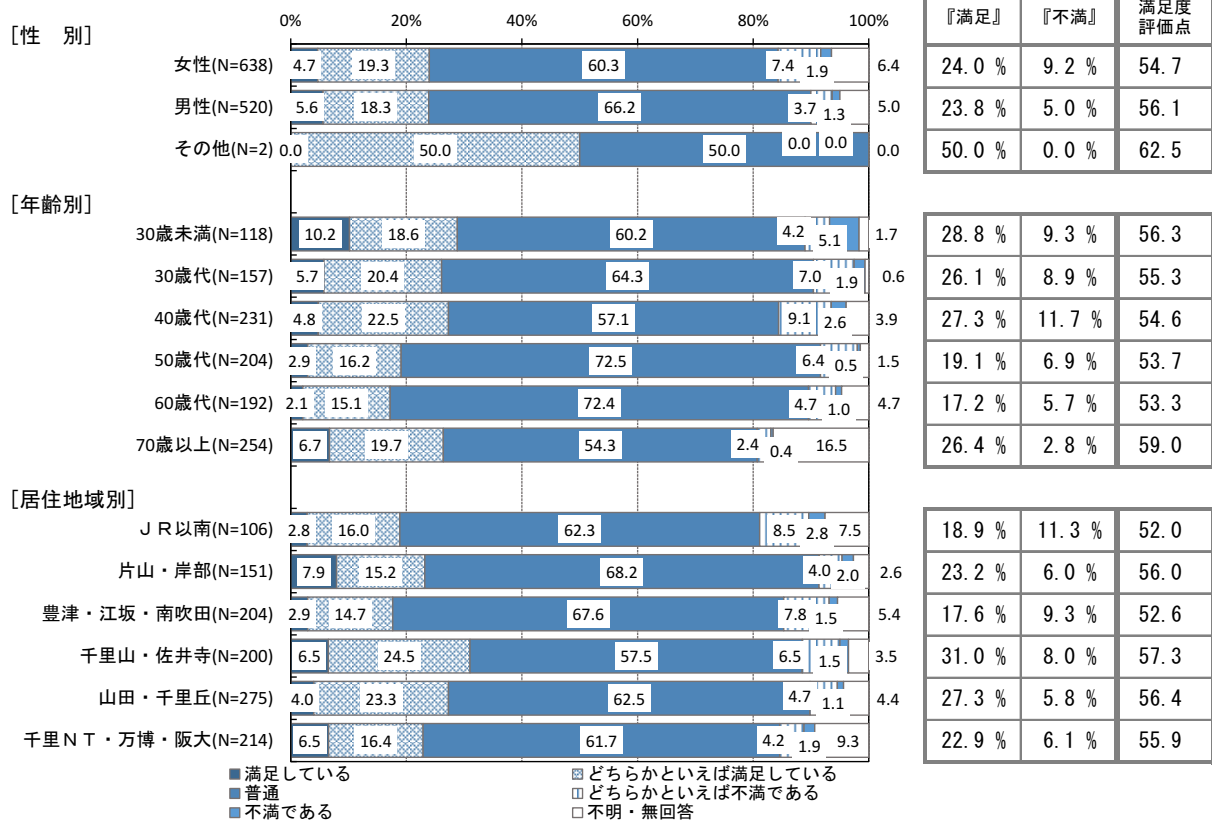
■重要度

- 教育・文化についての重要度（図3.8.50）は、全項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高くなっている。特に、《23. 学校教育》（59.0%）、《24. 青少年の育成》（54.5%）が他の項目と比べて高くなっている。
- 重要度の評価点は、《23. 学校教育》（75.8点）が最も多く、次いで、《24. 青少年の育成》（72.4点）が70点以上となっている。
- 性別に評価点（図3.8.53～図3.8.60）をみると、女性・男性ともに《23. 学校教育》が最も高く、次いで、《24. 青少年の育成》となっている。また、全項目で男性より女性の方が評価点が高く、特に《25. 生涯学習に関する環境》（女性68.6点、男性62.9点）、《27. 芸術・文化を親しめる環境》（女性66.6点、男性61.1点）は差が大きくなっている。
- 年齢別に評価点をみると、全項目で70歳以上が最も高くなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《25. 生涯学習に関する環境》（J R以南地域69.0点、千里山・佐井寺地域63.2点）、《24. 青少年の育成》（山田・千里丘地域74.8点、豊津・江坂・南吹田地域70.2点）、《23. 学校教育》（山田・千里丘地域77.7点、豊津・江坂・南吹田地域73.8点）は地域による差が大きくなっている。

■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.8.52）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《23. 学校教育》（満足度55.3点、重要度75.8点、差20.5点）、《24. 青少年の育成》（満足度53.6点、重要度72.4点、差18.8点）となっている。

23. 学校教育【満足度】



23. 学校教育【重要度】

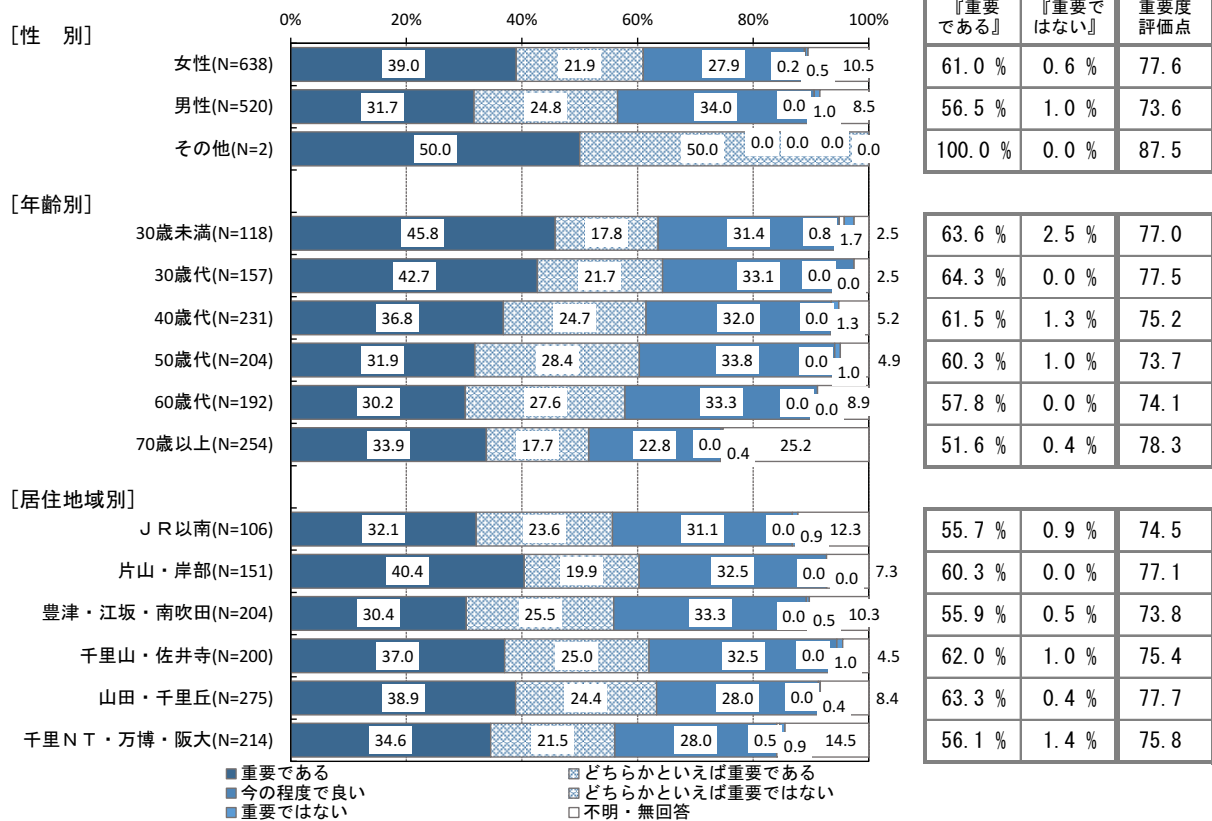
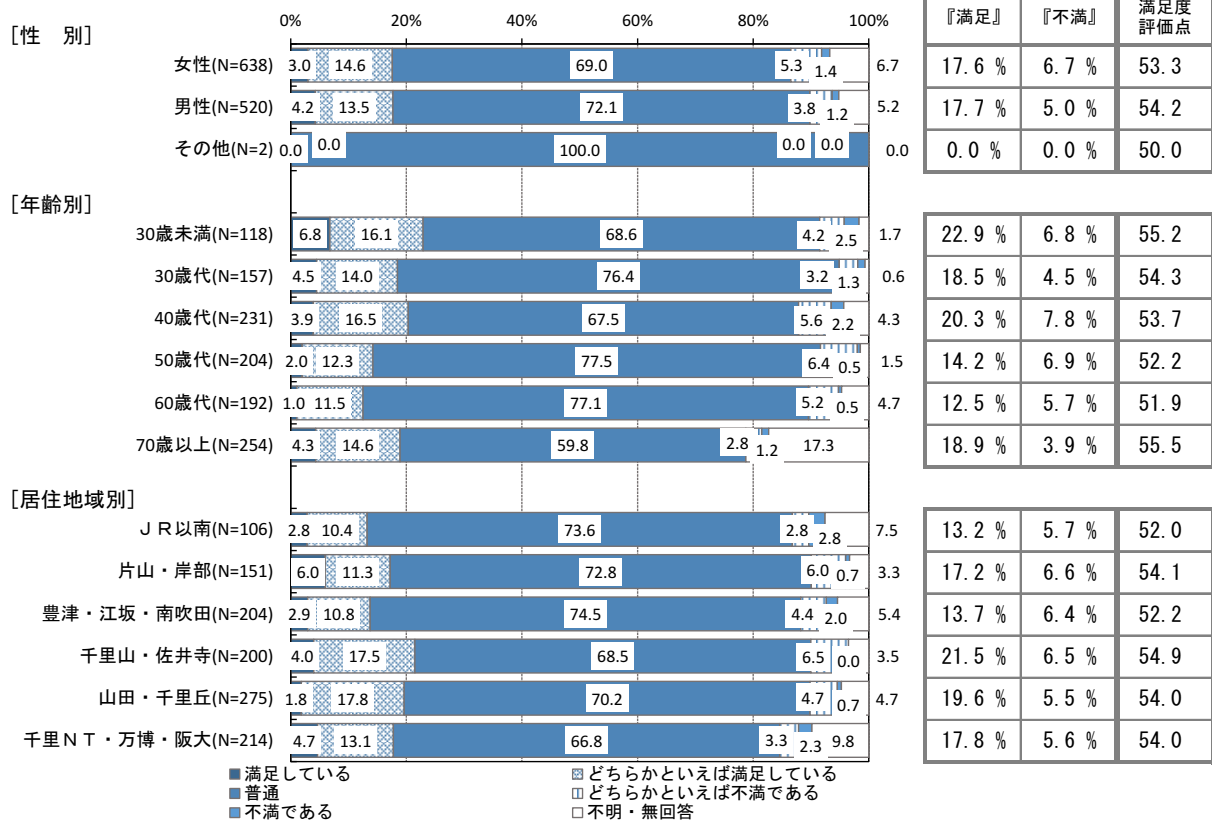


図 3.8.53 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度①

24. 青少年の育成【満足度】



24. 青少年の育成【重要度】

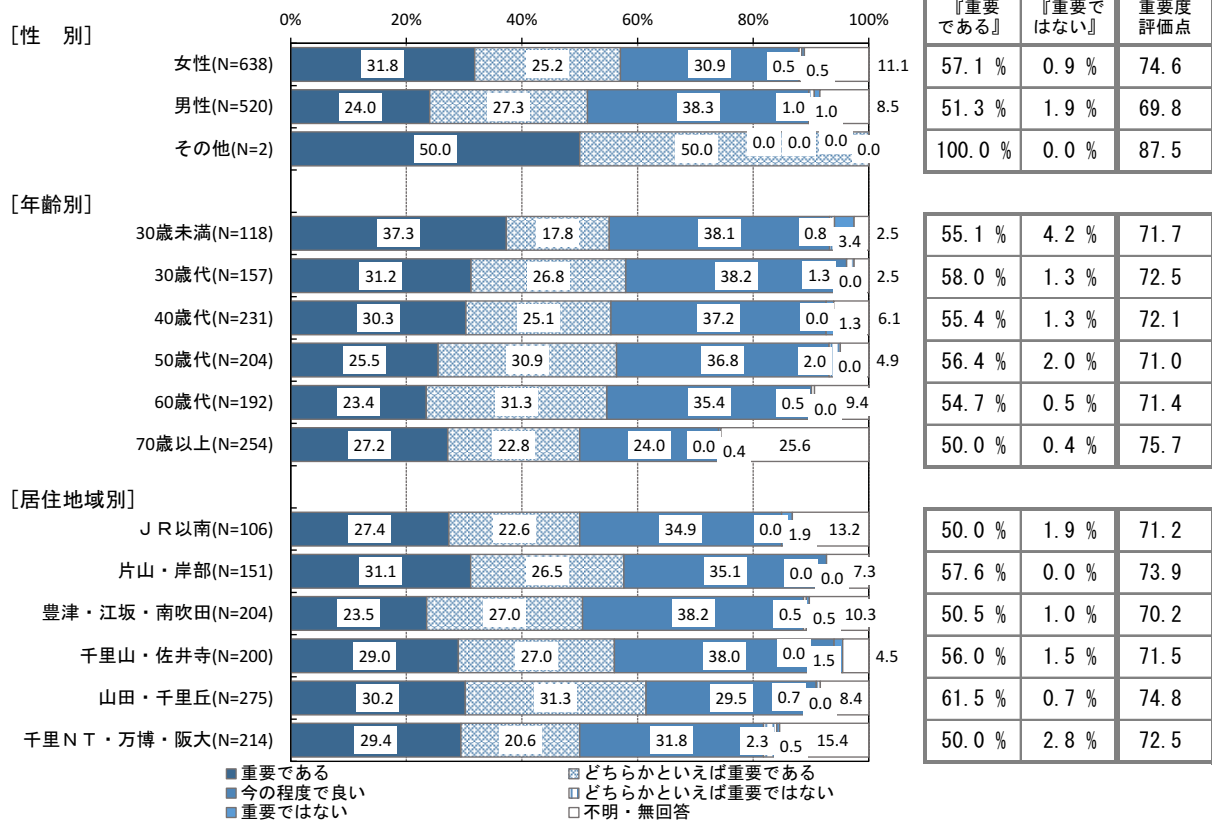
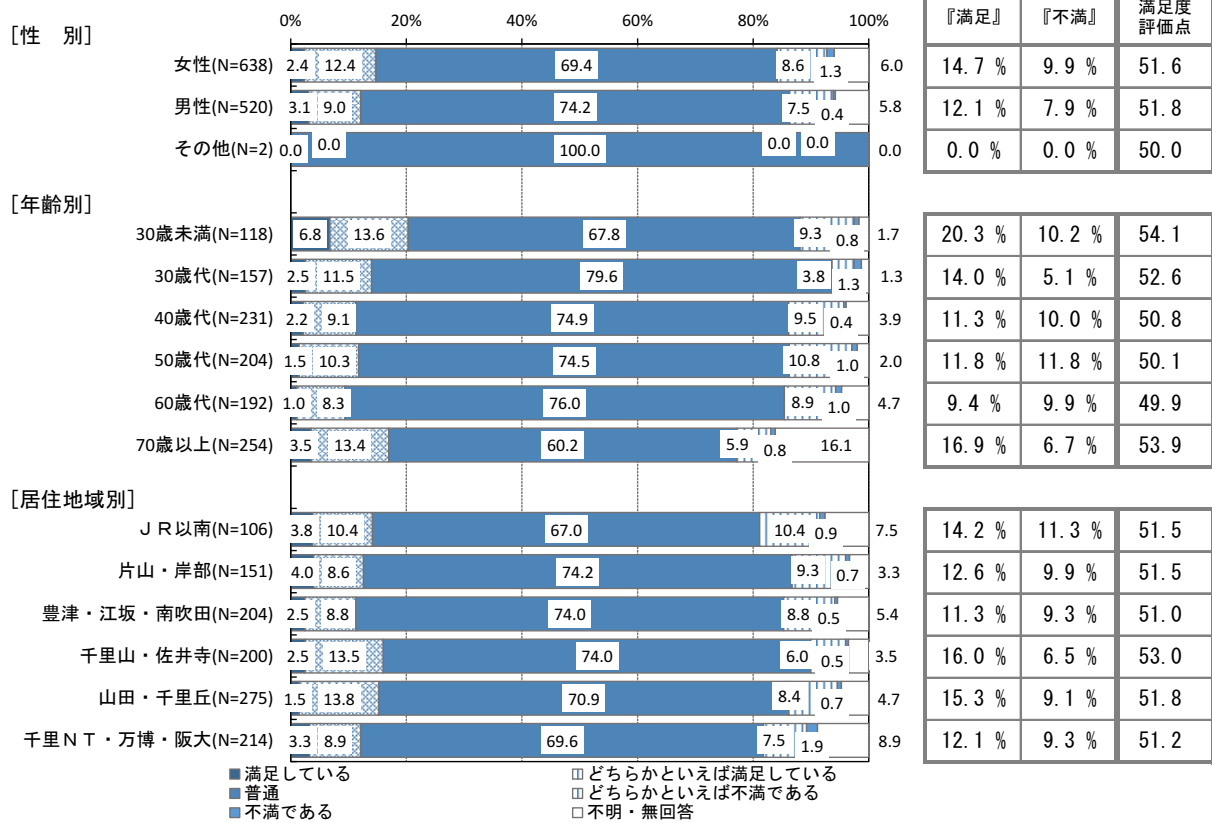


図 3.8.54 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度②

25. 生涯学習に関する環境【満足度】



25. 生涯学習に関する環境【重要度】

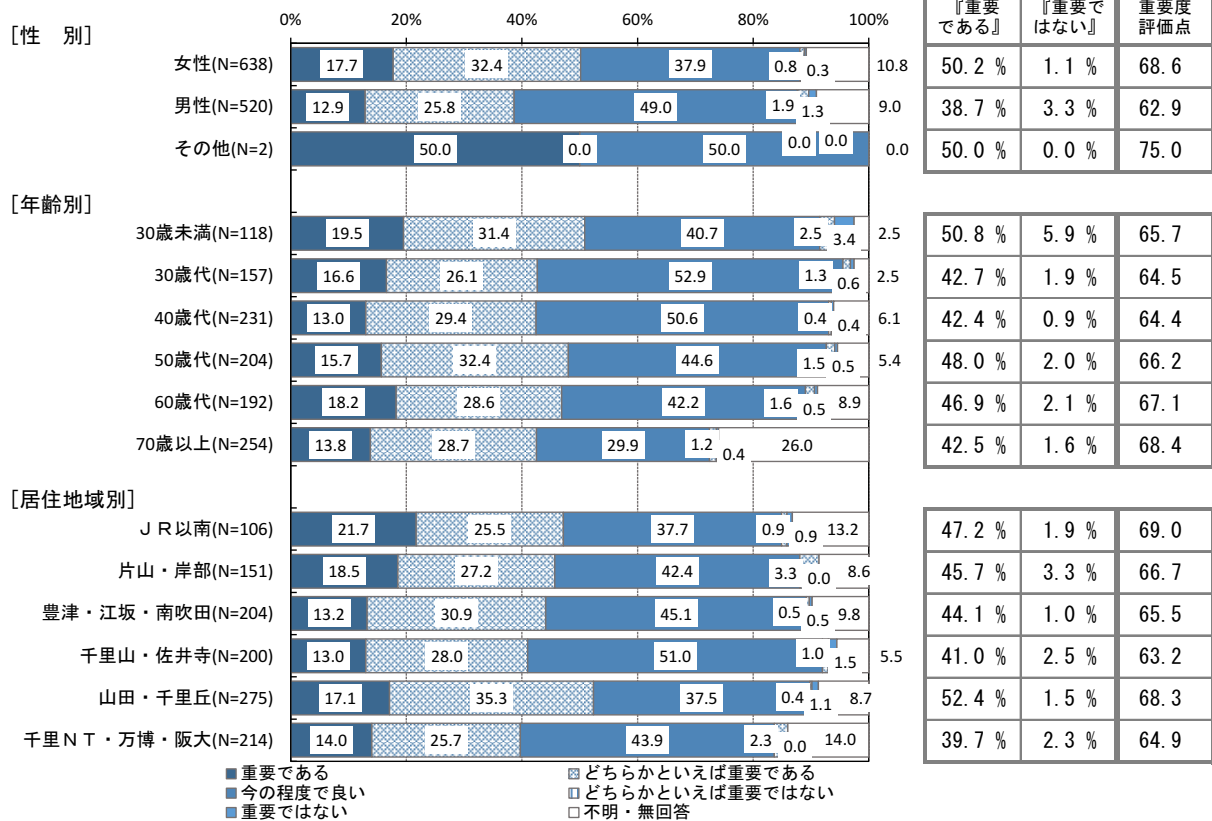
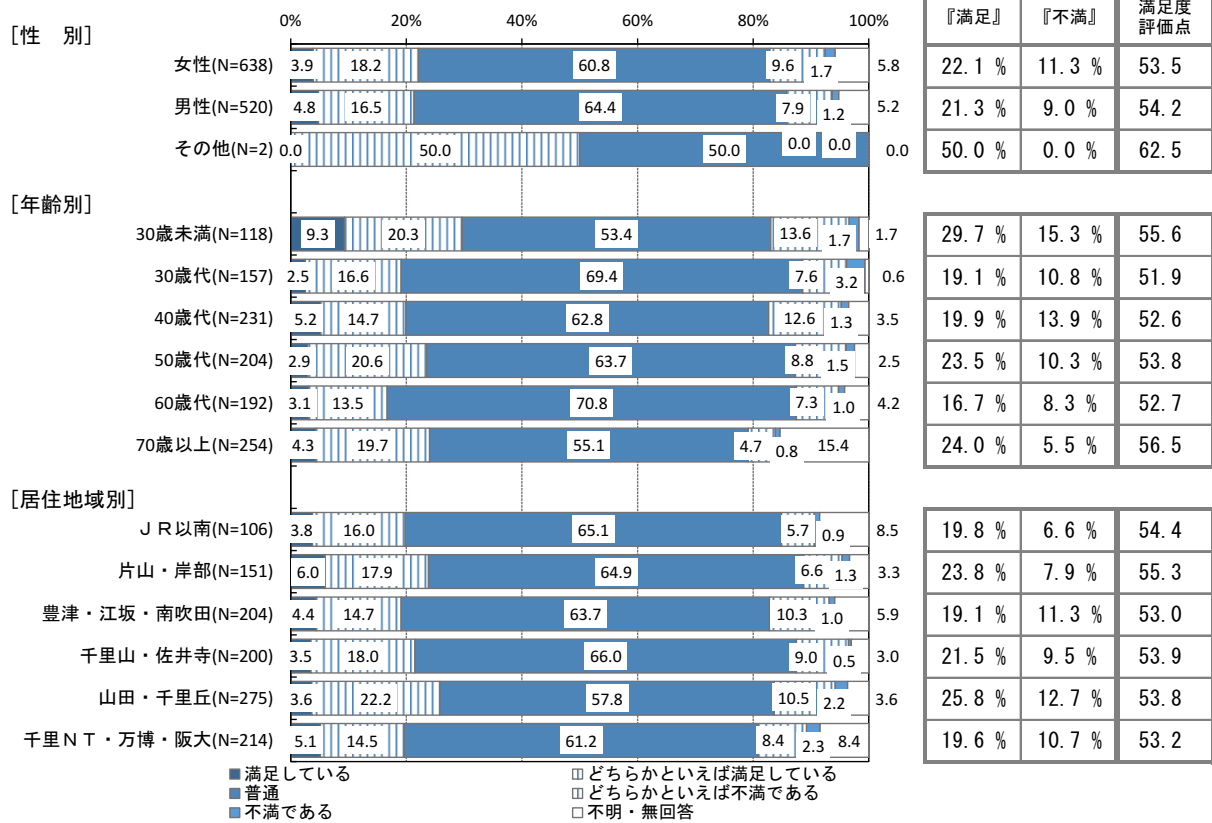


図 3.8.55 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度③

26. スポーツを親しめる環境【満足度】



26. スポーツを親しめる環境【重要度】

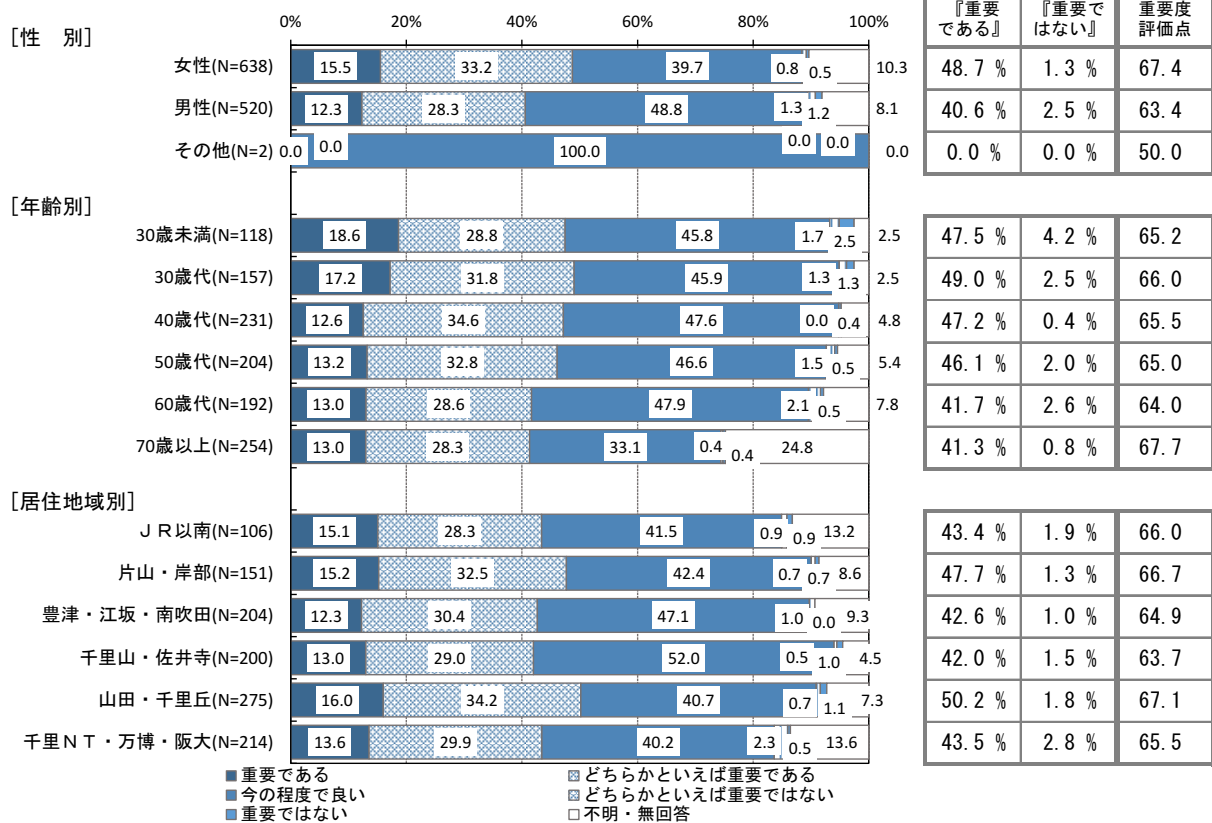
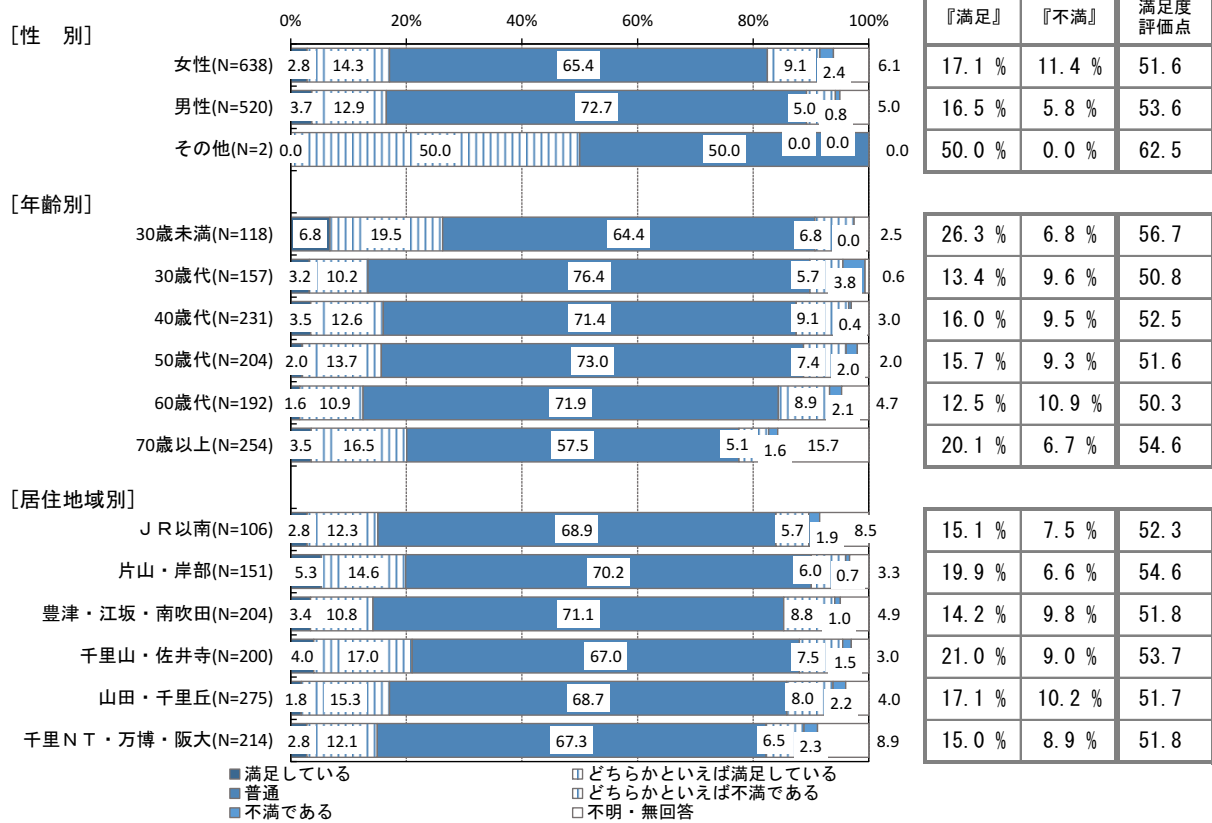


図 3.8.56 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度④

27. 芸術・文化を親しめる環境【満足度】



27. 芸術・文化を親しめる環境【重要度】

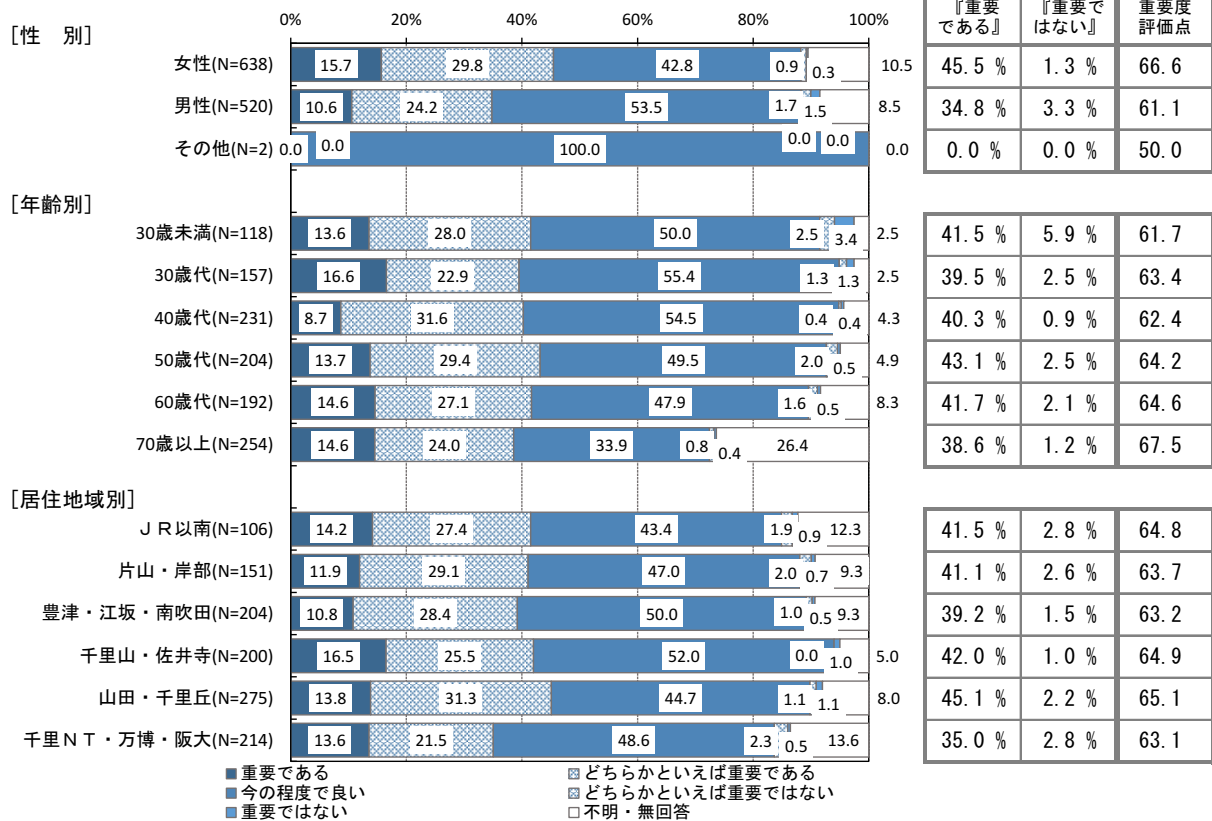
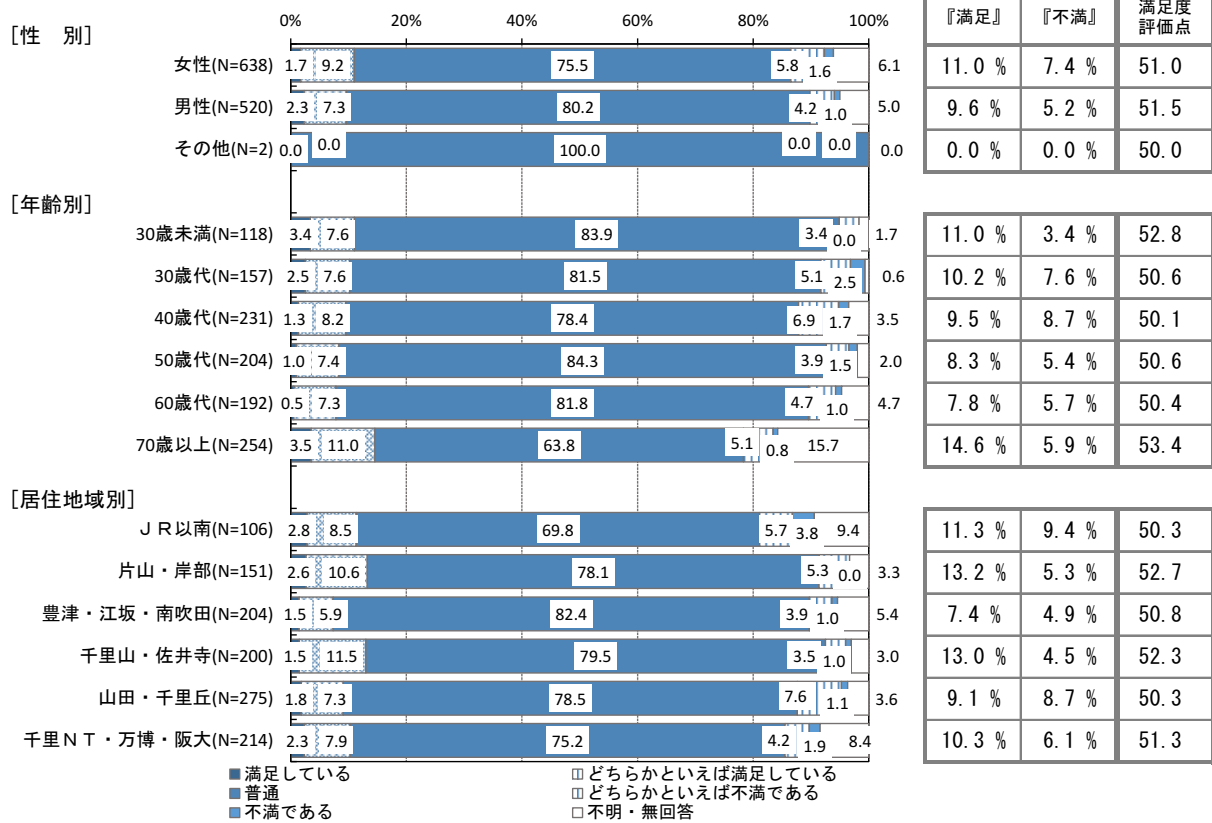


図 3.8.57 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度⑤

28. 特色のある文化や歴史を持つ都市との交流【満足度】



28. 特色のある文化や歴史を持つ都市との交流【重要度】

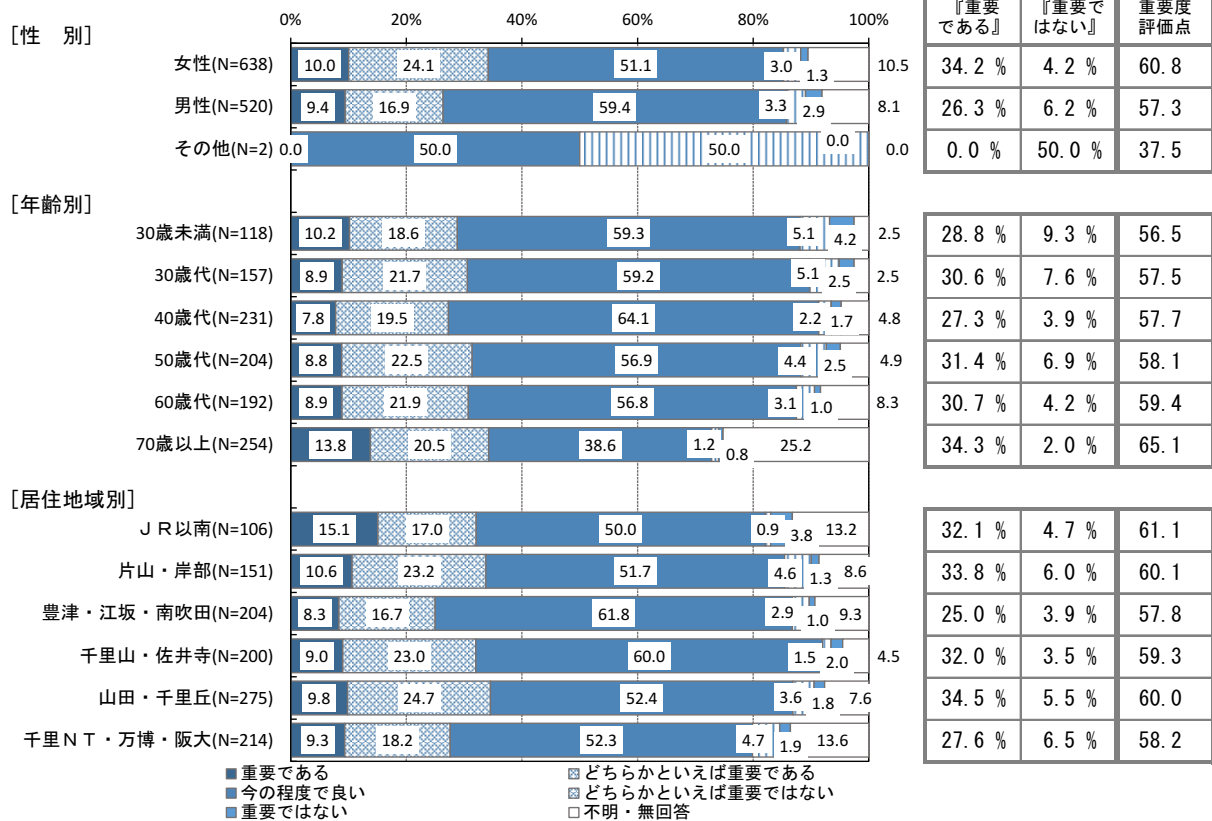
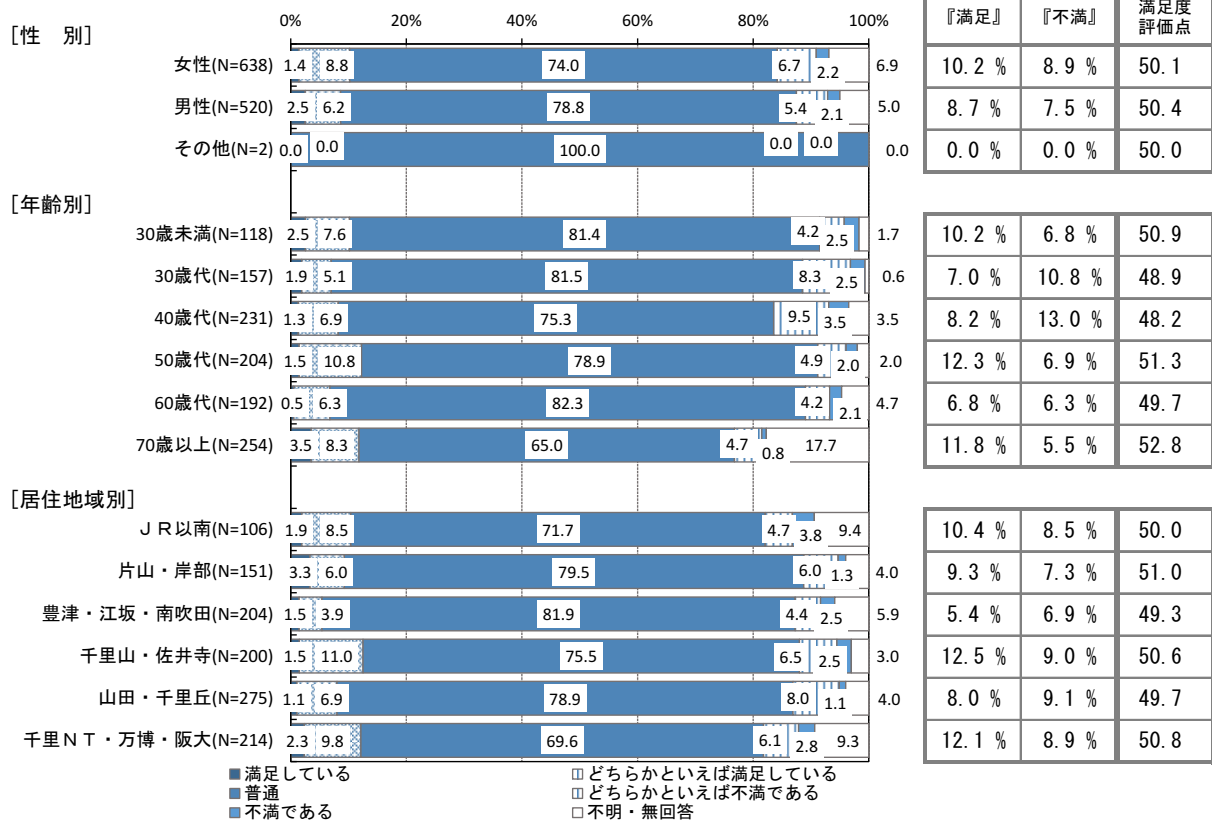


図 3. 58 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度⑥

29. 国際交流活動【満足度】



29. 国際交流活動【重要度】

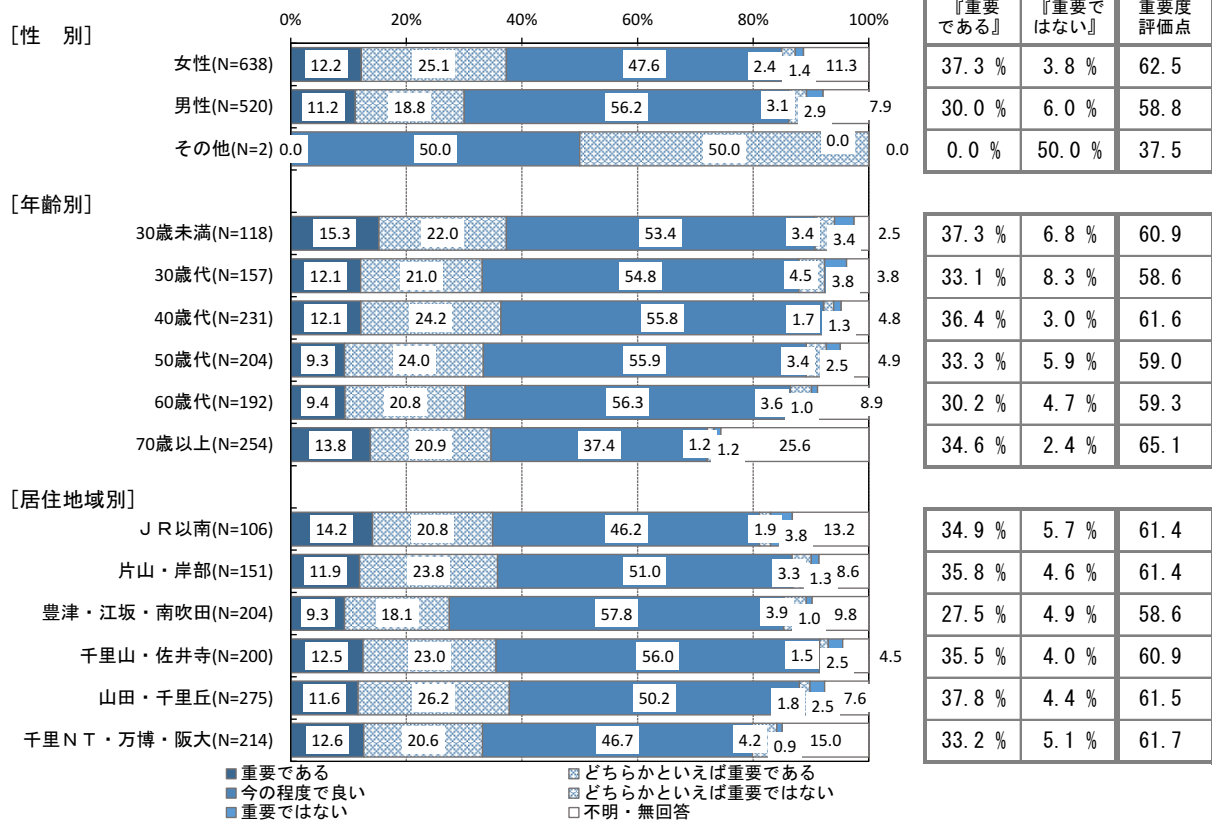
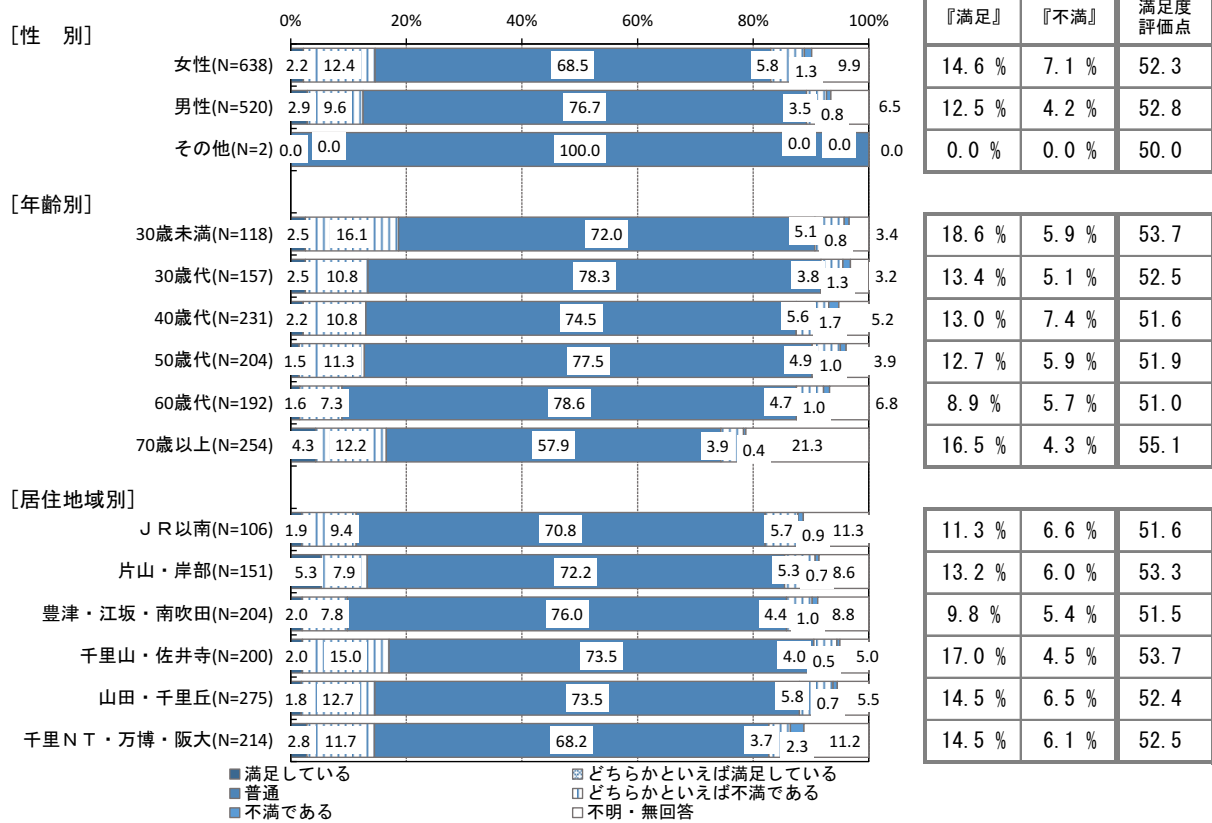


図 3.8.59 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度⑦

30. 項目 23~29 の総合評価【満足度】



30. 項目 23~29 の総合評価【重要度】

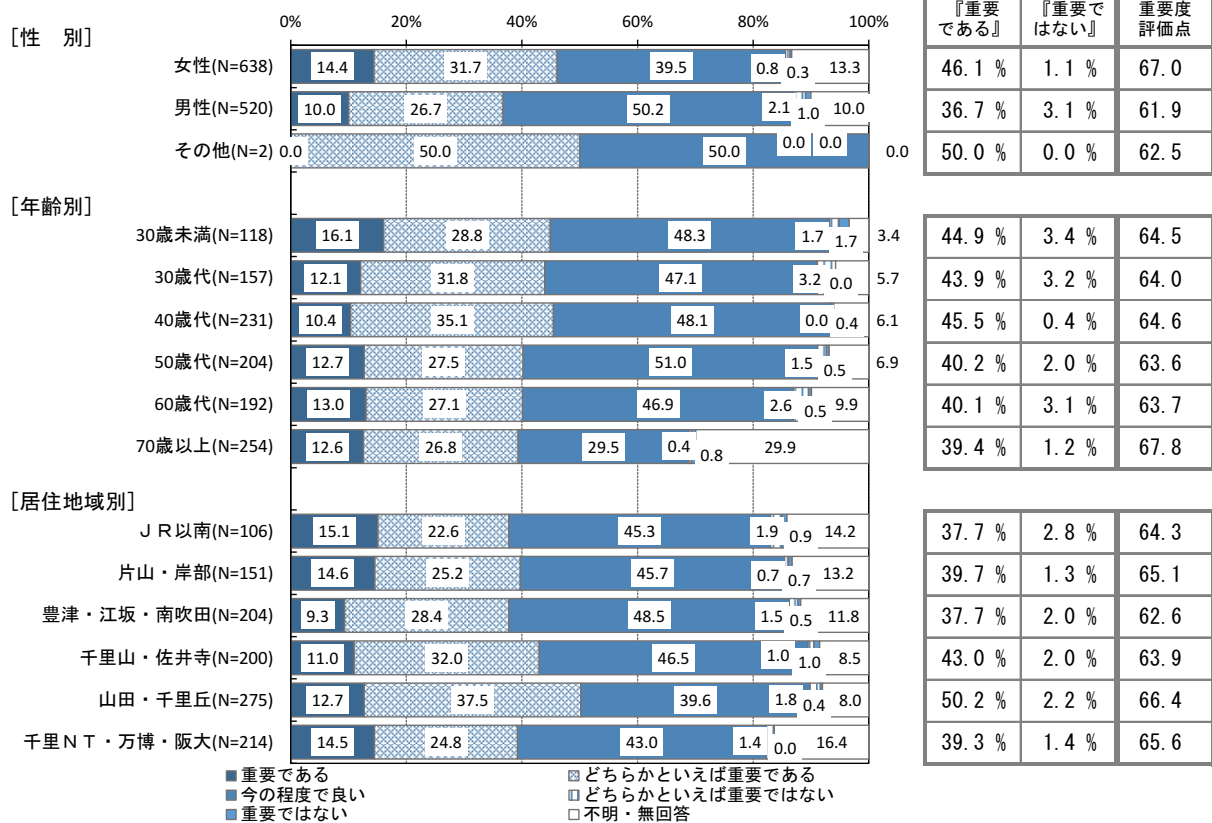
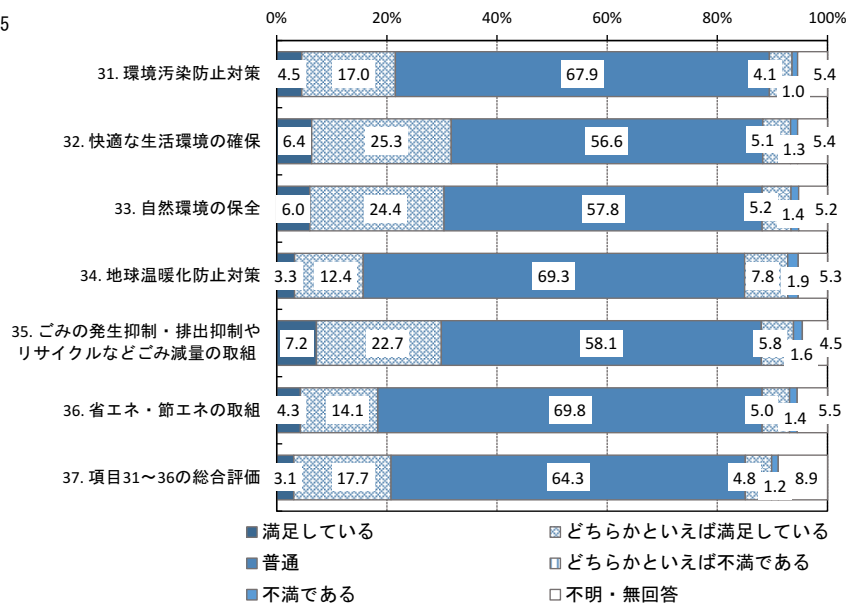


図 3.8.60 性別・年齢別・居住地域別 教育・文化についての満足度・重要度⑧

(2)-5 環境についての満足度・重要度

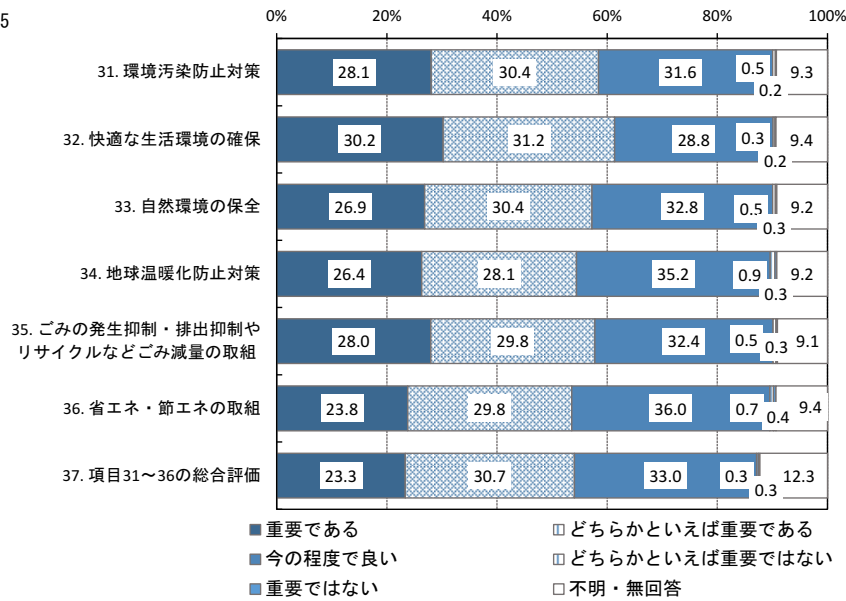
N=1,165



| 『満足』 | 『不満』 | 満足度評価点 |
|--------|-------|--------|
| 21.5 % | 5.2 % | 55.3 |
| 31.7 % | 6.4 % | 58.0 |
| 30.4 % | 6.6 % | 57.5 |
| 15.7 % | 9.7 % | 51.9 |
| 29.9 % | 7.5 % | 57.3 |
| 18.4 % | 6.4 % | 54.0 |
| 20.8 % | 6.0 % | 54.6 |

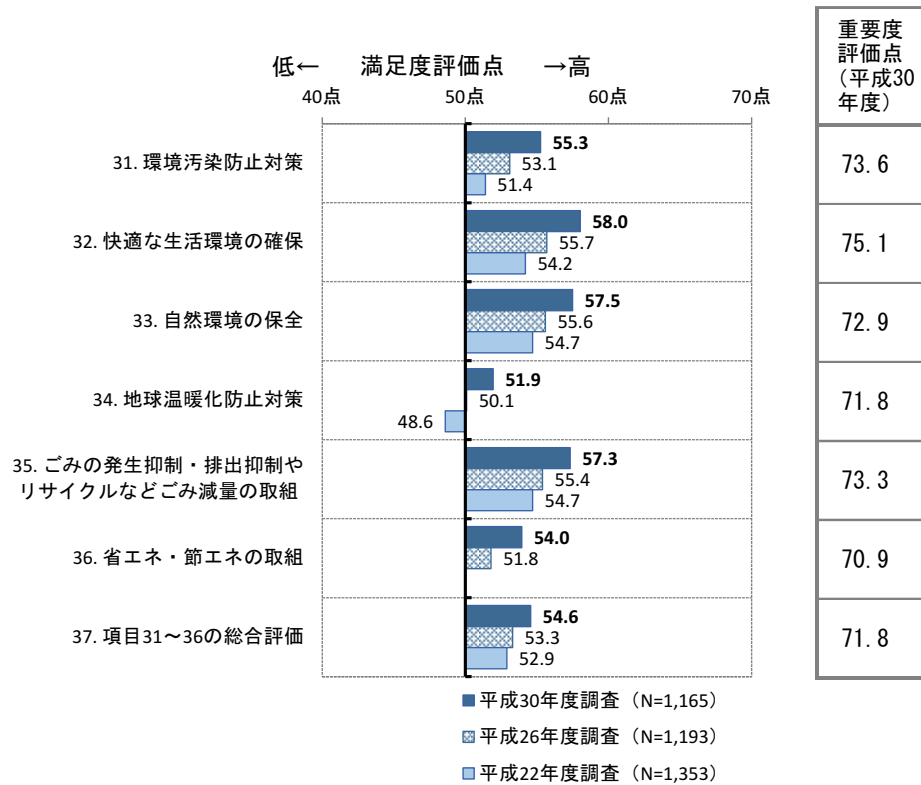
図 3.8.61 環境についての満足度

N=1,165



| 『重要である』 | 『重要ではない』 | 重要度評価点 |
|---------|----------|--------|
| 58.5 % | 0.7 % | 73.6 |
| 61.4 % | 0.5 % | 75.1 |
| 57.3 % | 0.8 % | 72.9 |
| 54.4 % | 1.2 % | 71.8 |
| 57.8 % | 0.8 % | 73.3 |
| 53.6 % | 1.1 % | 70.9 |
| 54.1 % | 0.6 % | 71.8 |

図 3.8.62 環境についての重要度



※「36. 省エネ・節エネの取組」は平成 26 年度から追加

図 3. 8. 63 環境についての満足度評価点の経年比較と重要度評価点

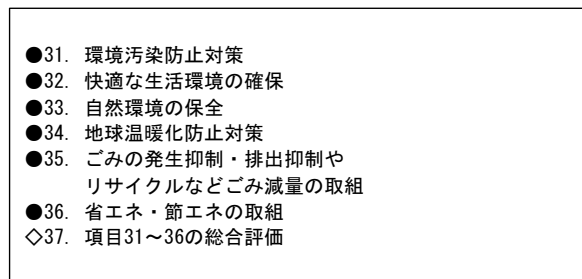
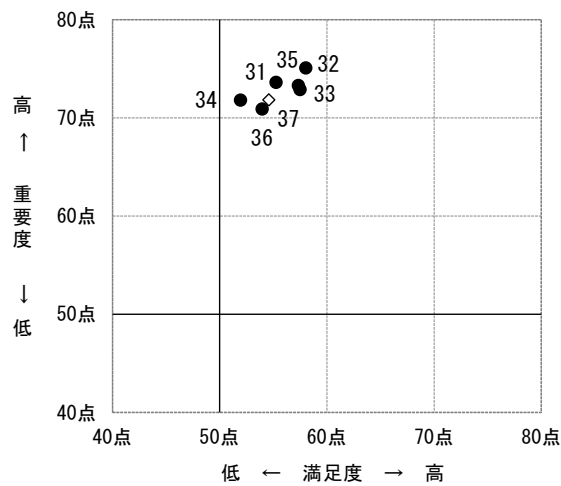


図 3. 8. 64 環境についての満足度と重要度の関係

■満足度

- 環境についての満足度（図3.8.61）は、全項目で「普通」が最も多くなっている。また、全項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高くなっている。特に、《32. 快適な生活環境の確保》（31.7%）、《33. 自然環境の保全》（30.4%）、《35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組》（29.9%）が他の項目と比べて高くなっている。
- 満足度の評価点は、《32. 快適な生活環境の確保》（58.0点）が最も高く、次いで、《33. 自然環境保全》（57.5点）となっている。それ以外の項目もいずれも50点以上となっている。
- 平成26年度調査と比較（図3.8.63）すると、全ての項目で平成26年度調査よりも高くなっている。特に《32. 快適な生活環境の確保》は平成26年度調査より2.3点高くなっている。
- 性別に評価点（図3.8.65～図3.8.71）をみると、女性では《35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組》（57.8点）、男性では《32. 快適な生活環境の確保》（58.7点）が最も高くなっている。
- 年齢別に評価点をみると、《32. 快適な生活環境の確保》、《33. 自然環境の保全》、《36. 省エネ・節エネの取組》は30歳未満、それ以外の項目は70歳以上が最も高くなっている。また、《31. 環境汚染防止対策》（70歳以上59.1点、40歳代52.3点）は年齢層による差が最も大きくなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《36. 省エネ・節エネの取組》は片山・岸部地域、それ以外の項目は千里ニュータウン・万博・阪大地域が最も高くなっている。また、《33. 自然環境の保全》（千里ニュータウン・万博・阪大地域62.6点、J R以南地域51.5点）、《32. 快適な生活環境の確保》（千里ニュータウン・万博・阪大地域62.1点、J R以南地域53.6点）は地域による差が大きくなっている。

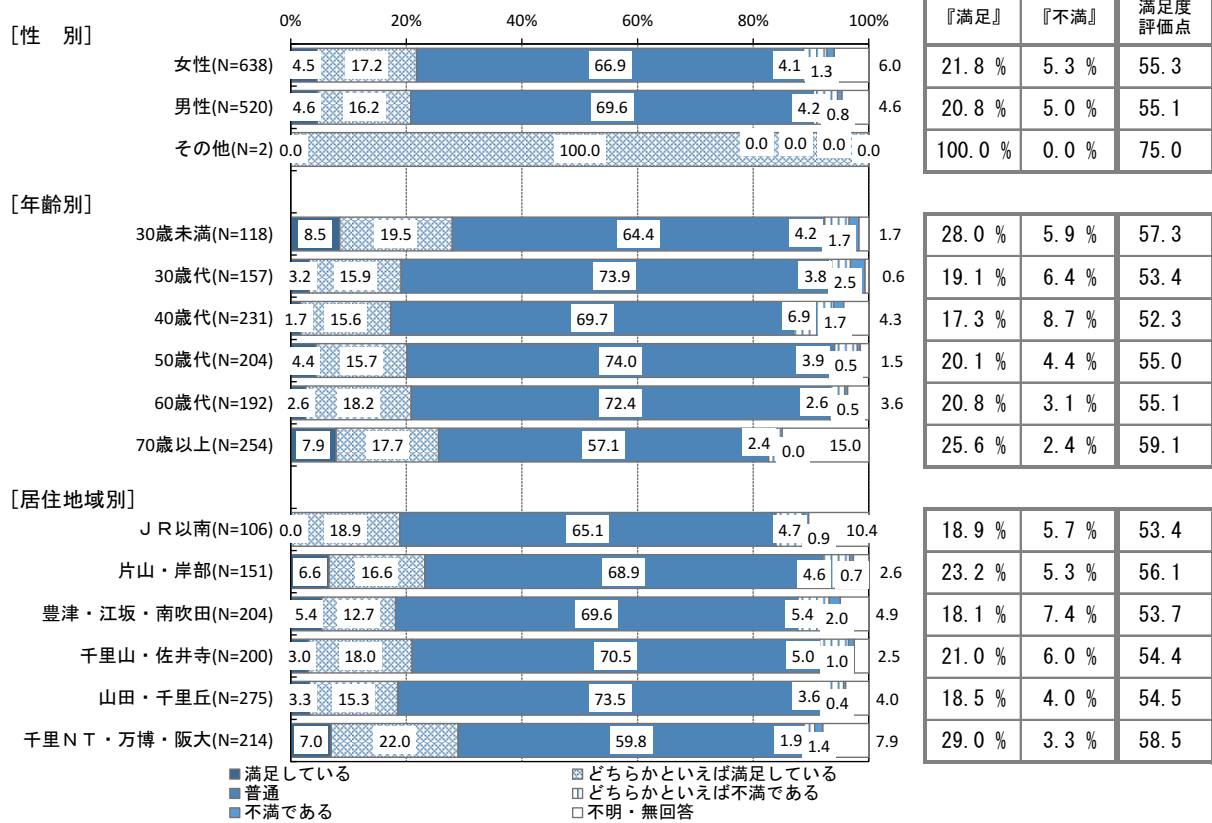
■重要度

- 環境についての重要度（図3.8.62）は、全項目で『重要である』が5割以上となっている。
- 重要度の評価点は、全項目で70点以上と高くなっている。特に、《32. 快適な生活環境の確保》（75.1点）、《31. 環境汚染防止対策》（73.6点）、《35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組》（73.3点）で評価点が高くなっている。
- 性別に評価点（図3.8.65～図3.8.71）をみると、女性・男性ともに《32. 快適な生活環境の確保》が最も高くなっている。また、全項目で男性より女性の方が評価点が高く、特に《35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組》（女性74.8点、男性69.3点）、《34. 地球温暖化防止対策》（女性74.6点、男性68.3点）は差が大きくなっている。
- 年齢別に評価点をみると、全項目で70歳以上が最も高くなっている。また、《34. 地球温暖化防止対策》（70歳以上78.5点、30歳未満66.1点）は年齢層による差が最も大きくなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《33. 自然環境の保全》（千里ニュータウン・万博・阪大地域74.5点、片山・岸部地域71.3点）、《34. 地球温暖化防止対策》（片山・岸部地域73.4点、豊津・江坂・南吹田地域70.2点）、《36. 省エネ・節エネの取組》（J R以南地域73.1点、豊津・江坂・南吹田地域69.9点）は地域による差が大きくなっている。

■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.8.64）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《34.地球温暖化防止対策》（満足度51.9点、重要度71.8点、差19.9点）、《31.環境汚染防止対策》（満足度55.3点、重要度73.6点、差18.3点）となっている。

31. 環境汚染防止対策【満足度】



31. 環境汚染防止対策【重要度】

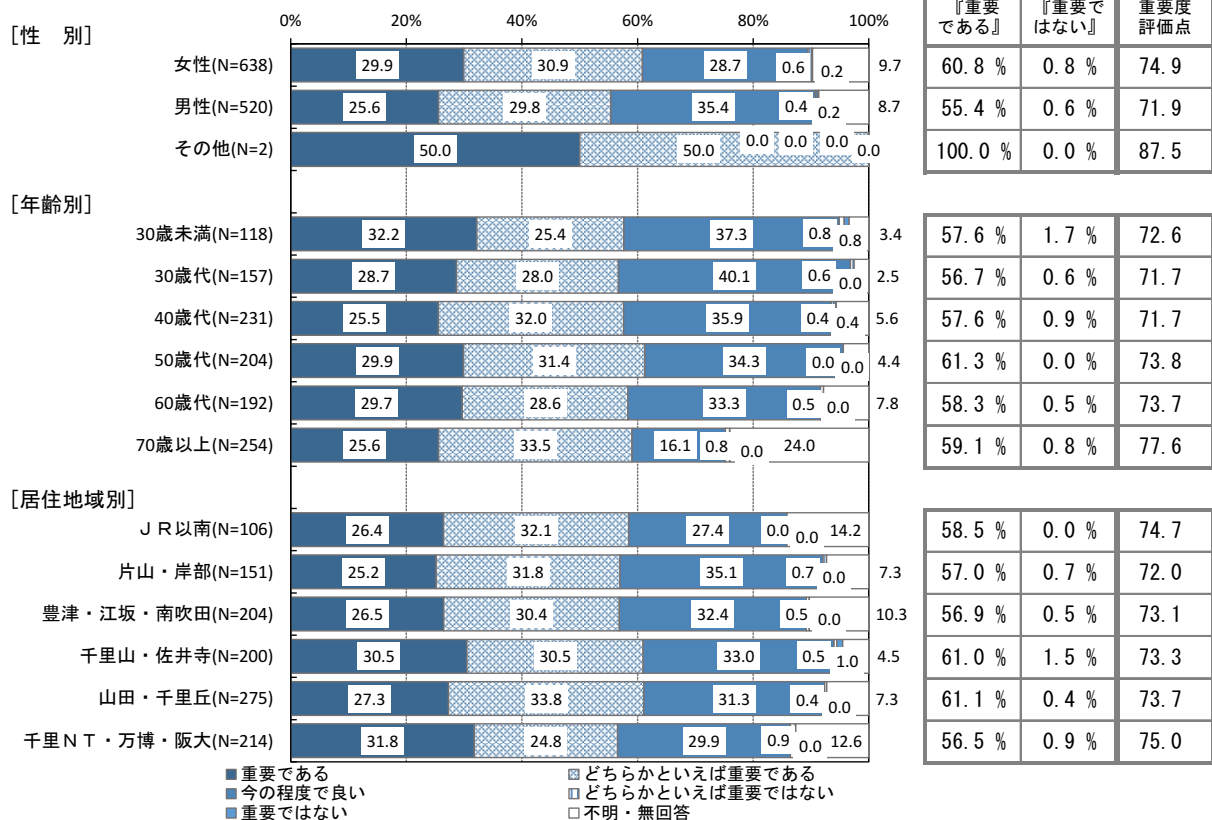
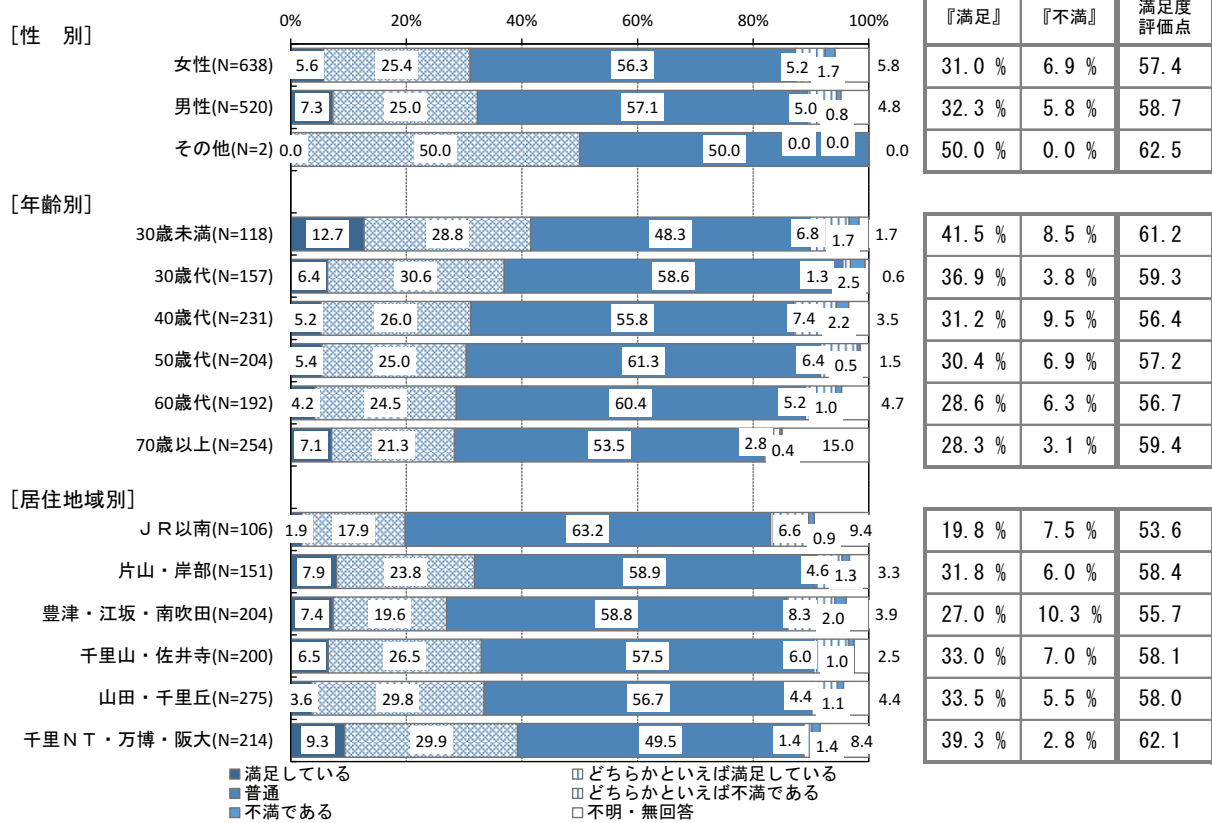


図 3.8.65 性別・年齢別・居住地域別 環境についての満足度・重要度①

32. 快適な生活環境の確保【満足度】



32. 快適な生活環境の確保【重要度】

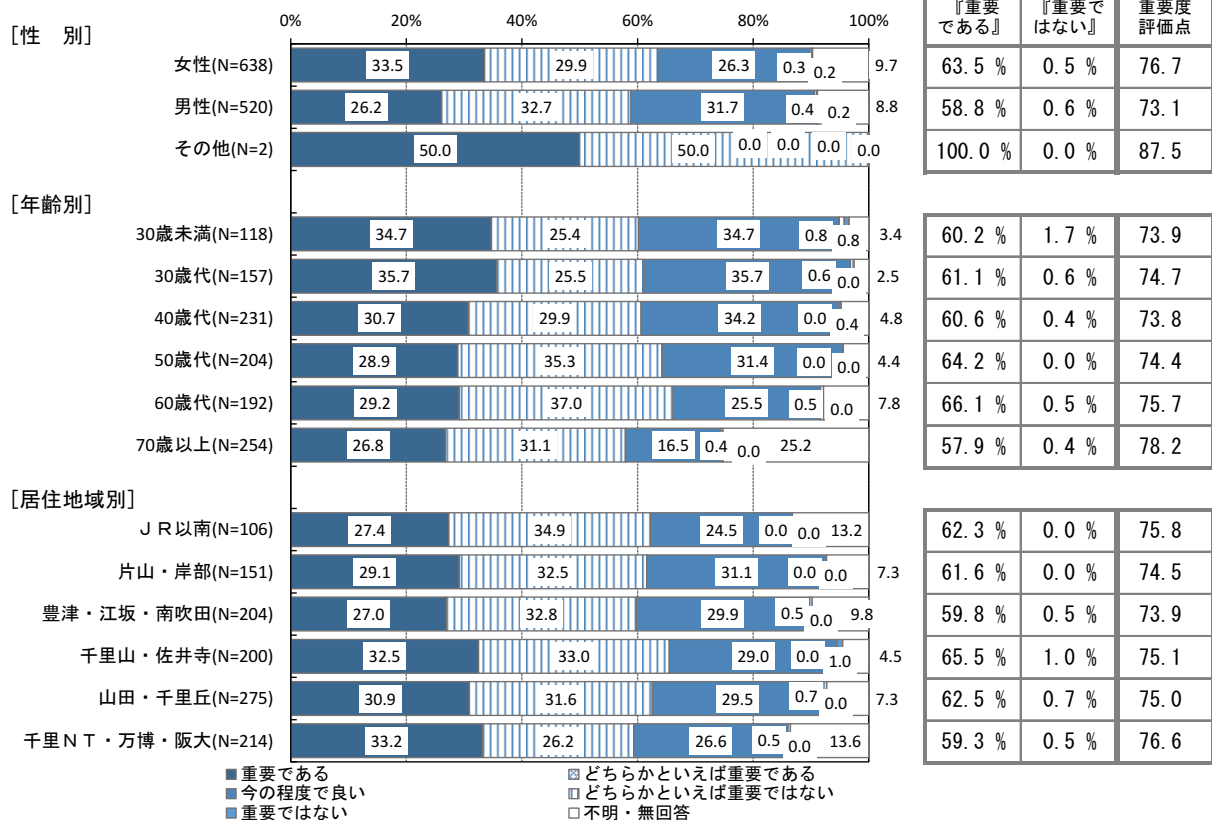
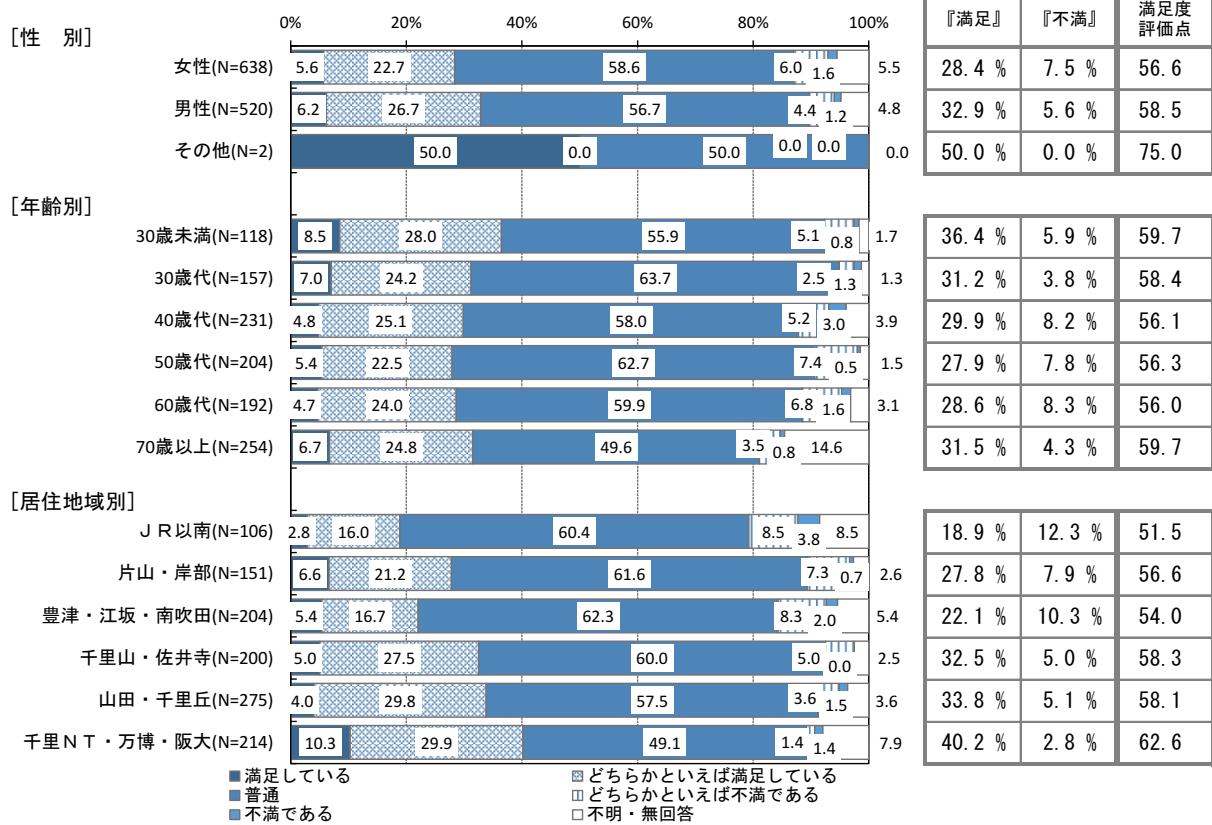


図 3. 8. 66 性別・年齢別・居住地域別 環境についての満足度・重要度②

33. 自然環境の保全【満足度】



33. 自然環境の保全【重要度】

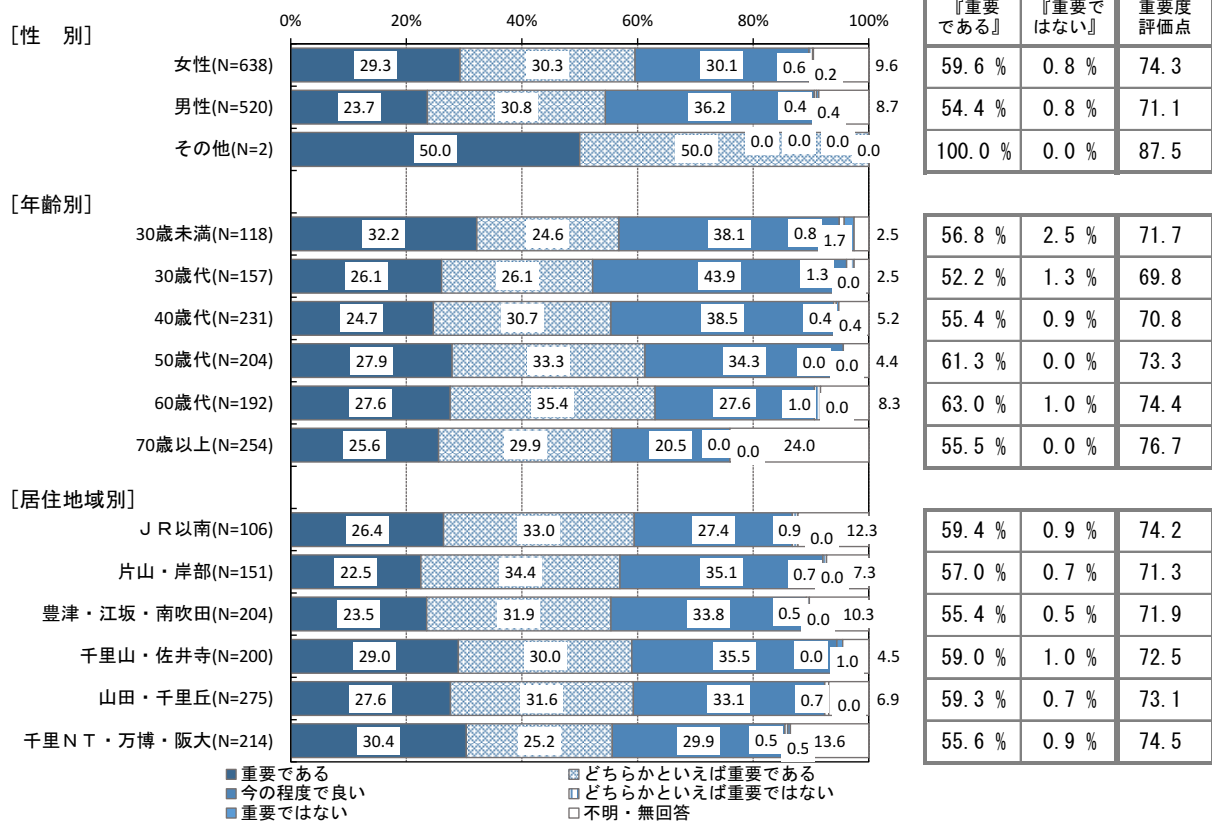
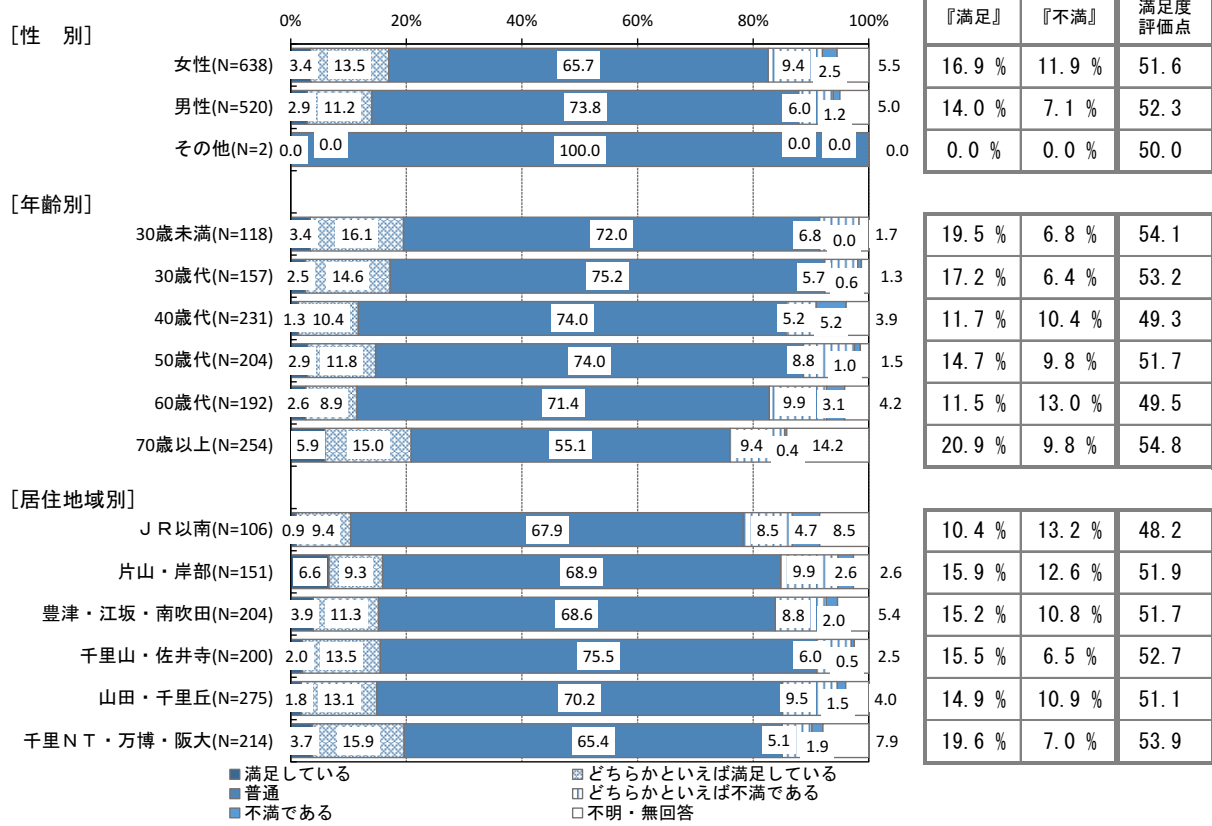


図 3.8.67 性別・年齢別・居住地域別 環境についての満足度・重要度③

34. 地球温暖化防止対策【満足度】



34. 地球温暖化防止対策【重要度】

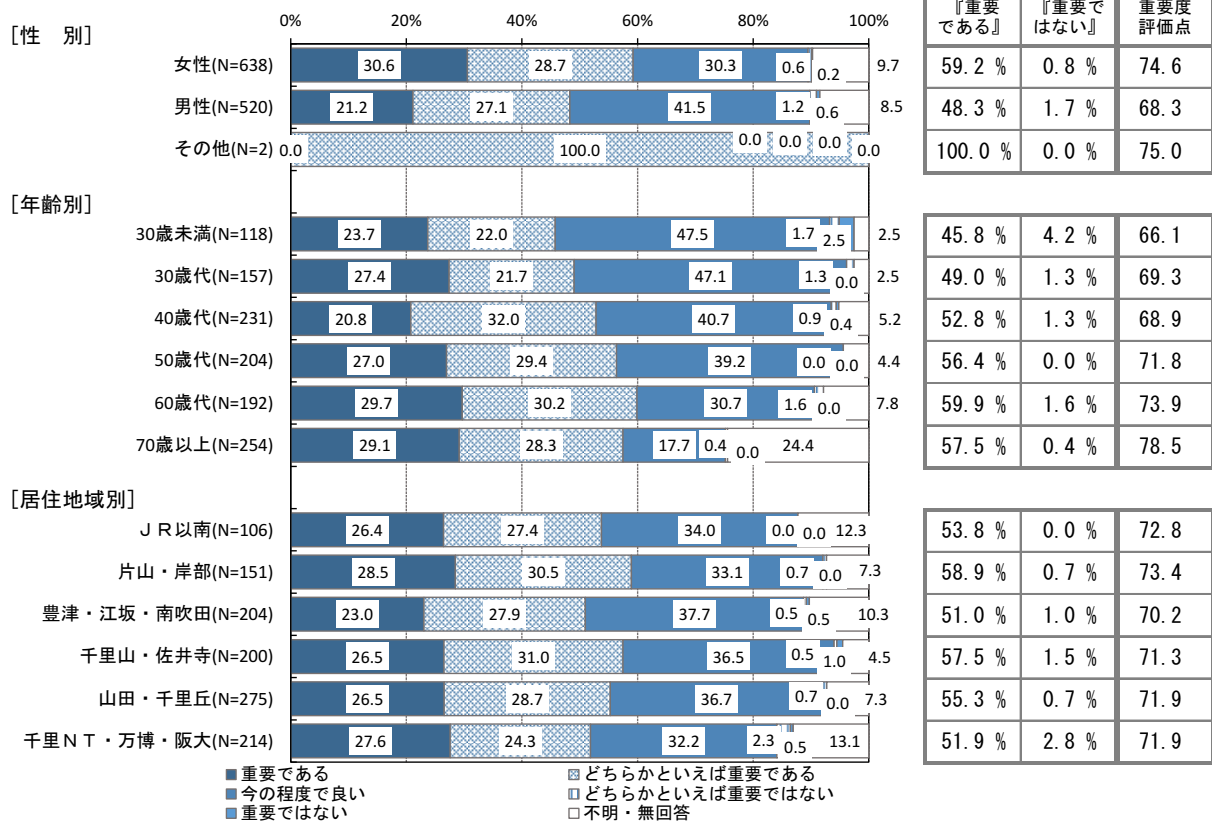
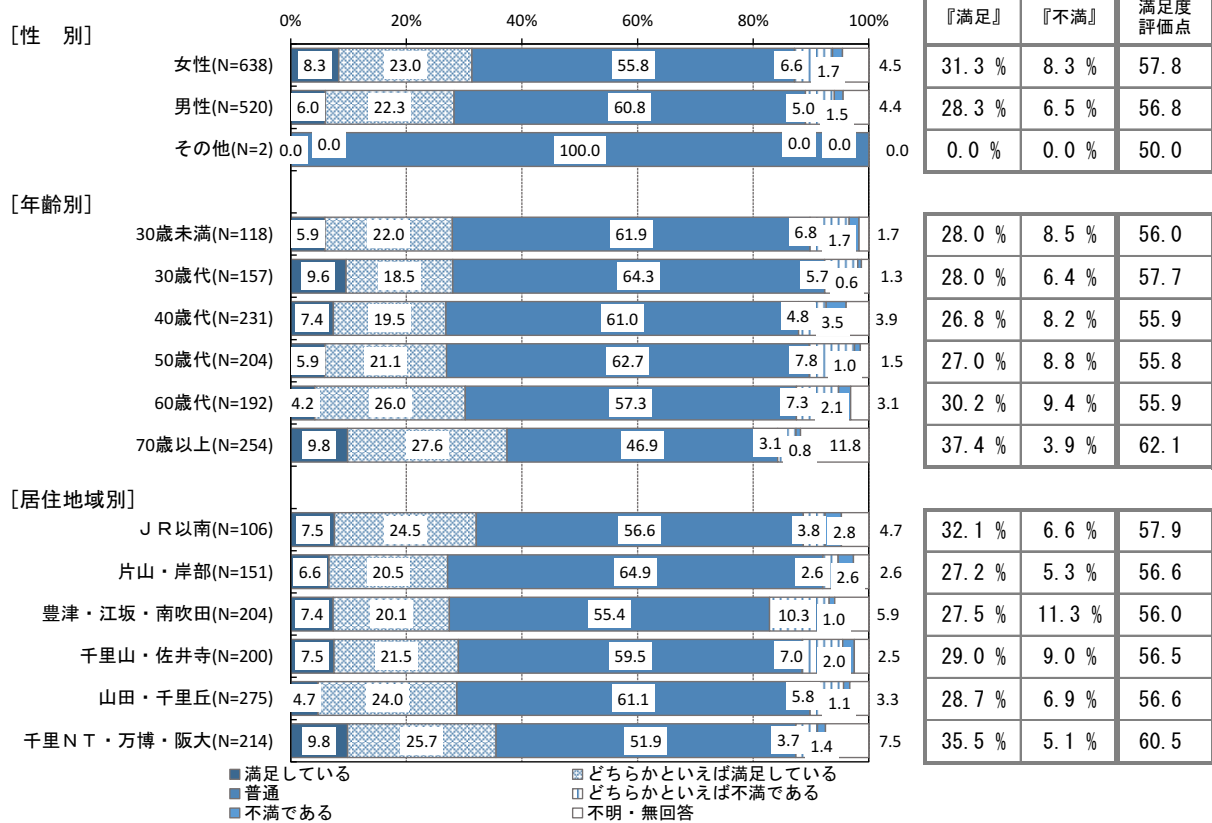


図 3. 8. 68 性別・年齢別・居住地域別 環境についての満足度・重要度④

35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組【満足度】



35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組【重要度】

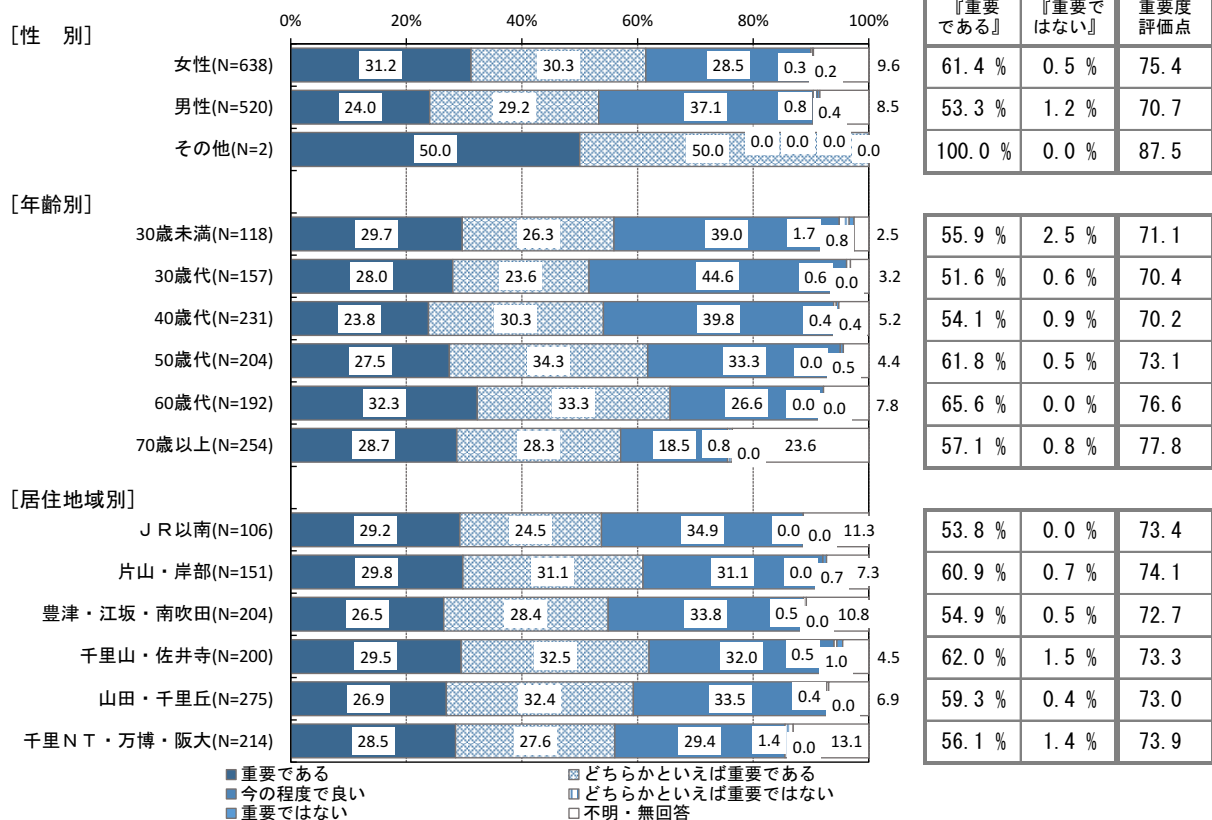
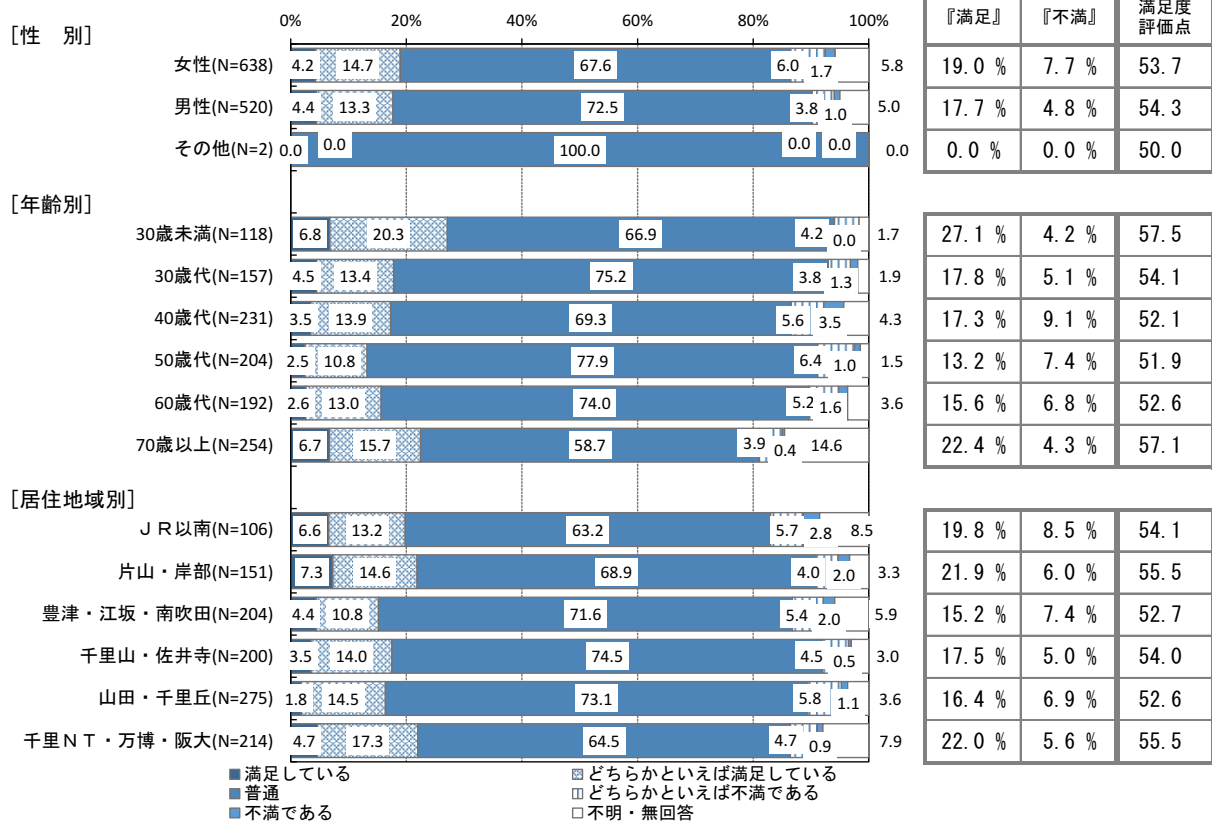


図 3. 8. 69 性別・年齢別・居住地域別 環境についての満足度・重要度⑤

36. 省エネ・節エネの取組【満足度】



36. 省エネ・節エネの取組【重要度】

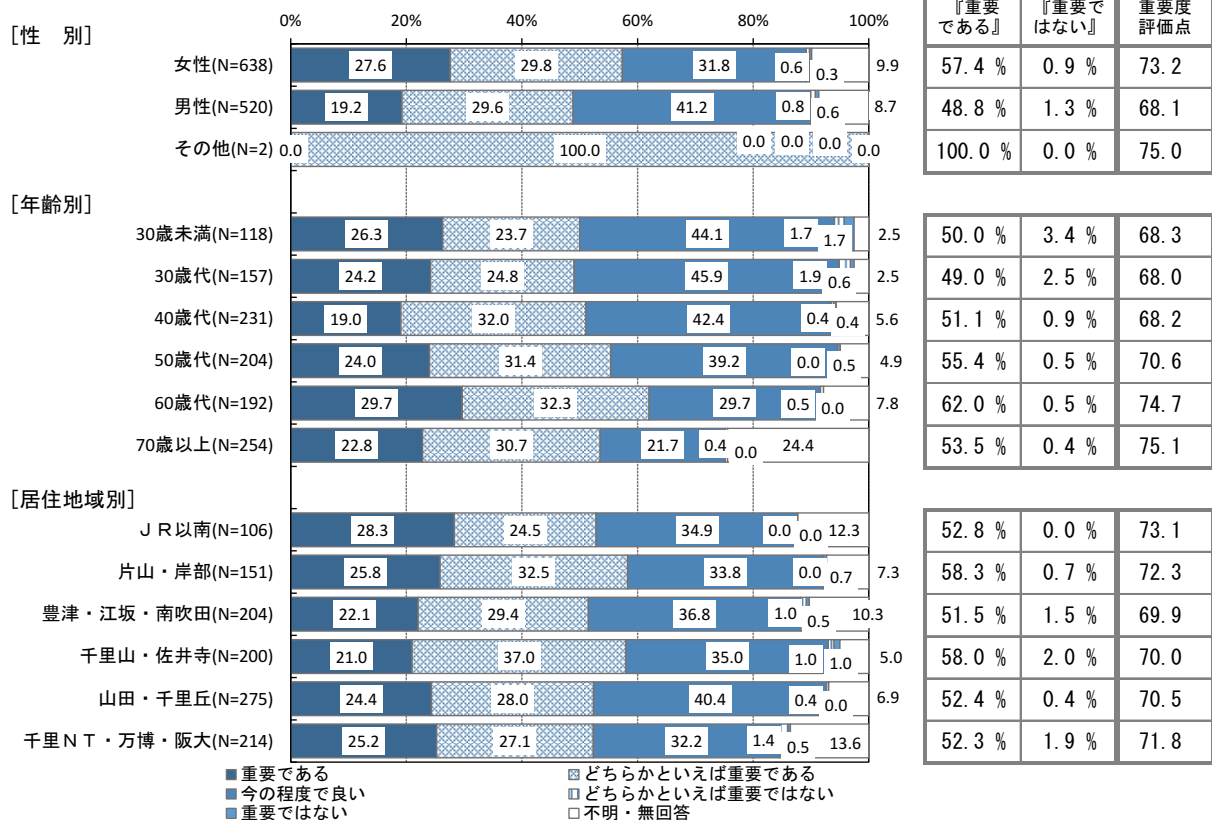
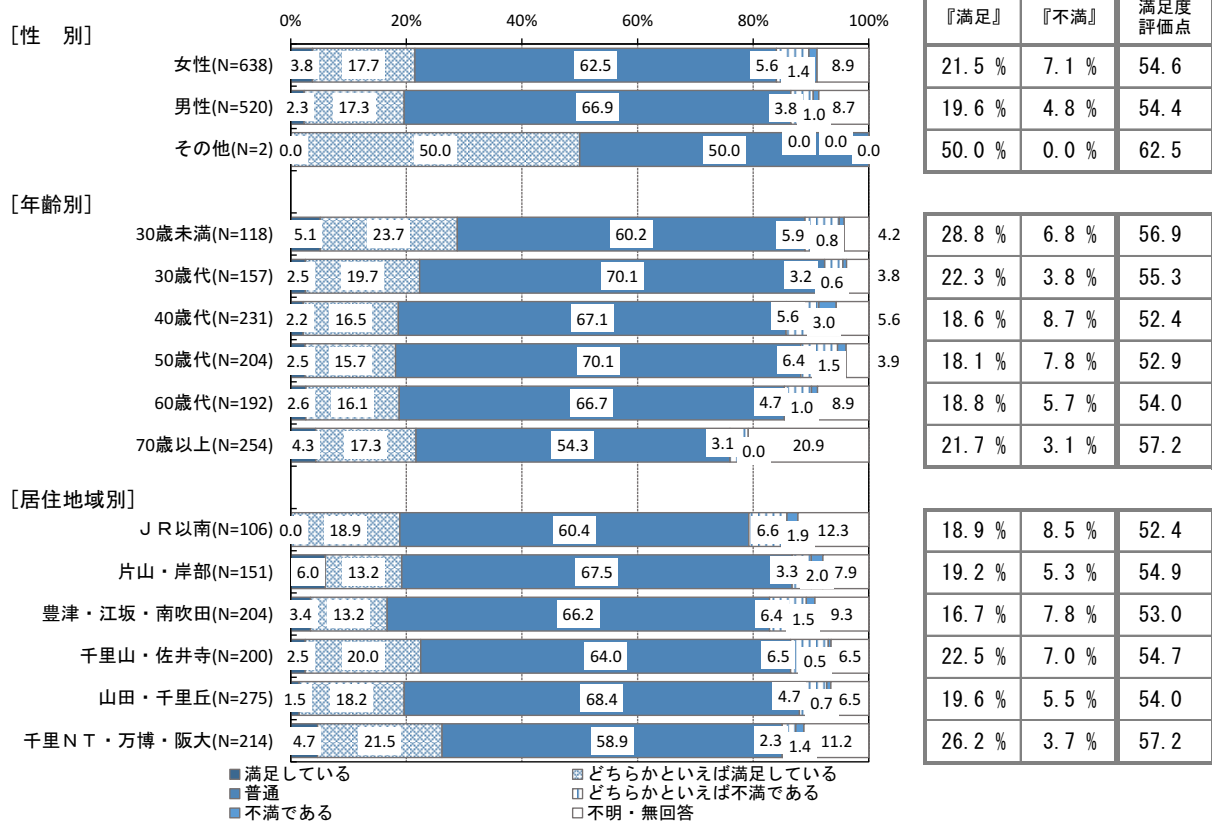


図 3.8.70 性別・年齢別・居住地域別 環境についての満足度・重要度⑥

37. 項目 31～36 の総合評価【満足度】



37. 項目 31～36 の総合評価【重要度】

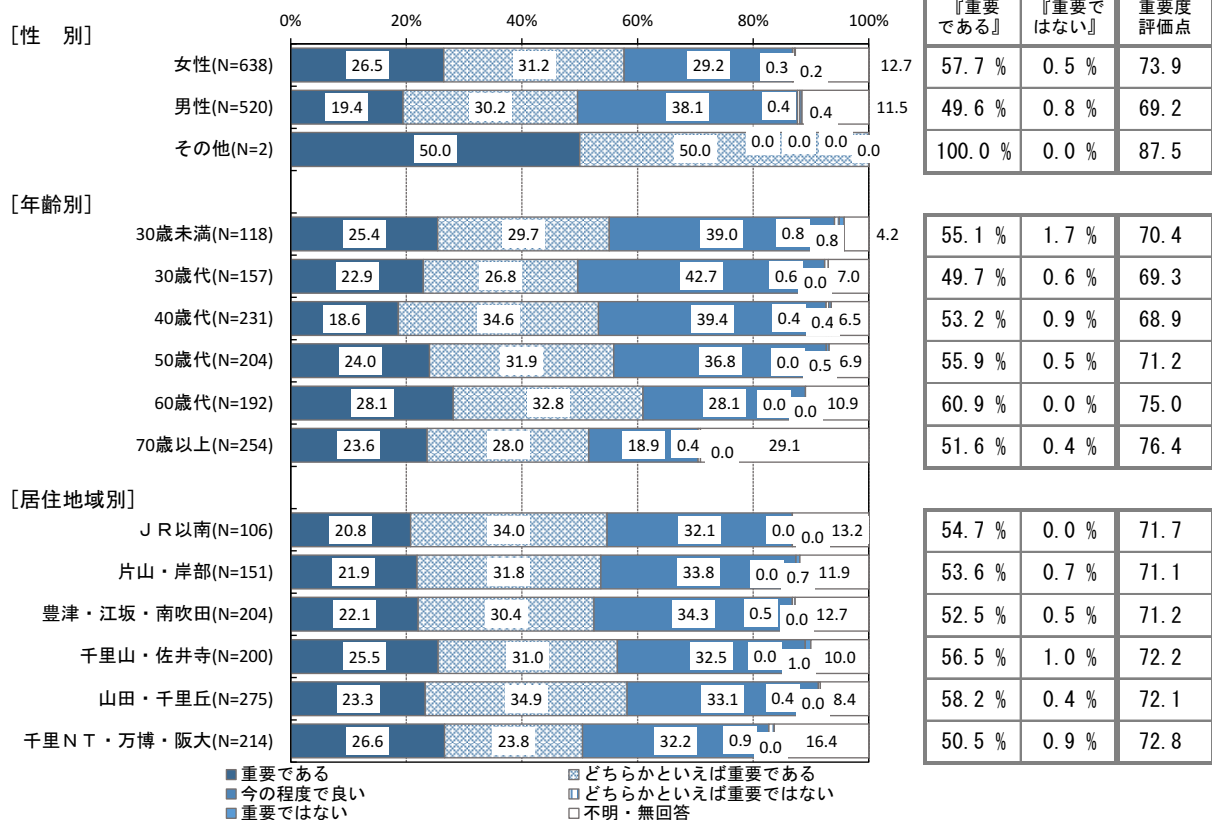
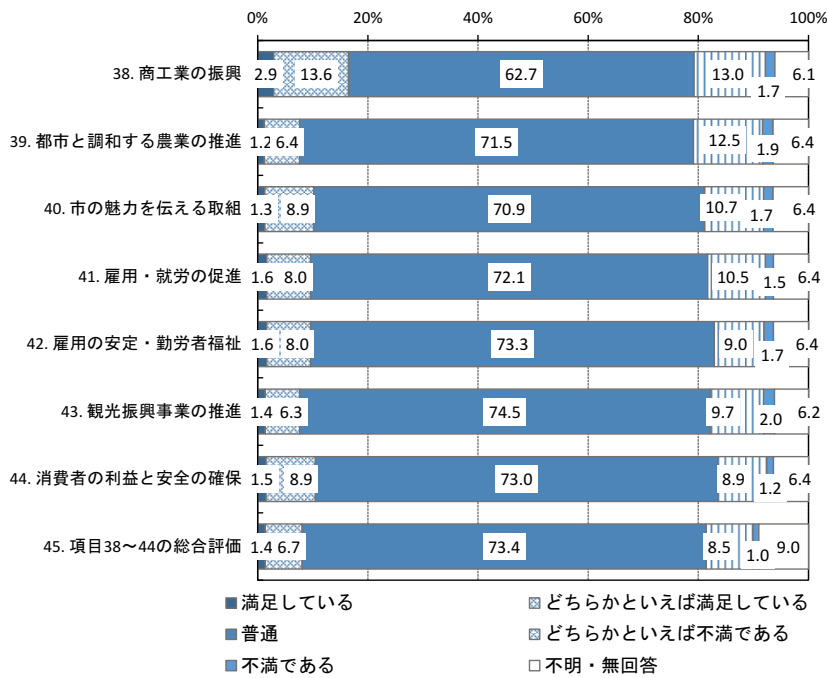


図 3. 8. 71 性別・年齢別・居住地域別 環境についての満足度・重要度⑦

(2)-6 にぎわいについての満足度・重要度

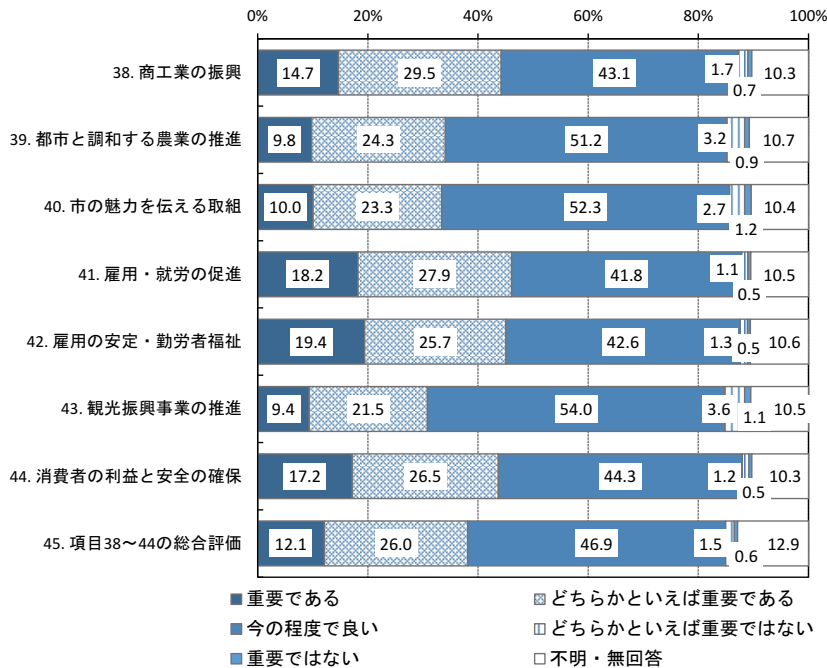
N=1,165



| 『満足』 | 『不満』 | 満足度 評価点 |
|--------|--------|------------|
| 16.5 % | 14.7 % | 50.8 |
| 7.6 % | 14.4 % | 48.0 |
| 10.2 % | 12.4 % | 49.3 |
| 9.6 % | 11.9 % | 49.4 |
| 9.6 % | 10.7 % | 49.7 |
| 7.6 % | 11.7 % | 48.8 |
| 10.5 % | 10.1 % | 50.2 |
| 8.1 % | 9.5 % | 49.7 |

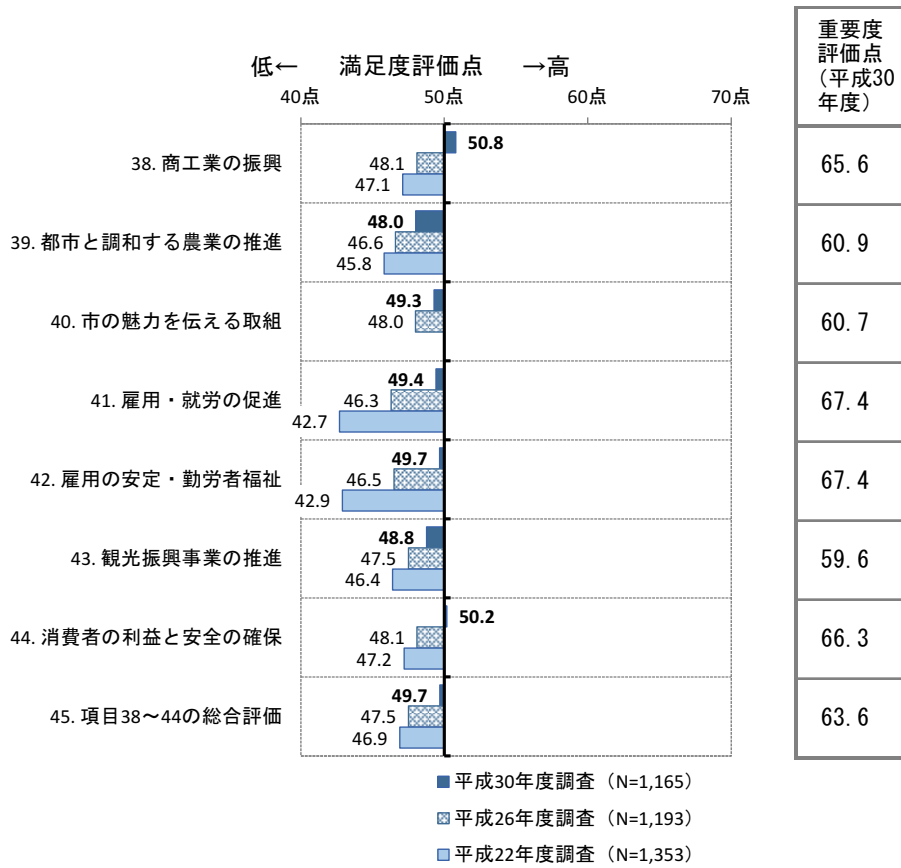
図 3.8.72 にぎわいについての満足度

N=1,165



| 『重要である』 | 『重要ではない』 | 重要度 評価点 |
|---------|----------|------------|
| 44.2 % | 2.4 % | 65.6 |
| 34.1 % | 4.0 % | 60.9 |
| 33.4 % | 3.9 % | 60.7 |
| 46.1 % | 1.6 % | 67.4 |
| 45.1 % | 1.8 % | 67.4 |
| 30.8 % | 4.7 % | 59.6 |
| 43.7 % | 1.7 % | 66.3 |
| 38.1 % | 2.1 % | 63.6 |

図 3.8.73 にぎわいについての重要度



※「40. 市の魅力を伝える取組」は平成 26 年度から追加

図 3.8.74 にぎわいについての満足度評価点の経年比較と重要度評価点

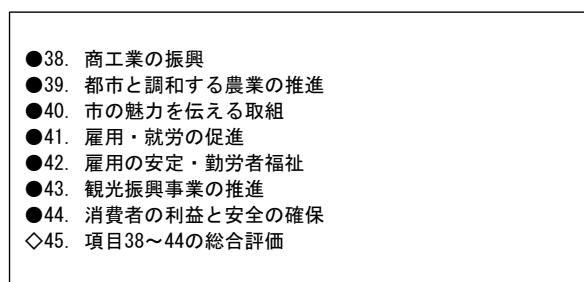
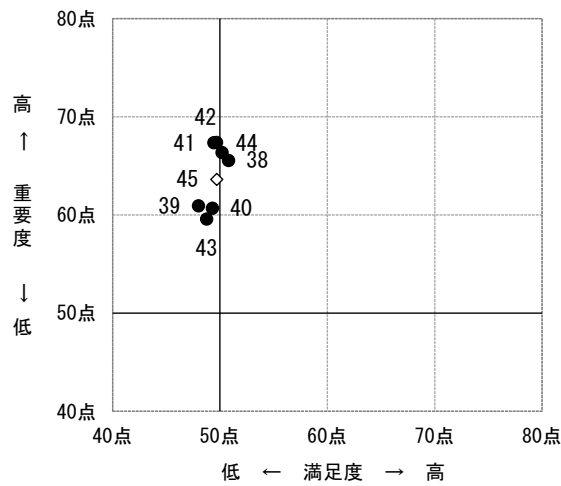


図 3.8.75 にぎわいについての満足度と重要度の関係

■満足度

- にぎわいについての満足度（図3.8.72）は、全項目で「普通」が6～7割を占めている。また、《38. 商工業の振興》、《44. 消費者の利益と安全の確保》以外の項目で『不満』の方が『満足』に比べ割合が高くなっている。
- 満足度の評価点は、《38. 商工業の振興》（50.8点）が最も高いが、8項目中6項目で評価点が50点未満となっている。
- 平成26年度調査と比較（図3.8.74）すると、全項目で平成26年度調査よりも高くなっている。
- 性別に評価点（図3.8.76～図3.8.83）をみると、女性・男性ともに《38. 商工業の振興》が最も高く、《39. 都市と調和する農業の推進》が最も低くなっている。
- 年齢別に評価点をみると、《40. 市の魅力を伝える取組》、《43. 観光振興事業の推進》以外の項目で60歳代が最も低くなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《41. 雇用・就労の促進》、《44. 消費者の利益と安全の確保》以外の項目で豊津・江坂・南吹田地域が最も高くなっている。

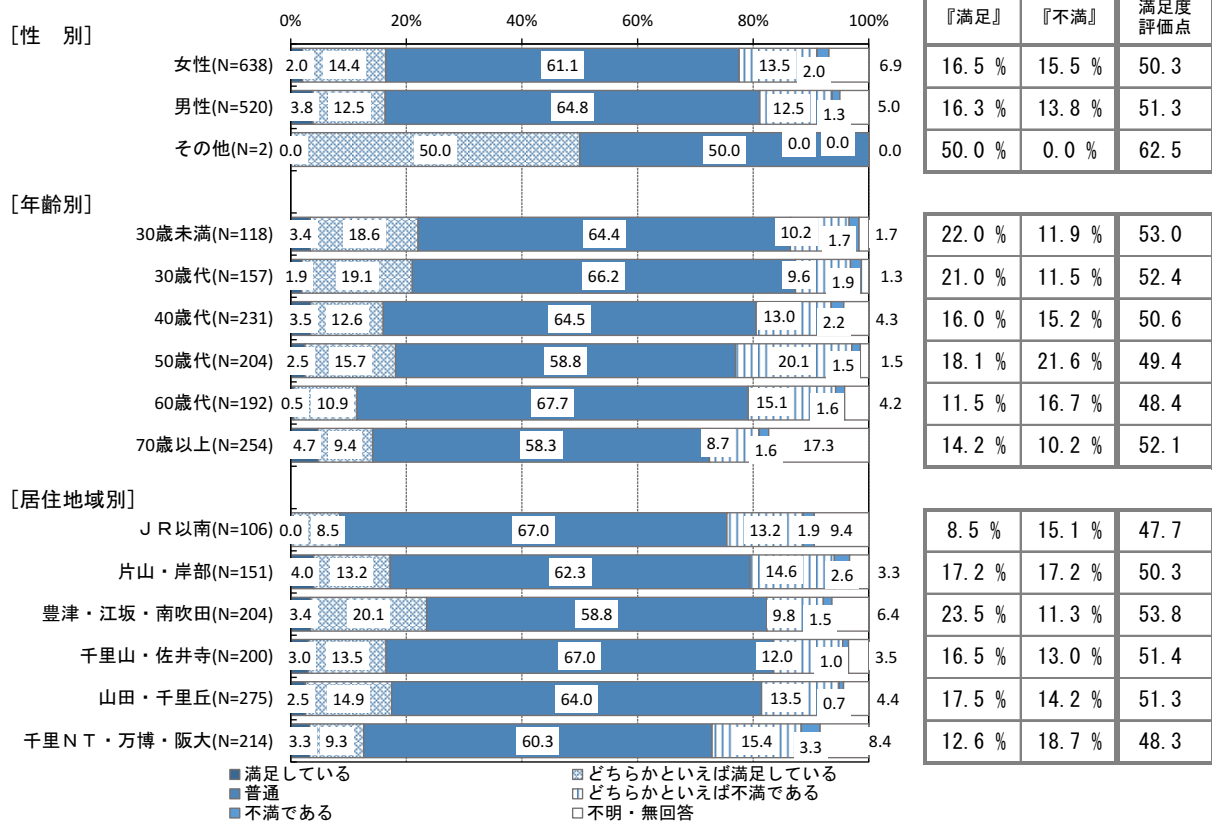
■重要度

- にぎわいについての重要度（図3.8.73）は、全項目で『重要である』が『重要ではない』に比べ割合が高くなっている。特に、《41. 雇用・就労の促進》（46.1%）、《42. 雇用の安定・勤労者福祉》（45.1%）が他の項目と比べて高くなっている。
- 重要度の評価点は、《41. 雇用・就労の促進》、《42. 雇用の安定・勤労者福祉》（いずれも67.4点）が最も高くなっている。
- 性別に評価点（図3.8.76～図3.8.83）をみると、女性・男性ともに《41. 雇用・就労の促進》が最も高く、女性は同点で《42. 雇用の安定・勤労者福祉》が高くなっている。
- 年齢別に評価点をみると、全項目で70歳以上が最も高くなっている。また、《40. 市の魅力を伝える取組》（70歳以上67.0点、30歳代58.7点）は年齢層による差が最も大きくなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、《41. 雇用・就労の促進》、《42. 雇用の安定・勤労者福祉》は山田・千里丘地域、それ以外の項目は千里ニュータウン・万博・阪大地域が最も高くなっている。

■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.8.75）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《41. 雇用・就労の促進》（満足度49.4点、重要度67.4点、差17.9点）、《42. 雇用の安定・勤労者福祉》（満足度49.7点、重要度67.4点、差17.7点）となっている。

38. 商工業の振興【満足度】



38. 商工業の振興【重要度】

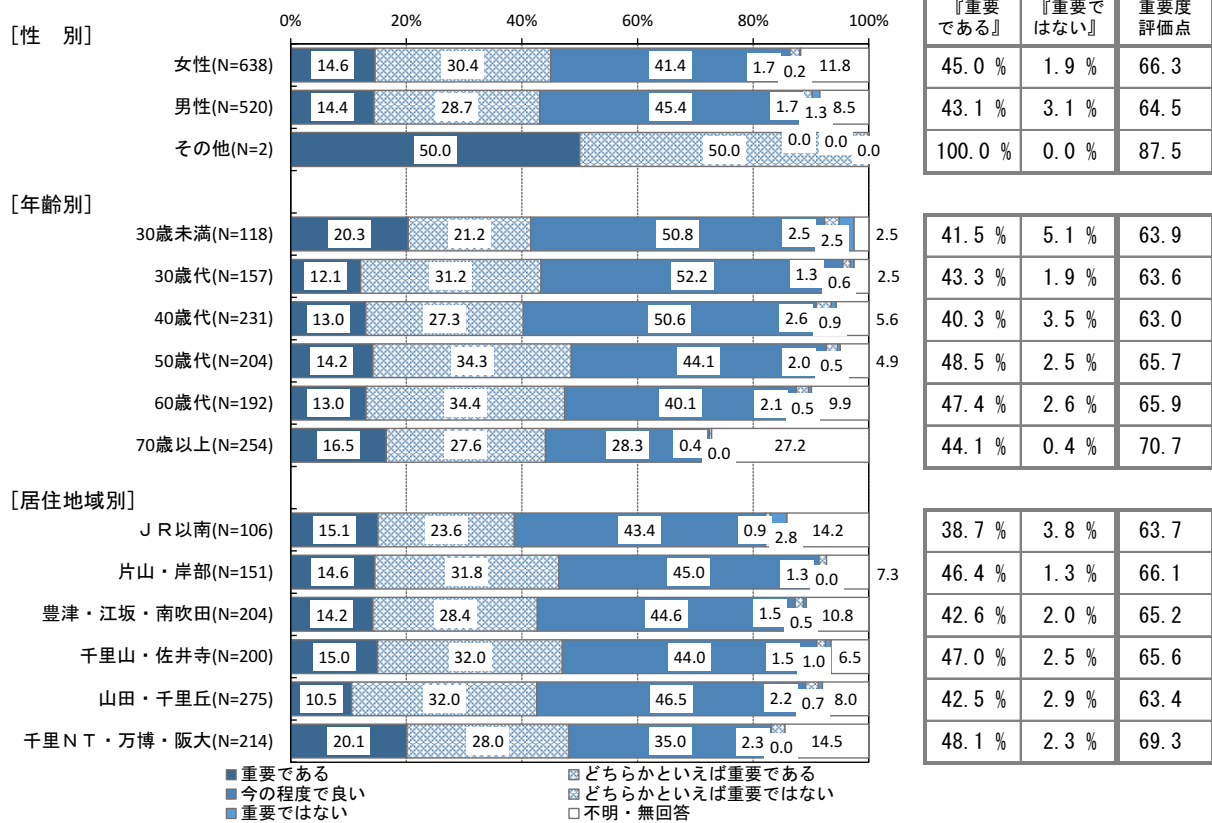
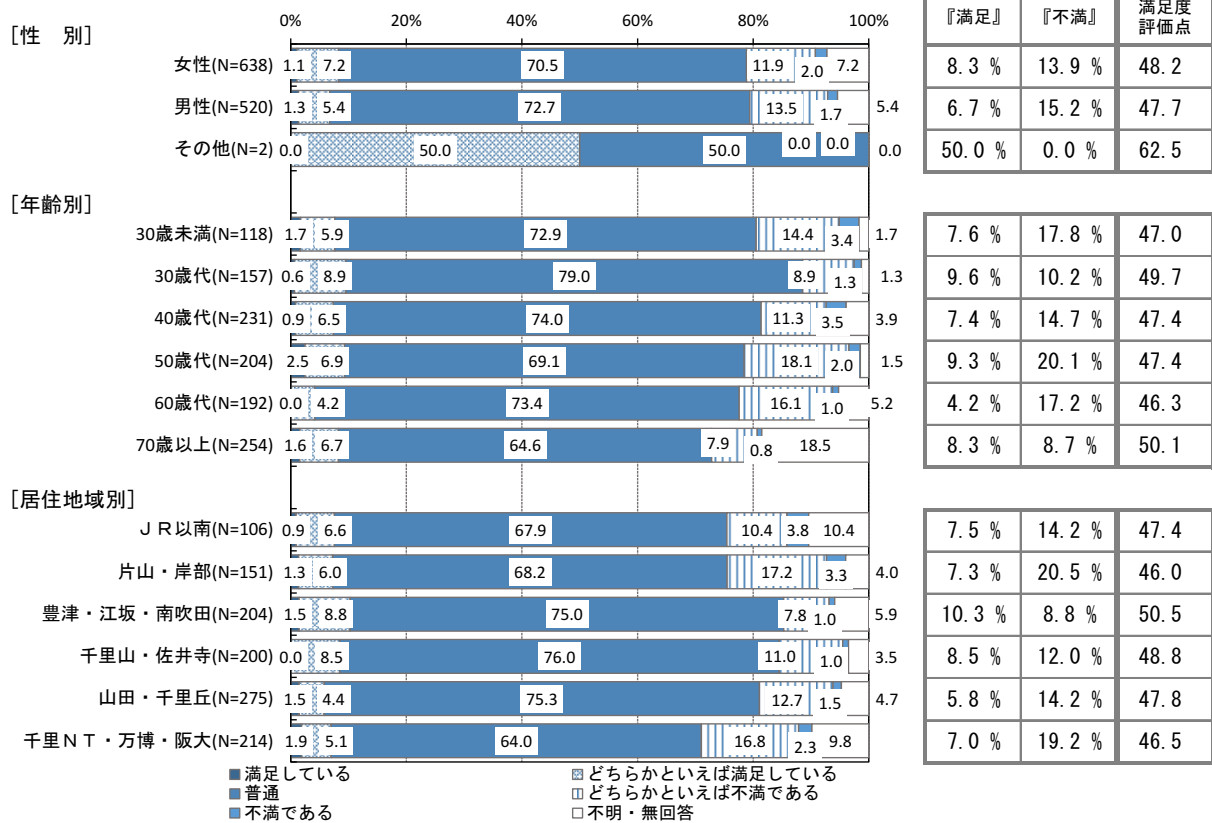


図 3.8.76 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度①

39. 都市と調和する農業の推進【満足度】



39. 都市と調和する農業の推進【重要度】

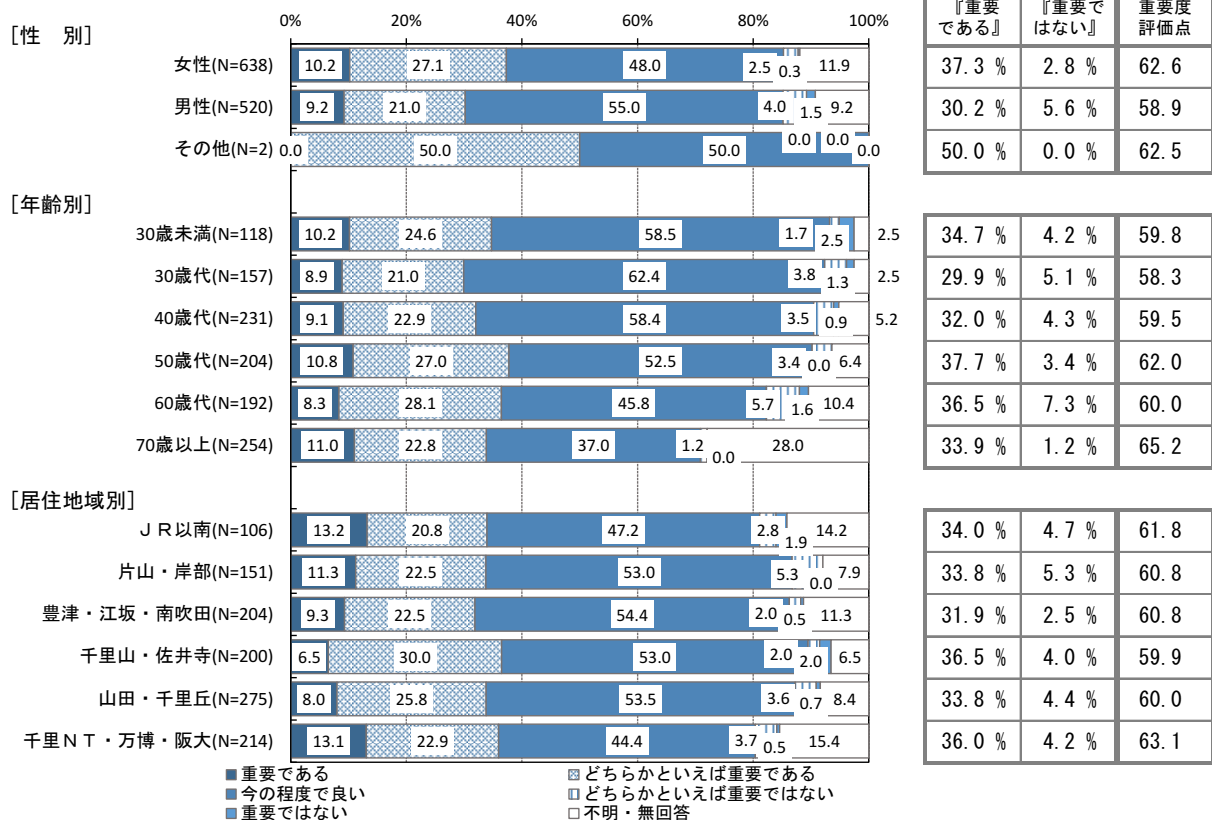
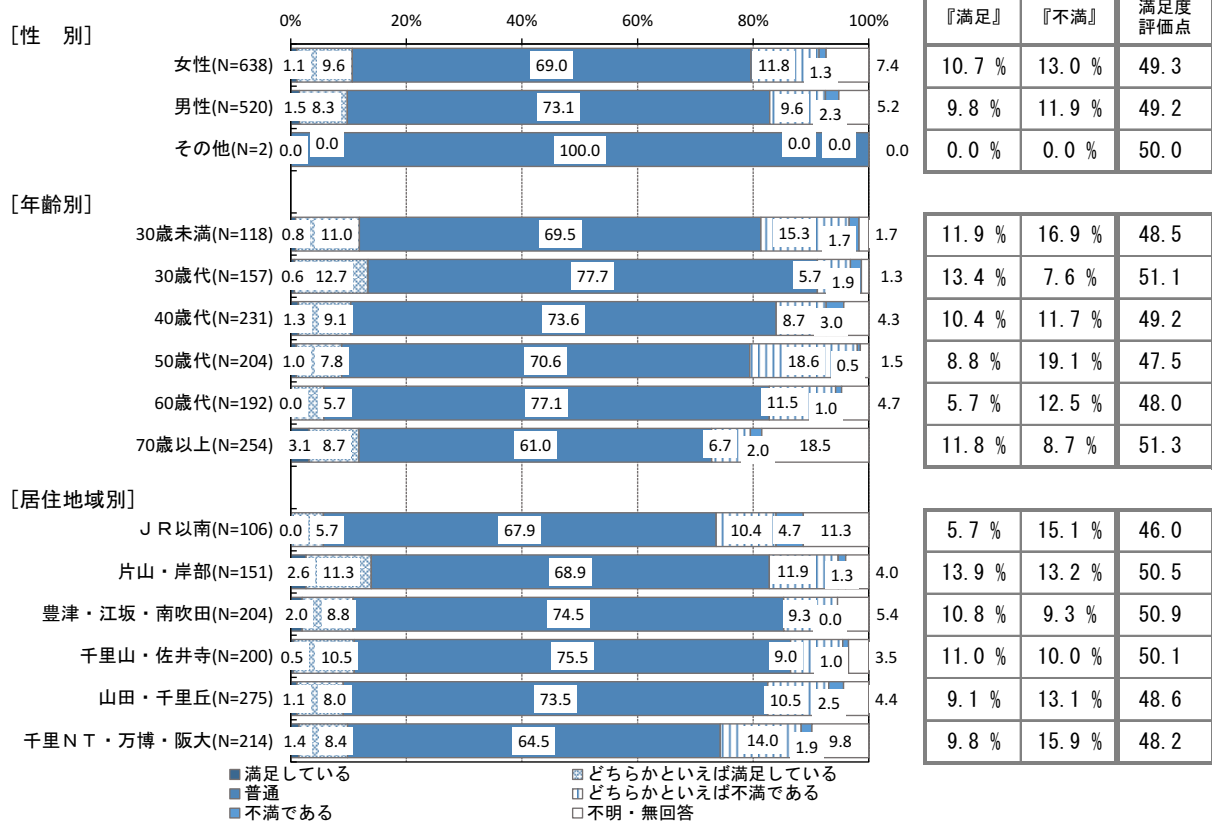


図 3.8.77 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度②

40. 市の魅力を伝える取組【満足度】



40. 市の魅力を伝える取組【重要度】

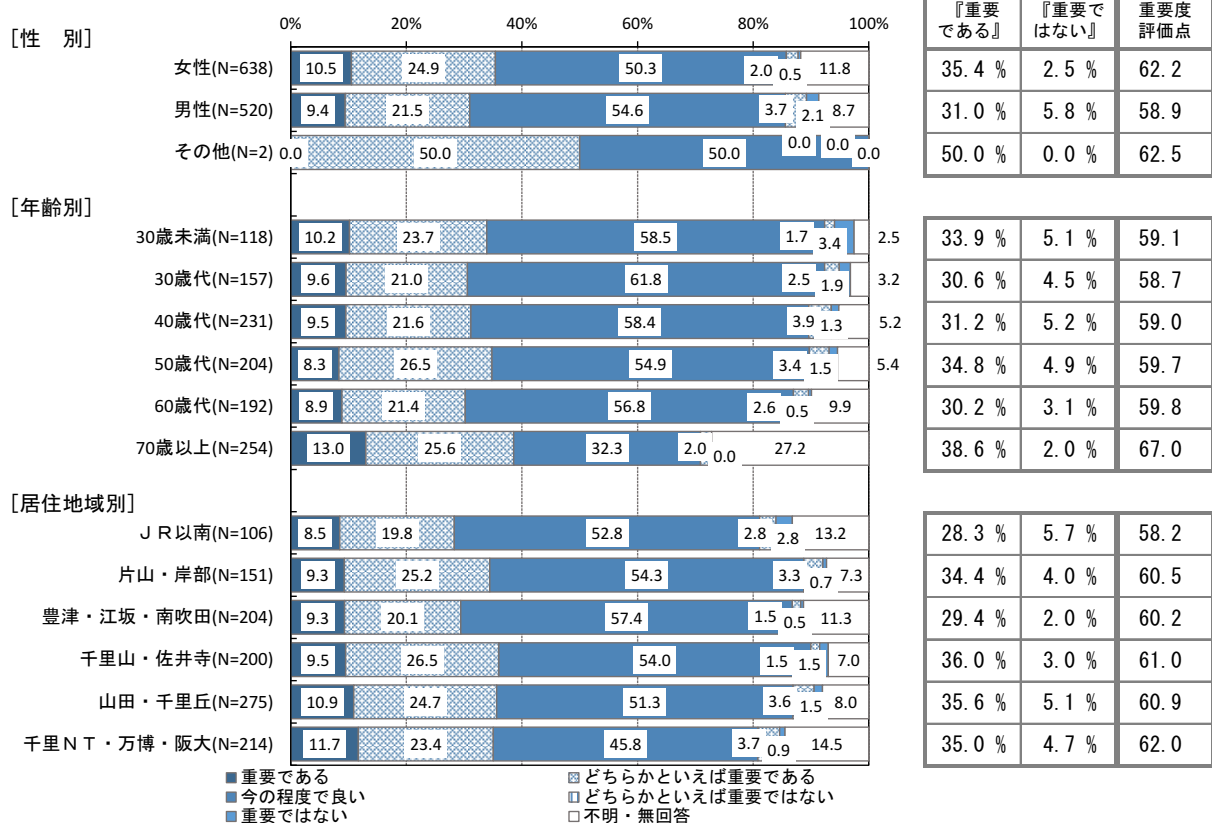
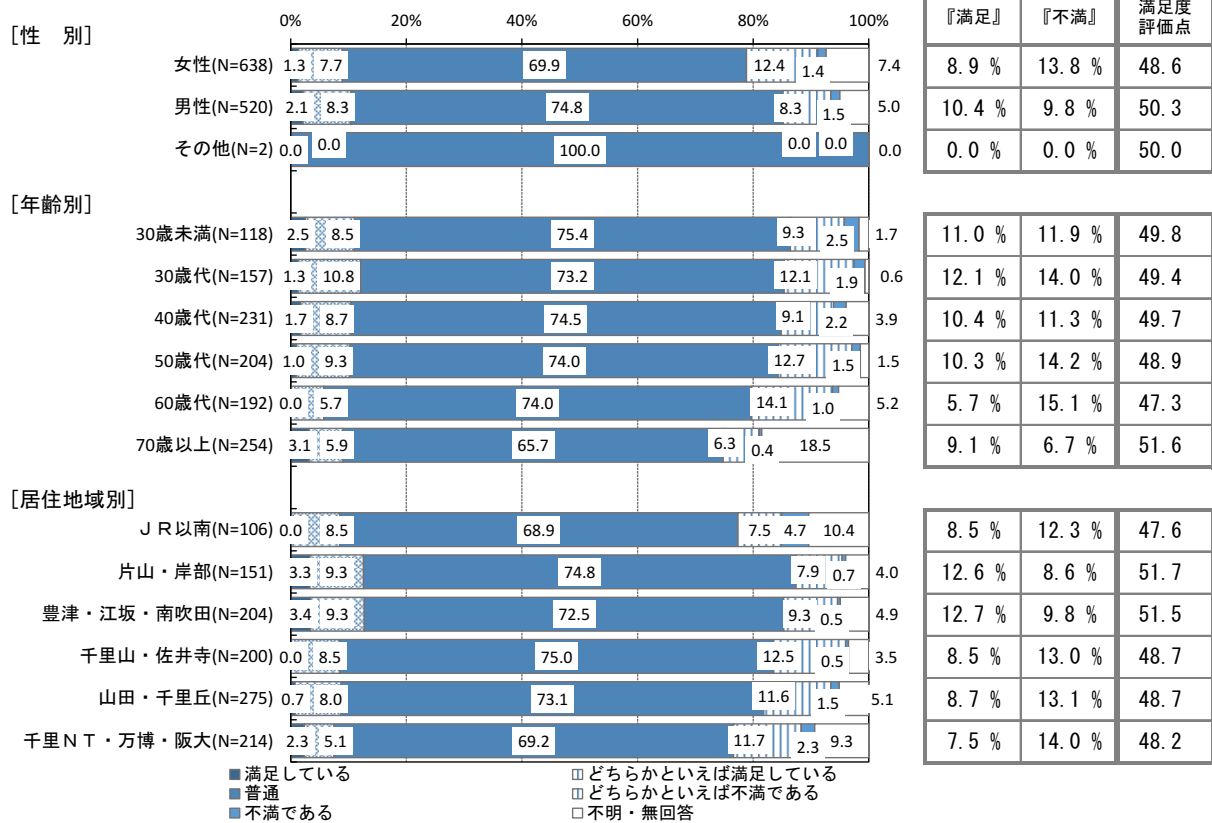


図 3.8.78 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度③

41. 雇用・就労の促進【満足度】



41. 雇用・就労の促進【重要度】

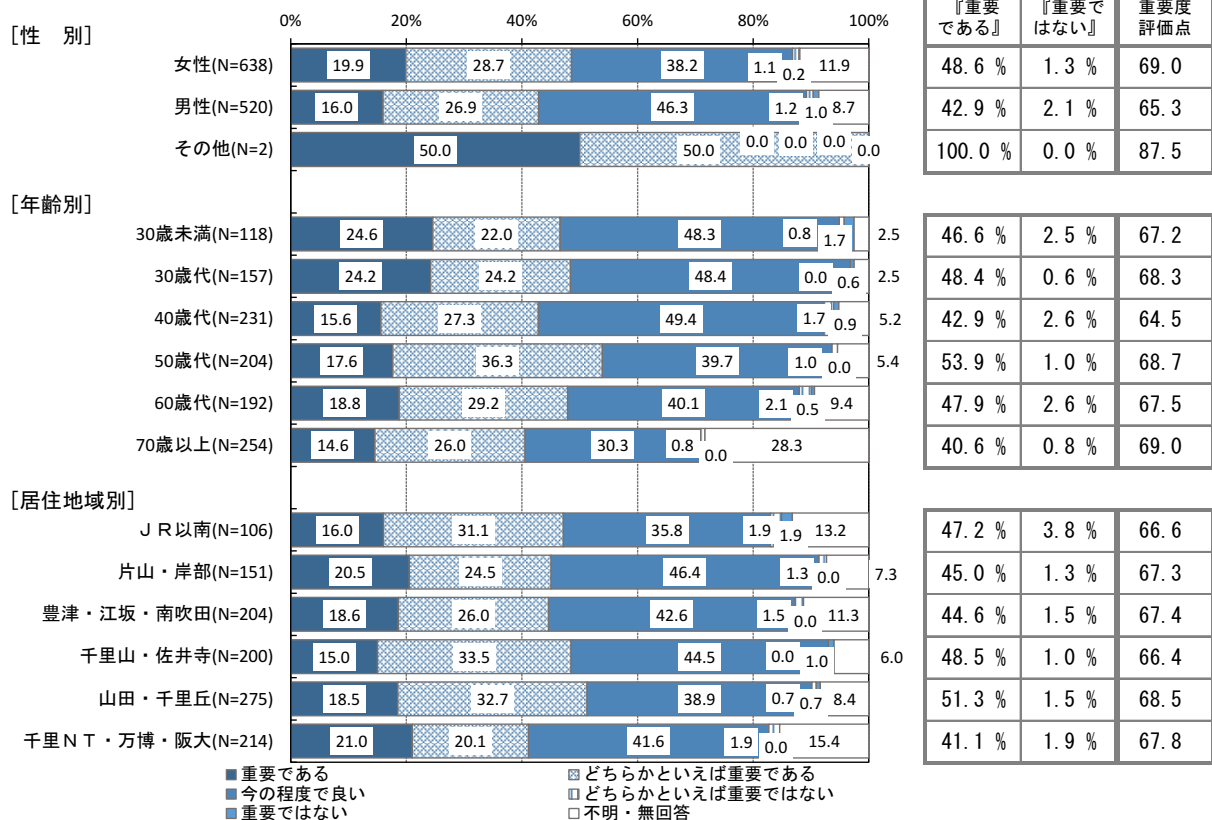
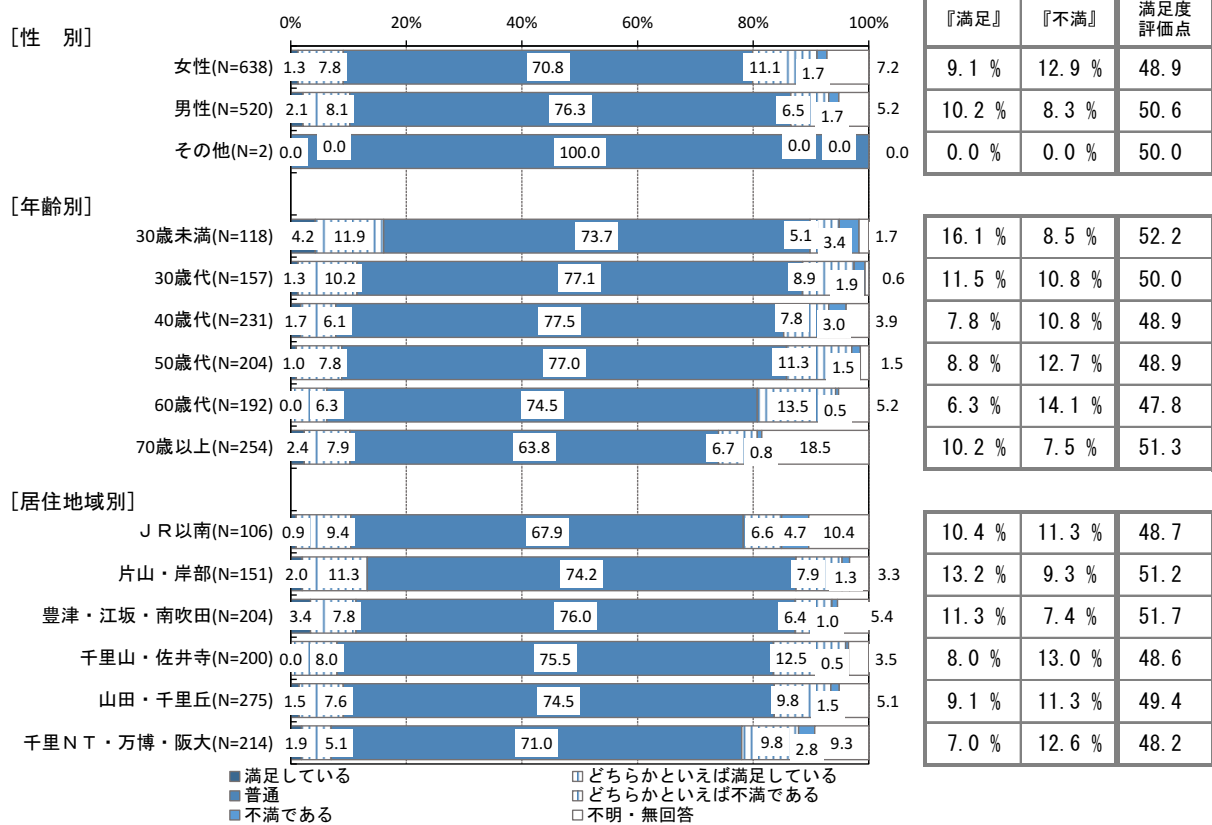


図 3.8.79 性別・年齢別・居住地域別にぎわいについての満足度・重要度④

42. 雇用の安定・勤労者福祉【満足度】



42. 雇用の安定・勤労者福祉【重要度】

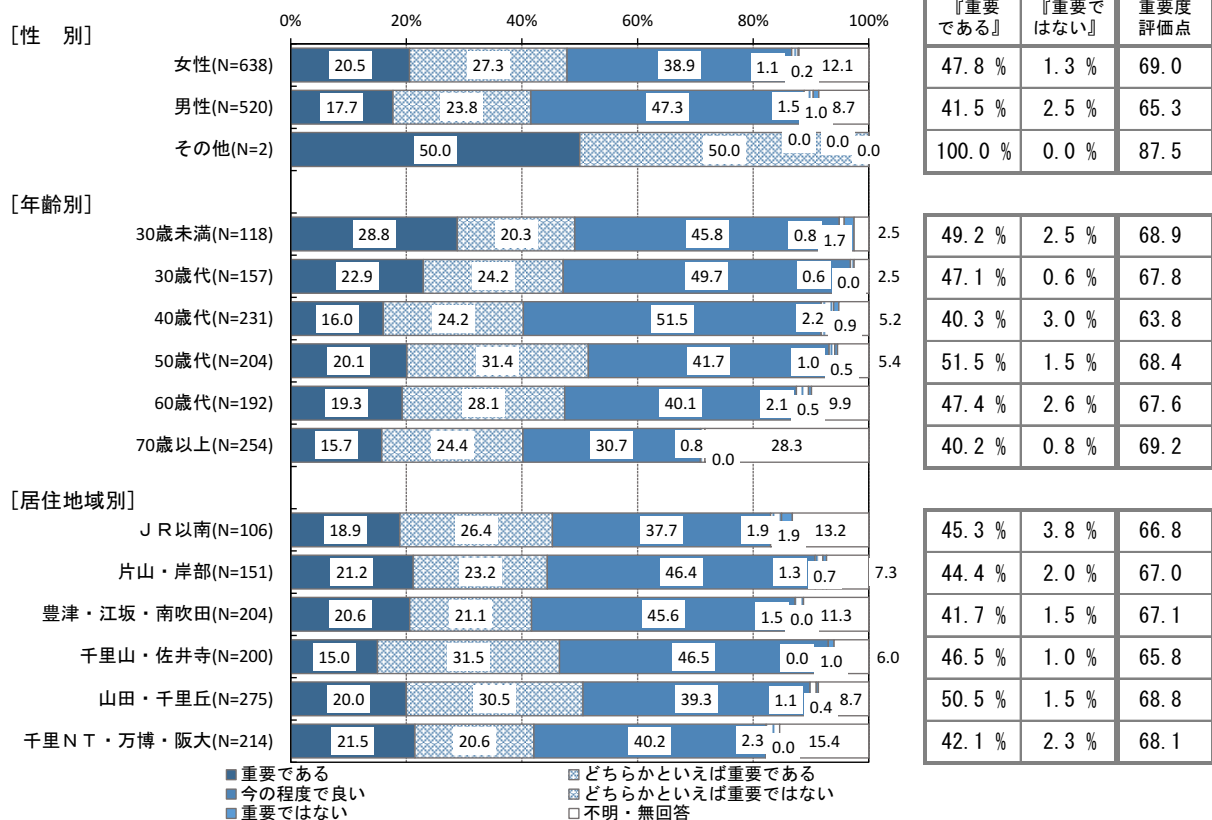
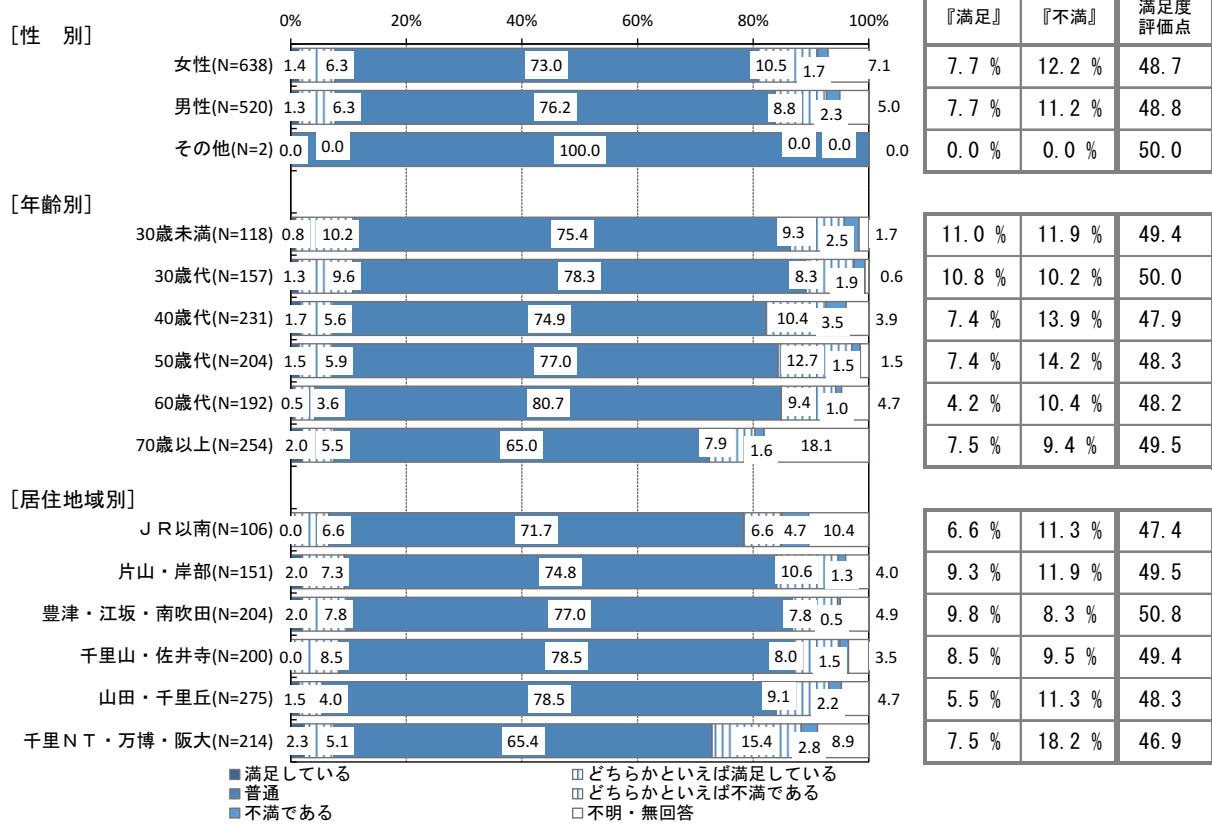


図 3.8.80 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度⑤

43. 観光振興事業の推進【満足度】



43. 観光振興事業の推進【重要度】

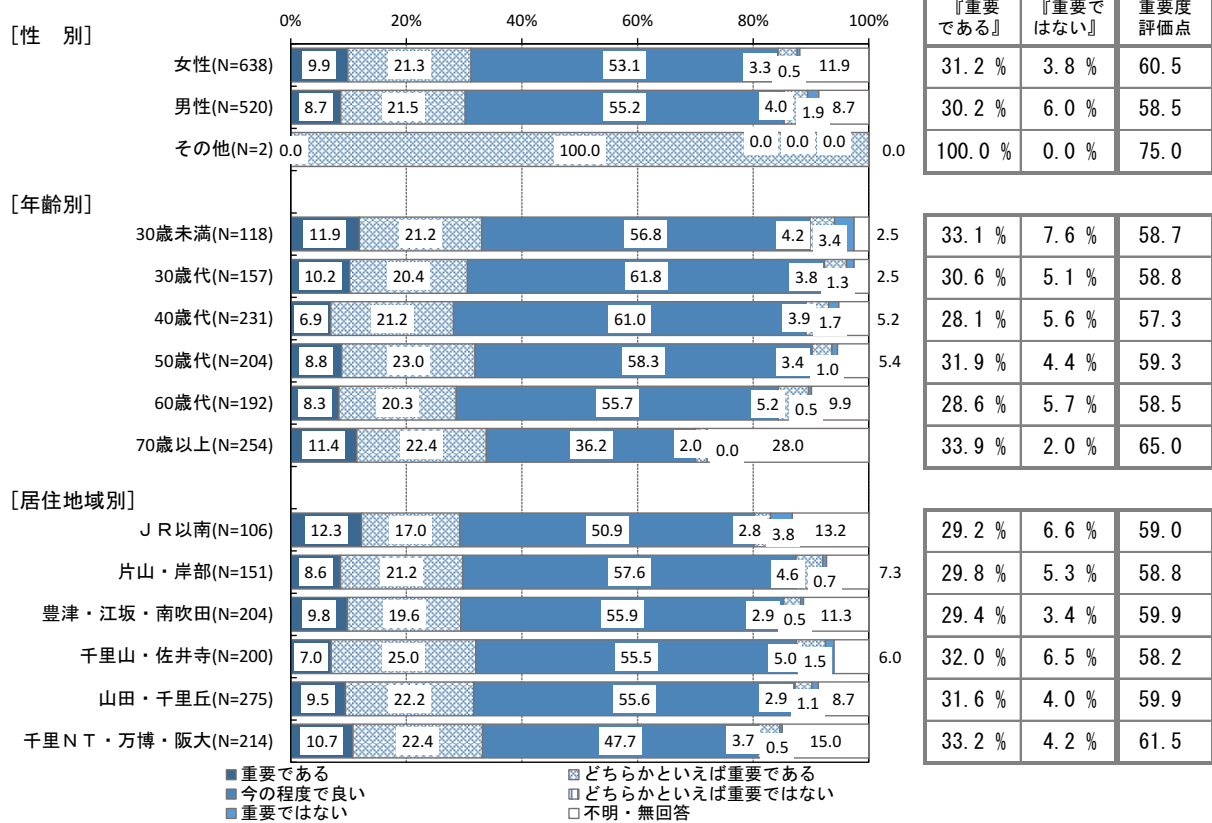
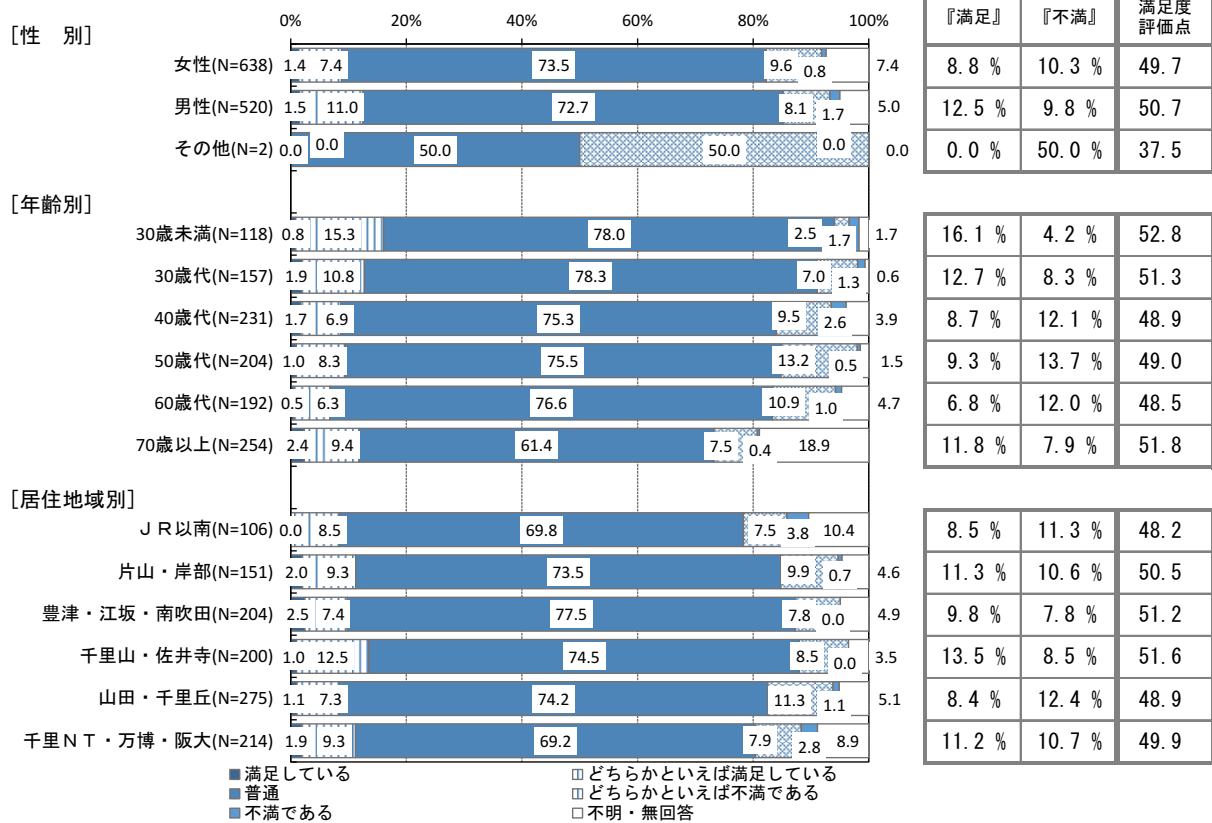


図 3.8.81 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度⑥

44. 消費者の利益と安全の確保【満足度】



44. 消費者の利益と安全の確保【重要度】

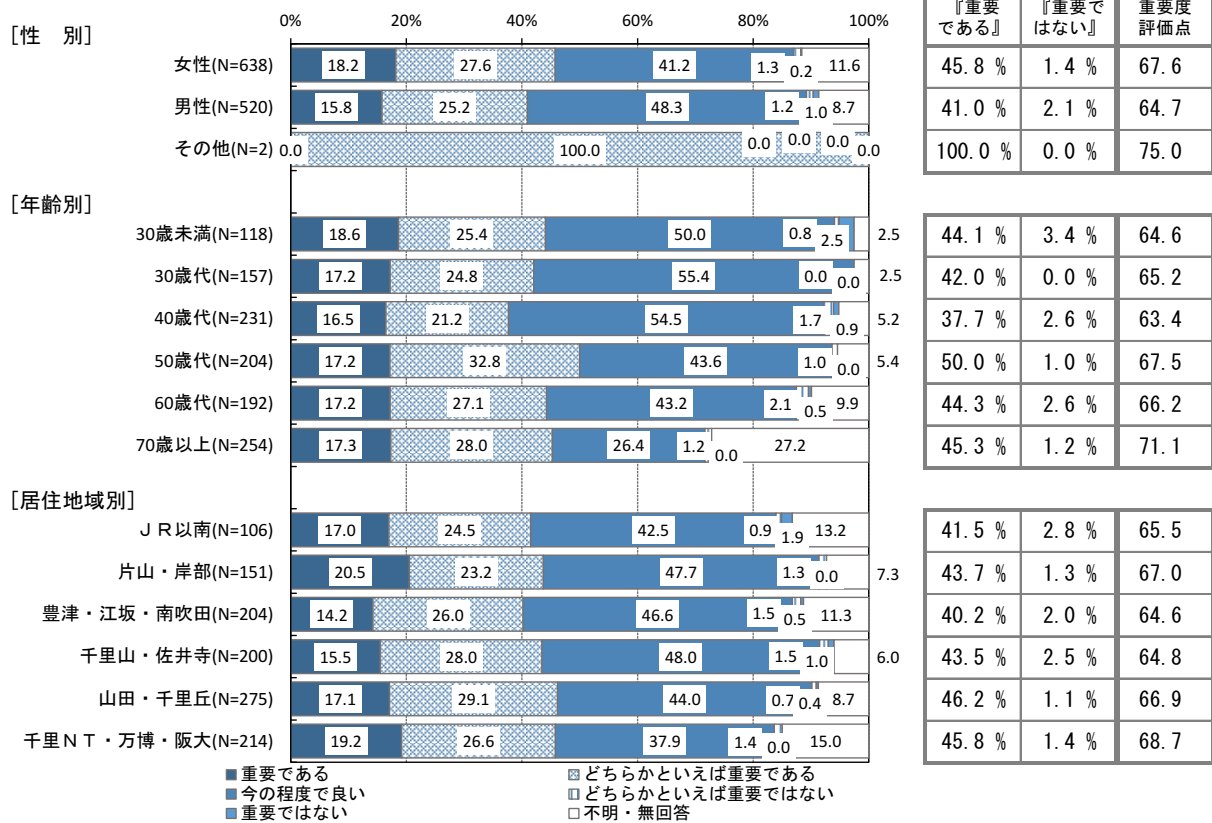
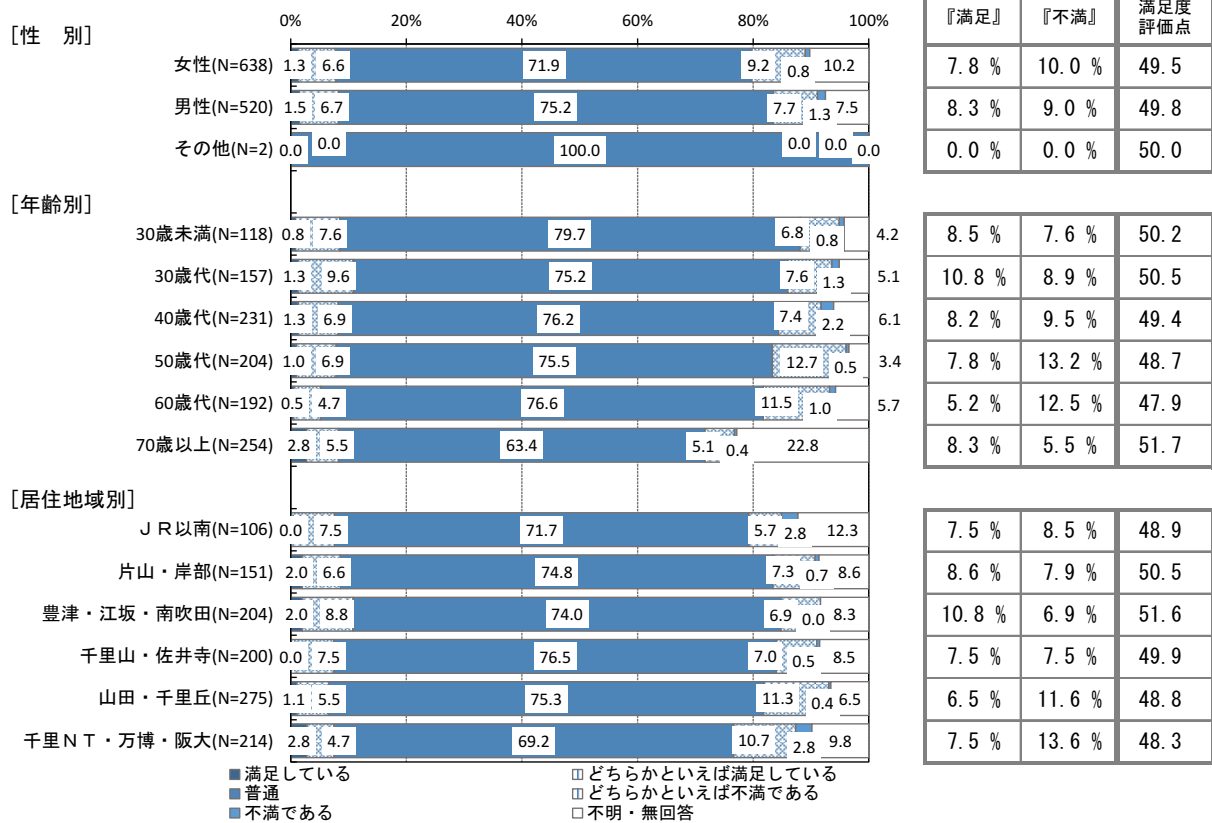


図 3.8.82 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度⑦

45. 項目 38~44 の総合評価【満足度】



45. 項目 38~44 の総合評価【重要度】

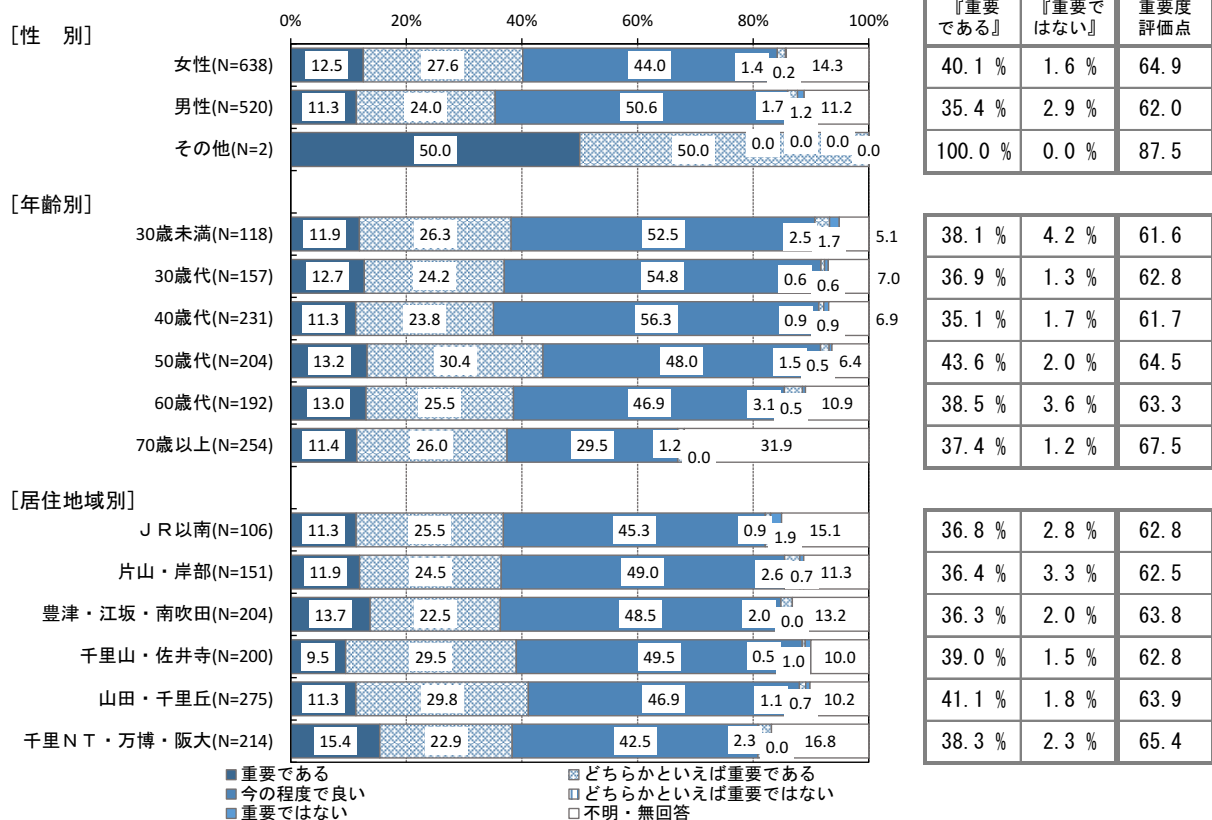
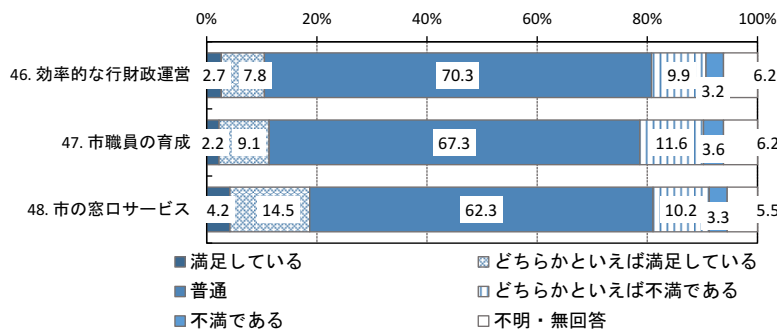


図 3.8.83 性別・年齢別・居住地域別 にぎわいについての満足度・重要度⑧

(2)-7 市政全般についての満足度・重要度

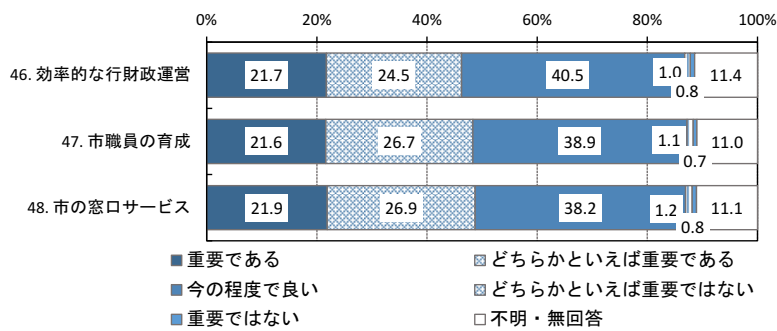
N=1,165



| 『満足』 | 『不満』 | 満足度評価点 |
|--------|--------|--------|
| 10.5 % | 13.0 % | 49.2 |
| 11.3 % | 15.2 % | 48.6 |
| 18.7 % | 13.5 % | 51.6 |

図 3.8.84 市政全般についての満足度

N=1,165



| 『重要である』 | 『重要ではない』 | 重要度評価点 |
|---------|----------|--------|
| 46.3 % | 1.8 % | 68.5 |
| 48.3 % | 1.8 % | 68.9 |
| 48.8 % | 2.0 % | 69.1 |

図 3.8.85 市政全般についての重要度

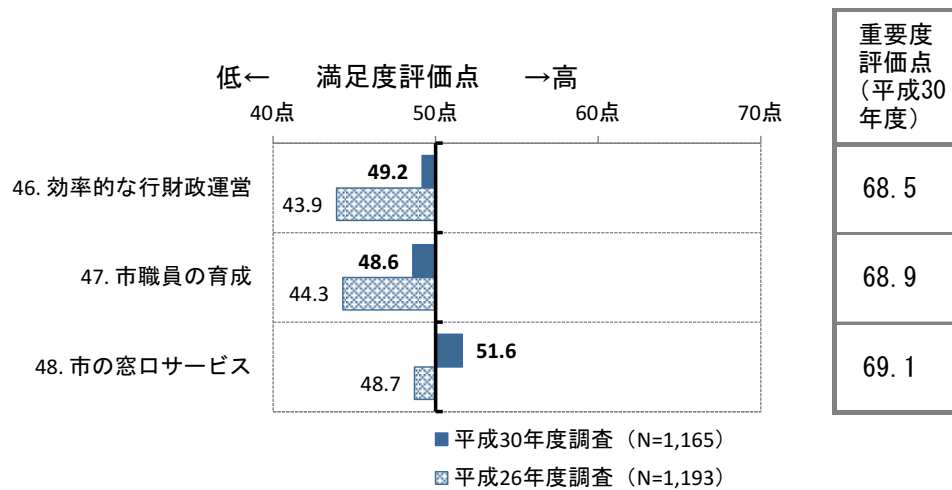
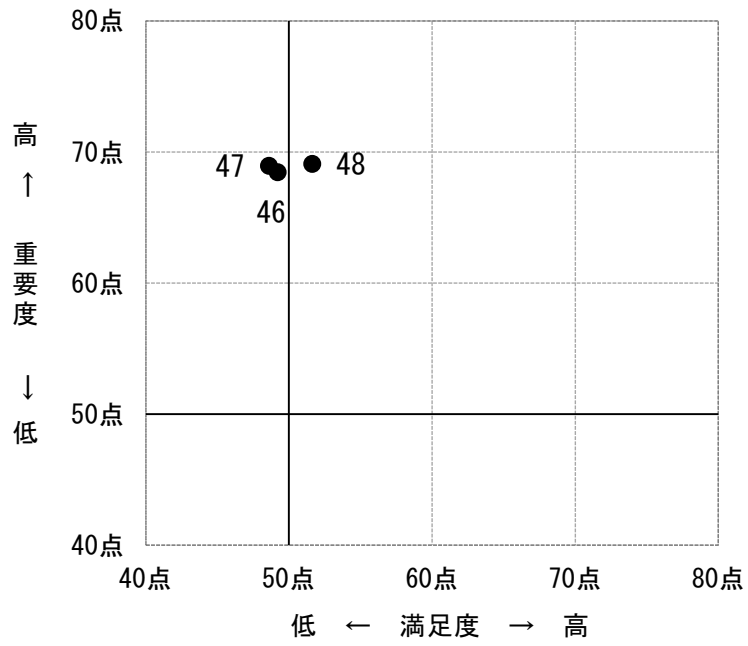


図 3.8.86 市政全般についての満足度評価点の経年比較と重要度評価点



- 46. 効率的な行財政運営
- 47. 市職員の育成
- 48. 市の窓口サービス

図 3.8.87 市政全般についての満足度と重要度の関係

■満足度

- 市政全般についての満足度（図3.8.84）は、全項目で「普通」が6割以上となっている。
また、《48.市の窓口サービス》のみ『満足』の方が『不満』に比べ割合が高くなっている。
- 満足度の評価点は、《48.市の窓口サービス》（51.6点）が最も高く、50点台となっている。

- 平成26年度調査と比較（図3.8.76）すると、全項目で平成26年度調査よりも高くなっている。

- 性別に評価点（図3.8.88～図3.8.90）をみると、全項目で女性より男性の方が高くなっている。特に、《48.市の窓口サービスの満足度》（女性50.8点、男性52.4点）では差が大きくなっている。
- 年齢別に評価点をみると、《46.効率的な行財政運営》は30歳未満、それ以外の項目は70歳以上が最も高くなっている。また、《48.市の窓口サービス》（70歳以上58.7点、40歳代47.4点）は年齢層による差が最も大きくなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、全項目で山田・千里丘地域が最も低くなっている。

■重要度

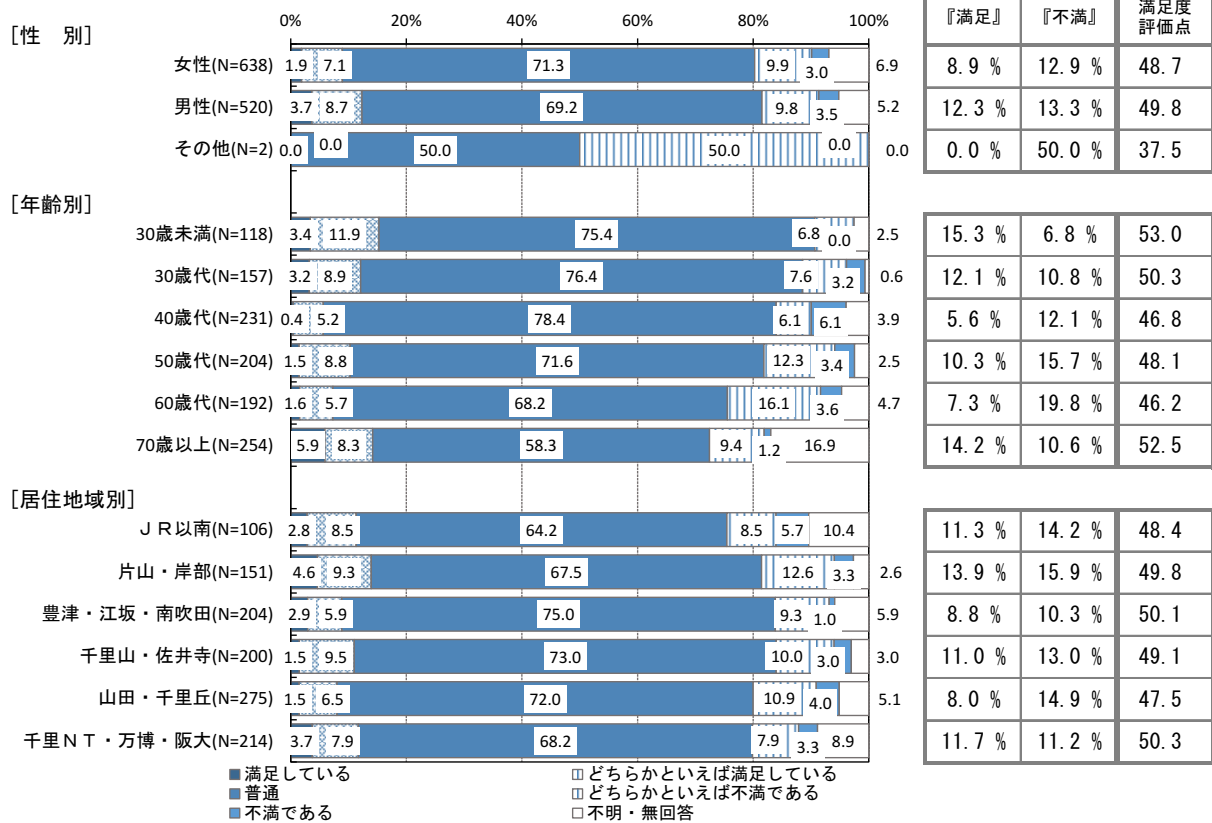
- 市政全般についての重要度（図3.8.85）は、全項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高くなっている。
- 重要度の評価点は、全項目で60点台となっている。

- 性別に評価点（図3.8.88～図3.8.90）をみると、女性では《48.市の窓口サービスの満足度》、男性では《47.市職員の育成》が最も高くなっている。
- 年齢別に評価点をみると、全項目で70歳以上が最も高く、30歳未満が最も低くなっている。
- 居住地域別に評価点をみると、全項目で山田・千里丘地域が最も高くなっている。

■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.8.87）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《47.市職員の育成》（満足度48.6点、重要度68.9点、差20.3点）、《46.効率的な行財政運営》（満足度49.2点、重要度68.5点、差19.3点）となっている。

46. 効率的な行政運営【満足度】



46. 効率的な行政運営【重要度】

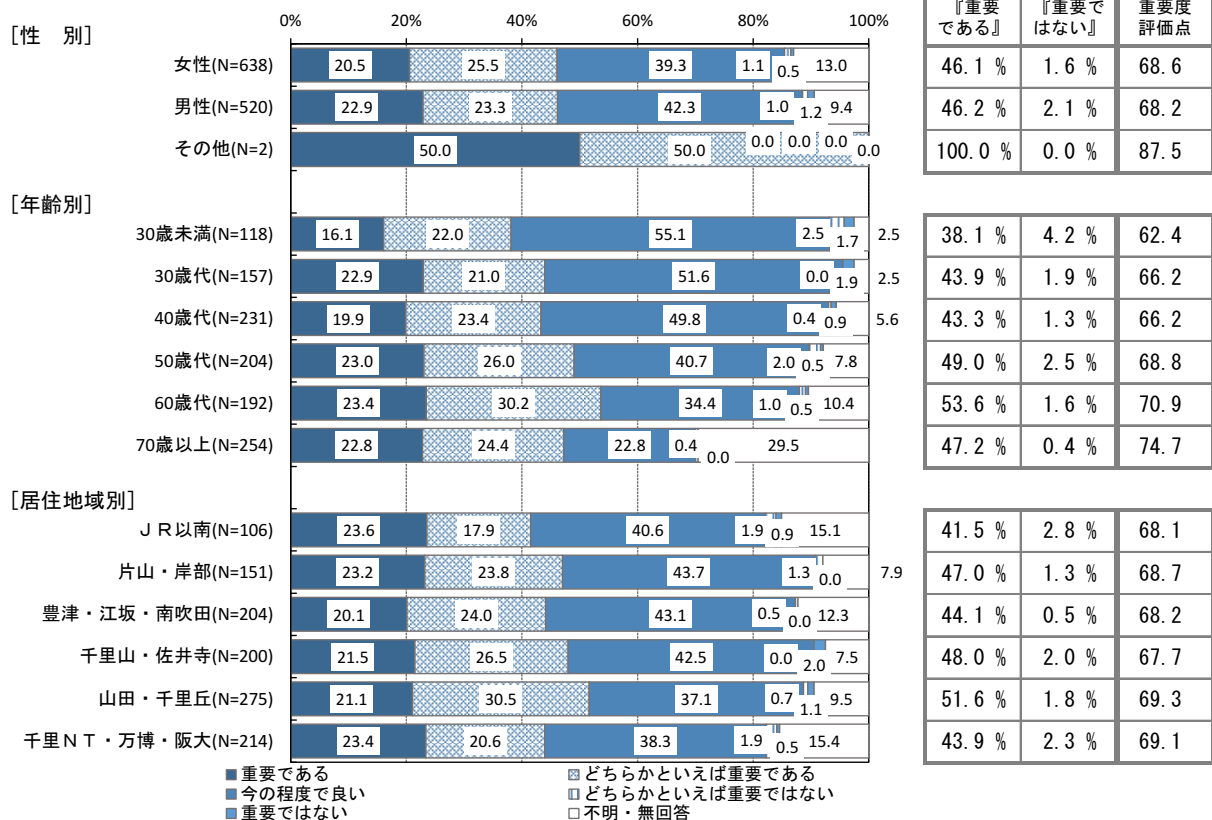
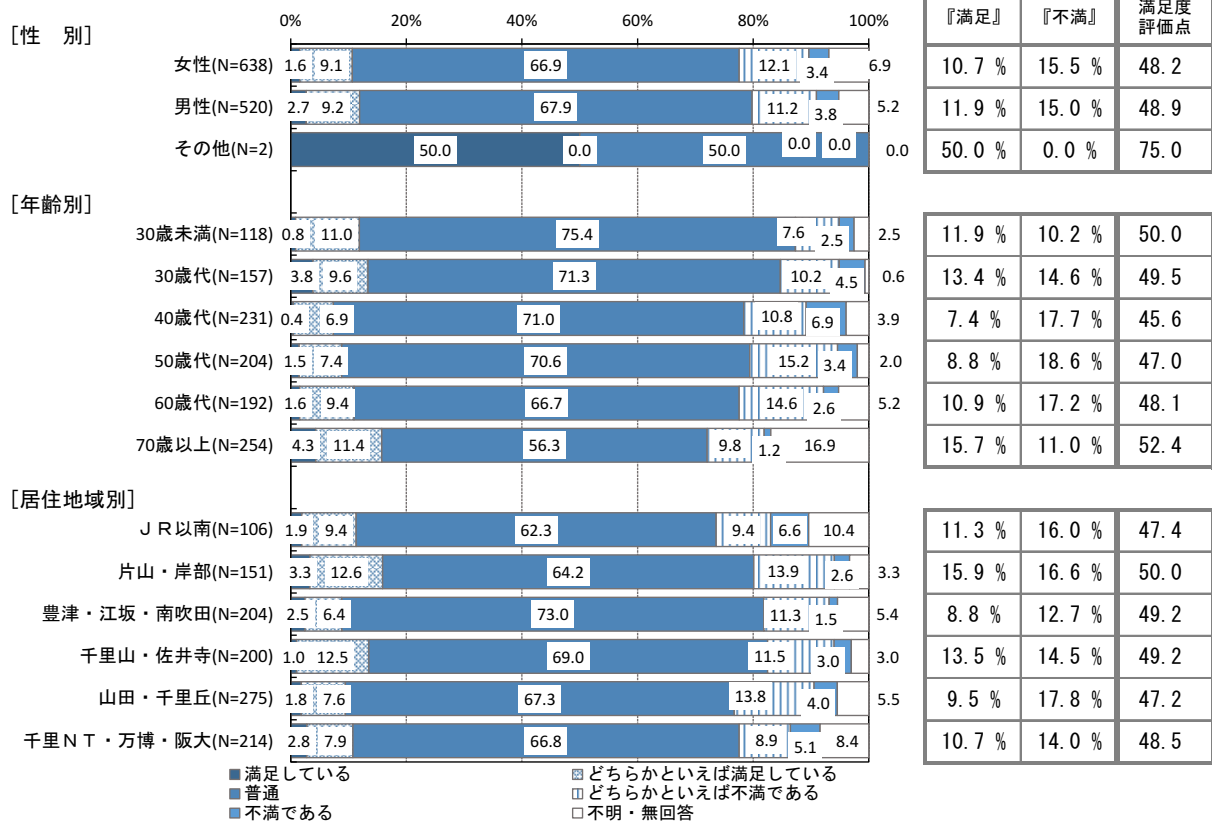


図 3.8.88 性別・年齢別・居住地域別 市政全般についての満足度・重要度①

47. 市職員の育成【満足度】



47. 市職員の育成【重要度】

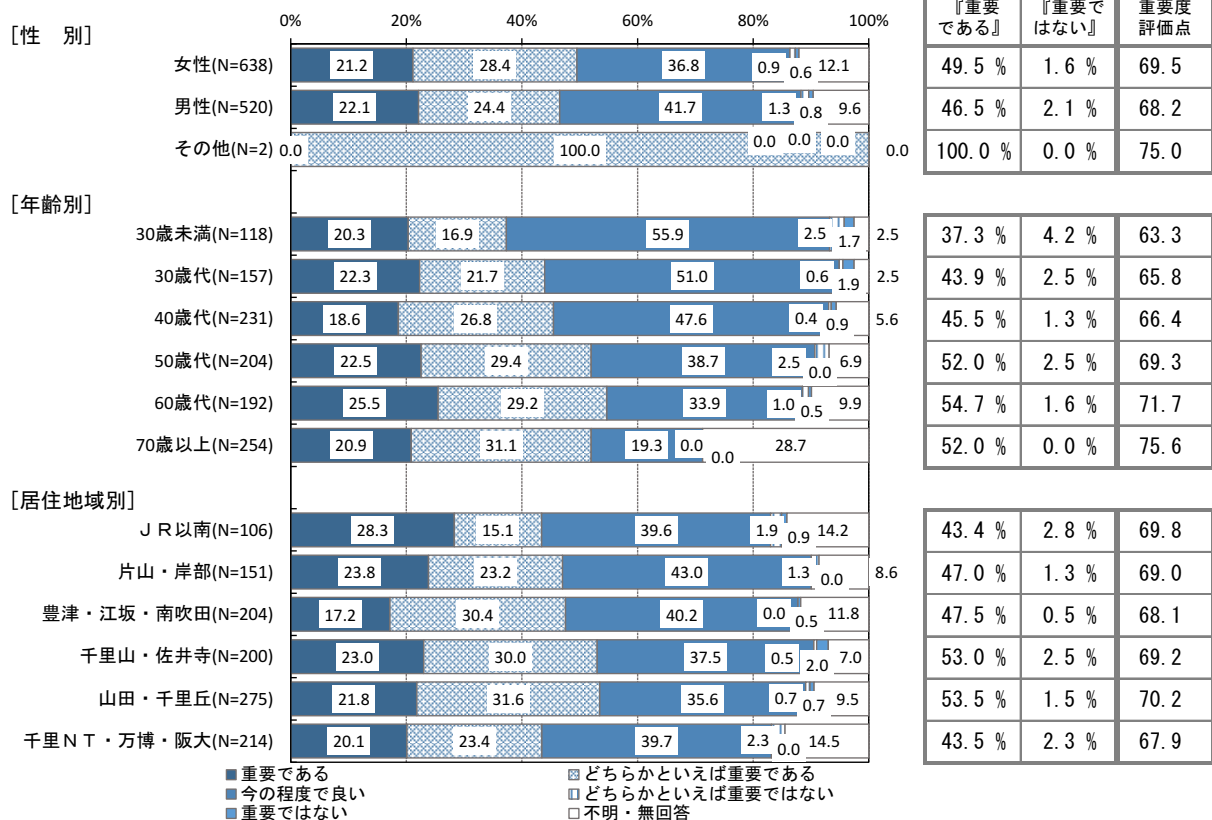
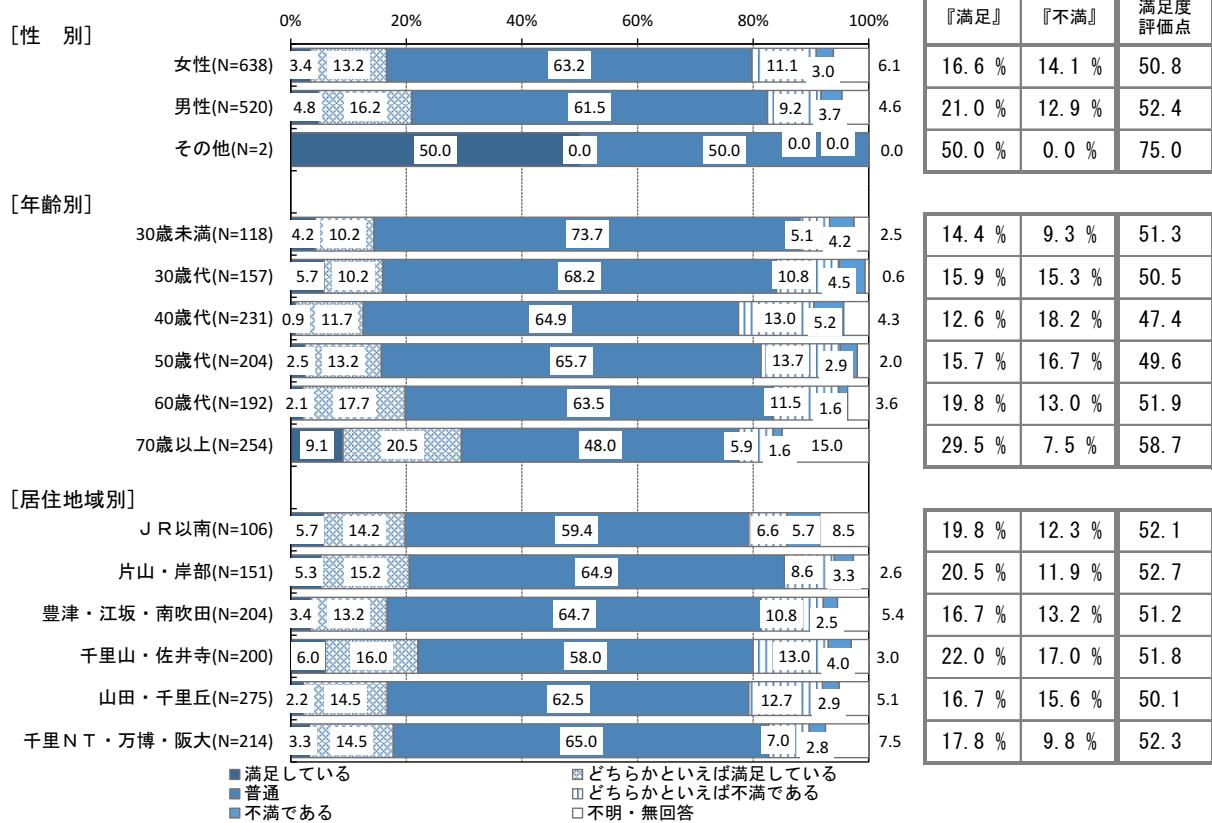


図 3.8.89 性別・年齢別・居住地域別 市政全般についての満足度・重要度②

48. 市の窓口サービス【満足度】



48. 市の窓口サービス【重要度】

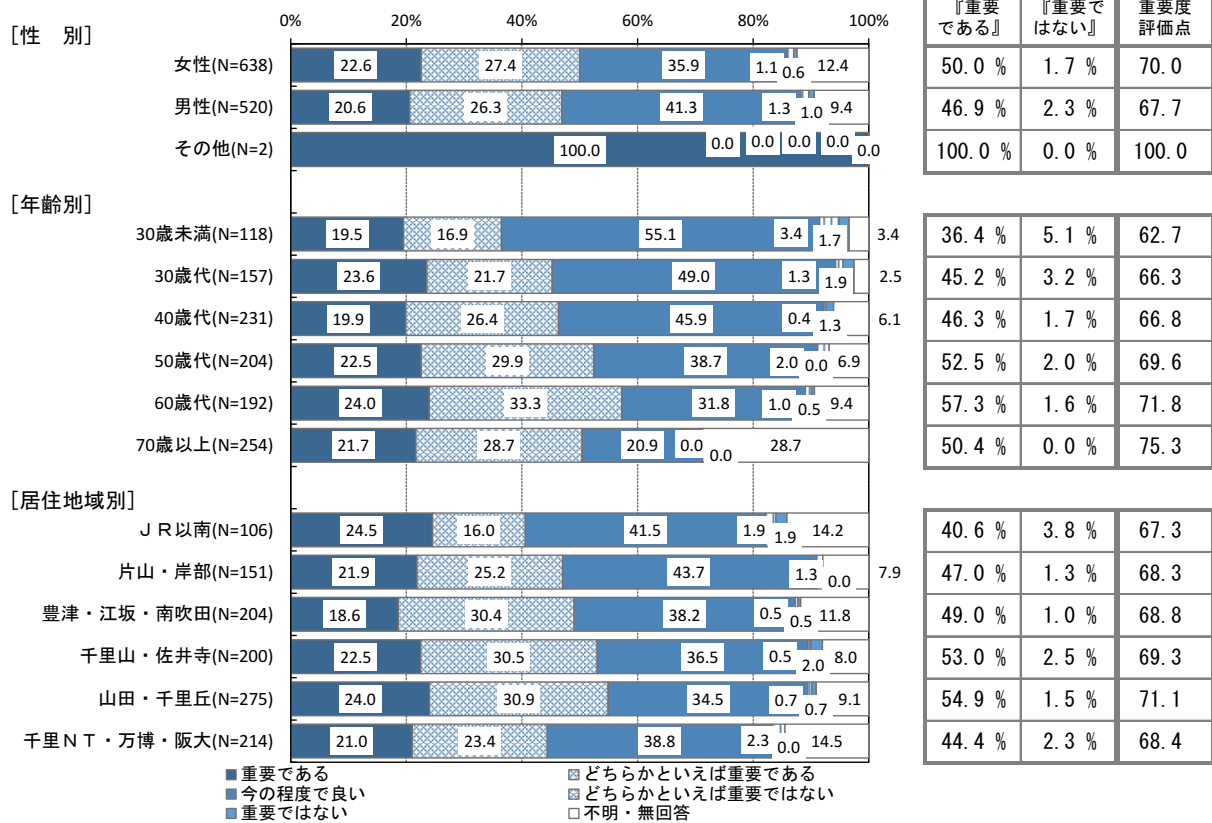


図 3.8.90 性別・年齢別・居住地域別 市政全般についての満足度・重要度③

(2)-8 全項目の満足度評価点・重要度評価点

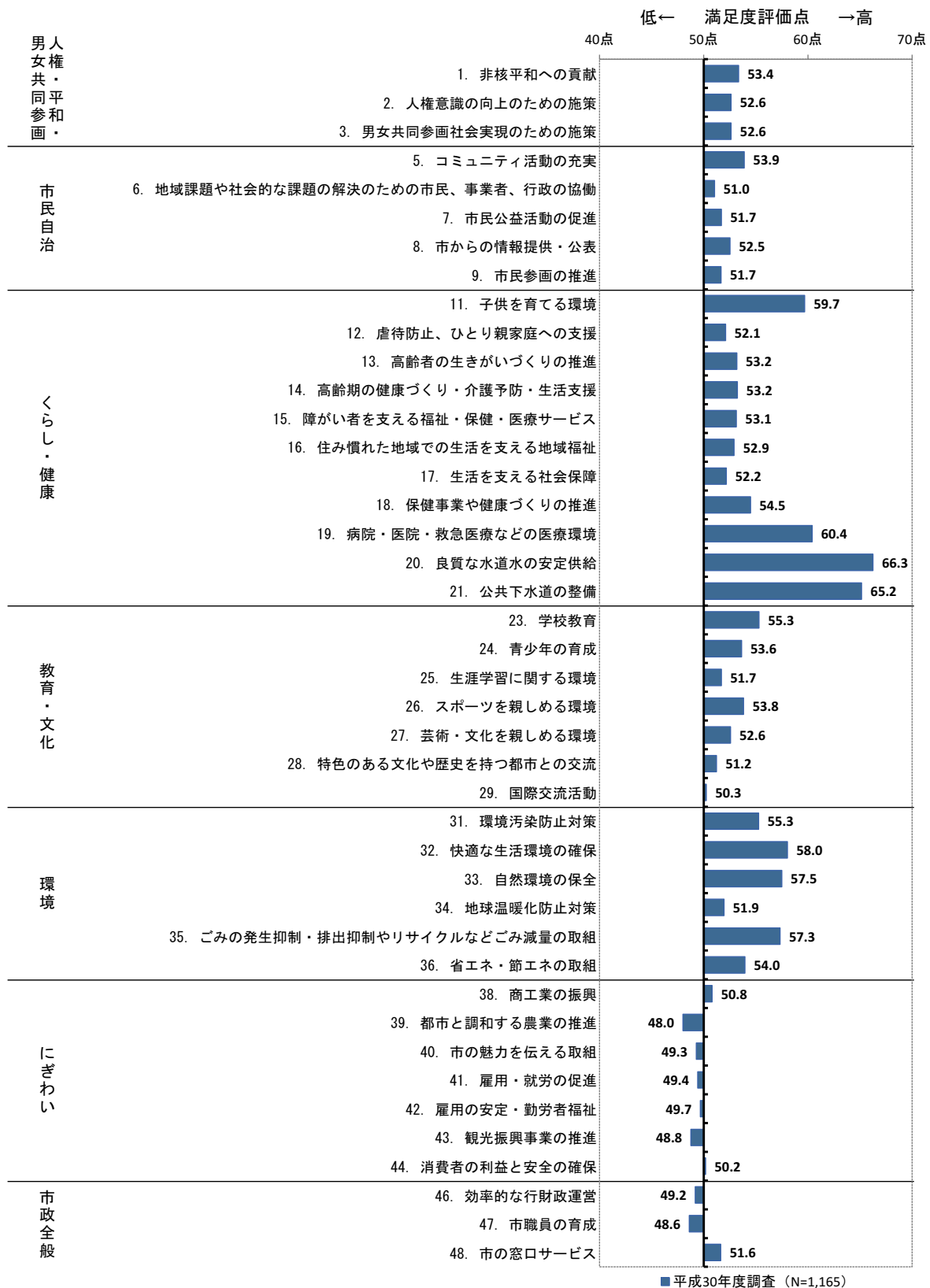


図 3.8.91 全項目の満足度評価点

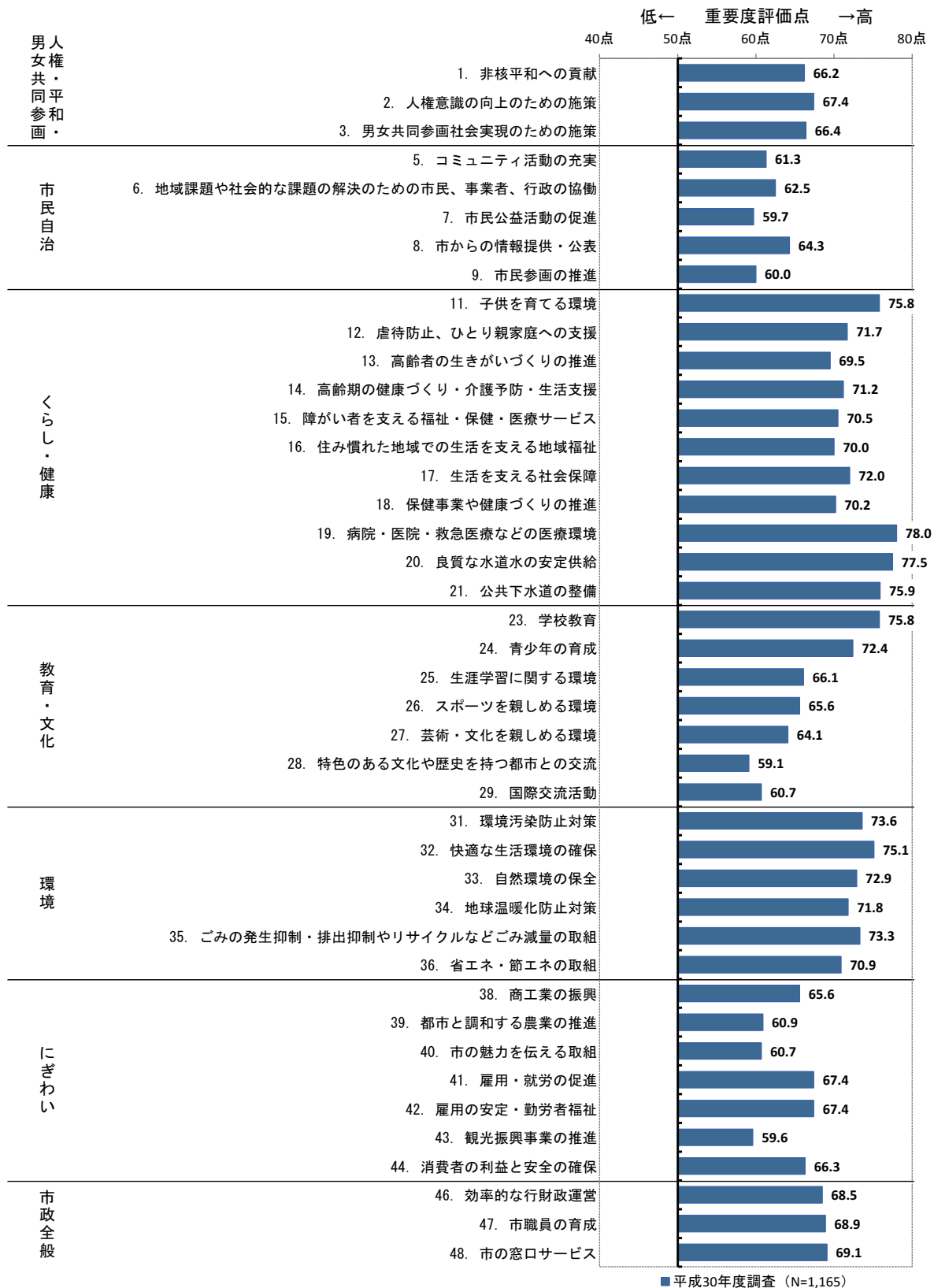
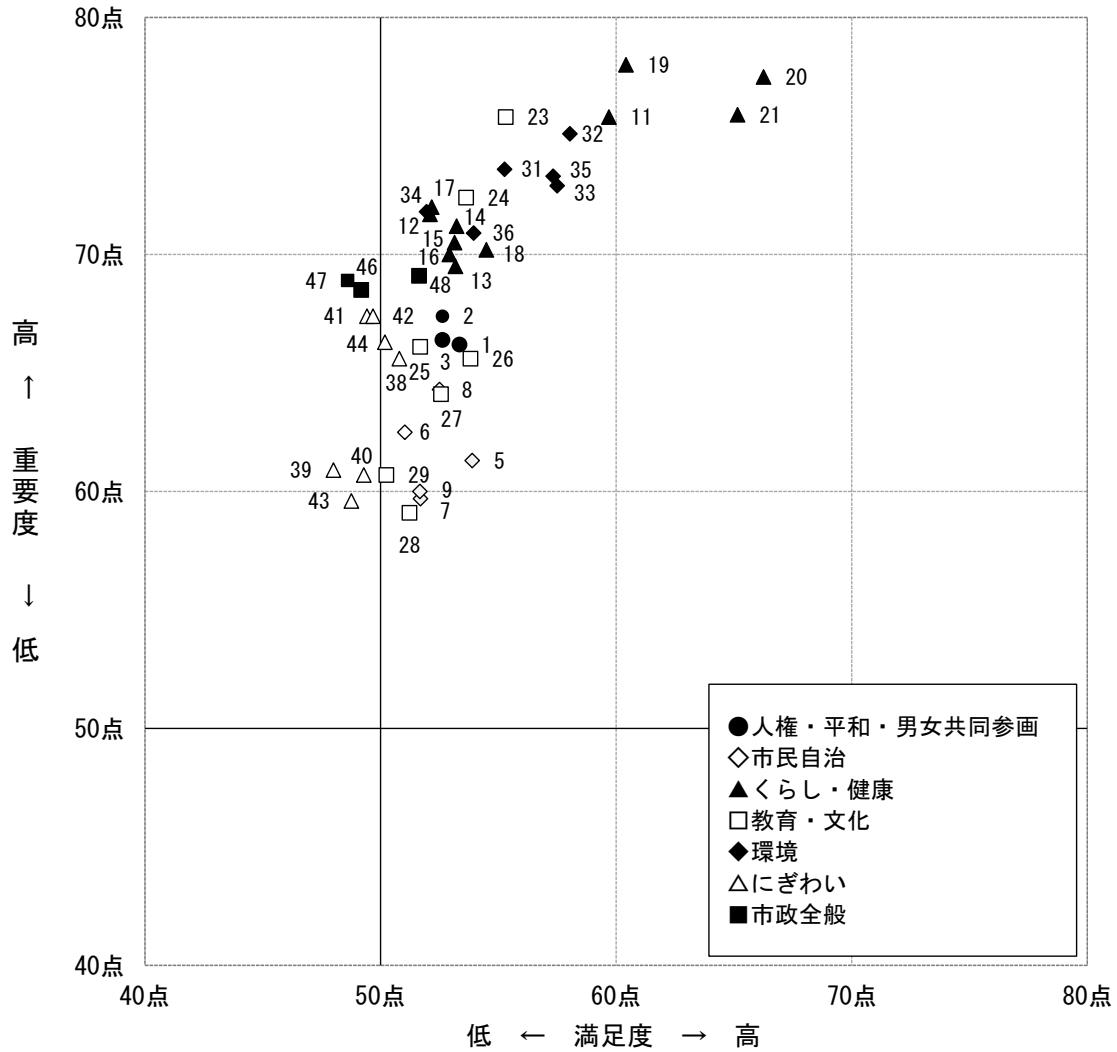


図 3.8.92 全項目の重要度評価点



| | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| ● 人権・平和・男女共同参画 | □ 教育・文化 |
| 1. 非核平和への貢献 | 23. 学校教育 |
| 2. 人権意識の向上のための施策 | 24. 青少年の育成 |
| 3. 男女共同参画社会実現のための施策 | 25. 生涯学習に関する環境 |
| ◇ 市民自治 | 26. スポーツを親しめる環境 |
| 5. コミュニティ活動の充実 | 27. 芸術・文化を親しめる環境 |
| 6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働 | 28. 特色のある文化や歴史を持つ都市との交流 |
| 7. 市民公益活動の促進 | 29. 国際交流活動 |
| 8. 市からの情報提供・公表 | ◆ 環境 |
| 9. 市民参画の推進 | 31. 環境汚染防止対策 |
| ▲ 暮らし・健康 | 32. 快適な生活環境の確保 |
| 11. 子供を育てる環境 | 33. 自然環境の保全 |
| 12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援 | 34. 地球温暖化防止対策 |
| 13. 高齢者の生きがいづくりの推進 | 35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組 |
| 14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援 | 36. 省エネ・節エネの取組 |
| 15. 障がい者を支える福祉・保健・医療サービス | △ にぎわい |
| 16. 住み慣れた地域での生活を支える地域福祉 | 38. 商工業の振興 |
| 17. 生活を支える社会保障 | 39. 都市と調和する農業の推進 |
| 18. 保健事業や健康づくりの推進 | 40. 市の魅力を伝える取組 |
| 19. 病院・医院・救急医療などの医療環境 | 41. 雇用・就労の促進 |
| 20. 良質な水道水の安定供給 | 42. 雇用の安定・勤労者福祉 |
| 21. 公共下水道の整備 | 43. 観光振興事業の推進 |
| | 44. 消費者の利益と安全の確保 |
| | ■ 市政全般 |
| | 46. 効率的な行財政運営 |
| | 47. 市職員の育成 |
| | 48. 市の窓口サービス |

図 3.8.93 全項目の満足度と重要度の関係

■満足度

- 満足度評価点（図3.8.91）は、全42項目（各項目の総合評価を除く）のうち35項目が50点以上となっている。
- 満足度評価点が高い順にみると、《20. 良質な水道水の安定供給》（66.3点）が最も高く、次いで、《21. 公共下水道の整備》（65.2点）、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（60.4点）となっている。
- 一方、《39. 都市と調和する農業の推進》（48.0点）が最も低く、次いで、《47. 市職員の育成》（48.6点）、《43. 観光振興事業の推進》（48.8点）となっている。

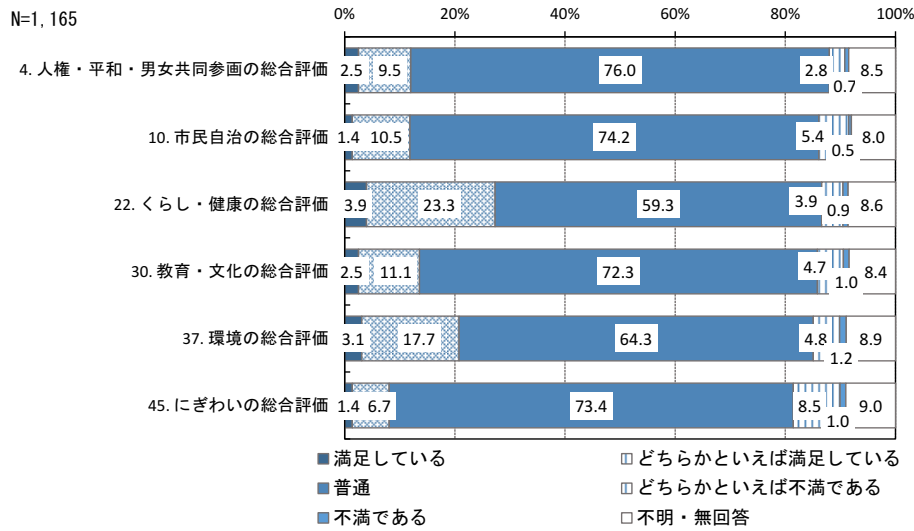
■重要度

- 重要度評価点（図3.8.92）は、全項目が55点以上で、全42項目（各項目の総合評価は除く）のうち18項目が70点以上となっている。
- 重要度評価点が高い順にみると、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（78.0点）が最も高く、次いで、《20. 良質な水道水の安定供給》（77.5点）、《21. 公共下水道の整備》（75.9点）となっている。

■満足度と重要度の関係

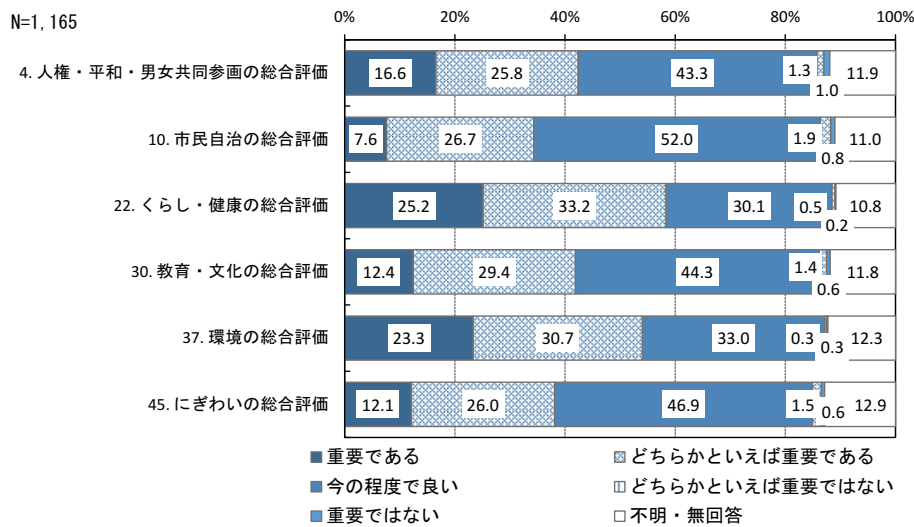
- 満足度と重要度の関係（図3.8.93）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《23. 学校教育》（満足度55.3点、重要度75.8点、差20.5点）、《47. 市職員の育成》（満足度48.6点、重要度68.9点、差20.3点）、《34. 地球温暖化防止対策》（満足度51.9点、重要度71.8点、差19.9点）となっている。

(2)-9 各項目の総合評価についての満足度・重要度



| 『満足』 | 『不満』 | 満足度 評価点 |
|--------|-------|------------|
| 12.0 % | 3.5 % | 52.8 |
| 11.8 % | 5.9 % | 51.8 |
| 27.3 % | 4.8 % | 57.0 |
| 13.6 % | 5.8 % | 52.5 |
| 20.8 % | 6.0 % | 54.6 |
| 8.1 % | 9.5 % | 49.7 |

図 3.8.94 各項目の総合評価についての満足度



| 『重要である』 | 『重要ではない』 | 重要度 評価点 |
|---------|----------|------------|
| 42.4 % | 2.3 % | 65.8 |
| 34.3 % | 2.7 % | 60.8 |
| 58.4 % | 0.7 % | 73.2 |
| 41.9 % | 2.0 % | 64.7 |
| 54.1 % | 0.6 % | 71.8 |
| 38.1 % | 2.1 % | 63.6 |

図 3.8.95 各項目の総合評価についての重要度

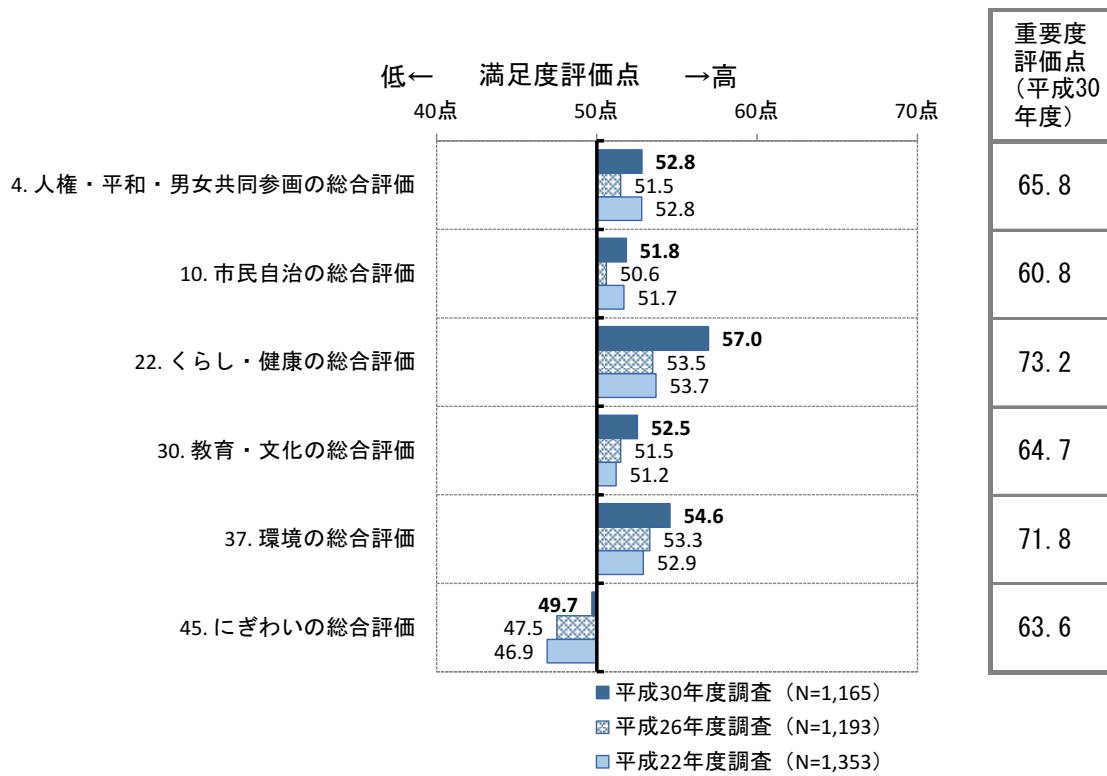


図 3.8.96 各項目の総合評価についての満足度評価点の経年比較と重要度評価点

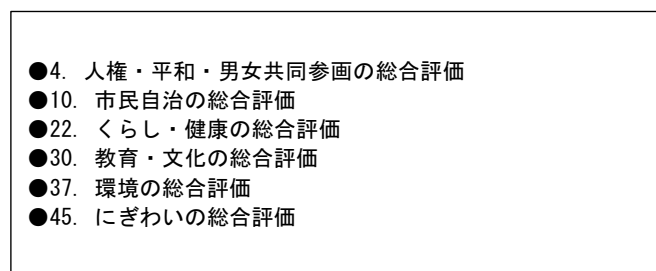
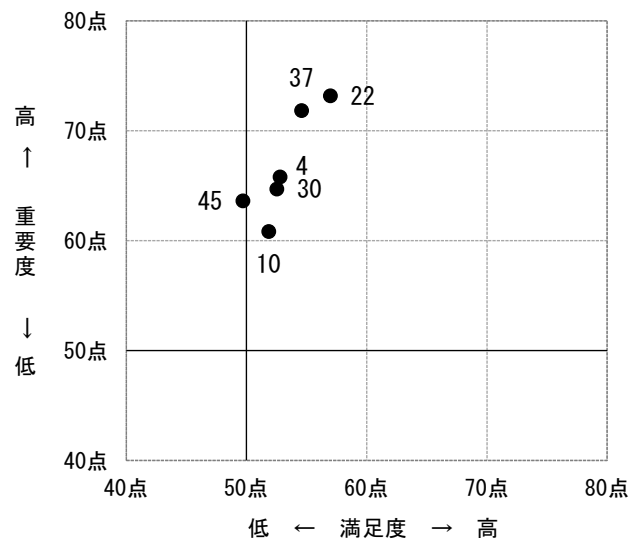


図 3.8.97 各項目の総合評価についての満足度と重要度の関係

■満足度

- 各項目の総合評価の満足度（図3.8.94）をみると、『満足』は《22. 暮らし・健康の総合評価》（27.3%）が最も高く、次いで、『37. 環境の総合評価』（20.8%）となっている。これに対し、『45. にぎわいの総合評価』（8.1%）が最も低くなっている。
- 満足度の評価点は、『22. 暮らし・健康の総合評価』（57.0点）が最も高く、次いで、『37. 環境の総合評価』（54.6点）となっている。一方、『45. にぎわいの総合評価』（49.7点）が最も低く、50点未満となっている。

- 平成26年度調査と比較（図3.8.96）すると、全項目で、平成26年度調査よりも高くなっている。

■重要度

- 各項目の総合評価の重要度（図3.8.95）は、『重要である』は《22. 暮らし・健康の総合評価》（58.4%）が最も高く、次いで、『37. 環境の総合評価』（54.1%）となっている。
- 重要度の評価点は、『22. 暮らし・健康の総合評価』（73.2点）が最も高く、次いで、『37. 環境の総合評価』（71.8点）が70点以上となっている。

■満足度と重要度の関係

- 満足度と重要度の関係（図3.8.97）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、『37. 環境の総合評価』（満足度54.6点、重要度71.8点、差17.2点）、『22. 暮らし・健康の総合評価』（満足度57.0点、重要度73.2点、差16.2点）、『45. にぎわいの総合評価』（満足度49.7点、重要度63.6点、差13.9点）となっている。